



ユーザーズガイド

TD-2320D

TD-2350D

目次

プリンターをご使用になる前に	1
注意事項の定義	2
一般的なご注意	3
商標およびライセンス	5
オープンソースライセンスに関する特記事項	6
重要事項	7
プリンターをセットアップする	8
各部の名称	9
LED のパターンと表示内容	12
画面の概要	15
日時を設定する	18
管理者用メニュー項目へのアクセスの制限	19
メニューのセキュリティを設定する	20
RD ロールをセットする	21
ロールホルダーを変更してカスタムサイズのロールを使用する	22
RD ロールをセットする	24
ファンフォールドラベルをセットする	27
大径ロールをセットする	31
ハクリユニット付きプリンターにロールをセットする	34
カッター付きプリンターにロールをセットする	38
センサー位置を調整する	41
電源コードを接続する	44
電源をオン/オフにする	45
プリンターの電源機能を使用する	46
ソフトウェアをインストールする	47
プリンタードライバーおよびソフトウェアをパソコンにインストールする	48
使用できるアプリケーション	49
プリンターをパソコンに接続する	50
USB ケーブルを使用してプリンターをパソコンに接続する	51
Wi-Fi を使用してプリンターをパソコンに接続する	52
有線 LAN を使用してプリンターをパソコンに接続する	55
Bluetooth 接続を使用してプリンターをパソコンに接続する	56
RS-232C を使用してプリンターをパソコンに接続する	57
パソコンを使用してラベルを作成して印刷する	58
P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)	59
P-touch Editor Express モードのメイン画面 (Windows)	60
P-touch Editor Professional モードのメイン画面 (Windows)	61
P-touch Editor Snap モードのメイン画面 (Windows)	62
パソコンを使用してラベルレイアウトを作成する	63
P-touch Editor で編集しているラベルと、プリンターに転送して印刷したラベルの見た目が異なる問題の原因と解消法	64
P-touch Editor を使用してテンプレートを作成する (Windows)	65
P-touch Editor を使用してラベルに日時を挿入する (Windows)	67
P-touch Editor を使用してデータベースをテンプレートにリンクする (Windows)	68
P-touch Editor を使用してラベルを印刷する (Windows)	70

ソフトウェアとドライバーをインストールせずにラベルを作成して印刷する	71
USB インターフェイスを使用して印刷する（マストレージモード）	72
プリンタードライバーを使用せずに画像を印刷する際の注記	74
ラベルを複数のプリンターで分散印刷して印刷時間を短縮する（Windows）	75
クロープ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する（Windows、300 dpi プリンターのみ）	77
クロープ印刷で認識できるバーコード（Windows）	78
クロープ印刷に対応したバーコード文書（Windows）	79
クロープ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する（Windows、300 dpi プリンターのみ）	80
プリンタードライバーを使用してラベルを印刷する（Windows）	82
モバイル端末を使用してラベルを印刷する	83
互換性のある印刷アプリ	84
AirPrint の概要	85
パソコンで作成したテンプレートをモバイル端末を使用してプリンターに転送する	86
スタンドアロン印刷	87
P-touch Editor を使用してラベルを作成する（Windows）	88
P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する（Windows）	89
パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する（Windows）	90
転送したテンプレートをプリンターの画面に呼び出して印刷する	94
データベースにリンクされていないテンプレートを印刷する	95
データベースにリンクされているテンプレートを印刷する	96
バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する（P-touch Template）	97
P-touch Template の操作の概要	98
P-touch Editor を使用してラベルを作成する（Windows）	99
P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する（Windows）	100
パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する（Windows）	101
バーコードスキャナー設定を指定する（Windows）	105
Bluetooth を使用してプリンターをバーコードスキャナーに接続する（Windows）	107
USB ホストインターフェイスを使用してプリンターをバーコードスキャナーに接続する	108
バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる	109
プリンターに転送したテンプレートを呼び出して印刷する（呼び出し印刷）	110
プリンターに転送したテンプレートに情報を流し込んで印刷する（流し込み印刷）	114
データベースにリンクされているテンプレートを印刷する（データベース検索印刷）	118
転送したテンプレートを連番（番号）順で印刷する（ナンバリング（連番）印刷）	122
設定を指定するためのバーコード	126
プリンターにテンプレートを転送する（P-touch Transfer Manager）（Windows）	129
P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する（Windows）	130
P-touch Transfer Manager の使用に関する注意事項（Windows）	131
パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について（Windows）	132
プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータをバックアップする（Windows）	140
プリンターのデータを削除する（Windows）	141
転送ファイルと転送パッケージファイルを作成する（Windows）	142
P-touch Transfer Manager を使用せずに、転送するテンプレートをユーザーに配布する（Windows）	144
テンプレートを保存して管理する（P-touch Library）	148
P-touch Library を使用してテンプレートを編集する（Windows）	149
P-touch Library を使用してテンプレートを印刷する（Windows）	150
P-touch Library を使用してテンプレートを検索する（Windows）	151

ネットワーク	153
セキュリティに関する重要情報.....	154
無線ネットワーク設定.....	155
無線ネットワークを使用する.....	156
Wi-Fi を有効/無効にする.....	158
ネットワーク機能.....	159
Web Based Management を使用して SNMP サーバーと時間を同期する.....	160
ブラウザ管理ツール.....	163
セキュリティ	164
ネットワークセキュリティー機能をご使用になる前に.....	165
デバイスセキュリティの証明書を設定する.....	166
セキュリティ証明書機能の概要.....	167
証明書を作成してインストールする方法.....	168
自己署名証明書を作成する.....	169
証明書署名要求 (CSR) を作成して認証局 (CA) からの証明書をインストールする.....	170
証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて.....	174
CA 証明書のインポートとエクスポートについて.....	177
複数の証明書を管理する.....	180
SSL/TLS を使用する.....	181
SSL/TLS について.....	182
SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理.....	185
SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する.....	190
SNMPv3 を使用する.....	192
SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理.....	193
ネットワークに IEEE 802.1x 認証を使用する.....	194
IEEE 802.1x 認証について.....	195
Web Based Management (Web ブラウザ) を使用して IEEE 802.1x 認証を設定する.....	196
IEEE 802.1x 認証方式.....	198
アップデート	199
P-touch Editor をアップデートする.....	200
ファームウェアを更新する.....	201
プリンターの設定	202
プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する (Windows).....	203
プリンター設定ツール：通信設定 (Windows).....	205
プリンター設定ツール (Windows)：本体設定.....	212
プリンター設定ツール (Windows)：P-touch Template 設定.....	219
プリンター設定ツール (Windows)：用紙サイズ設定.....	221
設定の変更を複数のプリンターに適用する (Windows).....	226
Web Based Management を使用してプリンターの設定を変更する.....	227
Web Based Management を使用しログインパスワードを変更する.....	228
プリンターの設定を確認する.....	229
印刷設定レポートの詳細.....	230
ダンプデータの印刷と確認.....	240
プリンターを使用してプリンター設定を変更する.....	242
設定一覧.....	243
日常のお手入れ	248
プリンターを清掃する.....	249

■ ホーム > 目次







コイン電池を交換する	254
各部を交換する	257
印字ヘッドを確認する	258
トラブルシューティング	259
本製品に問題がある場合は	260
エラー LED とメンテナンス LED	261
エラーメッセージとメンテナンスメッセージ	266
印刷の問題	267
バージョン情報	273
プリンターをリセットする	274
プリンターのボタンを使用してすべての設定をお買い上げ時の設定にリセットする	275
画面メニューを使用して設定をリセットする	276
プリンター設定ツールを使用してデータをリセットする	277
付録	278
仕様	279
ソフトウェア開発キット	282
LabelCLT	283
LabelCLT の概要	284
LabelCLT を使いテンプレートデータファイルを転送する	285
PDZ ファームウェアファイルを USB 経由で転送する：例	286
内蔵テンプレート	292
製品寸法	295
用紙自動検知	302
用紙自動検知の概要	303
用紙自動検知機能を使用する	304
別売品	305
オプション部品取り付け時の推奨締め付けトルク	306
ハクリユニットオプションを変更する (Windows)	307
カットオプションを変更する (Windows)	308
Brother のヘルプとカスタマーサポート	309
アフターサービスのご案内	310

プリンターをご使用になる前に

- ・ 注意事項の定義
- ・ 一般的なご注意
- ・ 商標およびライセンス
- ・ オープンソースライセンスに関する特記事項
- ・ 重要事項

注意事項の定義

本ガイドでは、以下の記号が使用されます。

 危険	危険は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う極めて危険な状況を示しています。
 警告	警告は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	注意は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
重要	重要は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性のある内容を示しています。
お願い	お願いは、ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。
	「さわってはいけないこと」を示しています。
	「やけどの危険があること」を示しています。
	ヒントアイコンは、有益なヒントや補足情報を示しています。
太字	本製品の操作パネルやパソコン画面に表示されるボタンを示しています。
[#####]	括弧で囲まれたテキストは、本製品の画面に表示されるメッセージを示しています。

✓ 関連情報

- [プリンターをご使用になる前に](#)

一般的なお注意

RD ロール

- ブラザーが提供する付属品および消耗品を使用してください (RD ROLLS マークが付いています)。
- 一部の RD ロールは、その幅または直径が原因でこのプリンターでは使用できません。購入する前に対応するロールの種類を必ず確認してください。
- 水分、汚れ、油分が付着している場所にラベルを貼ると、はがれやすくなる場合があります。ラベルを貼る前に、ラベルを貼る場所の表面を拭いてください。
- RD ロールは涼しく暗い場所に保管し、開封後はすぐにご使用ください。
- ラベルが剥がれたり、変色したりする恐れがあるため、RD ロールを直射日光、高温、高い湿度、風、ほこりにさらさないでください。
- ラベルの印刷面を爪や金属でこすったり、濡れた手で触ったりすると、色が変わったり、あせたりする恐れがあります。
- 表示された長さは、印刷したラベルの実際の長さとは異なることがあります。
- 場所、材質、環境条件によっては、ラベルがはがれにくくなったり、色が変わったり、他のものに色移りする場合があります。ラベルを貼る前に、環境条件や材質を確認してください。
- 小さなテキストは、お使いの機器やパソコンの画面に表示されるほどはっきりと印刷されないことがあります。
- お使いの機器やパソコンはラベルプリンターの解像度より高い解像度をサポートしていることがあるため、印刷された文字はそうした機器やパソコンに表示された文字とは異なることがあります。
- 折り畳まれた紙、濡れた紙、湿った紙は使用しないでください。紙づまりや誤動作が生じる可能性があります。
- 決して、人、動物、植物にラベルを貼らないでください。許可なく、公共財産または私有財産にラベルを貼らないでください。
- RD ロールの最後のラベルは正常に印刷されない場合があるため、各ロールにはパッケージに記載されている量よりも多い量のラベルが含まれています。
- ラベルを貼った後にはがすと、ラベルの一部が表面に残る場合があります。
- ラベルを貼ると、はがすのが困難になる場合があります。
- RD ロールをプリンターに長期間装着したままにしないでください。プリンターを長期間使用しない場合は、プリンターを保管する前にロールを取り外してください。
RD ロールは、ロール芯を立てて保管してください。ラベル面を下に向け水平に保管すると、品質の劣化を引き起こすことがあります。
- 警告および安全上の注意点については、「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

本製品

- 印刷中、AC アダプターやバッテリーパックを挿入したり、取り外したりしないでください。製品の故障を引き起こすことがあります。
- プリンターや付属品を廃棄するときは適用されるすべての法令に従ってください。
- 印刷中やテープ送り中にテープを引っ張らないでください。テープやプリンターが破損します。
- メモリーに保存したデータは、プリンターの故障や修理、またはバッテリーが完全に放電した場合は失われます。
- プリンターに貼付されているラベルは剥がさないでください。ラベルには、操作情報とプリンターの機種名が記載されています。
- 電磁波の干渉を引き起こす機器の近くにはプリンターを設置しないでください。テレビ、ラジオ、電子レンジなどのそうした機器の近くに置いた場合、誤作動する可能性があります。
- ケーブルが AC コネクタや USB ポートに接続されている場合、プリンターを移動させないでください。コネクタとポートが損傷する可能性があります。
- シリアルポートは、RJ25 や DB9M アダプターのオプションの付属品専用設計されています。電話線やキャッシュドローワーを接続しないでください。

-
- プリンターの電源機能を使用すると、プリンターが熱くなることがあります。プリンターが熱いときに、USBケーブルをプラグから外して印刷を始めると、プリンターは冷却のために一時的に冷却モードに入ることがあります。
 - プリンターを直射日光、高い気温または蒸気にさらさないでください。長時間印刷すると、プリンターは冷却モードに入らず熱くなり、誤作動の原因となることがあります。
 - 警告および安全上の注意点については、「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

その他

- バッテリーは適切な回収場所に廃棄してください。自治体の条例がある場合は、その定めに従ってください。
- 充電池が完全に充電されているにもかかわらず、プリンターを短時間しか使用できない場合は、充電池の寿命が尽きた可能性があります。新しい充電池に交換してください。

関連情報

- [プリンターをご使用になる前に](#)
-

商標およびライセンス

- Apple、App Store、Mac、Safari、AirPrint、AirPrint ロゴ、iPad、iPhone、iPod touch、macOS、および iPadOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Android、Google Chrome、Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ブラザー工業株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Epson ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Wi-Fi®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup™は、Wi-Fi Alliance®の商標です。
- Adobe®および Reader®は、米国および/またはその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
- QR コード生成プログラム Copyright © 2008 DENSO WAVE INCORPORATED.
- BarStar Pro Encode Library (PDF417、Micro PDF417、DataMatrix、MaxiCode、AztecCode、GS1 Composite、GS1 Databar、Code93、MSI/Plessey、POSTNET、Intelligent Mail Barcode)
Copyright © 2007 AINIX Corporation.All rights reserved.
- Blue SDK
Copyright © 1995-2021 OpenSynergy GmbH.
All rights reserved.All unpublished rights reserved.
- Portions of this software are copyright © 2014 The FreeType Project (www.freetype.org).All rights reserved.
- USB Type-C®および USB-C®は、USB Implementers Forum の登録商標です。

ブラザー製品、関連文書およびその他の資料に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

✓ 関連情報

- [プリンターをご使用になる前に](#)

オープンソースライセンスに関する特記事項

本製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。

オープンソースライセンスに関する特記事項については、サポートサイト (support.brother.com/manuals) でお使いの**製品マニュアル**のページを参照してください。

✓ 関連情報

- [プリンターをご使用になる前に](#)

重要事項

- 本書の内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更されることがあります。
- ブラザー工業株式会社は、本書に記載されている仕様および内容を予告なく変更する権利を保有し、誤植やその他の出版関連の誤りを含む（ただし必ずしもこれに限定されない）記載内容によって生じた、いかなる損害（間接損害を含む）についても責任は負いません。
- 本書に掲載されている画面イメージは、お使いのパソコンのオペレーティングシステム、ご使用の機種、ソフトウェアバージョンによって異なる場合があります。
- 安全に正しくお使いいただけるよう、プリンターをご使用になる前に必ず同梱されているすべての文書をお読みください。
- イラストに示されているプリンターは、ご使用の機器と異なる場合があります。
- ご利用可能な付属品は国や地域によって異なる場合があります。
- お使いのプリンターに対応した最新バージョンの P-touch Editor を使用することをお勧めします。最新バージョンについては、support.brother.com/downloads でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページを参照してください。
- 製品の性能を最新の状態に保つため、ファームウェアの更新がないか、サポートサイト（support.brother.co.jp）でご確認ください。ファームウェアが最新でないと、プリンターの機能の一部がご利用になれない場合があります。
- 本製品を他の人に譲渡したり、交換または廃棄するときは、お買い上げ時の設定にリセットして個人情報をすべて削除することを強くお勧めします。

✓ 関連情報

- [プリンターをご使用になる前に](#)

プリンターをセットアップする

- 各部の名称
- LED のパターンと表示内容
- 画面の概要
- 日時を設定する
- 管理者用メニュー項目へのアクセスの制限
- メニューのセキュリティを設定する
- RD ロールをセットする
- センサー位置を調整する
- 電源コードを接続する
- 電源をオン/オフにする
- プリンターの電源機能を使用する

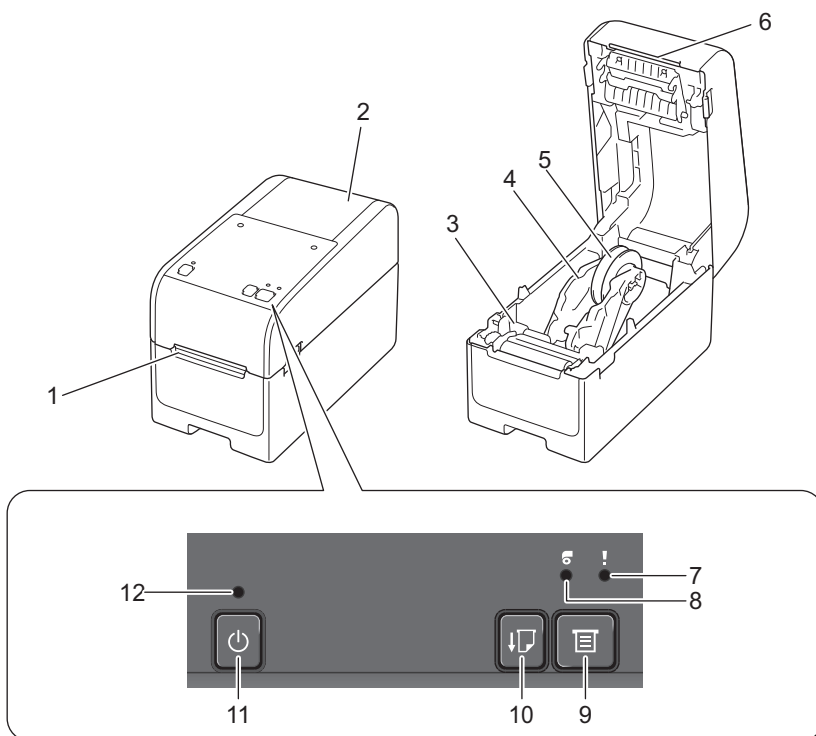
各部の名称




>> TD-2320D

>> TD-2350D


TD-2320D

前面

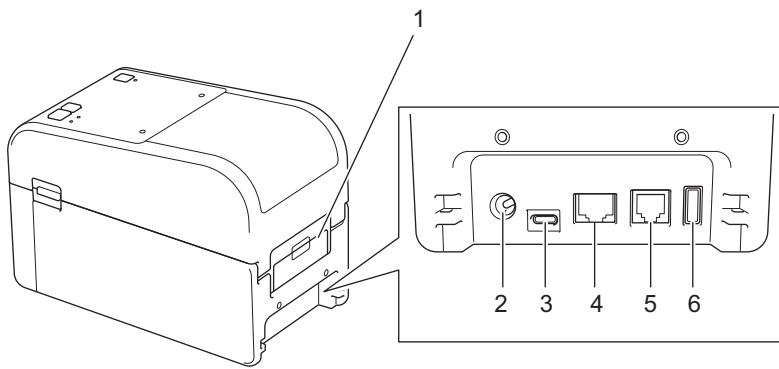


1. ラベル排出口
2. ロール紙カバー
3. 調整ダイヤル
4. ロールガイド
5. ロールホルダー
6. ティアバー
7. ステータス LED
8. ロール LED
9.  (機能) ボタン
10.  (給紙) ボタン
11.  (電源) ボタン
12. 電源 LED



印刷を一時停止するには、 (電源)、▲ (上) または ▼ (下) 以外のボタンを押します。再度ボタンを押すと、印刷を再開します。ページ全体を印刷した後でのみ一時停止できます。最後のページやページ間では一時停止できません。

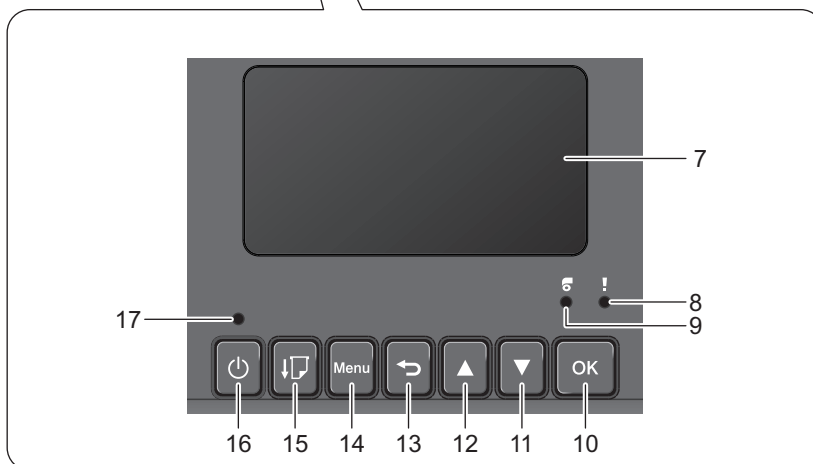
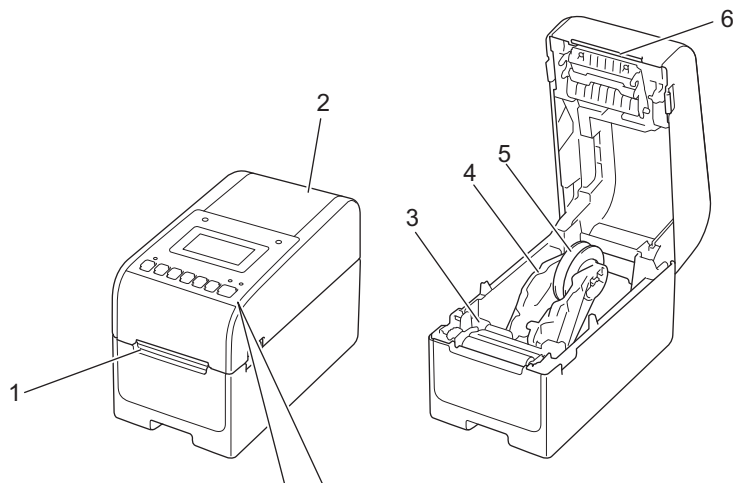
背面



1. 背面給紙ポートカバー
2. 電源ポート
3. USB ポート (Type-C)
4. LAN ポート
5. シリアルポート (RJ25)
6. USB ホストポート (Type-A)

TD-2350D

前面



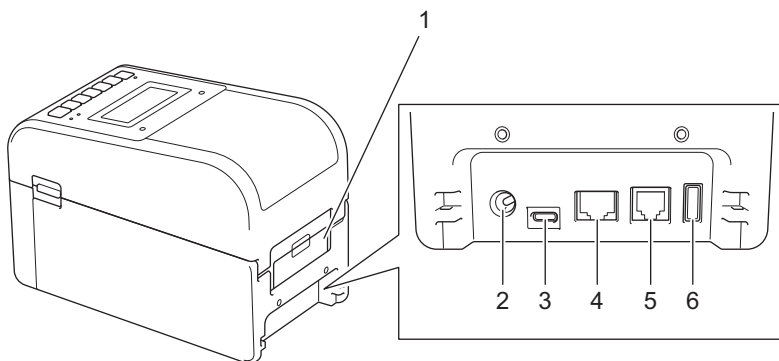
1. ラベル排出口
2. ロール紙カバー
3. 調整ダイヤル

4. ロールガイド
5. ロールホルダー
6. ティアバー
7. 液晶ディスプレイ
8. ステータス LED
9. ロール LED
10. **OK** ボタン
11. ▼ (下矢印) ボタン
12. ▲ (上矢印) ボタン
13. ↶ (戻る) ボタン
14. メニューボタン
15. ↓ (給紙) ボタン
16. ⏻ (電源) ボタン
17. 電源 LED



印刷を一時停止するには、⏻ (電源)、▲ (上) または ▼ (下) 以外のボタンを押します。再度ボタンを押すと、印刷を再開します。ページ全体を印刷した後でのみ一時停止できます。最後のページやページ間では一時停止できません。

背面



1. 背面給紙ポートカバー
2. 電源ポート
3. USB ポート (Type-C)
4. LAN ポート
5. シリアルポート (RJ25)
6. USB ホストポート (Type-A)









✓ 関連情報

- [プリンターをセットアップする](#)

LED のパターンと表示内容

LED が点灯および点滅し、プリンターの状態を示します。

エラーの詳細については、「関連トピック」をご覧ください：エラー LED とメンテナンス LED











 または  または 	LED は表示されている色で点灯します。
 または  または 	LED は表示されている色で点滅します。
	LED は、いずれかの色で消灯、点灯、または点滅します。
	LED が消灯しています。

>> TD-2320D










>> TD-2350D

TD-2320D

電源 LED	ロール LED	ステータス LED	状態
			電源がオフです。
			プリンターが給紙モードです。 プリンターが印刷モードです。 プリンターがカッティングモードです。
		 または  カバーの状態によります。	プリンターが待機モードです。 プリンターがマストレージモードです。
			用紙サイズの検出中。
		 繰り返し (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	プリンターが印刷準備モードです。 プリンターがダウンロードモードです。 印刷ジョブのキャンセル中。
		 1 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	マストレージモードで処理中。
		 繰り返し (1 秒オフ、1 秒オン)	データ受信中。 プリンターがダンプモードです。 プリンターが転送モードです。
		 繰り返し (2 秒オフ、1 秒オン)	印刷一時停止。
		 繰り返し (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	プリンターが冷却モードです。
 繰り返し (3 秒オフ、0.3 秒オン)			プリンターがスリープモードです。
			プリンターがデータ書き換えモードです。

電源 LED	ロール LED	ステータス LED	状態
繰り返し (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)			
 3 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)		 3 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	マスのトレージモードに切り替え中。
			プリンターが初期化モードです。 プリンターがシステムオフモードです。
 3 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)		 3 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	ナンバリング初期化が完了しました。
 1 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)		 1 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	初期化が完了しました。
			ブートモード プリンターがリセットモードです。
			プリンターがリセットモードです。
			プリンターがリセットモードです。
 3 回点滅 (0.3 秒オフ、0.3 秒オン) その後オン	 3 回点滅 (0.3 秒オフ、0.3 秒オン) その後オン	 3 回点滅 (0.3 秒オフ、0.3 秒オン) その後オン	プリンターがデータ書き換えモードです。
 1 秒オフその後繰り返し (0.5 秒オン、1 秒オフ)	 1 秒オフその後繰り返し (0.5 秒オン、1 秒オフ)	 1 秒オフその後繰り返し (0.5 秒オン、1 秒オフ)	プリンターがリセットモードです。
			ロールカバーが開いています。

TD-2350D

電源 LED	ロール LED	ステータス LED	状態
			電源がオフです。
			プリンターが給紙モードです。 プリンターが印刷モードです。 プリンターがカッティングモードです。
		 または  カバーの状態によります。	プリンターが待機モードです。 プリンターがマスのトレージモードです。 プリンターがテンプレート選択モードです。
			用紙サイズの検出中。
			プリンターが印刷準備モードです。

電源 LED	ロール LED	ステータス LED	状態
		繰り返し (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	プリンターがダウンロードモードです。 印刷ジョブのキャンセル中。
		 1 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	マスストレージモードで処理中。
		 繰り返し (1 秒オフ、1 秒オン)	データ受信中。 プリンターがダンプモードです。 プリンターが転送モードです。
		 繰り返し (2 秒オフ、1 秒オン)	印刷一時停止。
		 繰り返し (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	プリンターが冷却モードです。
 繰り返し (3 秒オフ、0.3 秒オン)			プリンターがスリープモードです。
 繰り返し (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)			プリンターがデータ書き換えモードです。
			プリンターが初期化モードです。 プリンターがシステムオフモードです。
 3 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)		 3 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	ナンバリング初期化の完了の通知です。
 1 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)		 1 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	初期化の完了の通知です。
			ブートモード
			ロールカバーが開いています。

関連情報

- [プリンターをセットアップする](#)

関連トピック：

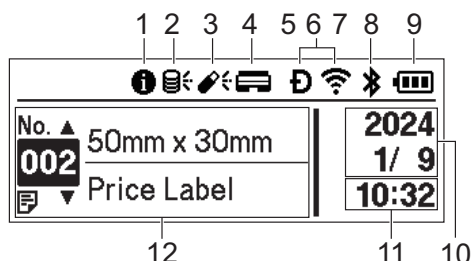
- [エラー LED とメンテナンス LED](#)

画面の概要

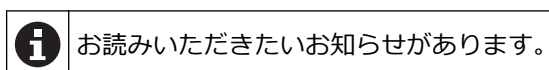
関連モデル: TD-2350D



製造中および出荷中、画面には保護用透明プラスチックフィルムが貼られています。このフィルムは使用前に剥します。



1. お知らせアイコン



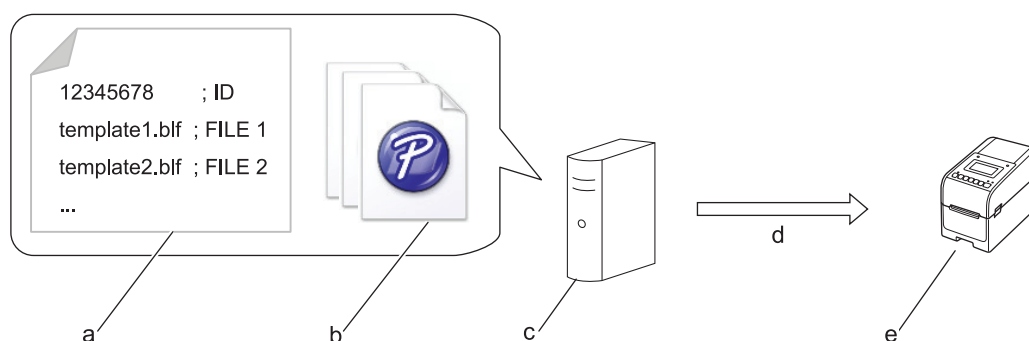
2. アップデートアイコン (ネットワーク)

テンプレート、データベース、その他のデータ更新が利用できることを示します。

	新規データがあります。
	データ残りあり。
	サーバーが不通です。

リモートデータ更新 (FTP)

プリンターから FTP サーバーに接続してテンプレートやデータベースの更新を行ったり、ネットワーク接続された複数のプリンターに更新データを配布するコマンドを実行したりすることができます。



a. 設定ファイル (updateinfo.ini)

b. テンプレートやデータベースなど更新したいファイル (BLF/BIN ファイル)

ラベルファイル (LBX) またはデータベースファイル (Excel、CSV) を BLF ファイルに変換するには、P-touch Transfer Manager の**転送ファイル保存**を使用します。

c. FTP サーバー



d. FTP サーバーから更新データの読み出し

e. プリンター (FTP クライアント)

データアップデート方法の詳細は、サポートサイト (support.brother.co.jp) にアクセスしてください。

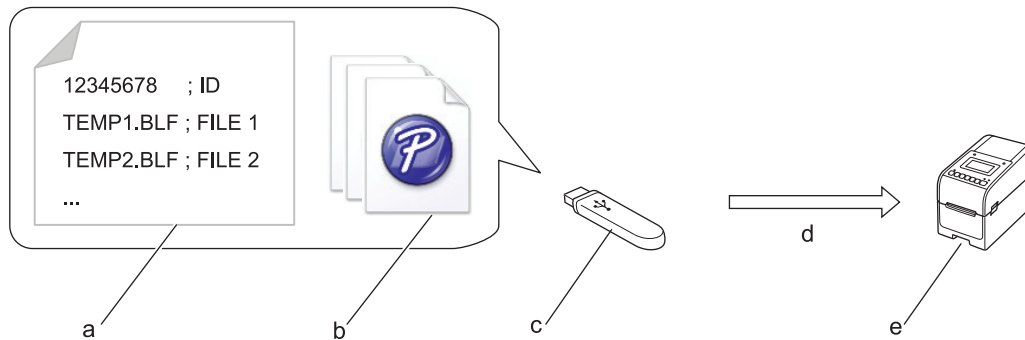
3. アップデートアイコン (USB フラッシュメモリー)

テンプレート、データベース、その他のデータ更新が利用できることを示します。

	新規データがあります。
 (点滅)	データ残りあり。

ローカルデータ更新 (USB フラッシュメモリー)



プリンターに接続された USB フラッシュメモリーからファイルを読み出した後、テンプレートやデータベースの更新を行ったり、コマンドを実行したりすることができます。





- a. 設定ファイル (UPDATE.INI)
- b. テンプレートやデータベースファイルなどのデータをアップデートしたいファイル (BLF/BIN ファイル)
- c. USB フラッシュメモリー
- d. 更新データの読み出し
- e. プリンター

データアップデート方法の詳細は、サポートサイト (support.brother.co.jp) にアクセスしてください。



4. 印字ヘッドステータスアイコン

	通常の状態。
	印字ヘッドが切断されているか、印字ヘッドで問題が生じています。


5. Wireless Direct アイコン

	Wireless Direct モードがオン。 プリンターはモバイル端末に接続されていません。
	Wireless Direct モードがオン。 プリンターはモバイル端末に接続されています。




6. WLAN アイコン

	プリンターはネットワークに接続されています。
	プリンターは無線ネットワークを検索しています。





7. 有線 LAN アイコン

	プリンターはネットワークに接続されています。
---	------------------------

8. Bluetooth®アイコン

	Bluetooth モードがオン。 プリンターはモバイル端末に接続されていません。
	Bluetooth モードが接続されています。 プリンターはモバイル端末に接続されています。
 (点滅)	自動再接続機能がオンになっていますが、プリンターはモバイル端末に接続されていません。

9. バッテリーアイコン

	バッテリーは完全またはほぼ完全に充電されています。
	バッテリーは充電中で、ほぼ完全に充電されています。
	バッテリーレベルが低くなっています。
	バッテリーレベルが低くなっていますが、充電中です。

10. 日付表示

11. 時刻表示

12. テンプレート

お願い

印刷ジョブの処理中または印刷中にプリンターを設定しようとすると、誤作動する可能性があります。

✓ 関連情報

- ・ [プリンターをセットアップする](#)

日時を設定する

関連モデル: TD-2350D

1. **Menu** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、次のように選択します。
 - a. [管理者設定] を選択します。 **OK** を押します。
 - b. [時計設定] を選択します。 **OK** を押します。
 - c. [時計設定] を選択します。 **OK** を押します。
3. ▲ または ▼ を押して、年を設定し、 **OK** を押します。この手順を繰り返して月日を設定します。
4. ▲ または ▼ を押して、時間を設定し、 **OK** を押します。この手順を繰り返して分を設定します。
5. ▲ または ▼ を押して、[AM]、[PM]、または[24]を選択し、 **OK** を押します。



日時形式を変更するには、[管理者設定] > [日付形式] または [管理者設定] > [時刻形式] を選択し、設定します。



関連情報

- [プリンターをセットアップする](#)

管理者用メニュー項目へのアクセスの制限

関連モデル: TD-2350D

アクセス制限は、管理者用メニューの各項目に設定できます。

1. **Menu** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、次のように選択します。
 - a. [管理者設定] を選択します。 **OK** を押します。
 - b. [ロック] を選択します。 **OK** を押します。
3. ▲、▼ または **OK** を押し、希望するメニュー項目を選択します。
4. ▲ または ▼ を押して [完了] を選択し、**OK** を押して設定を完了します。

✓ 関連情報

- [プリンターをセットアップする](#)

関連トピック：

- [プリンター設定ツール \(Windows\) : 本体設定](#)

メニューのセキュリティを設定する

関連モデル: TD-2350D

メニューのセキュリティを設定すると、パスコードを設定することで管理者メニューへのアクセスを制限できます。

1. **Menu** を押します。
 2. ▲ または ▼ を押して、次のように選択します。
 - a. [管理者設定] を選択します。 **OK** を押します。
 - b. [パスワード] を選択します。 **OK** を押します。
 3. ▲ または ▼ を押して、[有効] を選択します。 **OK** を押します。
 4. ▲ または ▼ を押して 4 桁のセキュリティパスコードの最初の数字を指定し、 **OK** を押します。
残りの 3 つの数字にこの手順を繰り返します。
- パスコードが既に設定されていると、[管理者設定]メニューを選択するたびにパスコードの入力画面が表示されます。各数字の後に ▲ または ▼ と **OK** を押して、指定した 4 桁のパスコードを入力し、 **OK** を押します。
 - メニューセキュリティをキャンセルし、パスコード入力画面をオフにするには、[管理者設定]メニューを選択しパスコードを入力します。次に、[パスワード] > [無効] を選択します。
 - パスコードを忘れた場合は、プリンター設定ツールの本体設定を使用して、すべての設定をお買い上げ時の状態に戻し、パスコードをもう一度設定します。

✓ 関連情報

- [プリンターをセットアップする](#)

関連トピック：

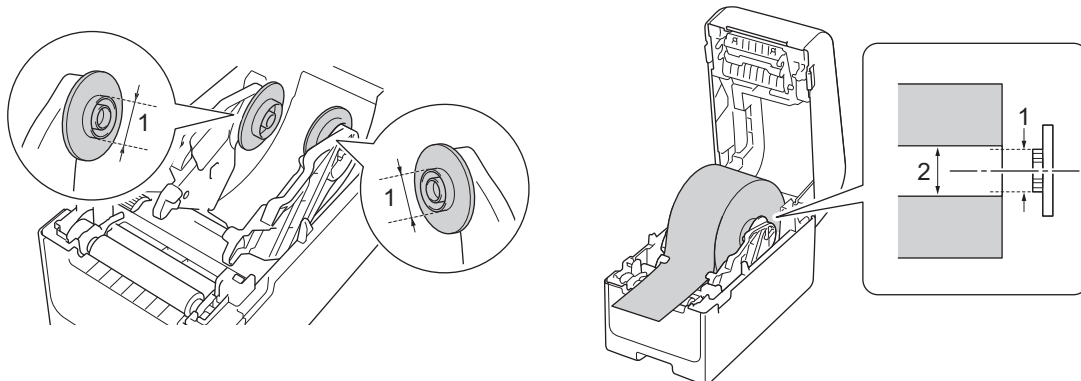
- [プリンター設定ツール \(Windows\) : 本体設定](#)

RD ロールをセットする

- ロールホルダーを変更してカスタムサイズのロールを使用する
- RD ロールをセットする
- ファンフォールドラベルをセットする
- 大径ロールをセットする
- ハクリユニット付きプリンターにロールをセットする
- カッター付きプリンターにロールをセットする

ロールホルダーを変更してカスタムサイズのロールを使用する

ロールホルダーの凸部分がロール紙芯の内径内に適合する場合は、そのロールは使用できます。ロール紙芯の内径に近いロールホルダーを使用すると、より安定した用紙の給紙が行えます。




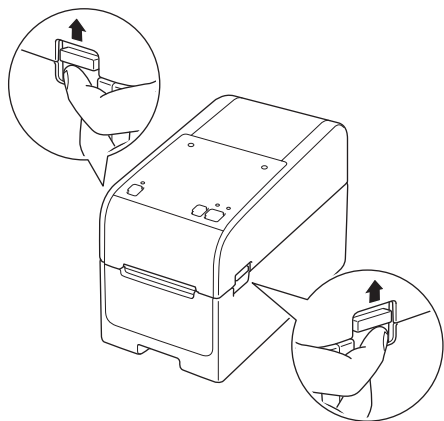
1. ロールホルダーの凸部外径
2. 用紙ロールの紙芯の内径

お使いのプリンターには、ロールホルダーがあらかじめ2個取り付けられており、ロールホルダーの表側は25.4mm、裏側が38.1mmとなっています。

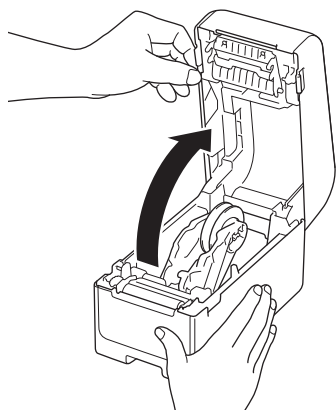


- 本機には、12.7mm または 19mm の芯径用に設計された小型ロールホルダーが1組（2個）付属しています。
- ロールの芯サイズはロールホルダーに表示されています。

1. を長押し、プリンターの電源をオフにします。
2. プリンターの両側にある解除レバーを引き、ロールカバーのロックを解除します。



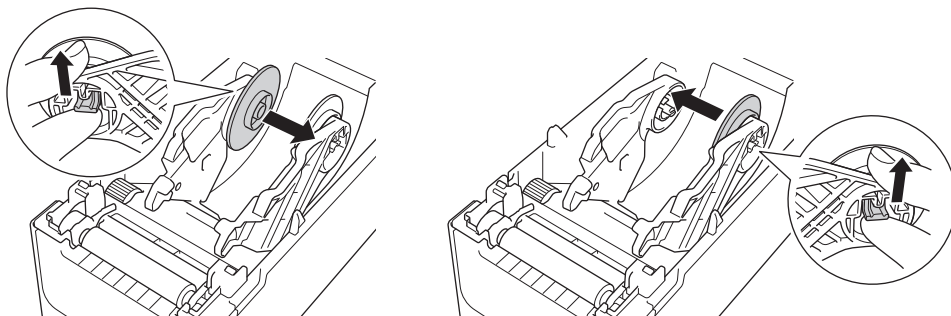
3. プリンターの前面を持ち、ロールカバーをしっかりと持って持ち上げ、開きます。



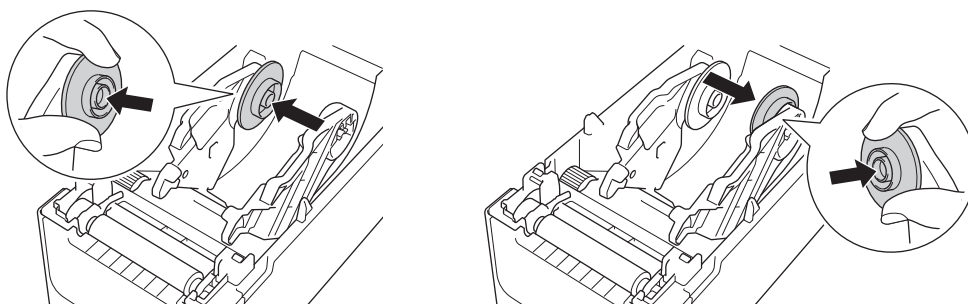
⚠ 注意

ティアバーを手で触らないでください。ケガをする恐れがあります。

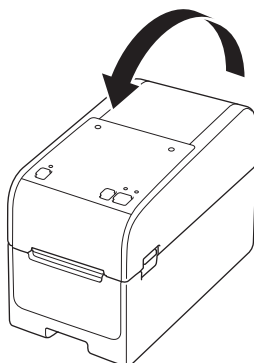
4. ロールホルダーは、ロールガイドのレバーを引き上げて取り外します。これを両方のロールガイドに対し行います。



5. ロールガイドのセンターピンをロールホルダーの穴に揃え、ロールホルダーをロールガイドに向けて押し付けて取り付けます。これを両方のロールガイドに対し行います。



6. 所定の位置で固定されるまで、ロールカバーを閉じます。




⚠ 注意

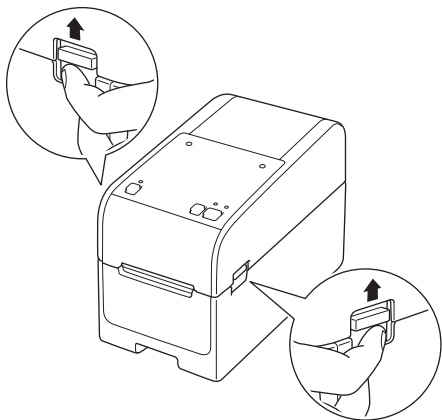
ロールカバーを閉めるときは注意してください。カバーの上部と下部の間に指を挟んでけがをする恐れがあります。

✓ 関連情報

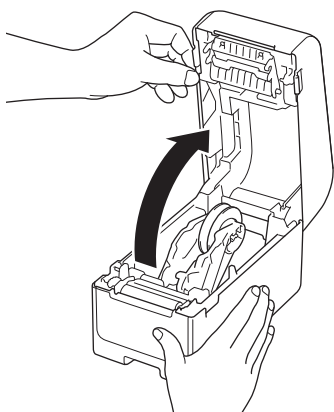
- RD ロールをセットする

RD ロールをセットする

1.  を長押し、プリンターの電源をオフにします。
2. プリンターの両側にある解除レバーを引き、ロールカバーのロックを解除します。



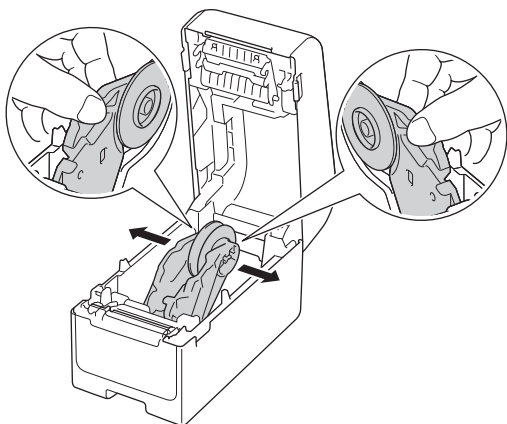
3. プリンターの前面を持ち、ロールカバーをしっかりと持って持ち上げ、開きます。



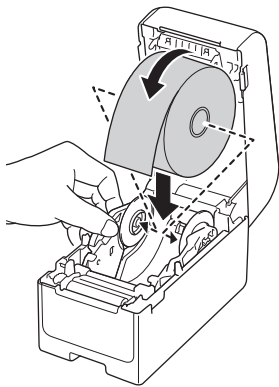
注意

ティアバーを手で触らないでください。ケガをする恐れがあります。

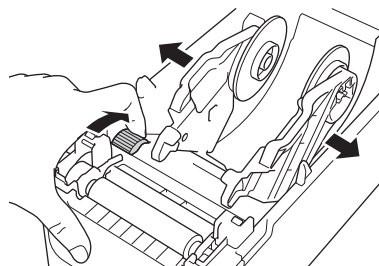
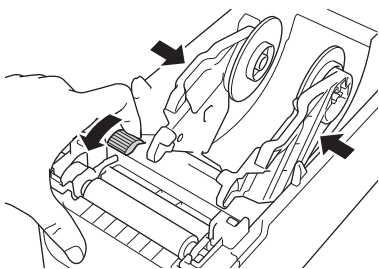
4. 両方のロールガイドを外側にスライドさせます。



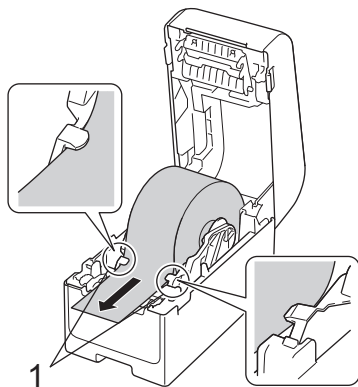
5. 図に示すように、ラベルの印刷面を上にしてロールを挿入します。



調整ダイヤルを回し、適切な位置でロールガイドを調整できます。



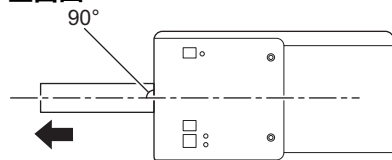
6. 用紙ガイド (1) の下に用紙を通します。
ラベルがラベル排出口から少し出ていることを確認します。



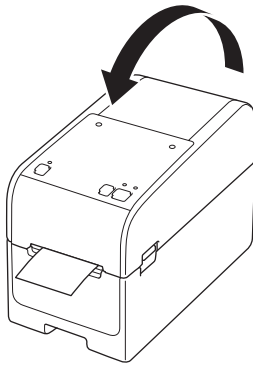
お願い

幅が 22.9mm 以下の用紙を使用する際、ラベルが斜めに給紙されるのを防ぐために、ラベル排出口から出てくる用紙が真っ直ぐに出ていることを確認します。

上面図



7. 所定の位置で固定されるまで、ロールカバーを閉じます。



⚠ 注意

ロールカバーを閉めるときは注意してください。カバーの上部と下部の間に指を挟んでけがをする恐れがあります。

重要

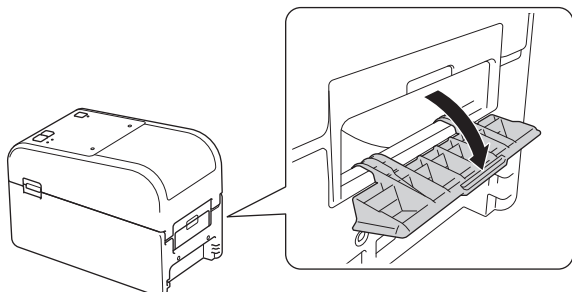
- プリンターに印刷済みのラベルを残さないでください。ラベルが詰まる恐れがあります。
- プリンターを使用しないときは、ロールをプリンターから取り外しロールカバーを閉じます。

✓ 関連情報

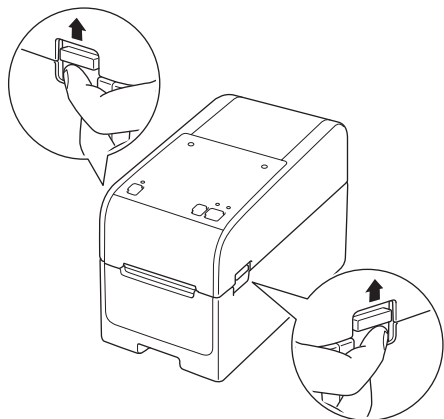
- [RD ロールをセットする](#)

ファンフォールドラベルをセットする

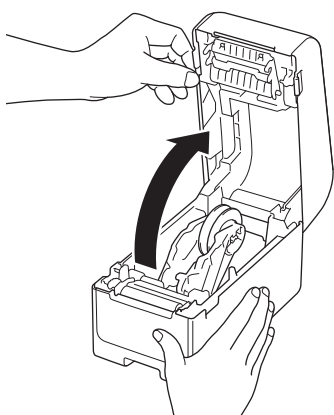
1. 電源ボタンを長押しし、プリンターの電源をオフにします。
2. 背面給紙ポートカバーを開きます。



3. プリンターの両側にある解除レバーを引き、ロールカバーのロックを解除します。



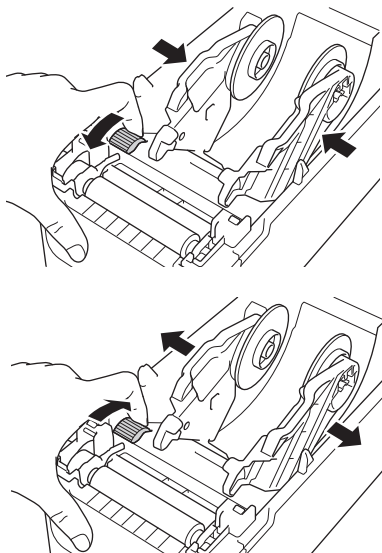
4. プリンターの前面を持ち、ロールカバーをしっかりと持って持ち上げ、開きます。



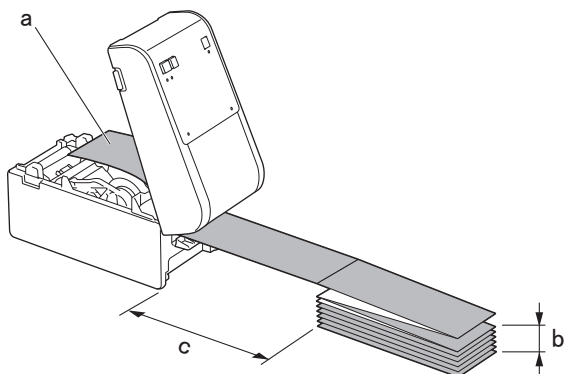
⚠ 注意

ティアバーを手で触らないでください。ケガをする恐れがあります。

5. 調整ダイヤルを回し、適切な位置でロールガイドを調整できます。



6. ファンフォールドラベルをプリンターから少なくともラベル1枚分の距離を離して置き、印刷面を上にして背面給紙ポートを通して最初のファンフォールドラベルを給紙します。



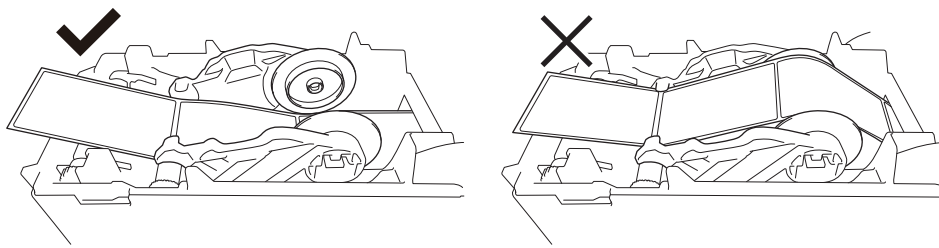
a. 印刷面

b. ファンフォールドラベルの束の最大高さ：100mm

c. プリンターとファンフォールドラベル間の最小距離：150mm

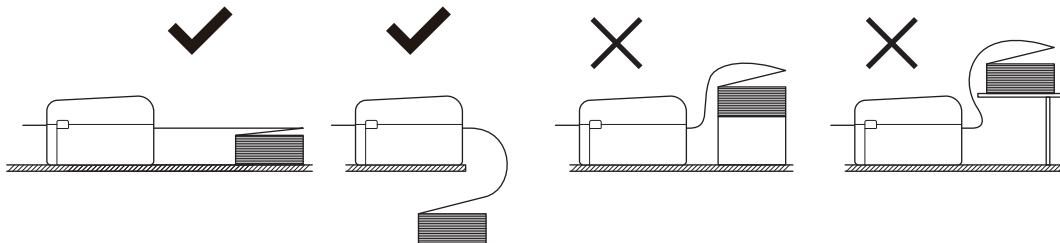


図に示すように、ラベルがロールホルダーの下を通ることを確認してください。

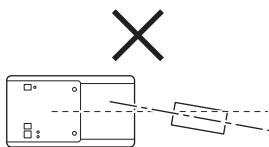


お願い

- 印刷面を上に向けて、ファンフォールドラベルを給紙します。
- プリンターの後ろにファンフォールドラベルを正しい距離で配置するための十分なスペースがない場合、その束をプリンター背面の下に置くことはできますが、上に置くことはできません。



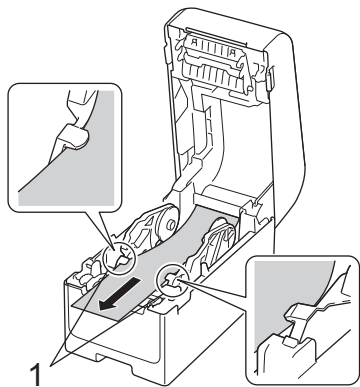
- ファンフォールドラベルの束がプリンターの背面給紙ポートと平行になっていることを確認してください。



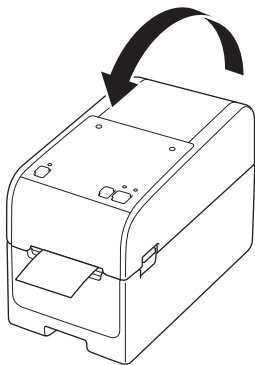
- ファンフォールドラベルがプリンターに取り付けられているケーブルに接触しないようにします。
- ラベルの給紙に問題がある場合は、プリンターとファンフォールドラベルの束との距離を広げます。

7. 用紙ガイド (1) の下に用紙を通します。

ラベルがラベル排出口から少し出ていることを確認します。



8. 所定の位置で固定されるまで、ロールカバーを閉じます。



▲ 注意

ロールカバーを閉めるときは注意してください。カバーの上部と下部の間に指を挟んでけがをする恐れがあります。

重要

- プリンターに印刷済みのラベルを残さないでください。ラベルが詰まる恐れがあります。
- プリンターを使用しないときは、用紙をプリンターから取り外しロールカバーを閉じます。

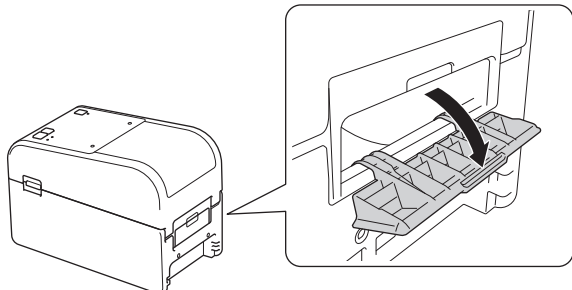


関連情報

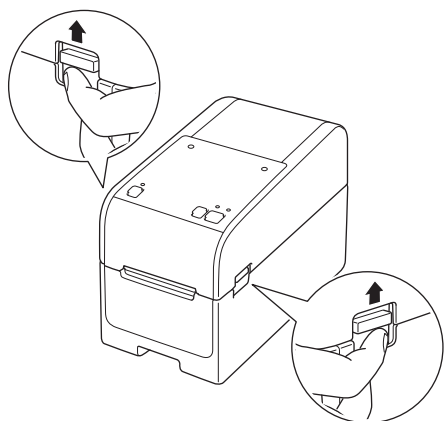
- RD ロールをセットする

大径ロールをセットする

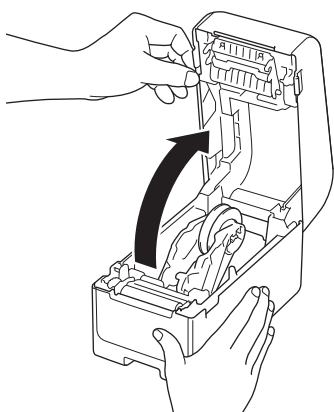
1. 電源ボタンを長押しし、プリンターの電源をオフにします。
2. 背面給紙ポートカバーを開きます。



3. プリンターの両側にある解除レバーを引き、ロールカバーのロックを解除します。



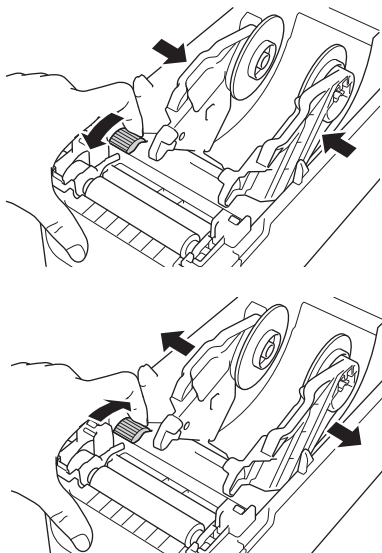
4. プリンターの前面を持ち、ロールカバーをしっかりと持って持ち上げ、開きます。



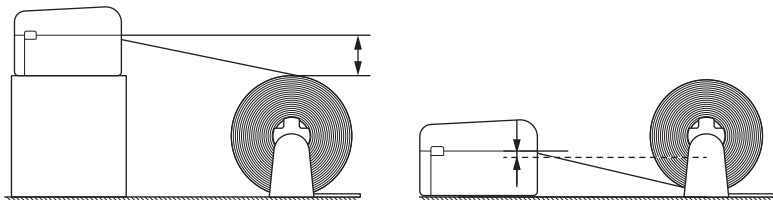
⚠ 注意

ティアバーを手で触らないでください。ケガをする恐れがあります。

5. 調整ダイヤルを回し、適切な位置でロールガイドを調整できます。

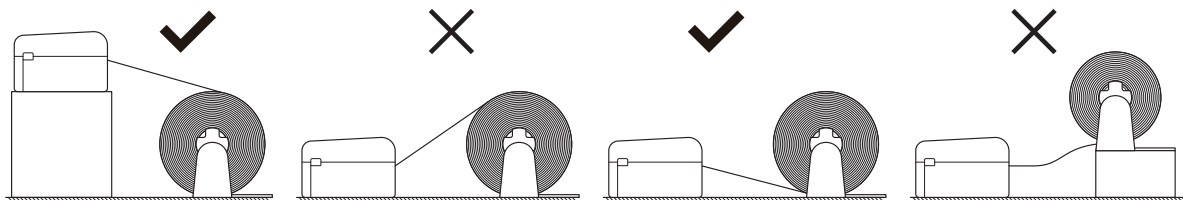


6. 印刷面を上に向けて、最初のラベルを背面給紙ポートに差し込みます。¹

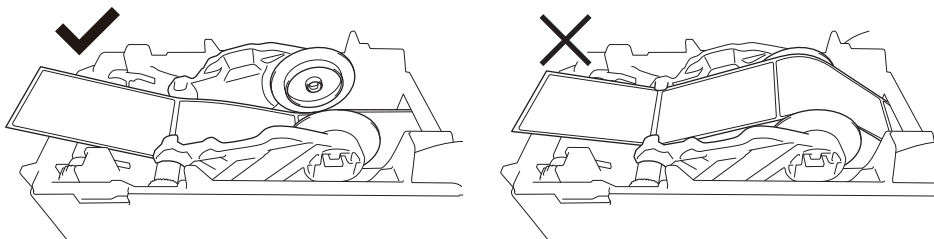


お願い

- ・ プリンターの背面給紙ポートが用紙ロールの引き抜き位置よりも高くなるように、プリンターと外部ロール装着ホルダーの位置を決めます。



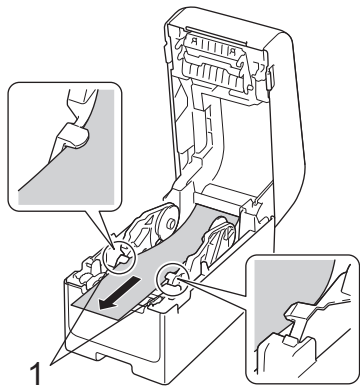
- ・ 印刷面を上に向けて、ロールを配置します。
- ・ 外部ロールがプリンターに取り付けられているケーブルに接触しないようにします。
- ・ ロールサイズや取り付け方法によっては、ロールに過負荷がかかり、ラベル/用紙を給紙できないことがあります。このような場合は、印刷速度を下げてください。
- ・ 図に示すように、ラベルがロールホルダーの下を通ることを確認してください。



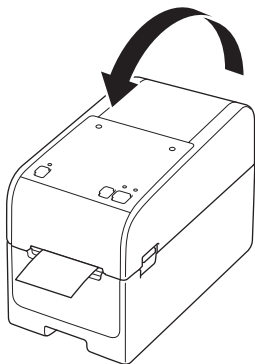
7. 用紙ガイド (1) の下に用紙を通します。

ラベルがラベル排出口から少し出ていることを確認します。

¹ 上から給紙すると、プレカット紙ラベルの前端は背面給紙ポートの上部に引っかかり、裏地から剥がれてプリンター詰まりが起きます。プレカット紙ラベルを印刷するたびに、図に示すように、ロールをチェックし、ラベル引き抜き位置と背面給紙ポートの高さが正しいことを確認することをお勧めします。



8. 所定の位置で固定されるまで、ロールカバーを閉じます。



⚠ 注意

ロールカバーを閉めるときは注意してください。カバーの上部と下部の間に指を挟んでけがをする恐れがあります。


重要

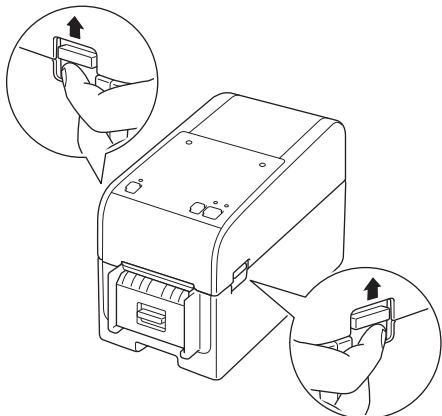
- プリンターに印刷済みのラベルを残さないでください。ラベルが詰まる恐れがあります。
- プリンターを使用しないときは、用紙をプリンターから取り外しロールカバーを閉じます。

✓ 関連情報

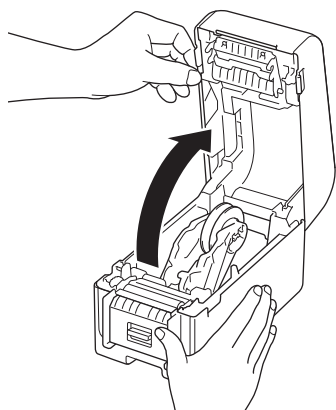
- RD ロールをセットする

ハクリユニット付きプリンターにロールをセットする

1.  を長押し、プリンターの電源をオフにします。
2. プリンターの両側にある解除レバーを引き、ロールカバーのロックを解除します。



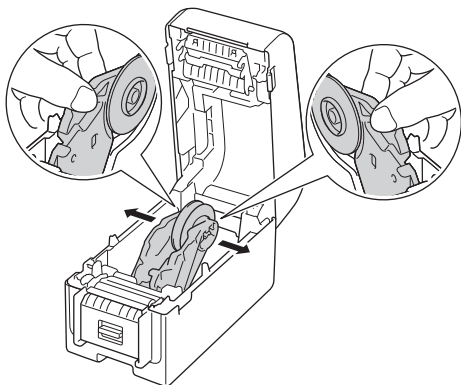
3. プリンターの前面を持ち、ロールカバーをしっかりと持って持ち上げ、開きます。



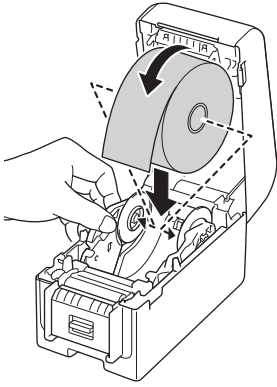
注意

ティアバーを手で触らないでください。ケガをする恐れがあります。

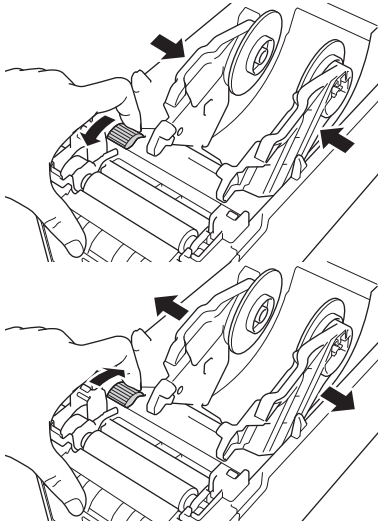
4. 両方のロールガイドを外側にスライドさせます。



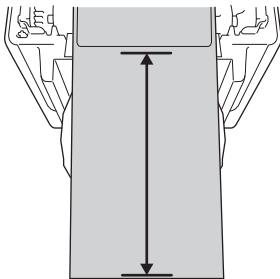
5. 図に示すように、ラベルの印刷面を上にしてロールを挿入します。



調整ダイヤルを回し、適切な位置でロールガイドを調整できます。

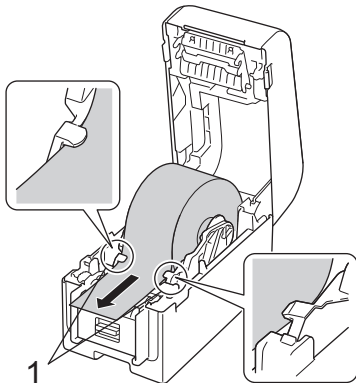


6. ロールの先端から 100 mm 程度ラベルをはがして裏紙だけの状態にします。



裏紙の端から次のラベルの始めまで、少なくとも 100mm 以上あることを確認してください。

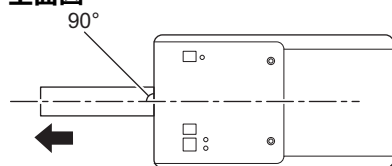
7. 用紙ガイド (1) の下に用紙を通します。



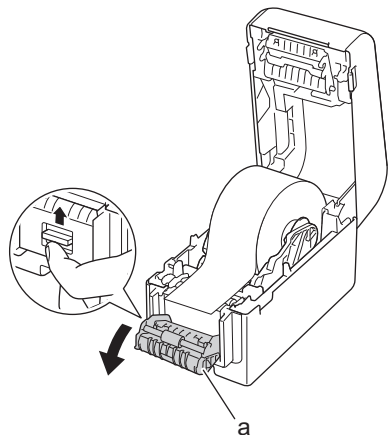
お願い

幅が 22.9mm 以下の用紙を使用する際、ラベルが斜めに給紙されるのを防ぐために、ラベル排出口から出てくる用紙が真っ直ぐに出ていることを確認します。

上面図

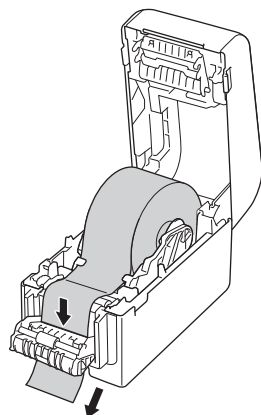


8. ハクリフレームを開きます。

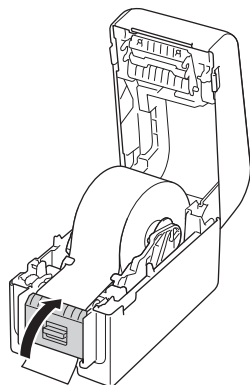


a. ハクリフレーム

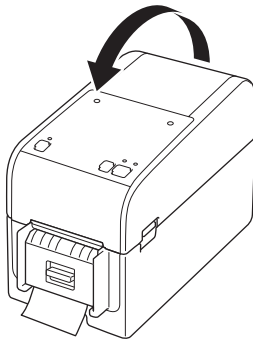
9. 用紙の端をハクリ紙排出口に通します。



10. ハクリフレームを閉じます。



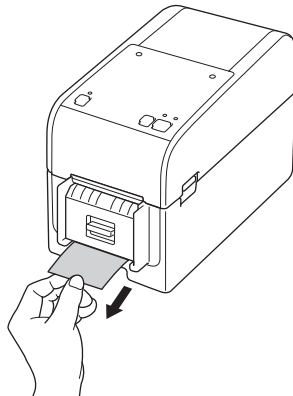
11. 所定の位置で固定されるまで、ロールカバーを閉じます。



⚠ 注意

ロールカバーを閉めるときは注意してください。カバーの上部と下部の間に指を挟んでけがをする恐れがあります。

12. 排紙用紙出口から出て来る用紙を、止まるまで優しく引っ張ります。これによりロールのたるみを最小限にすることができます。



13. パソコンでプリンタードライバーのピーラーオプションを設定します。

- スタート > 設定 > デバイス > プリンターとスキャナーをクリックします。設定するプリンターを選択し、キューを開くをクリックします。プリンター > 印刷設定をクリックします。
- 剥離機能を使うチェックボックスを選択します。
- OK をクリックします。


重要


- プリンターに印刷済みのラベルを残さないでください。ラベルが詰まる恐れがあります。
- プリンターを使用しないときは、ロールをプリンターから取り外しロールカバーを閉じます。

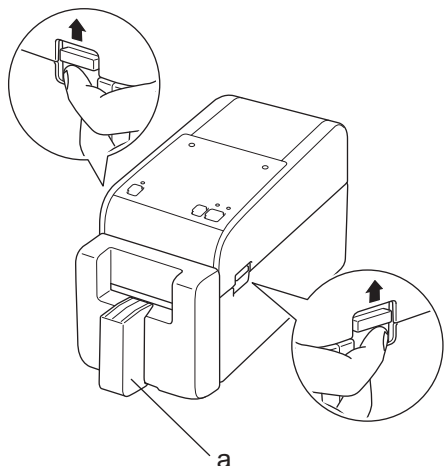
✓ 関連情報

- RD ロールをセットする

カッター付きプリンターにロールをセットする

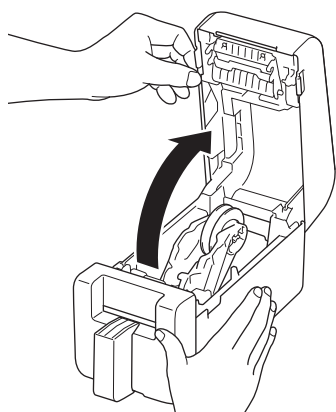
 100mm より長いラベルには、ラベルサポートを取り付けます。

1.  を長押し、プリンターの電源をオフにします。
2. プリンターの両側にある解除レバーを引き、ロールカバーのロックを解除します。



a. ラベルサポート

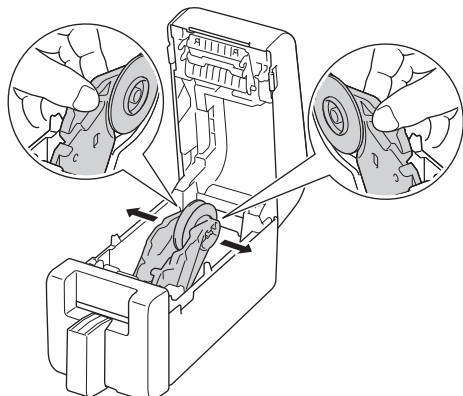
3. プリンターの前面を持ち、ロールカバーをしっかりと持って持ち上げ、開きます。



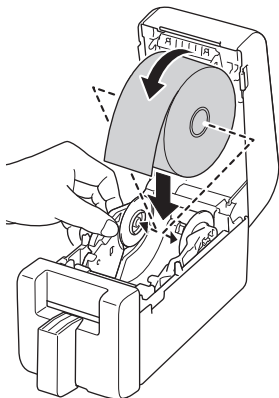
注意

ティアバーを手で触らないでください。ケガをする恐れがあります。

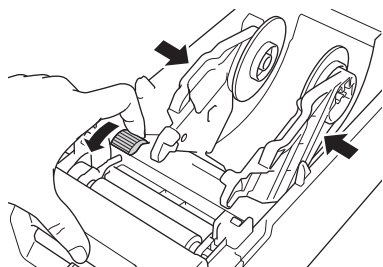
4. 両方のロールガイドを外側にスライドさせます。



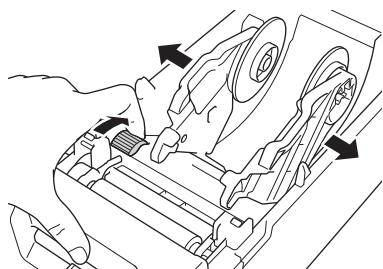
5. 図に示すように、ラベルの印刷面を上にしてロールを挿入します。



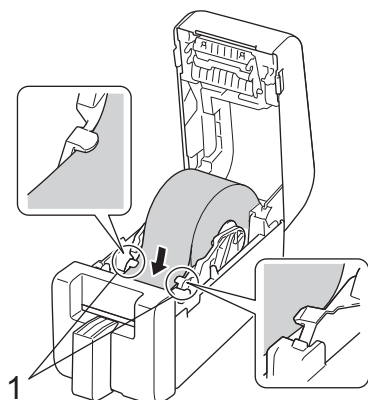
- 調整ダイヤルを回し、適切な位置でロールガイドを調整できます。



- 連続ラベルを印刷するときは、使用するロールおよび印刷環境によっては、しわが発生することがあります。



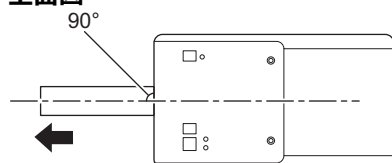
6. 用紙ガイド (1) の下に用紙を通します。



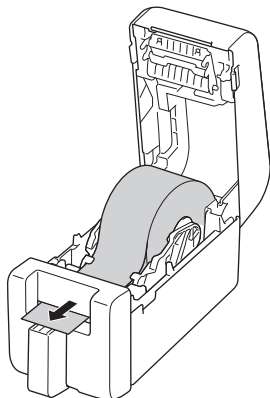
お願い

幅が 22.9mm 以下の用紙を使用する際、ラベルが斜めに給紙されるのを防ぐために、ラベル排出口から出てくる用紙が真っ直ぐに出ていることを確認します。

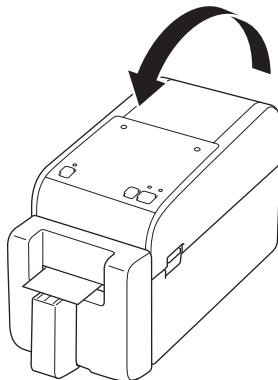
上面図



7. ロールの端をカッタースロットに通します。



8. 所定の位置で固定されるまで、ロールカバーを閉じます。



⚠ 注意

ロールカバーを閉めるときは注意してください。カバーの上部と下部の間に指を挟んでけがをする恐れがあります。

重要

- プリンターに印刷済みのラベルを残さないでください。ラベルが詰まる恐れがあります。
- プリンターを使用しないときは、ロールをプリンターから取り外しロールカバーを閉じます。

✓ 関連情報

- [RD ロールをセットする](#)

センサー位置を調整する

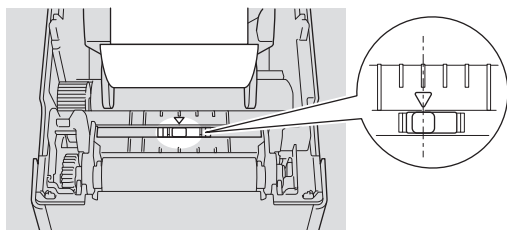
RD ロールやその他の種類の用紙を使用する場合は、使用する用紙の種類に基づいて、プリンターのセンサーの位置を調整する必要があります。このガイドで説明されている RD ロール以外のロールも使用できます。

- >> 黒マークなしプレカット紙ラベル用のセンサー位置
- >> 黒マーク付きプレカット紙ラベル用のセンサー位置
- >> 黒マークなしレシート用紙用のセンサー位置
- >> 黒マーク付き用紙用のセンサー位置
- >> 穴付き用紙用のセンサー位置
- >> リストバンド用のセンサー位置

黒マークなしプレカット紙ラベル用のセンサー位置

透過型/ギャップセンサーでラベルの先端を検出し、正しい位置にラベルを送ります。

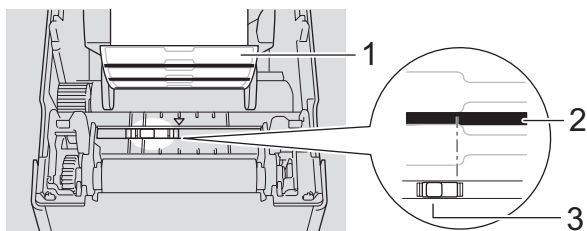
プリンターの▼にスライダーを合わせます。正しい位置にセットされると、クリック音が聞こえます。



黒マーク付きプレカット紙ラベル用のセンサー位置

反射型/黒マークセンサーでマークを検出し、正しい位置に用紙を送ります。

イラストのようにスライダーの位置を合わせます。



1. 用紙の裏面
2. 黒マーク
3. 反射型/黒マークセンサー

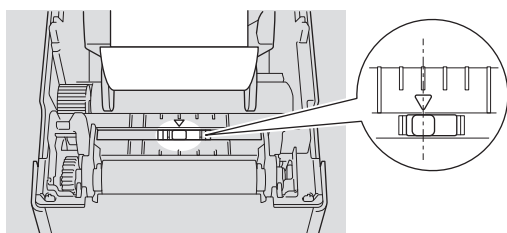


反射型/黒マークセンサーがラベルのギャップ位置に設定されていないことを確認してください。

黒マークなしレシート用紙用のセンサー位置

反射型/黒マークセンサーで用紙切れを検出します。

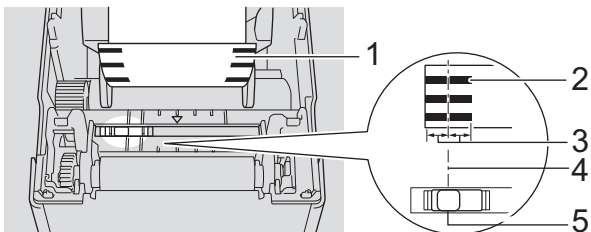
プリンターの▼にスライダーを合わせます。正しい位置にセットされると、クリック音が聞こえます。



黒マーク付き用紙用のセンサー位置

反射型/黒マークセンサーでマークを検出し、正しい位置に用紙を送ります。

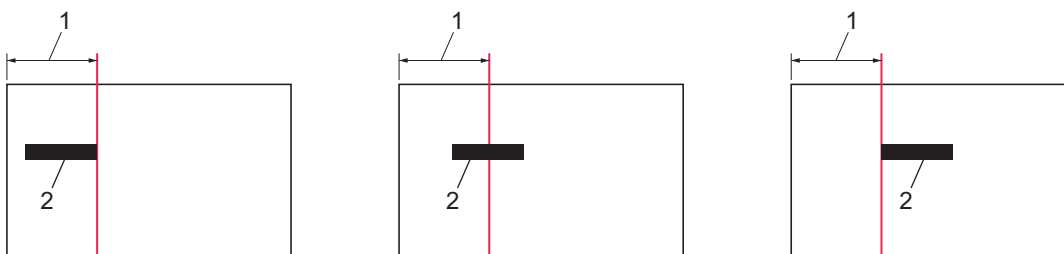
図に示すように、スライダーを黒マークの中央に揃えます。



1. 用紙の裏面
2. 黒マーク
3. 4mm 以上
黒マークの中央から左右にそれぞれ 4mm 以上の長さがあることを確認します。
4. 黒マークの中央揃え
5. 反射型/黒マークセンサー



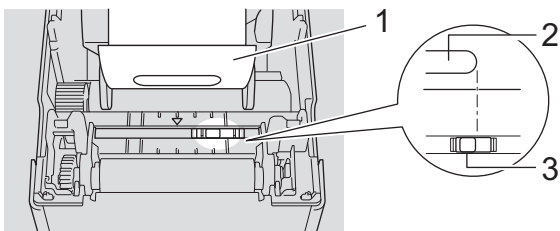
最大幅が 63mm の用紙を使用する場合は、反射型/黒マークセンサーで黒マークを検出できるように、用紙の左右どちらかの端から 10mm の地点に下記 3 例のように黒マークがあることを確認します。黒マークが短かすぎると、反射型/黒マークセンサーで検出できません。



1. 10mm
2. 黒マーク 8mm

穴付き用紙用のセンサー位置

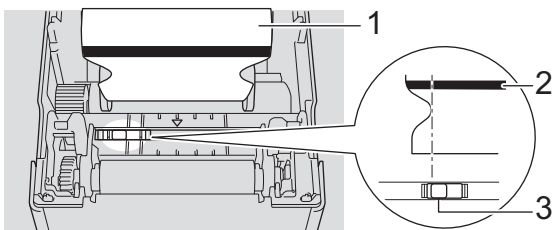
反射型/黒マークセンサーで穴を検出し、正しい位置に用紙を送ります。
イラストのようにスライダーの位置を合わせます。



1. 用紙の裏面
2. 用紙の穴
3. 反射型/黒マークセンサー

リストバンド用のセンサー位置

反射型/黒マークセンサーでマークを検出し、正しい位置に用紙を送ります。
イラストのようにスライダーの位置を合わせます。



-
1. 用紙の裏面
 2. 黒マーク
 3. 反射型/黒マークセンサー

関連情報

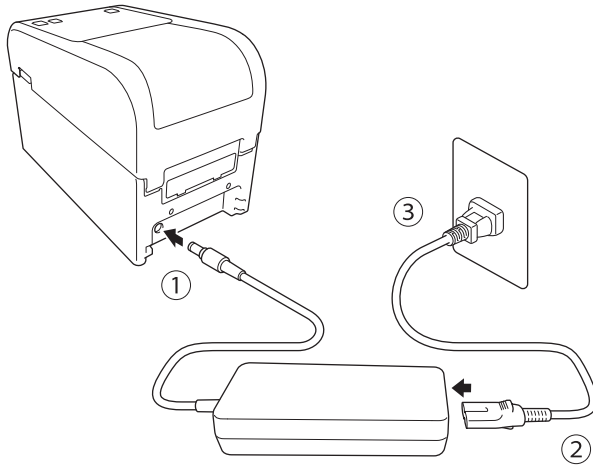
- [プリンターをセットアップする](#)

関連トピック：

- [用紙自動検知](#)
-

電源コードを接続する


1. AC アダプターをプリンターに接続します。
2. AC 電源コードを AC アダプターに接続します。
3. AC アダプタープラグを近くの AC 電源コンセント (AC 100 - 240 V、50/60 Hz) に接続します。




✓ 関連情報

- [プリンターをセットアップする](#)

電源をオン/オフにする

- プリンターの電源をオンにするには、を押します。



 または **紙送** を押して、ロールの端を合わせます。

電源 LED が緑色に点灯します。

- プリンターの電源をオフにするには、電源 LED が消灯するまで  を長押しします。

お願い

プリンターの電源をオフにするときは、電源 LED が消灯するまで AC アダプターと AC 電源コードの接続を外さないでください。

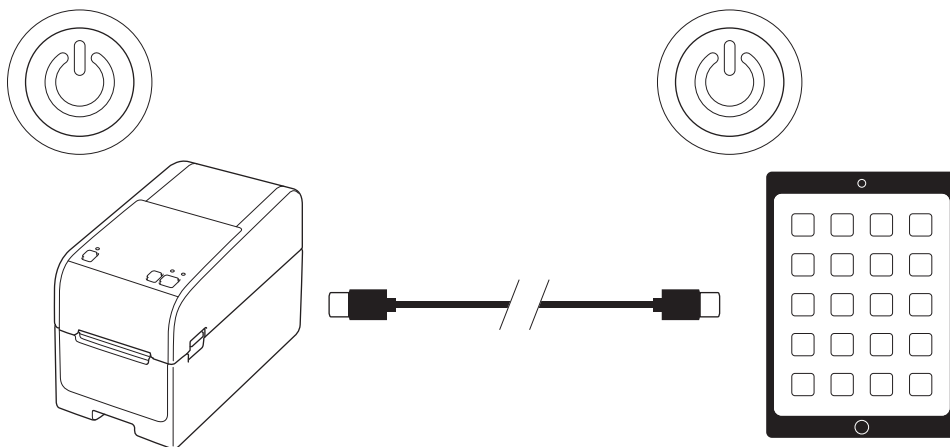


関連情報

- [プリンターをセットアップする](#)

プリンターの電源機能を使用する

このプリンターは、他の機器を USB ポートに接続すると、USB Power Delivery (USB PD) により電力を供給します。この電源機能は、一般的な充電器の代わりには使用しないでください。この機能は、プリンターに接続された機器の電池残量を維持することのみを目的としています。



- プリンターと電力を供給する機器の両方をオンにし、USB PD ケーブルを使用しその 2 つを接続します。
- このプリンターの電源機能は、互換性のある USB PD 機器に最大 15W の電力を供給します。
- 本製品に付属する USB ケーブルは、通信での使用のみを目的としており、他の機器へ電力を供給することはできません。電源機能を使用するには、互換性のある USB PD ケーブルを使用します（付属していません）。
- iOS/iPadOS 機器に電力を供給するために本製品を使用する場合は、iOS/iPadOS 機器に付属するケーブルを使用してください。
- この機能は、すべての USB PD 互換機器への電力の供給を保証するものではありません。接続されている機器を使用中に電力を受けていることを確認してください。
- 一部の USB ケーブルは、接続された機器に十分な電力を供給できないことがあります。
- 長さが 2m 以下の USB-C[®] - USB-C ケーブルを使用します。（付属していません）

✓ 関連情報

- [プリンターをセットアップする](#)

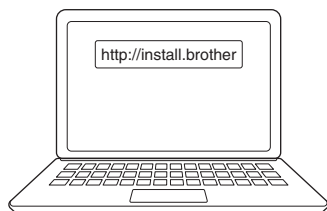
ソフトウェアをインストールする

- プリンタードライバーおよびソフトウェアをパソコンにインストールする
- プリンターをパソコンに接続する

プリンタードライバーおよびソフトウェアをパソコンにインストールする

パソコンから印刷するには、プリンタードライバーと P-touch Editor をパソコンにインストールします。

1. アドレスバーに「install.brother」と入力し、ソフトウェア/説明書インストーラーをダウンロードします。



2. ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックし、画面の指示に従います。

お願い

- プリンターの高度な機能を使用するには、インストール中に必要な追加ソフトウェアを選択します。
- Bluetooth を使用してプリンターをパソコンに接続する場合は、オペレーティングシステムの Bluetooth データ転送設定が双方向になっていることを確認してください。



TD-2350D :

無線接続を使用してパソコンにプリンターを接続する場合は、次のことをお勧めします。

- お買い上げいただいた後またはリセット後に初めてプリンターの電源をオンにすると、プリンターは自動的に無線設定モードに入ります。プリンターがこのモードに入ったら、ソフトウェアのダウンロードとインストールを開始します。
- 無線ネットワークの SSID (ネットワーク名) とパスワード (ネットワークキー) を事前にメモしておきます。この情報が分からない場合は、ネットワーク管理者または無線 LAN アクセスポイント/ルーターのメーカーにお問い合わせください。
- Wireless Direct を使用してパソコンにプリンターを接続する場合は、インストール中に USB 接続を選択します。インストールが完了したら、Wireless Direct のリンクをクリックします。



インストール中に選択した方法とは異なる接続方法でプリンターを使用する場合は、インストーラーをもう一度使用してソフトウェアとプリンタードライバーを再インストールし、新しい接続方法を選択します。




関連情報

- [ソフトウェアをインストールする](#)
 - [使用できるアプリケーション](#)

使用できるアプリケーション

Windows

アプリケーション	機能
P-touch Editor	付属の描画ツールを使用して、カスタムラベルのデザインや印刷、さまざまなフォントやテキストのスタイルの作成、画像のインポート、バーコードの挿入ができます。
P-touch Transfer Manager	テンプレートやその他のデータをプリンターに転送し、データのバックアップをパソコンに保存することができます。 このアプリケーションは P-touch Editor とともにインストールされます。
P-touch Library	P-touch Editor テンプレートを管理、印刷します。 P-touch Library を使用してテンプレートを印刷することができます。 このアプリケーションは P-touch Editor とともにインストールされます。
P-touch Transfer Express	文書をプリンターに転送できます。 インストーラーをダウンロードするには、サポートサイト (support.brother.co.jp) でお使いの機種種のソフトウェアダウンロードページにアクセスしてください。
P-touch Update Software	ファームウェアを最新のバージョンに更新します。
プリンター設定ツール	パソコンからプリンターの設定を行うことができます。 <ul style="list-style-type: none">• 通信設定• 本体設定• P-touch Template 設定• 用紙サイズ設定
BRAdmin Professional	ネットワーク上のプリンターを検索し、パソコンから詳細設定および更新を行うことができます。
Font Manager	プリンターにフォントを転送したり、プリンターからフォントを削除したりできます。さまざまな印刷コマンドを使用してアクセスし、転送されたフォントを使い印刷します。 Font Manager は、開発者ツールサイトから入手できます (https://support.brother.co.jp/j/s/es/dev/ja/index.html)。  フォントのアクセス許可 フォントを使用する際は、正当な各フォント所有者の定めるすべての条件に従う必要があります。フォントをダウンロードする前に、フォントを使用するための正当なライセンスを所有していることを確認し、定められた条件を順守する必要があります。
ステータスマニター	パソコンから製品のステータスを確認できます。 ステータスマニターユーティリティは、プリンタードライバーをインストールすると自動的にインストールされます。
LabelCLT (Command Line Tool)	ファームウェアを USB 接続またはネットワークに接続されているプリンターに転送することができます。各ツールで保存されたテンプレートや設定ファイルはプリンターに転送できません。 LabelCLT をダウンロードするには、サポートサイト (support.brother.co.jp) でお使いの機種種のソフトウェアダウンロードページにアクセスしてください。

✓ 関連情報

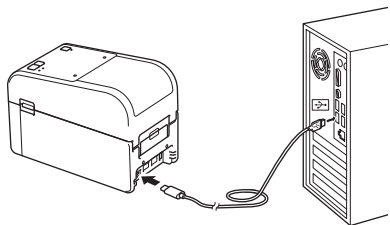
- [プリンタードライバーおよびソフトウェアをパソコンにインストールする](#)

プリンターをパソコンに接続する

- USB ケーブルを使用してプリンターをパソコンに接続する
- Wi-Fi を使用してプリンターをパソコンに接続する
- 有線 LAN を使用してプリンターをパソコンに接続する
- Bluetooth 接続を使用してプリンターをパソコンに接続する
- RS-232C を使用してプリンターをパソコンに接続する

USB ケーブルを使用してプリンターをパソコンに接続する

1. USB ケーブルを接続する前に、プリンターの電源がオフになっていることを確認します。
2. USB ケーブルをプリンターの USB ポートに接続し、次にパソコンに接続します。



3. プリンターの電源をオンにします。

✓ 関連情報

- [プリンターをパソコンに接続する](#)

Wi-Fi を使用してプリンターをパソコンに接続する

関連モデル: TD-2350D

次の Wi-Fi®接続方法が利用できます。

>> 無線 LAN アクセスポイントルーターを使用する場合（インフラストラクチャモード）

>> 無線 LAN アクセスポイントルーターを使用しない場合（Wireless Direct）

>> WPS（Wi-Fi Protected Setup™）の使用

無線 LAN アクセスポイントルーターを使用する場合（インフラストラクチャモード）

インフラストラクチャモードでは、無線 LAN アクセスポイントルーターを介してプリンターをパソコンまたはモバイル端末に接続できます。

開始する前に

まず、プリンターの Wi-Fi 設定を行い、無線 LAN アクセスポイントルーターと通信できるようにします。設定が完了すると、ネットワーク上のパソコンやモバイル端末からプリンターにアクセスできるようになります。

- プリンターをネットワークに接続する前に、システム管理者に連絡して Wi-Fi ネットワークの設定を確認してください。
- Wi-Fi 設定を再度行う場合、またはプリンターの Wi-Fi 接続の状態がわからない場合は、プリンターの Wi-Fi 設定をリセットします。

プリンターの Wi-Fi 設定をリセットするには、「関連トピック」をご覧ください：プリンターをリセットする

- 通常の印刷で最適な結果を得るには、障害物が最小になるように、プリンターをできるだけ無線 LAN アクセスポイントルーターの近くに置きます。2 台の機器の間に大きな障害物や壁、および他の電子機器からの干渉があると、印刷データの転送速度に影響する可能性があります。

1. 無線 LAN アクセスポイントルーターの SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）を書き留めます。


2. プリンターで **Menu** を押し、次に ▲ または ▼ を押して以下を選択します。

- a. [無線 LAN] を選択します。OK を押します。
- b. [オン/オフ] を選択します。OK を押します。
- c. [オン] を選択します。OK を押します。

3. プリンターのインフラストラクチャモード設定を行います。

プリンターで **Menu** を押し、次に ▲ または ▼ を押して以下を選択します。

- a. [無線 LAN] を選択します。OK を押します。
- b. [モード選択] を選択します。OK を押します。
- c. [インフラストラクチャ] を選択します。OK を押します。
- d. [無線 LAN] を選択します。OK を押します。
- e. [インフラ手動設定] を選択します。OK を押して、画面の指示に従います。

プリンターと無線 LAN アクセスポイントルーター間の接続が確立されると、 (Wi-Fi) アイコンがプリンターの液晶ディスプレイに表示されます。プリンターと同一のネットワーク上にあるパソコンやモバイル端末は、これでプリンターにアクセスできます。

無線 LAN アクセスポイントルーターを使用しない場合（Wireless Direct）


Wireless Direct では、無線 LAN アクセスポイントルーターを使用せずに、プリンターをパソコンまたはモバイル端末に直接接続できます。プリンターは Wi-Fi アクセスポイントとして機能します。

1. プリンターの Wireless Direct 設定を確認します。

プリンターで **Menu** を押し、▲ または ▼ を押して以下を選択します。

- a. [無線 LAN] を選択します。OK を押します。

- b. [モード選択]を選択します。OK を押します。
- c. [WirelessDirect]を選択します。OK を押します。

Wireless Direct アイコン、が液晶ディスプレイに表示されます。

2. プリンターで **Menu** を押し、次に **▲** または **▼** を押して以下を選択します。
 - a. [無線 LAN] を選択します。OK を押します。
 - b. [オン/オフ] を選択します。OK を押します。
 - c. [オン] を選択します。OK を押します。
 - d. [無線 LAN] を選択します。OK を押します。
 - e. [無線 LAN ステータス] を選択します。OK を押します。
 - f. [WirelessDirect] を選択します。OK を押します。

プリンターの SSID とパスワードが画面に表示されます。

3. パソコンまたはモバイル端末を使用し、プリンターの SSID を選択し、必要に応じてパスワードを入力します。

SSID : DIRECT-*****_TD-2350###

パスワード : 235 *****

ここで、*****はプリンターのシリアル番号の下 5 桁です。

お願い

- シリアル番号はプリンターの底面とプリンター内部にあります。シリアル番号は、印刷設定レポートを印刷して確認することもできます。詳しい説明は「関連トピック」をご覧ください。
- プリンター設定ツールを使用すると、ネットワーク設定を複数のプリンターに適用することもできます。
- Wireless Direct の使用中は、Wi-Fi 経由でインターネットに接続できません。インターネットを使用するには、無線 LAN アクセスポイントルーター（インフラストラクチャモード）で接続してください。
- プリンターを不正アクセスから保護するために、プリンター設定ツールを使用して新しい Wireless Direct パスワードを設定することをお勧めします。

WPS (Wi-Fi Protected Setup™) の使用

1. 無線 LAN アクセスポイントルーターに WPS 記号が表示されていることを確認します。



2. 無線 LAN アクセスポイントルーターの接続範囲内にプリンターを配置します。
接続範囲は、環境によって異なる場合があります。無線 LAN アクセスポイントルーターに付属の取扱説明書をご覧ください。
3. 無線 LAN アクセスポイントルーターの WPS ボタンを押します。
4. プリンターで **Menu** を押し、次に **▲** または **▼** を押して以下を選択します。
 - a. [無線 LAN] を選択します。OK を押します。
 - b. [ボタンプッシュ] または [PIN コード] を選択します。OK を押します。
 - c. 選択メニューが表示されたら、[開始] を選択します。
 - d. OK を押します。

接続が確立されると、プリンターの画面に WLAN アイコンが表示されます。プリンターと同一のネットワーク上にあるパソコンやモバイル端末から、プリンターにアクセスできるようになります。



- プリンターは、WPS を使用して 2 分間接続を試みます。その間に **OK** を押すと、プリンターはさらに 2 分間接続を試みます。
- パソコンまたはモバイル端末が PIN 認証方式をサポートしている場合は、セキュリティを強化するために [PIN コード] を選択します。



関連情報

- [プリンターをパソコンに接続する](#)

関連トピック：

- [プリンターの設定を確認する](#)
- [プリンターをリセットする](#)

有線 LAN を使用してプリンターをパソコンに接続する

固定 IP アドレスを使ってプリンターを有線 LAN 接続で接続するには、プリンタードライバーとプリンター設定ツールをインストールしてから、有線 LAN の接続を設定します。

ネットワークケーブル

10BASE-T または 100BASE-TX の高速イーサネットネットワークには、カテゴリ 5（またはそれ以上）のストレートタイプのツイストペアケーブルを使用してください。

重要

本製品を、過電圧が加わる恐れのある LAN ネットワークに接続しないでください。




1. プリンターの無線 LAN の設定がオフになっていることを確認します。
2. インストール中に画面に指示が表示されたら、LAN ケーブルを接続する前に、プリンターの電源がオフになっていることを確認してください。
3. LAN ケーブルをプリンター背面の LAN ポートに接続します。
4. プリンターの電源をオンにします。

✓ 関連情報

- [プリンターをパソコンに接続する](#)

Bluetooth 接続を使用してプリンターをパソコンに接続する

関連モデル: TD-2350D

1. プリンターで **Menu** を押し、次に ▲ または ▼ を押して以下を選択します。
 - a. [Bluetooth] を選択します。OK を押します。
 - b. [オン/オフ] を選択します。OK を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、[オン] を選択します。OK を押します。
画面に  が表示されます。
3. お使いの端末の Bluetooth 管理ソフトウェアを使用して、プリンターを検出します。プリンターの名前を選択します。
4. プリンターが正常に接続されると、アイコンの色が  から  へ変化します。

✓ 関連情報


- [プリンターをパソコンに接続する](#)

RS-232C を使用してプリンターをパソコンに接続する

RS-232C を使用して接続するには、専用の変換ケーブル（PA-SCA-002）の使用が必要になります。

1. プリンター設定ツールを起動します。
スタート > **Brother > Printer Setting Tool** をクリックします。
2. **P-touch Template 設定 > 通信設定** をクリックします。
3. **通信設定** ウィンドウでパラメーターを次のように設定します。

ボーレート	4800 bps から 115200 bps まで
ビット長	7 ビットまたは 8 ビット
パリティ	None、Odd または Even
ビジー制御	DTR または XON/XOFF

 RS-232C 接続を使用するには、ボーレートなど他の設定を変更する必要があります。このプリンターのシリアルポートの設定は、上の一覧表に示されています。

4. **設定** ボタンをクリックしパラメーターを保存します。

関連情報

- [プリンターをパソコンに接続する](#)

パソコンを使用してラベルを作成して印刷する

- P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)
- パソコンを使用してラベルレイアウトを作成する
- P-touch Editor を使用してラベルを印刷する (Windows)
- ソフトウェアとドライバーをインストールせずにラベルを作成して印刷する
- ラベルを複数のプリンターで分散印刷して印刷時間を短縮する (Windows)
- クロップ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する (Windows、300 dpi プリンターのみ)
- プリンタードライバーを使用してラベルを印刷する (Windows)
- カットオプションを変更する (Windows)

P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)

プリンターを Windows パソコンで使用する前に、パソコンに P-touch Editor と最新のプリンタードライバーをインストールする必要があります。

最新のドライバーとソフトウェアについては、サポートサイト (support.brother.co.jp) で、お使いの機種種のソフトウェアダウンロードページにアクセスしてください。

1. P-touch Editor  を起動します。

スタート > Brother P-touch > P-touch Editor をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor アイコンをダブルクリックします。

お願い

パソコンのオペレーティングシステムによっては、ブラザー P-touch フォルダが作成される場合とされない場合があります。

2. 次のいずれかを行います。
 - 既存のレイアウトを開くには、**開く** (1) をクリックします。
 - プリセットレイアウトをデータベースに接続するには、**データベースを接続する** チェックボックス (2) を選択します。
 - 新しいレイアウトを作成するには、**新しいレイアウト** 枠内 (3) をダブルクリックするか、**新しいレイアウト** 枠内 (3) をクリックしてから→をクリックします。
 - プリセットレイアウトを使用して新しいレイアウトを作成するには、**カテゴリーボタン** (4) をダブルクリックするか、**カテゴリーボタン** (4) を選択して→をクリックします。



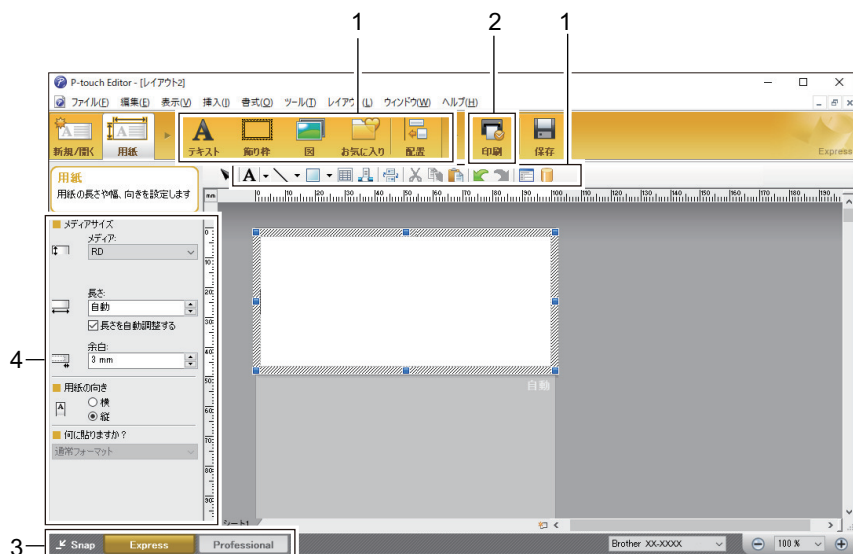
✓ 関連情報

- [パソコンを使用してラベルを作成して印刷する](#)
 - [P-touch Editor Express モードのメイン画面 \(Windows\)](#)
 - [P-touch Editor Professional モードのメイン画面 \(Windows\)](#)
 - [P-touch Editor Snap モードのメイン画面 \(Windows\)](#)

■ ホーム > パソコンを使用してラベルを作成して印刷する > P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows) > P-touch Editor Express モードのメイン画面 (Windows)

P-touch Editor Express モードのメイン画面 (Windows)

Express モードでは、文字や画像を含むレイアウトをすばやく作成できます。



1. 編集ボタン
2. 印刷ボタン
3. モード切替ボタン
4. プロパティパレット

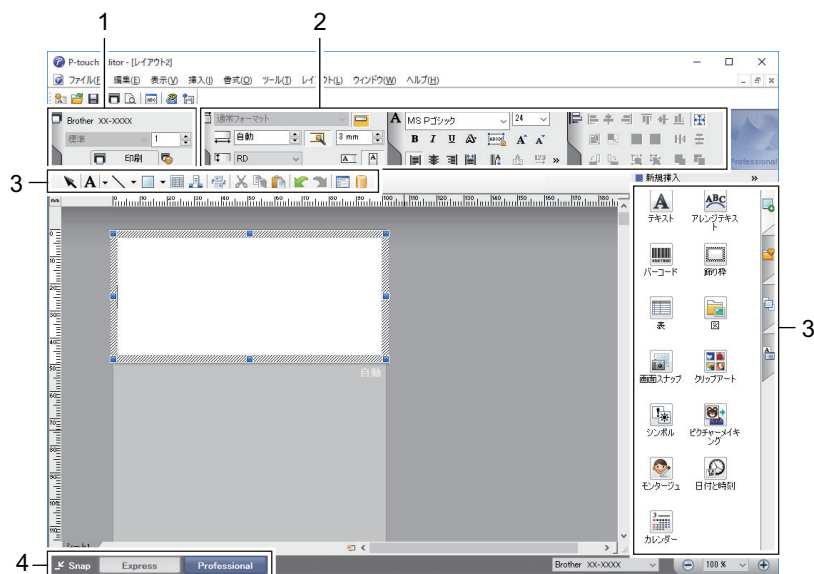
✓ 関連情報

- P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)

▲ ホーム > パソコンを使用してラベルを作成して印刷する > P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows) > P-touch Editor Professional モードのメイン画面 (Windows)

P-touch Editor Professional モードのメイン画面 (Windows)

Professional モードでは、各種の高度なツールやオプションを使用してレイアウトを作成できます。



1. 印刷メニュー
2. プロパティパレット
3. サイドバー
4. モード切替ボタン

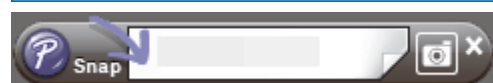
✓ 関連情報

- [P-touch Editor を使用してラベルを作成する \(Windows\)](#)

▲ホーム > パソコンを使用してラベルを作成して印刷する > P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows) > P-touch Editor Snap モードのメイン画面 (Windows)

P-touch Editor Snap モードのメイン画面 (Windows)

Snap モードでは、パソコン画面の全部または一部を取り込み、それを画像として印刷できます。



✓ 関連情報

- P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)

パソコンを使用してラベルレイアウトを作成する

- P-touch Editor で編集しているラベルと、プリンターに転送して印刷したラベルの見た目が異なる問題の原因と解消法
- P-touch Editor を使用してテンプレートを作成する (Windows)
- P-touch Editor を使用してラベルに日時を挿入する (Windows)
- P-touch Editor を使用してデータベースをテンプレートにリンクする (Windows)

▲ ホーム > パソコンを使用してラベルを作成して印刷する > パソコンを使用してラベルレイアウトを作成する > P-touch Editor で編集しているラベルと、プリンターに転送して印刷したラベルの見た目が異なる問題の原因と解消法

P-touch Editor で編集しているラベルと、プリンターに転送して印刷したラベルの見た目が異なる問題の原因と解消法

1. フォントの置き換え

P-touch Editor でラベルテンプレートを作成する際、プリンターがサポートしていないフォントを使用すると、フォントはプリンターに組み込まれているフォントの一つに置き換えられるため、印刷結果は P-touch Editor に表示されたラベル画像とは異なるものになります。

フォントの置き換えを防ぐには、プリンターに既にインストールされているフォントを選択するか、または使用するフォントをプリンターに転送します。

フォントの転送方法については、support.brother.co.jp でお使いのモデルのよくあるご質問 (Q&A) ページにアクセスしてください。

2. その他の要因

印刷結果が P-touch Editor で表示されるラベル画像と異なる要因は他にもあります。詳細については、support.brother.co.jp でお使いのモデルのよくあるご質問 (Q&A) ページにアクセスしてください。

✓ 関連情報


- パソコンを使用してラベルレイアウトを作成する

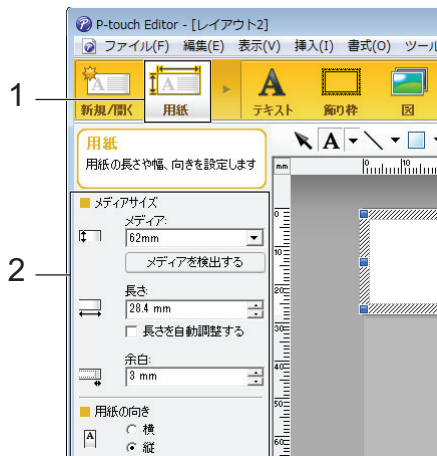
▲ ホーム > パソコンを使用してラベルを作成して印刷する > パソコンを使用してラベルレイアウトを作成する > P-touch Editor を使用してテンプレートを作成する (Windows)

P-touch Editor を使用してテンプレートを作成する (Windows)

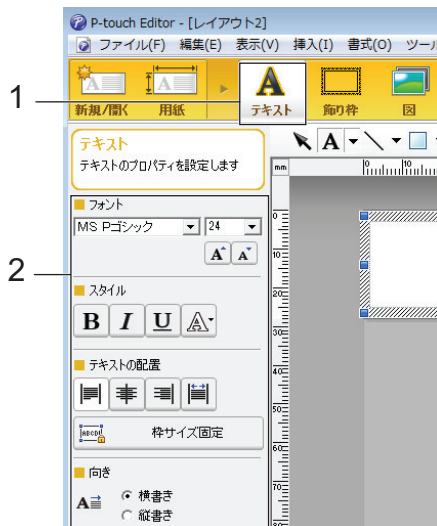
プリンターを Windows パソコンで使用する前に、パソコンに P-touch Editor と最新のプリンタードライバーをインストールする必要があります。

最新のドライバーとソフトウェアについては、サポートサイト (support.brother.co.jp) で、お使いの機種種のソフトウェアダウンロードページにアクセスしてください。

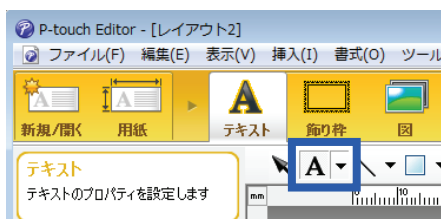
1. P-touch Editor  を起動します。
2. **用紙** (1) をクリックし、**メディアサイズ**および**用紙の向き** (2) を指定します。(このウィンドウは **Express** モードで表示されます。)



3. **テキスト** (1) をクリックし、**スタイル**、**フォント**および他の情報 (2) を指定します。



4. **A** をクリックし、カーソルを表示してテキストを入力します。



5. 入力後、テキストボックスをクリックしテンプレート内に移動します。
6. 継続してテキストを追加し、テンプレートに満足するまでレイアウトを調整します。
7. **ファイル > 名前を付けて保存**をクリックし、テンプレートのファイル名を指定します。




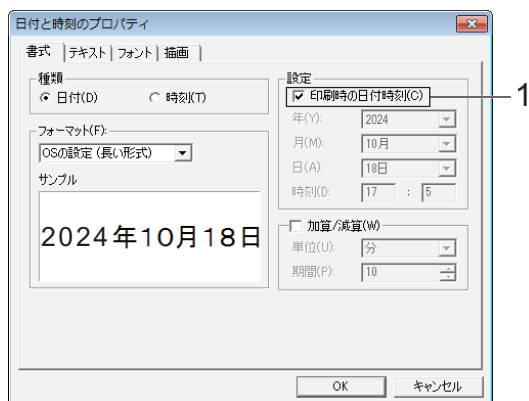
関連情報

- パソコンを使用してラベルレイアウトを作成する

▲ ホーム > パソコンを使用してラベルを作成して印刷する > パソコンを使用してラベルレイアウトを作成する > P-touch Editor を使用してラベルに日時を挿入する (Windows)

P-touch Editor を使用してラベルに日時を挿入する (Windows)

1. P-touch Editor  を起動します。
2. ラベルレイアウトを開きます。
3. **挿入 > 日付と時刻**をクリックして**日付と時刻のプロパティ**ダイアログボックスを表示します。日時テキストの書式設定を選択します。



- **印刷時の日付時刻**チェックボックス (1) を選択すると、印刷日時が挿入されます。このチェックボックスを選択していない場合は、現在の日時が挿入されますが、日時はアップデートされません。
- ラベルに挿入した日時は、プリンターに組み込まれている文字サイズで印刷されます。文字サイズは日時オブジェクトのサイズによって決定されるため、P-touch Editor でオブジェクトを希望するサイズに調整してから、ラベルレイアウトをプリンターに転送してください。

✓ 関連情報

- [パソコンを使用してラベルレイアウトを作成する](#)

P-touch Editor を使用してデータベースをテンプレートにリンクする (Windows)

P-touch Editor で作成したテンプレートはどれもデータベースにリンクできます。単一のテンプレートを使い複数のラベルを印刷できるように、テンプレートのテキストはデータベースからのテキストと交換できます。データベース設定の指定方法については、**P-touch Editor ヘルプメニュー**を参照してください。

1. 事前にデータベースファイルを準備します。



- XLS、MDB、CSV、TXT 形式で保存されたファイルは、データベースとして使用できます。
- 1つのテンプレートには1つのデータベースのみリンクできます。そのデータベースには最大 65,000 の値を作成できます。
(テンプレートとデータベースの合計サイズ：32MB)

2. P-touch Editor  を起動します。

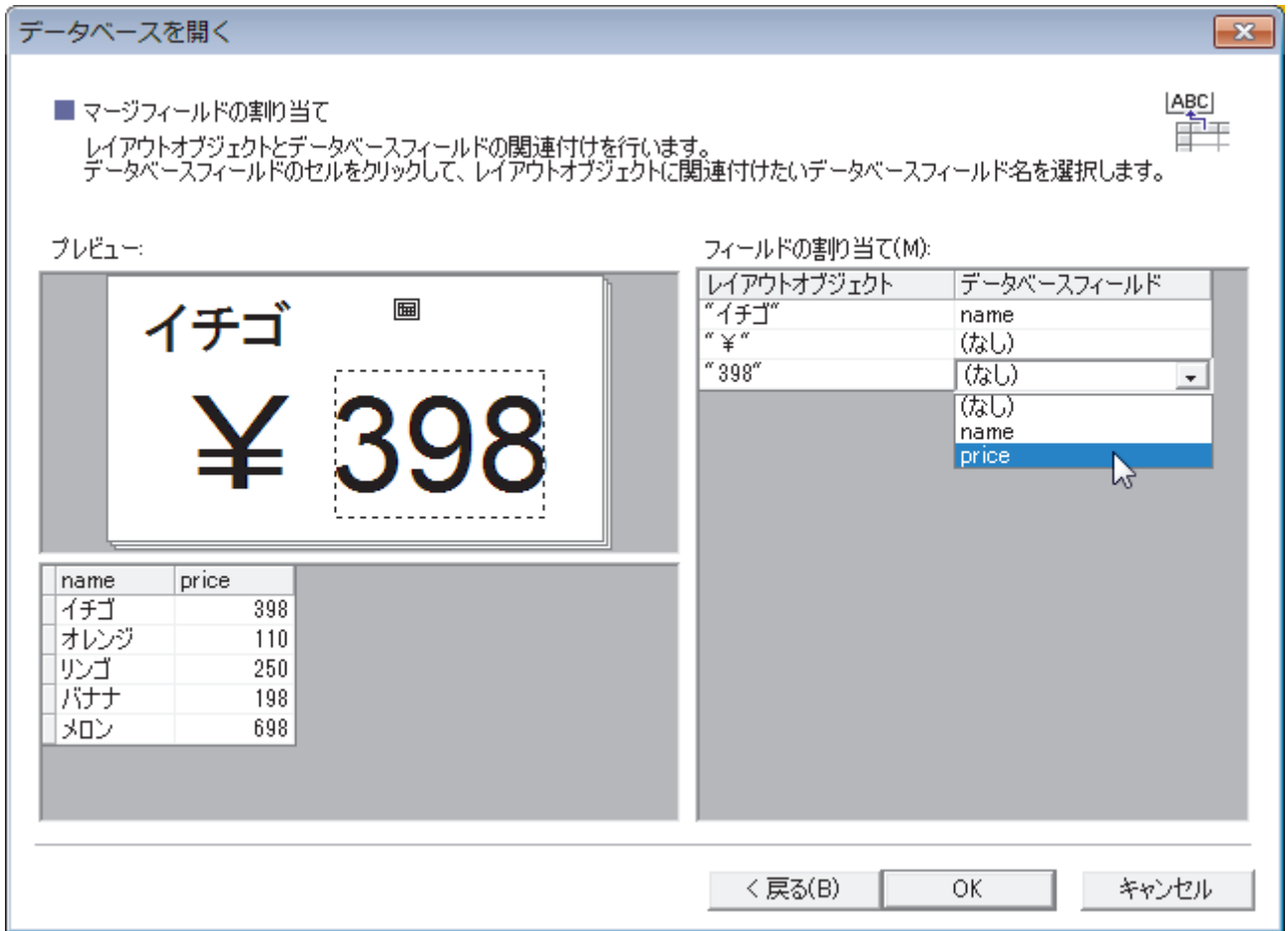
3. データベースにリンクするテンプレートを開きます。

4. **ファイル > データベース > 接続**をクリックします。**データベースを開く**ダイアログボックスが表示されます。

5. **データベースファイルに接続する**を選択して**参照**をクリックし、リンクするデータベースを選択します。

6. **次へ**をクリックします。

7. マージフィールドセクションで、テンプレートのレイアウトオブジェクトにリンクする各欄のデータベースフィールドドロップダウン矢印をクリックします。完了後、OK をクリックします。



テンプレートとデータベースがリンクされ、マージされた編集ウィンドウが表示されます。

8. データベースの列をクリックし、交換したテキストが含まれるラベルを表示します。



✓ 関連情報


- ・ パソコンを使用してラベルレイアウトを作成する

P-touch Editor を使用してラベルを印刷する (Windows)

- >> Express モード
- >> Professional モード
- >> Snap モード


Express モード

印刷前に印刷画面で設定を行ってください。


メニューバーの**ファイル** > **印刷**をクリックするか、 (印刷) をクリックします。

Professional モード

印刷前に印刷画面で設定を行ってください。

メニューバーの**ファイル** > **印刷**をクリックするか、 をクリックします。



設定を変更せずに印刷を開始するには、 をクリックします。

Snap モード

テキストを入力して、 をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [パソコンを使用してラベルを作成して印刷する](#)

▲ホーム > パソコンを使用してラベルを作成して印刷する > ソフトウェアとドライバーをインストールせずにラベルを作成して印刷する

ソフトウェアとドライバーをインストールせずにラベルを作成して印刷する

- USB インターフェースを使用して印刷する（マスマストレージモード）
- プリンタードライバーを使用せずに画像を印刷する際の注記

USB インターフェースを使用して印刷する (マストレージモード)


マストレージ機能を使用すると、プリンタードライバーをインストールすることなく、USB インターフェイスを使用してプリンターにファイルを送信できます。



この機能は、次の場合に便利です。

- ソフトウェアツールを使用せずに、コマンドファイル (BIN ファイル形式) に保存された印刷設定をプリンターに適用したり、テンプレート (BLF ファイル形式) を追加する場合。どちらのファイルの種類も管理者が配布する必要があります。
- プリンタードライバーをインストールせずにコマンドを実行する場合。
- データの印刷および送信をする USB ホスト機能を備えたオペレーティングシステム (Windows 以外のオペレーティングシステムを含む) を搭載した機器を使用する場合。

1. プリンターの電源が入っていないことを確認します。

2. 次のいずれかを行います。

- TD-2350D : 電源 LED が緑色に点灯して [マストレージ] が画面に表示されるまで、**OK** と  を同時に長押しします。

- TD-2320D : 電源 LED が緑色に点灯するまで、 と  を同時に長押しします。

3. USB でパソコンまたはモバイル端末をプリンターに接続します。

プリンターのマストレージ領域が、パソコンまたは機器の画面上にフォルダーとして表示されます。



マストレージ領域が自動的に表示されない場合は、パソコンまたはモバイル端末のオペレーティングシステムの説明書でマストレージ領域にアクセスする方法を参照してください。

4. コピーするファイルをマストレージ領域にドラッグアンドドロップします。

5. 次のいずれかを行います。

- TD-2350D : **OK** を押しします。

コマンドファイルのコマンドが実行され、ステータス LED が緑色で 1 回点滅します。完了すると、電源 LED が緑色に点灯します。

- TD-2320D :  を押しします。

コマンドファイルのコマンドが実行され、ステータス LED が緑色で 1 回点滅します。完了すると、電源 LED が緑色に点灯します。

6. マストレージモードの電源をオフにするには、プリンターの電源をオフにします。

お願い

- プリンターがオフになると、マストレージモードが無効になり、マストレージ領域内のファイルはすべて削除されます。
- この機能は、BIN ファイル、BLF ファイルおよび JPG ファイルのみをサポートします。
- マストレージ領域にフォルダーを作成しないでください。フォルダーを作成しても、フォルダー内のファイルにアクセスすることはできません。
- マストレージの最大容量は 16MB です。
- 複数のファイルをコピーした場合、コマンドが実行されないことがあります。
- プリンターがマストレージモードになっている間は、USB 接続しか利用できません。
- コピーしたファイルを実行しているときは、マストレージ領域の他のファイルにアクセスしないでください。



関連情報

- ソフトウェアとドライバーをインストールせずにラベルを作成して印刷する

プリンタードライバーを使用せずに画像を印刷する際の注記

マストレージモードは JPEG 画像印刷をサポートしています。本機は、ディザリング処理によって、カラーの JPEG ファイルを白黒に変換します。これにより、画像がぼやける可能性があります。画質を向上させるには、画像を前処理する機能を無効またはオフにします。



TD-2350D :

Bluetooth 経由で印刷する場合、本機はオブジェクトプッシュプロファイル (OPP) に対応しています。

- JPEG 画像のみ印刷できますが、この機能は.jpg 拡張子を持つファイルに限定されています。
- 最大ファイルサイズは 16MB です (マストレージ機能を使用時には 2MB)。
- 最大解像度は次のとおりです。
 - 印刷解像度 203 dpi のプリンター :
高さ×幅= 24,000 × 696 ドット
 - 印刷解像度 300 dpi のプリンター :
高さ×幅= 36,000 × 696 ドットこれらの制限を超えると、プリンターはデータを拒否して画像を印刷しません。
- 印刷は 1 ピクセル = 1 ドットで行われます。
- 本製品は、画像を印刷するために、二値画像処理 (シンプルバイナリー) を行います。
- 画像は元のデータの高さとの比率で印刷されます。



関連情報

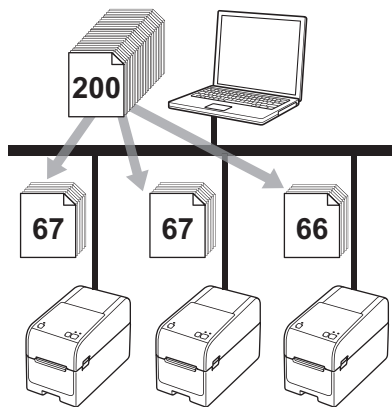
- [ソフトウェアとドライバーをインストールせずにラベルを作成して印刷する](#)

ラベルを複数のプリンターで分散印刷して印刷時間を短縮する (Windows)

多数のラベルを印刷する場合、複数のプリンターで分散印刷することで印刷時間を短縮できます。



- 分散印刷機能は、同じ機種名のプリンターでのみ使用できます。
- ページ数は、選択したプリンターに振り分けられます。指定したページ数を各プリンターに均等に振り分けることができない場合は、次のようにプリンターの順に振り分けられます。



- USB ハブまたはプリントサーバーを使用して接続されているプリンターの情報を検出できないことがあります。印刷する前に、手動で設定を入力し、プリンターで印刷できるかどうかを確認してください。
- ルーターが使用されているかどうか、およびファイアウォールなどのセキュリティ機能が使用されているかどうかによって、この機能を使用できないことがあります。
- お使いの環境で接続テストを実行することをお勧めします。IT 管理者のサポートを受けてください。

- P-touch Editor で、**ファイル > 印刷**をクリックします。
- プロパティ**をクリックします。
- 拡張設定**タブをクリックし、**分散印刷を適用する**チェックボックスを選択して、**設定**をクリックします。

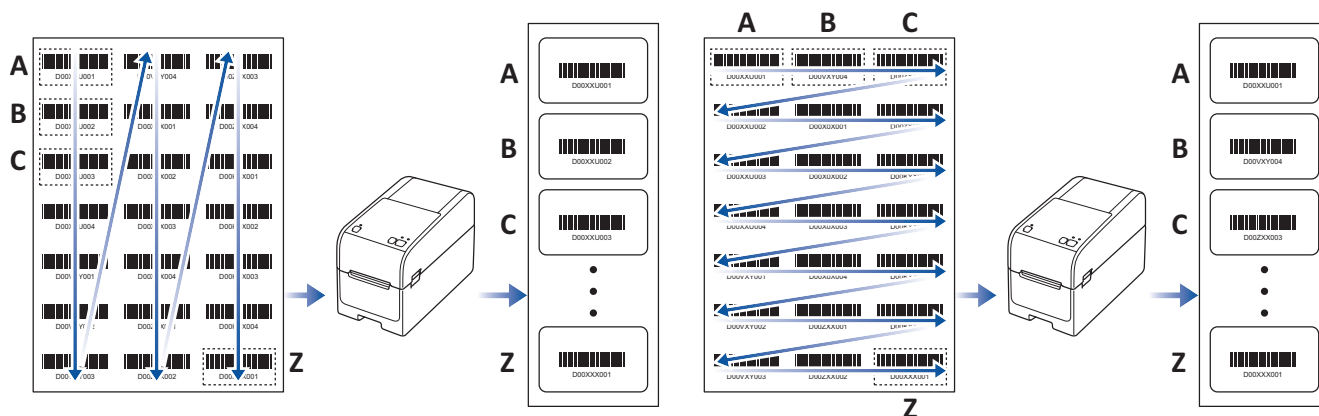


分散印刷設定ダイアログボックスが表示されます。

▲ ホーム > パソコンを使用してラベルを作成して印刷する > クロップ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する (Windows、300 dpi プリンターのみ)

クロップ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する (Windows、300 dpi プリンターのみ)

A4 またはレターサイズの PDF ファイルから 1 つまたは複数のバーコードを印刷できます。クロップ印刷機能では、指定したバーコードを自動的に識別して個別に切り取り、印刷できます。



- クロップ印刷機能は Windows プリンタードライバから印刷するときのみ利用できます。P-touch Editor から実行することはできません。
- クロップ印刷機能の精度は、ユーザーの環境、印刷する用紙、およびラベルの内容に左右されます。
- はっきりとした白黒のバーコードをお勧めします。
- 条件が整っていない場合は、ラベルが正常に印刷されなかったり、元のデータと異なることがあります。
- 詳細については、サポートサイト (support.brother.co.jp) にアクセスしてください。

✓ 関連情報

- パソコンを使用してラベルを作成して印刷する
 - クロップ印刷で認識できるバーコード (Windows)
 - クロップ印刷に対応したバーコード文書 (Windows)
 - クロップ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する (Windows、300 dpi プリンターのみ)

▲ホーム > パソコンを使用してラベルを作成して印刷する > クロップ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する (Windows、300 dpi プリンターのみ) > クロップ印刷で認識できるバーコード (Windows)

クロップ印刷で認識できるバーコード (Windows)

バーコードの仕様

特質	仕様
縦幅	5mm (最小)
横幅	一番細いバー : 0.5mm (最小)
余白	一番細いバーの 10 倍 (最小)
色	黒
下地色	白
セルの幅 (最も太いバー)	0.5mm (最小)

- Code 39/Code 3 of 9
- ITF/ITF-14/Interleaved 2 of 5
- GS1-128 (UCC/EAN-128)
- Codabar (Code 2 of 7、NW-7)
- CODE 93
- CODE 128
- UPC-A
- UPC-E
- JAN-8/EAN-8
- JAN-13/EAN-13
- QR コード
- PDF417
- MaxiCode

✓ 関連情報

- クロップ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する (Windows、300 dpi プリンターのみ)

▲ ホーム > パソコンを使用してラベルを作成して印刷する > クロップ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する (Windows、300 dpi プリンターのみ) > クロップ印刷に対応したバーコード文書 (Windows)

クロップ印刷に対応したバーコード文書 (Windows)

クロップ印刷機能を使用するには、バーコード文書を作成し、PDF ファイルとして保存します。最終的なバーコードの PDF ファイルが次の要件を満たすようにしてください。

商品ラベルのバーコードの条件

項目	状態
バーコード数の合計	1~99 個
バーコードの種類	クロップ印刷機能に対応したバーコードのみを使用してください。
バーコードの配置	<p>バーコードが傾いていないことを確認してください。各ページの上辺および下辺と平行になっている必要があります。</p> <p>バーコードを配置する方法には、縦方向を優先する方法と横方向を優先する方法の 2 種類があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦方向を優先する方法では、バーコードの配置は左上隅から開始され、その列の一番下まで進み、次に右隣の列の最上部から同じ要領で配置されます。 横方向を優先する方法では、バーコードの配置は左上隅から開始され、その列を右に向かって進み、次に隣の列の左端から同じ要領で配置されます。

商品ラベルのバーコードのレイアウト

正しいバーコードのレイアウト	不適当なバーコードのレイアウト
	<p>(上端が揃っていない)</p>

✓ 関連情報

- クロップ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する (Windows、300 dpi プリンターのみ)

▲ ホーム > パソコンを使用してラベルを作成して印刷する > クロップ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する (Windows、300 dpi プリンターのみ) > クロップ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する (Windows、300 dpi プリンターのみ)

クロップ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する (Windows、300 dpi プリンターのみ)

プリンターが、USB ケーブルまたはネットワーク接続により、パソコンまたはモバイル端末と接続されていることを確認します。

1. 印刷するバーコード原稿の PDF ファイルを開きます。
2. **ファイル > 印刷**をクリックします。
3. **プリンター**のドロップダウンリストをクリックして、プリンターを選択します。
4. **ページサイズ処理**セクションで、**実際のサイズ**ラジオボタンを選択します。
5. **向き**で、**縦**ラジオボタンを選択します。
6. **プロパティ**をクリックします。
7. **基本設定**タブをクリックし、以下のいずれかを行います。
 - プレカット紙ラベルを使用する場合は、**指定枚数ごとにカット**のチェックボックスのチェックを外します。
 - 無定長ラベルを使用する場合は、**指定枚数ごとにカット**チェックボックスを選択します。



8. **クロップ印刷**タブをクリックし、**ドキュメントに含まれるバーコードを印刷する**チェックボックスを選択します。



9. **用紙サイズ**ドロップダウンリストからラベルまたは用紙サイズを選択します。
10. **OK** をクリックします。
11. アプリケーションの印刷画面から印刷を実行します。



- バーコード原稿のサイズを拡大または縮小しないでください。バーコードが正常に認識されないことがあります。
- Acrobat Reader®から印刷する場合は、以下のように設定します。
 - ページサイズ処理セクションで、**PDF のページサイズに合わせて用紙を選択**チェックボックスのチェックを外します。
 - 向きで、**縦**ラジオボタンを選択します。

✓ 関連情報

- **クロップ印刷を使用しバーコードラベルを印刷する (Windows、300 dpi プリンターのみ)**

プリンタードライバーを使用してラベルを印刷する (Windows)

1. 印刷する文書を開きます。
2. USB、Bluetooth、有線 LAN または Wi-Fi を使用してプリンターをパソコンに接続します。
3. 用紙をセットします。
4. アプリケーション上で印刷コマンドを選択します。
5. プリンターを選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
6. 必要に応じて、プリンタードライバーの設定を変更します。
7. **OK** をクリックします。
8. 印刷操作を完了します。



- プリンターが用紙を開始位置に引き込んだ後に用紙がゆがんだ場合は、排紙カバーを完全に開いて用紙を取り出し、その後カバーを閉じて用紙をセットし直してください。
- プリンタードライバーを使用せずに JPEG 画像を印刷するには、「関連トピック」をご覧ください：プリンタードライバーを使用せずに画像を印刷する際の注記

薄くまたは濃く印刷する

プリンタードライバーのダイアログボックスまたはプリンター設定ツールで印刷濃度設定を調整することで、薄くまたは濃く印刷できます。

詳しい説明は「関連トピック」をご覧ください：プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する (Windows)



関連情報

- [パソコンを使用してラベルを作成して印刷する](#)

関連トピック：

- [プリンタードライバーを使用せずに画像を印刷する際の注記](#)
- [プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する \(Windows\)](#)

モバイル端末を使用してラベルを印刷する

- [互換性のある印刷アプリ](#)
- [AirPrint の概要](#)
- [パソコンで作成したテンプレートをモバイル端末を使用してプリンターに転送する](#)

互換性のある印刷アプリ

ブラウザは、iPhone、iPad、iPod touch、Android™モバイル端末から直接印刷するためのアプリケーションや、パソコンを使用して作成したテンプレート、絵文字、データベースなどのデータを無線でお使いのプリンターに転送するためのアプリケーションなど、プリンターとともに使用できるさまざまなアプリケーションを提供しています。

これらのブラウザの無料アプリは、Google Play™または App Store からダウンロードします。

iOS 端末

ソフトウェア	機能
Print SDK	開発者ツールサイト (https://support.brother.co.jp/j/s/es/dev/ja/index.html) からソフトウェア開発キット (SDK) をダウンロードします。
Mobile Transfer Express	このアプリでは、パソコンで P-touch Editor を使用して作成され、クラウドサービスに保存されたデータベースやレイアウトを、モバイル端末でダウンロードしてお使いのプリンターに送信できます。App Store から、このブラウザアプリをダウンロードします。
AirPrint	AirPrint により、追加のソフトウェアをインストールすることなく、Apple 端末 (iPad、iPhone、または iPod touch) から印刷できます。
Mobile Deploy	このソフトウェアでモバイル端末を使用して、プリンターの設定やファームウェアのアップデートを行います。 このソフトウェアは、Google Drive、OneDrive、DropBox または HTTP(S)サーバーにアップロードされたプリンターアップデートファイルを対象のプリンターに送信します。App Store から、このブラウザアプリをダウンロードします。
Smooth Print	このアプリを使用し、iOS モバイル端末からブラウザプリンターにラベルやレシートを印刷します。 Smooth Print は、ユーザー自身のウェブアプリまたはモバイルアプリから URL スキームを介して機能します。

Android 端末

ソフトウェア	機能
Print SDK	開発者ツールサイト (https://support.brother.co.jp/j/s/es/dev/ja/index.html) からソフトウェア開発キット (SDK) をダウンロードします。
Mobile Transfer Express	このアプリケーションでは、パソコンで P-touch Editor を使用して作成され、クラウドサービスに保存されたデータベースやレイアウトを、モバイル端末でダウンロードしてプリンターに送信できます。Google Play から、このブラウザアプリをダウンロードします。
Print Service Plugin	Android 端末から印刷できます。
Mobile Deploy	モバイル端末を使用して、プリンターの設定やファームウェアのアップデートを行うことができます。 このソフトウェアは、Google Drive、OneDrive、DropBox または HTTP(S)サーバーにアップロードされたプリンターアップデートファイルを対象のプリンターに送信します。Google Play から、このブラウザアプリをダウンロードします。
Smooth Print	Smooth Print は、Android モバイル端末からブラウザプリンターにラベルやレシートを印刷します。 Smooth Print は、ユーザー自身のウェブアプリまたはモバイルアプリから URL スキームを介して機能します。

✓ 関連情報

- モバイル端末を使用してラベルを印刷する

AirPrint の概要

AirPrint は、ドライバーをインストールすることなく、お使いの iPad、iPhone、および iPod touch から写真、Eメール、ウェブページおよび文書を無線で印刷することを可能にする、Apple 社のオペレーティングシステム用の印刷ソリューションです。



詳細については、Apple のウェブサイト参照してください。

Works with Apple バッジを使用するということは、その機能が、バッジで特定された技術で動作するように設計され、Apple のパフォーマンス基準を満たすように開発者に認定されていることを意味します。

✓ 関連情報

- モバイル端末を使用してラベルを印刷する

パソコンで作成したテンプレートをモバイル端末を使用してプリンターに転送する

Mobile Transfer Express がモバイル端末にインストールされていることを確認します。

P-touch Transfer Manager を使用して、P-touch Editor で作成したテンプレートデータを BLF 形式または PDZ 形式で保存します。Mobile Transfer Express を使用して、保存したファイルをモバイル端末からプリンターに送信してファイルを印刷します。

1. P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートデータを保存します。



詳しい説明は「[関連情報](#)」をご覧ください。

2. 次のいずれかを行います。
 - クラウドストレージサービスを使用してファイルを保存し、モバイル端末のオペレーティングシステムの共有機能でファイルを共有します。
 - ファイルを電子メール添付としてパソコンからモバイル端末に送信し、ファイルをモバイル端末に保存します。
3. プリンターをモバイル端末に接続し、Mobile Transfer Express を起動します。
テンプレートのデータが表示されます。
4. 印刷するテンプレートを選択し、テンプレートをプリンターに転送します。



クラウドストレージサービスからモバイル端末にファイルをダウンロードするには、インフラストラクチャモードを使用してモバイル端末を接続する必要があります。インフラストラクチャモードを使用してモバイル端末をプリンターに接続することで、ダウンロードしたファイル（BLF ファイルのみ）をすばやく転送することもできます。

✓ 関連情報

- [モバイル端末を使用してラベルを印刷する](#)

関連トピック：

- [転送ファイルと転送パッケージファイルを作成する \(Windows\)](#)

スタンドアロン印刷

関連モデル: TD-2350D

- P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)
- P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)
- パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)
- 転送したテンプレートをプリンターの画面に呼び出して印刷する

P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)

プリンターを Windows パソコンで使用する前に、パソコンに P-touch Editor と最新のプリンタードライバーをインストールする必要があります。

最新のドライバーとソフトウェアについては、サポートサイト (support.brother.co.jp) で、お使いの機種種のソフトウェアダウンロードページにアクセスしてください。

1. P-touch Editor  を起動します。

スタート > Brother P-touch > P-touch Editor をクリックするか、デスクトップ上の **P-touch Editor** アイコンをダブルクリックします。

お願い

パソコンのオペレーティングシステムによっては、ブラザー P-touch フォルダが作成される場合とされない場合があります。

2. 次のいずれかを行います。
 - 既存のレイアウトを開くには、**開く** (1) をクリックします。
 - プリセットレイアウトをデータベースに接続するには、**データベースを接続する** チェックボックス (2) を選択します。
 - 新しいレイアウトを作成するには、**新しいレイアウト** 枠内 (3) をダブルクリックするか、**新しいレイアウト** 枠内 (3) をクリックしてから **→** をクリックします。
 - プリセットレイアウトを使用して新しいレイアウトを作成するには、**カテゴリーボタン** (4) をダブルクリックするか、**カテゴリーボタン** (4) を選択して **→** をクリックします。



✓ 関連情報

- [スタンドアロン印刷](#)

P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)

1. P-touch Editor  を起動します。

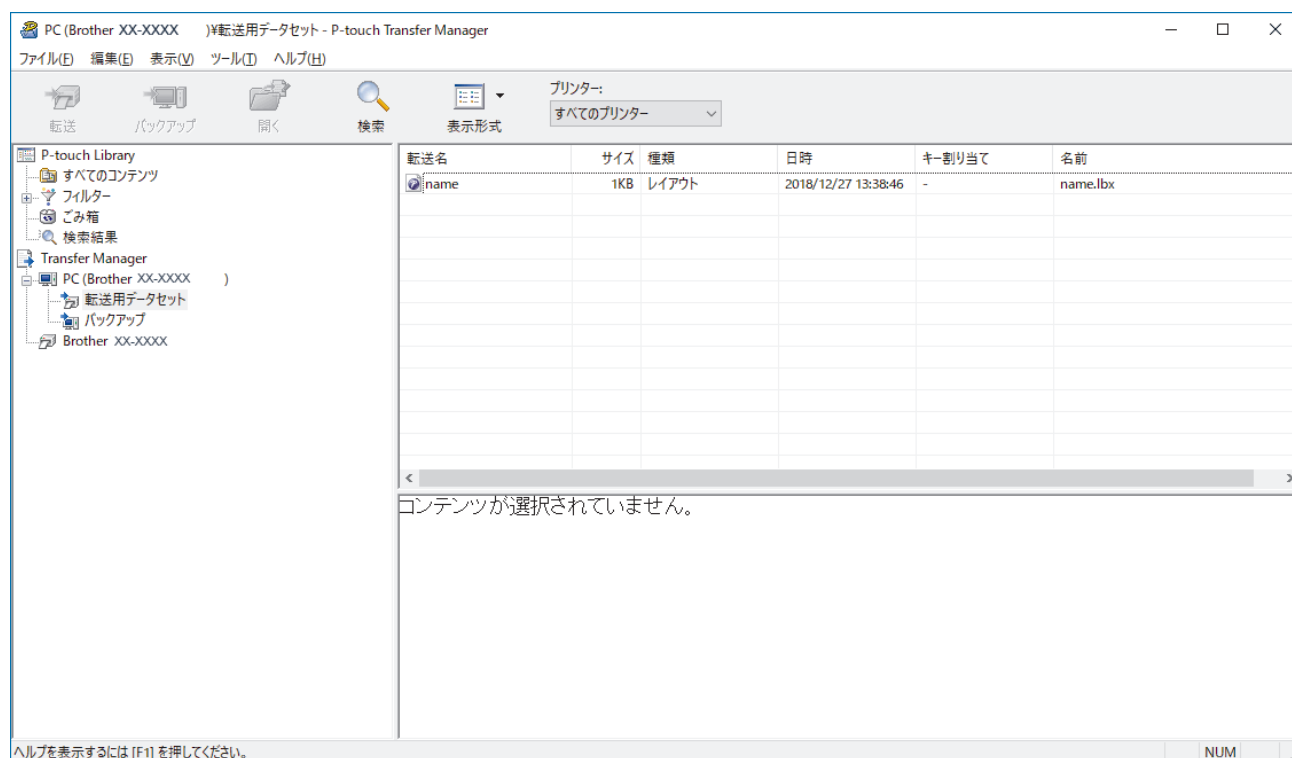
スタート > Brother P-touch > P-touch Editor をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor アイコンをダブルクリックします。

お願い

パソコンのオペレーティングシステムによっては、ブラザー P-touch フォルダーが作成される場合とされない場合があります。

2. テンプレートを開くか、レイアウトを作成します。
3. **ファイル > テンプレートの転送 > 転送** をクリックします。

P-touch Transfer Manager の画面が表示されます。テンプレートが**転送用データセット**フォルダーに転送されます。



✓ 関連情報

- スタンドアロン印刷

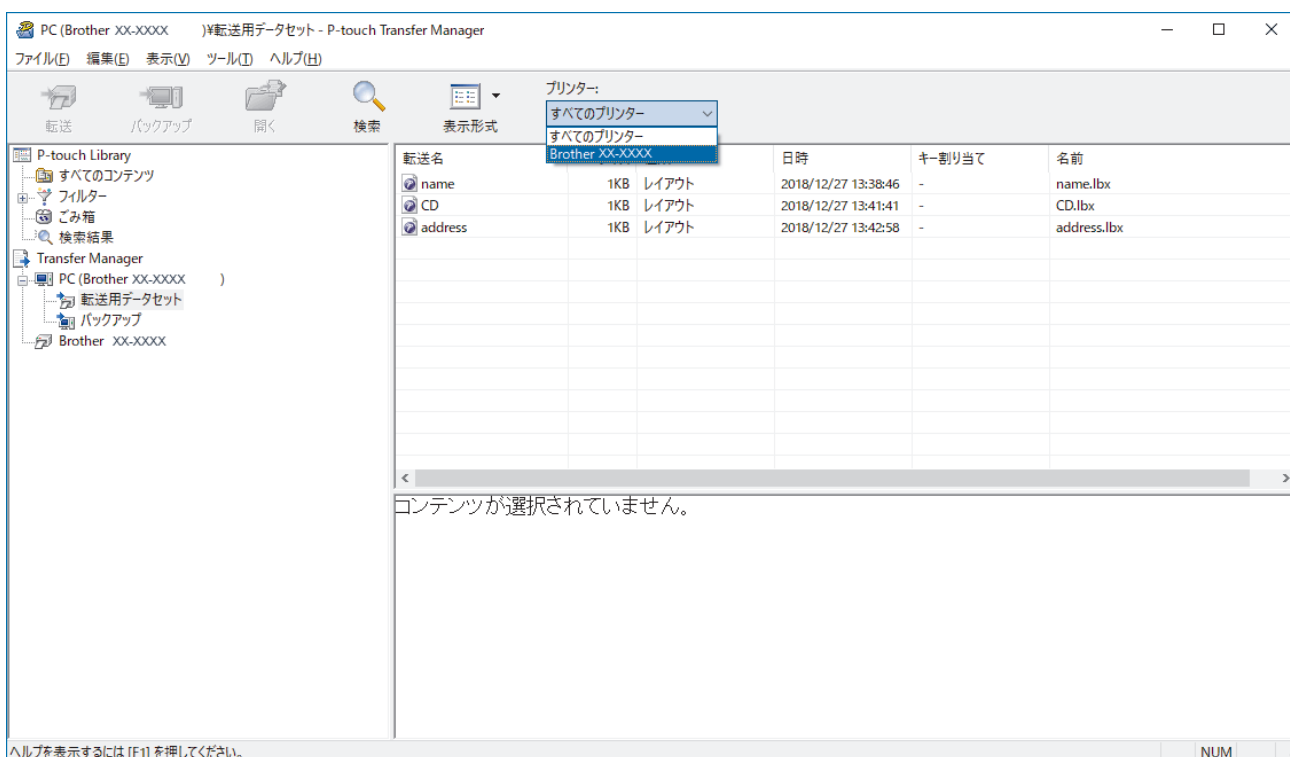
パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)

✎ モバイル端末からプリンターにテンプレートを転送するには、「関連情報」をご覧ください。

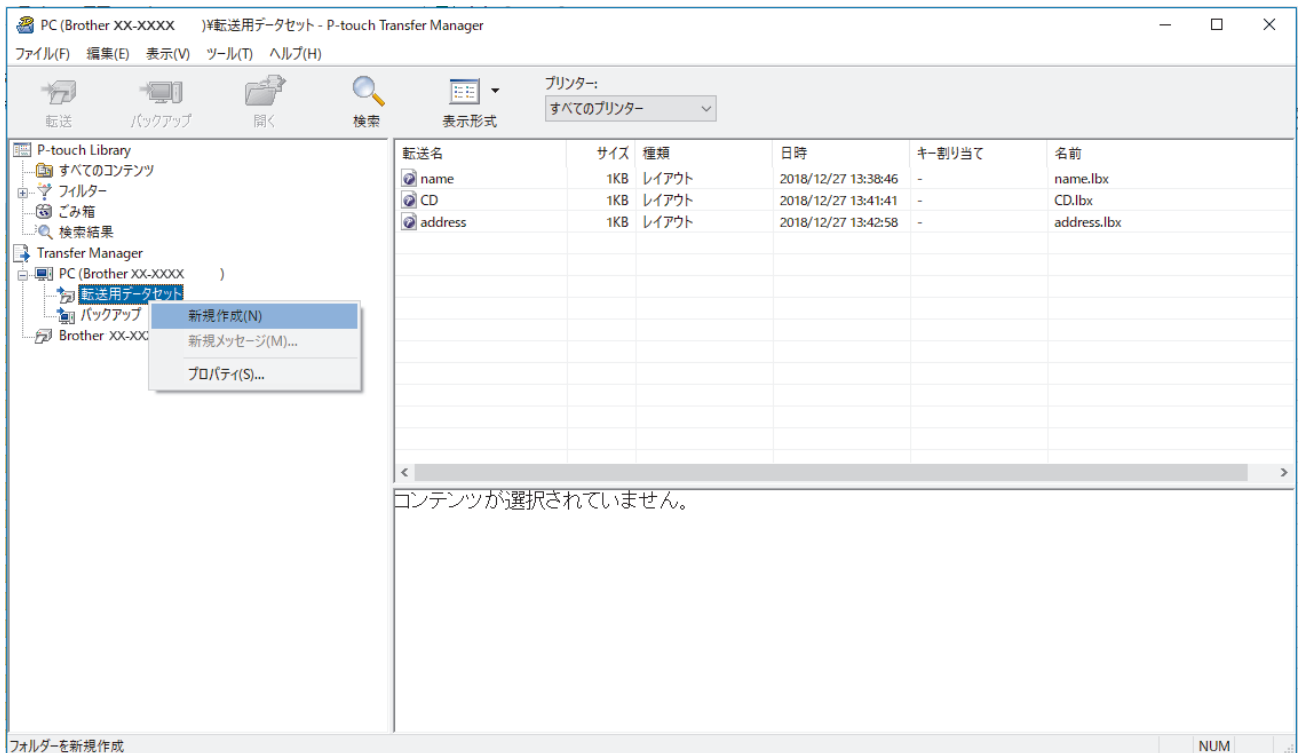
1. USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続し、プリンターの電源をオンにします。
フォルダー表示のプリンターアイコンの横に、プリンターの機種名が表示されます。
フォルダー表示でプリンターを選択すると、プリンターに保存されている現在のテンプレートとその他のデータが表示されます。

✎ プリンターが接続されていないか、オフラインの場合、フォルダー表示にそれらのデータは表示されません。

2. テンプレートやその他のデータを転送するプリンターを選択します。

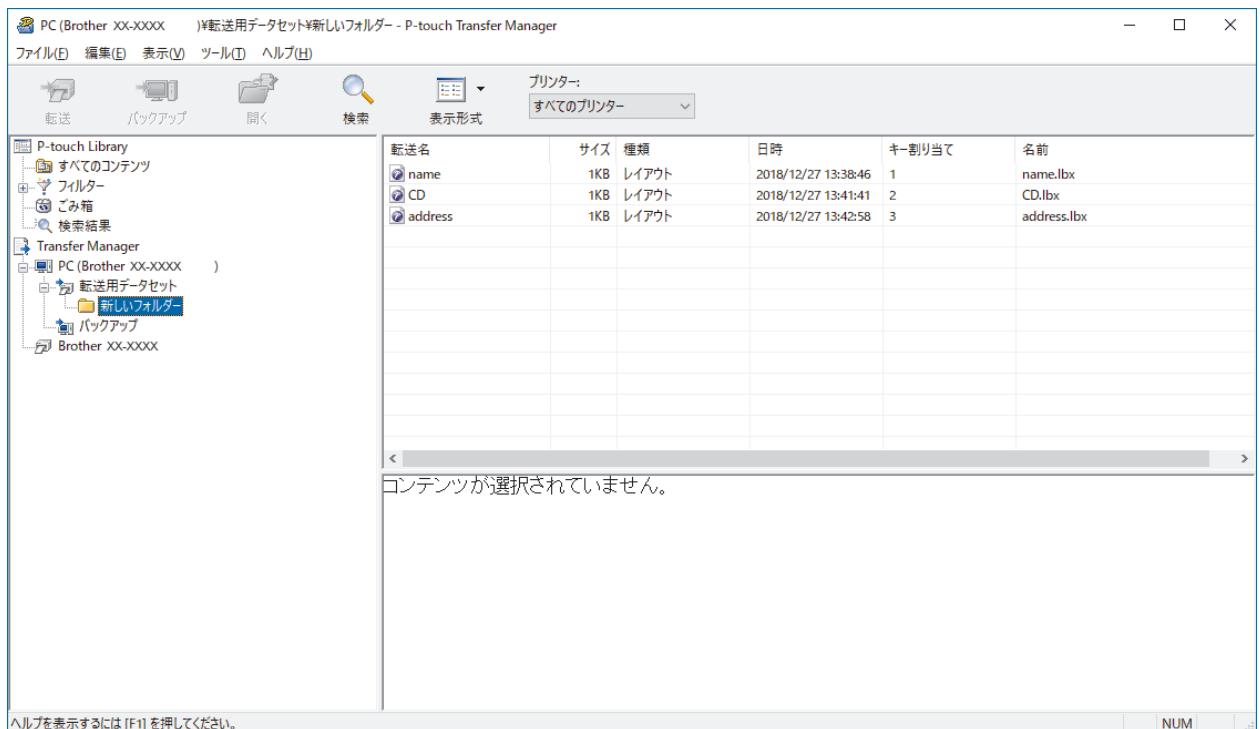


3. 転送用データセットフォルダーを右クリックし、**新規作成**を選択して、新しいフォルダーを作成します。



4. 次のいずれかを行います。

- 転送するテンプレートやその他のデータをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。
- 複数のテンプレートやその他のデータを転送するには、転送するファイルをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。ファイルを新しいフォルダーに入れると、各ファイルにキー割り当て番号（プリンター内のメモリー位置）が割り当てられます。



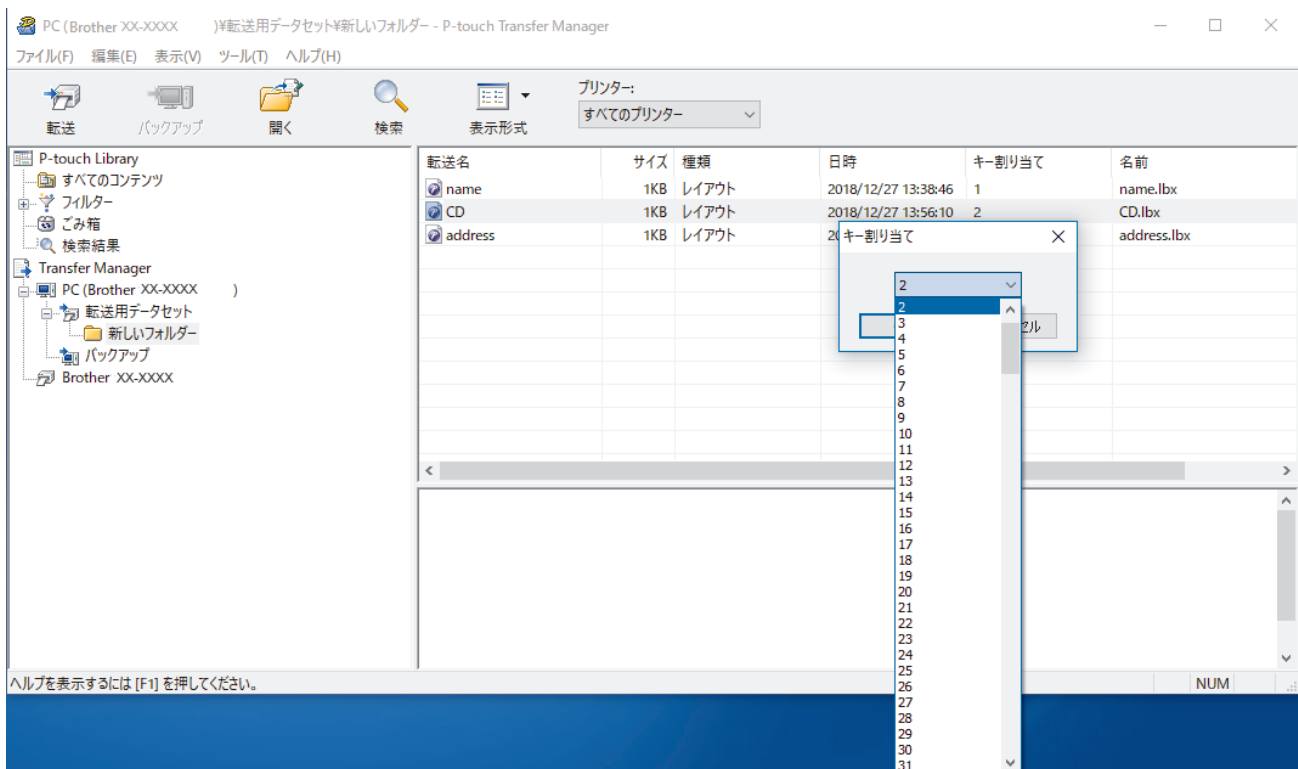
データの種類	転送可能な項目の最大数	制限の詳細
テンプレート	255	<ul style="list-style-type: none"> • 各テンプレートには、最大で 255 個のオブジェクトを含めることができます。 • 各オブジェクトには、最大 7 行を含めることができます。
データベース	255	<ul style="list-style-type: none"> • CSV ファイルのみを転送できます。

データの種類	転送可能な項目の最大数	制限の詳細
		<ul style="list-style-type: none"> 各 CSV ファイルには、最大で 100 の列と 65000 の行を含めることができます。
画像（ユーザー定義文字）	255	<ul style="list-style-type: none"> *.bmp ファイルのみを転送できます。 モノクロの*.bmp ファイルを使用することをお勧めします。 サイズ制限は 1296 x 1296 ピクセルです。 幅広の画像は端が切り取られる可能性があります。



- 印刷設定レポートを印刷して、転送ファイルメモリー内の空き容量を確認できます。空き容量については、レポートの **Available memory (使用可能なメモリ)** を参照してください。 **Available memory: ****B (使用可能なメモリ)** に表示される空き容量は、実際に使用可能な容量と異なる場合があります。
- 以下の項目を選択すると、テンプレートとその他のデータを表示することができます。
 - 転送用データセットフォルダー内のフォルダー
 - すべてのコンテンツ
 - フィルターの下のいずれかのカテゴリー（レイアウトなど）

- 項目に割り当てられたキー割り当て番号を変更するには、項目を右クリックし、**キー割り当てメニュー**を選択して、希望のキー割り当て番号を選択します。



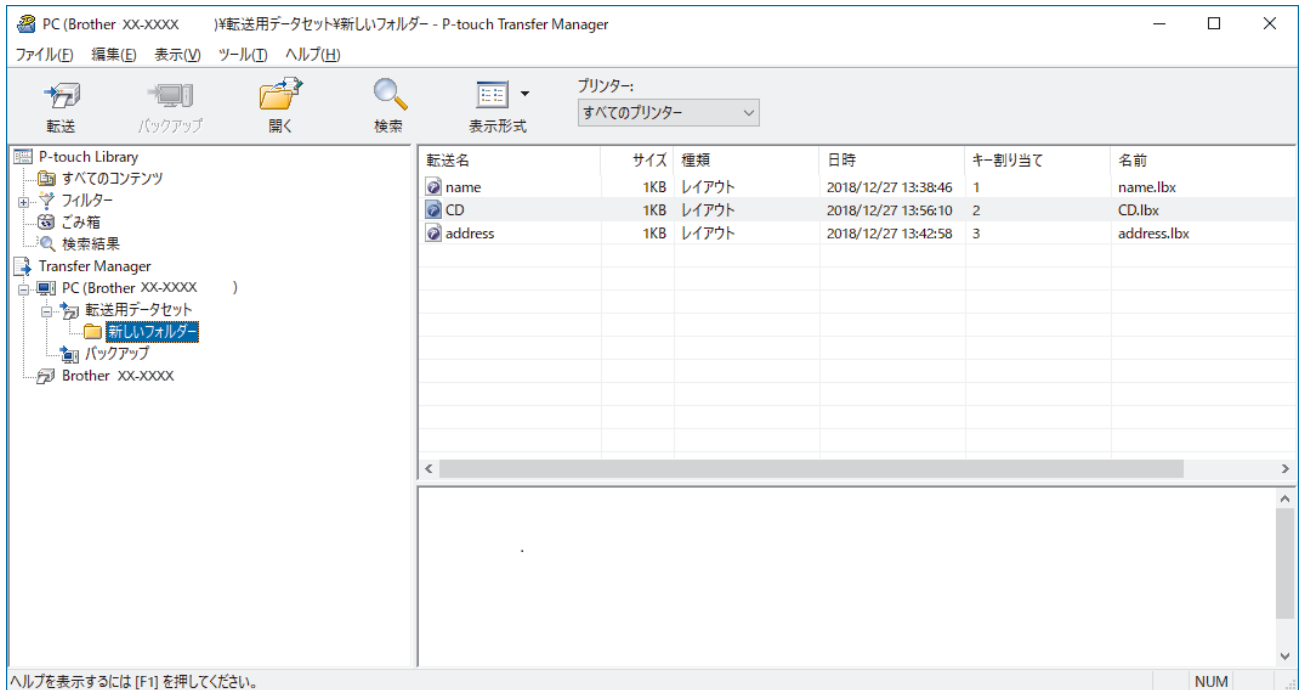
- データベース内のデータを除いて、プリンターに転送されるすべてのデータにキー番号が割り当てられます。
- プリンターに転送されるテンプレートまたはその他のデータに、プリンターにすでに保存されている別のテンプレートと同じキー番号が割り当てられると、新しいテンプレートで古いテンプレートを上書きします。テンプレートやその他のデータをバックアップすることで、プリンターに保存されている割り当て済みのテンプレートのキー番号を確認できます。
- プリンターのメモリーがいっぱいになった場合は、プリンターのメモリーから1つまたは複数のテンプレートを削除してください。

- 転送するテンプレートやその他のデータの名前を変更するには、変更したい項目をクリックして、新しい名前を入力します。

機種によっては、テンプレート名に使用する文字数が制限されている場合があります。

7. プリンターの[本体設定] > [ホーム画面設定] > [リスト画面] (または[タッチ画面]) で、リスト画面またはタッチ画面のいずれかが選択されていることを確認します。

転送するテンプレートまたはその他のデータが含まれているフォルダーを選択し、**転送**をクリックします。



確認メッセージが表示されます。



- 項目をフォルダーに追加せずに、個々の項目をプリンターに転送することもできます。転送するテンプレートまたはその他のデータを選択し、**転送**をクリックします。
- 1回の操作で複数の項目とフォルダーを選択して転送できます。

8. **OK** をクリックします。

選択した項目がプリンターに転送されます。

✓ 関連情報

- スタンドアロン印刷
- バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)
- パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について (Windows)

関連トピック:

- パソコンで作成したテンプレートをモバイル端末を使用してプリンターに転送する
- プリンターの設定を確認する

転送したテンプレートをプリンターの画面に呼び出して印刷する

関連モデル: TD-2350D

プリンターをパソコンやモバイル端末に接続せずに、プリンターの画面から転送されたテンプレートまたはプリセットされたテンプレートを印刷できます。

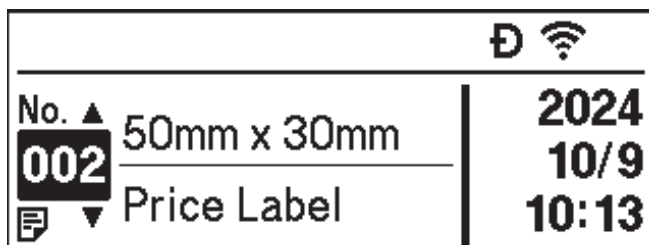
- データベースにリンクされていないテンプレートを印刷する
- データベースにリンクされているテンプレートを印刷する

▲ホーム > スタンドアロン印刷 > 転送したテンプレートをプリンターの画面に呼び出して印刷する > データベースにリンクされていないテンプレートを印刷する

データベースにリンクされていないテンプレートを印刷する

関連モデル: TD-2350D

1. 以下のように、画面がリスト画面になっていることを確認します。



そうでない場合は、リスト画面に設定します。

- a. **Menu** を押します。
 - b. ▲ または ▼ を押して、[本体設定] を選択します。OK を押します。
 - c. ▲ または ▼ を押して、[ホーム画面設定] を選択します。OK を押します。
 - d. ▲ または ▼ を押して、[リスト画面] を選択します。OK を押します。
2. ▲ または ▼ を押してテンプレートを選択し、OK を押します。
3. ▲ と ▼ を押して、印刷するラベル数を設定します。



お願い

- 次回以降ラベルの印刷枚数を変更するには、**Menu** を押して [テンプレート設定] に移動し、[印刷前の確認] オプションを [する] に設定します。
次回このテンプレートを使用して印刷すると、印刷設定画面が表示され、▲ と ▼ を使用してラベルの枚数を変更できます。
- 印刷プレビューを表示するには、**Menu** を 2 回押してから **OK** を押します。
- テンプレートにオブジェクトを表示するには、**Menu** を 1 回押してから **OK** を押します。

✓ 関連情報

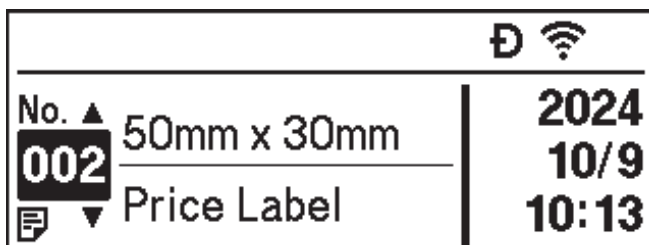
- [転送したテンプレートをプリンターの画面に呼び出して印刷する](#)

▲ホーム > スタンドアロン印刷 > 転送したテンプレートをプリンターの画面に呼び出して印刷する > データベースにリンクされているテンプレートを印刷する

データベースにリンクされているテンプレートを印刷する

関連モデル: TD-2350D

1. 以下のように、画面がリスト画面になっていることを確認します。



そうでない場合は、リスト画面に設定します。

- a. **Menu** を押します。
 - b. ▲または▼を押して、[本体設定]を選択します。**OK** を押します。
 - c. ▲または▼を押して、[ホーム画面設定]を選択します。**OK** を押します。
 - d. ▲または▼を押して、[リスト画面]を選択します。**OK** を押します。
2. ▲または▼を押してテンプレートを選択し、**OK** を押します。
 3. ▲または▼を押してデータベースの値を選択し、**OK** を押します。
 4. ▲と▼を押して、印刷するラベル数を設定します。



お願い

- 次回以降ラベルの印刷枚数を変更するには、**Menu** を押して [テンプレート設定] に移動し、[印刷前の確認] オプションを [する] に設定します。
次回このテンプレートを使用して印刷すると、印刷設定画面が表示され、▲と▼を使用してラベルの枚数を変更できます。
- 印刷プレビューを表示するには、**Menu** を 2 回押してから **OK** を押します。
- テンプレートにオブジェクトを表示するには、**Menu** を 1 回押してから **OK** を押します。

✓ 関連情報

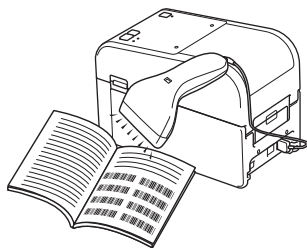
- 転送したテンプレートをプリンターの画面に呼び出して印刷する

バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)

- P-touch Template の操作の概要
- P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)
- P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)
- パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)
- バーコードスキャナー設定を指定する (Windows)
- Bluetooth を使用してプリンターをバーコードスキャナーに接続する (Windows)
- USB ホストインターフェイスを使用してプリンターをバーコードスキャナーに接続する
- バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる

P-touch Template の操作の概要

P-touch Template モードにより、プリンターに接続された他の機器を使用し、プリンターに転送されたテンプレート上のテキストやバーコードオブジェクトにデータを挿入できます。



- P-touch Template モードは、スケール、試験機、コントローラ、プログラマブルロジック機器などの他の入力機器とも互換性があります。
- 詳しい説明は「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/d/b4m2/) からダウンロードできます。

基本操作

呼び出し印刷

事前に、頻繁に使用するテンプレートと画像をプリンターに転送します。テンプレート選択用の番号と、印刷を開始するための情報が含まれているバーコードを用意します。プリンターに接続したバーコードスキャナーでバーコードを読み取り、テンプレートを選択し印刷を開始します。

流し込み印刷

テンプレートをダウンロードし、バーコードを読み取ってコピーを印刷したり、読み取ったデータを別のテンプレートに挿入します。

データベース検索印刷

テンプレートにリンクされているデータベースをダウンロードしておく、と、バーコードで読み取った値をテンプレートに挿入して印刷します。

「関連情報」をご覧ください。

応用操作

ナンバリング (連番) 印刷

ダウンロードしたテンプレートのテキストまたはバーコードを増やしながらか印刷します。

「関連情報」をご覧ください。



関連情報

- バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)

関連トピック :

- プリンターに転送したテンプレートを呼び出して印刷する (呼び出し印刷)
- プリンターに転送したテンプレートに情報を流し込んで印刷する (流し込み印刷)
- データベースにリンクされているテンプレートを印刷する (データベース検索印刷)
- 転送したテンプレートを連番 (番号) 順で印刷する (ナンバリング (連番) 印刷)

P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)

プリンターを Windows パソコンで使用する前に、パソコンに P-touch Editor と最新のプリンタードライバーをインストールする必要があります。

最新のドライバーとソフトウェアについては、サポートサイト (support.brother.co.jp) で、お使いの機種種のソフトウェアダウンロードページにアクセスしてください。

1. P-touch Editor  を起動します。

スタート > Brother P-touch > P-touch Editor をクリックするか、デスクトップ上の **P-touch Editor** アイコンをダブルクリックします。

お願い

パソコンのオペレーティングシステムによっては、ブラザー P-touch フォルダが作成される場合とされない場合があります。

2. 次のいずれかを行います。
 - 既存のレイアウトを開くには、**開く** (1) をクリックします。
 - プリセットレイアウトをデータベースに接続するには、**データベースを接続する** チェックボックス (2) を選択します。
 - 新しいレイアウトを作成するには、**新しいレイアウト** 枠内 (3) をダブルクリックするか、**新しいレイアウト** 枠内 (3) をクリックしてから **→** をクリックします。
 - プリセットレイアウトを使用して新しいレイアウトを作成するには、**カテゴリーボタン** (4) をダブルクリックするか、**カテゴリーボタン** (4) を選択して **→** をクリックします。



✓ 関連情報

- [バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する \(P-touch Template\)](#)

P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)

1. P-touch Editor  を起動します。

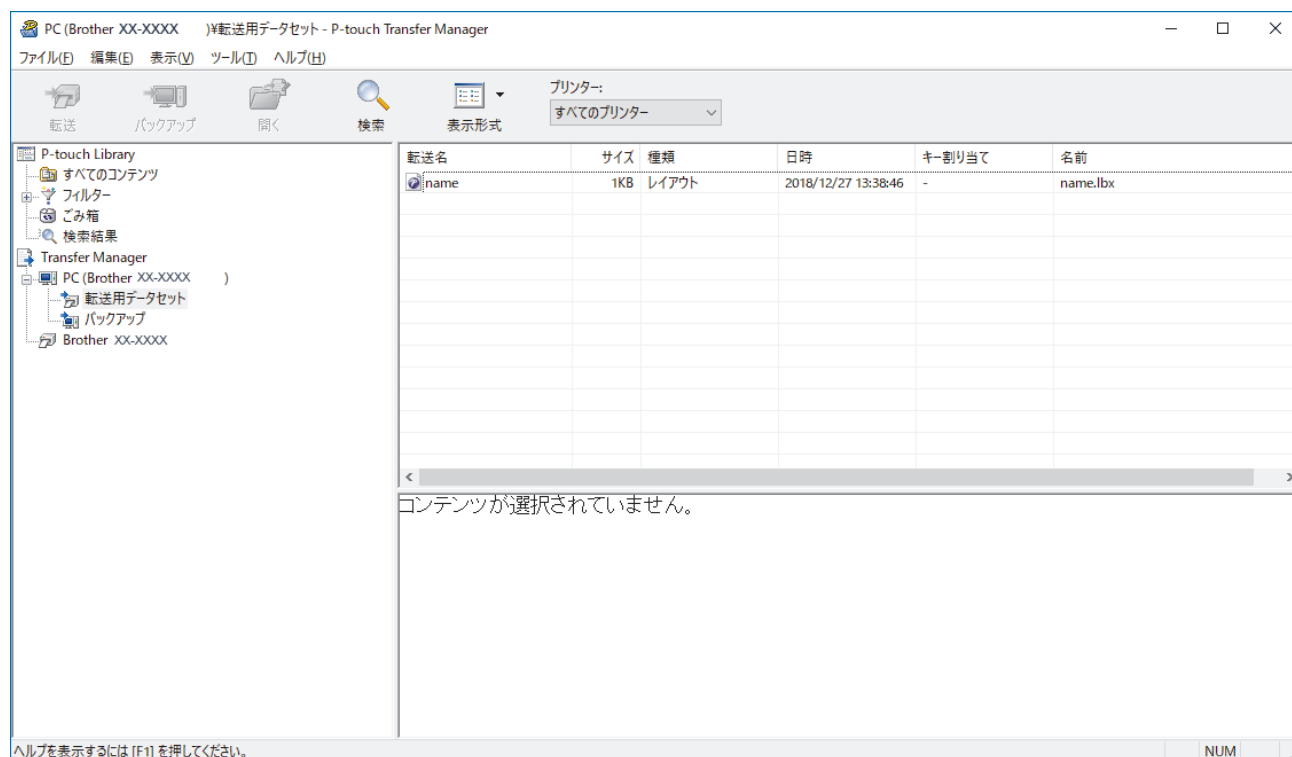
スタート > Brother P-touch > P-touch Editor をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor アイコンをダブルクリックします。

お願い

パソコンのオペレーティングシステムによっては、ブラザー P-touch フォルダが作成される場合とされない場合があります。

2. テンプレートを開くか、レイアウトを作成します。
3. **ファイル > テンプレートの転送 > 転送** をクリックします。

P-touch Transfer Manager の画面が表示されます。テンプレートが**転送用データセット**フォルダに転送されます。



✓ 関連情報

- バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)

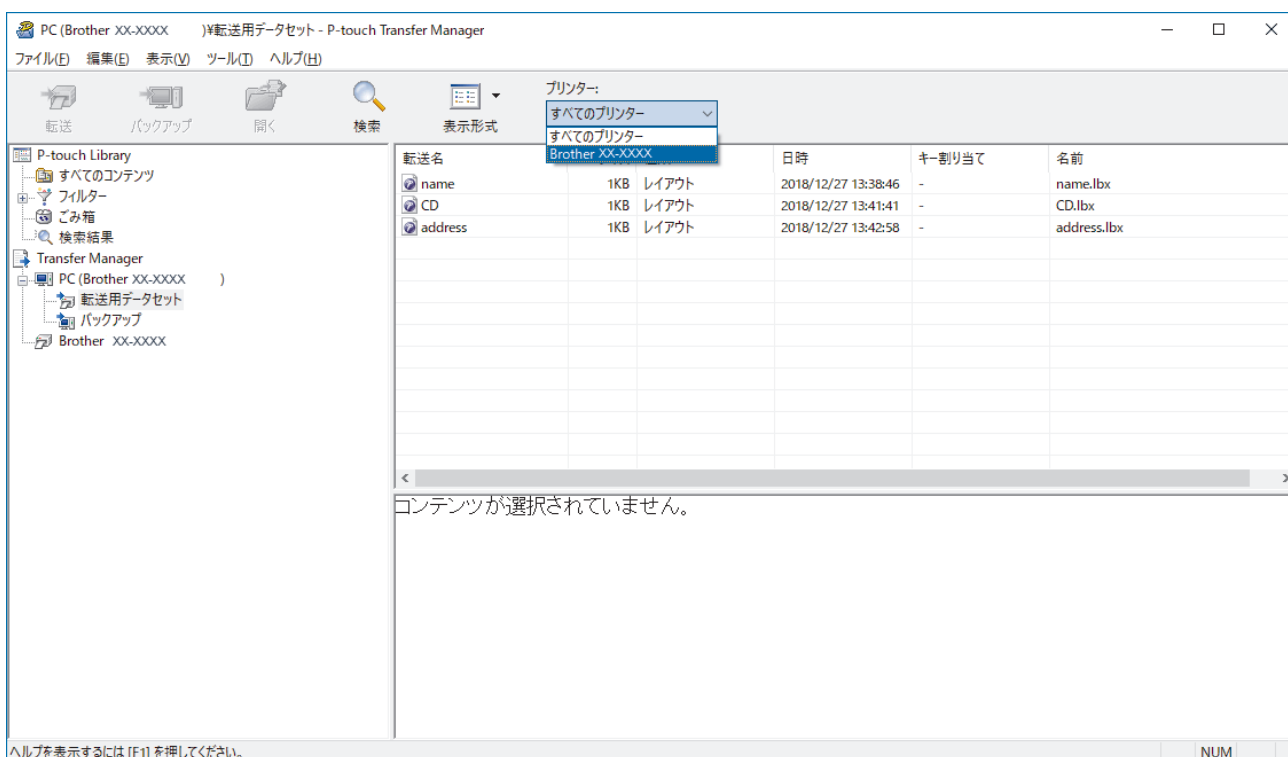
パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)

✎ モバイル端末からプリンターにテンプレートを転送するには、「関連情報」をご覧ください。

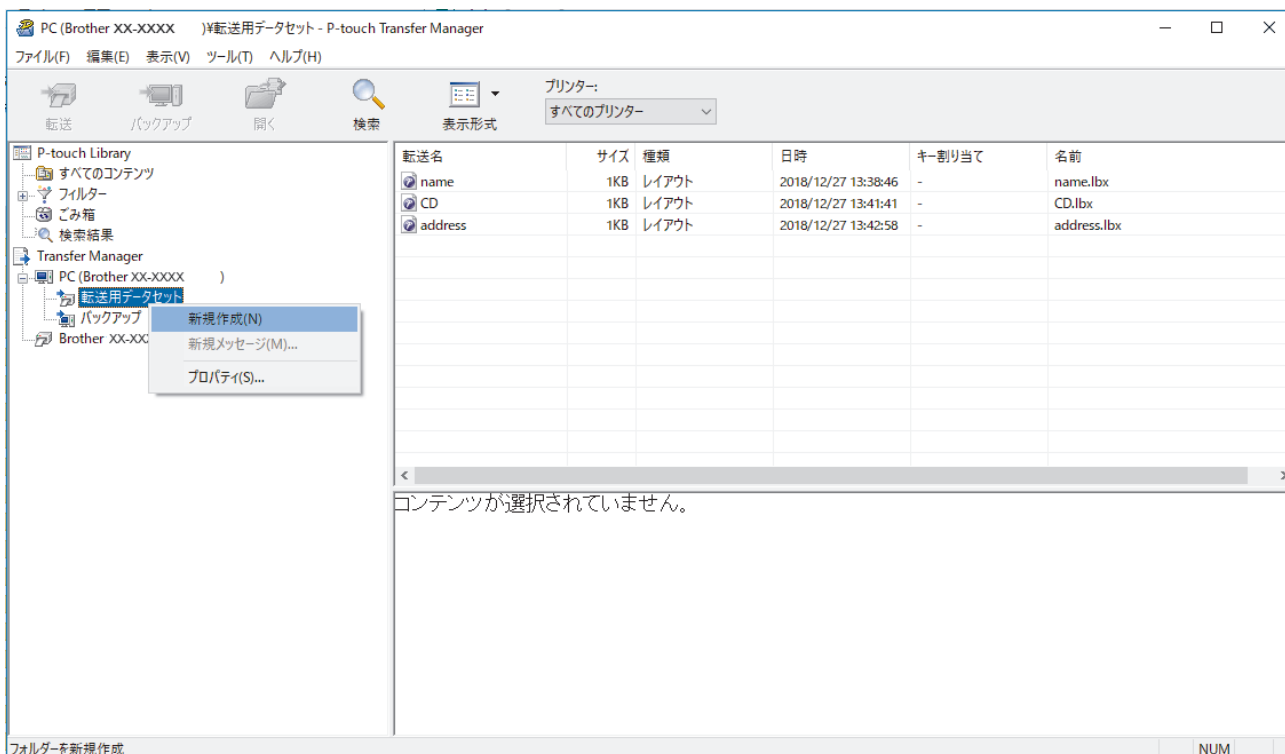
1. USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続し、プリンターの電源をオンにします。
フォルダー表示のプリンターアイコンの横に、プリンターの機種名が表示されます。
フォルダー表示でプリンターを選択すると、プリンターに保存されている現在のテンプレートとその他のデータが表示されます。

✎ プリンターが接続されていないか、オフラインの場合、フォルダー表示にそれらのデータは表示されません。

2. テンプレートやその他のデータを転送するプリンターを選択します。

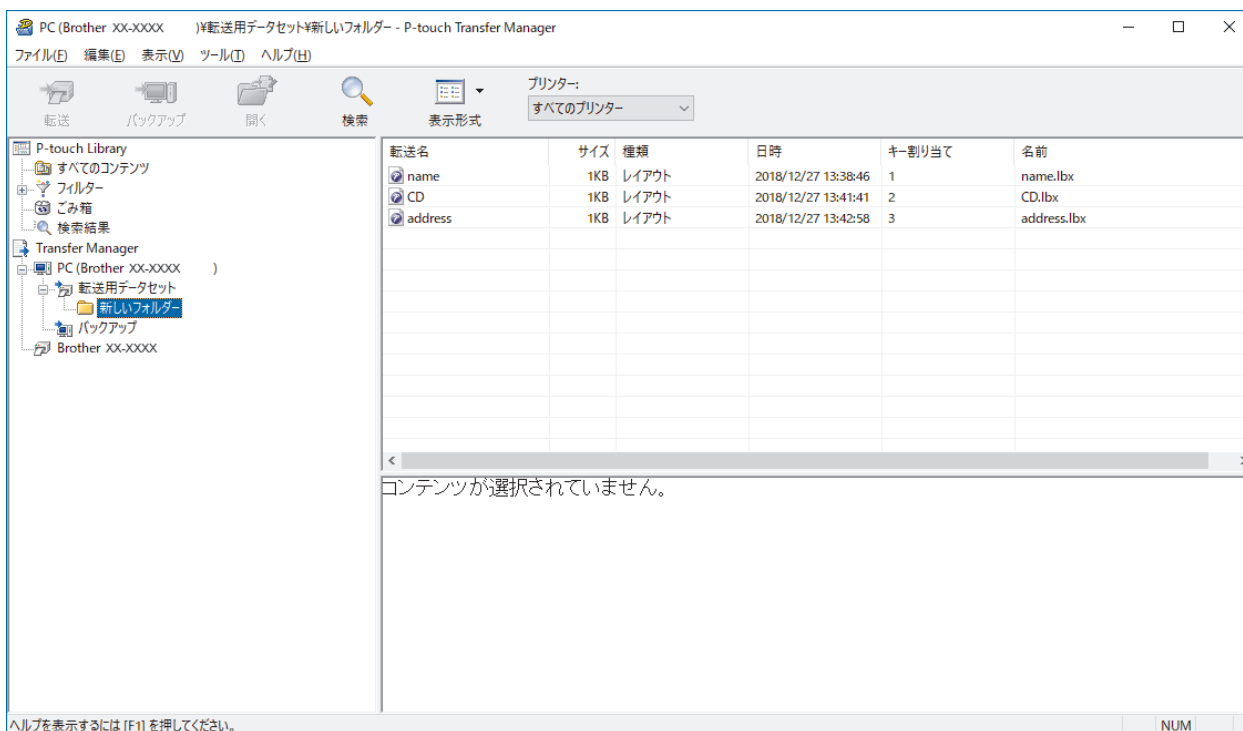


3. 転送用データセットフォルダーを右クリックし、**新規作成**を選択して、新しいフォルダーを作成します。



4. 次のいずれかを行います。

- 転送するテンプレートやその他のデータをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。
- 複数のテンプレートやその他のデータを転送するには、転送するファイルをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。ファイルを新しいフォルダーに入れると、各ファイルにキー割り当て番号（プリンター内のメモリー位置）が割り当てられます。



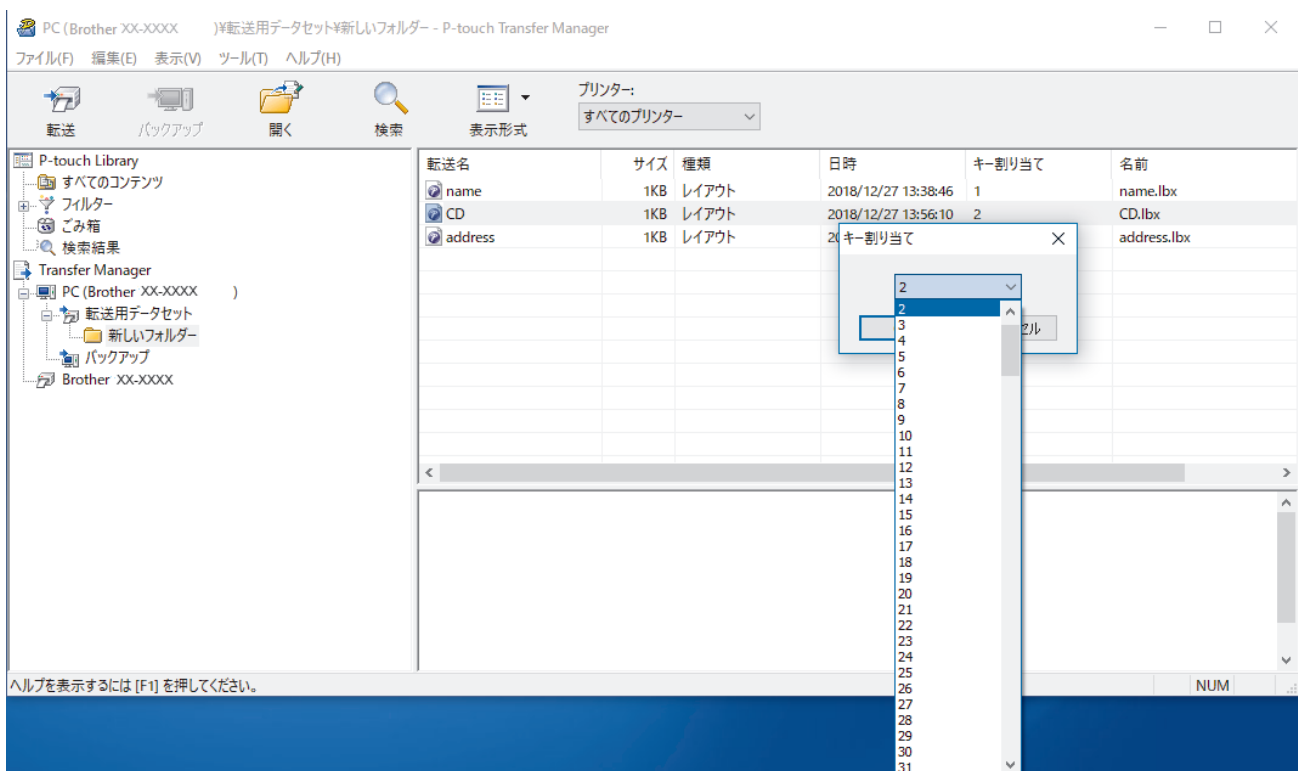
データの種類	転送可能な項目の最大数	制限の詳細
テンプレート	255	<ul style="list-style-type: none"> • 各テンプレートには、最大で 255 個のオブジェクトを含めることができます。 • 各オブジェクトには、最大 7 行を含めることができます。
データベース	255	<ul style="list-style-type: none"> • CSV ファイルのみを転送できます。

データの種類	転送可能な項目の最大数	制限の詳細
		<ul style="list-style-type: none"> 各 CSV ファイルには、最大で 100 の列と 65000 の行を含めることができます。
画像（ユーザー定義文字）	255	<ul style="list-style-type: none"> *.bmp ファイルのみを転送できます。 モノクロの*.bmp ファイルを使用することをお勧めします。 サイズ制限は 1296 x 1296 ピクセルです。 幅広の画像は端が切り取られる可能性があります。



- 印刷設定レポートを印刷して、転送ファイルメモリー内の空き容量を確認できます。空き容量については、レポートの **Available memory (使用可能なメモリ)** を参照してください。 **Available memory: ****B (使用可能なメモリ)** に表示される空き容量は、実際に使用可能な容量と異なる場合があります。
- 以下の項目を選択すると、テンプレートとその他のデータを表示することができます。
 - 転送用データセットフォルダー内のフォルダー
 - すべてのコンテンツ
 - フィルターの下のいずれかのカテゴリー（レイアウトなど）

5. 項目に割り当てられたキー割り当て番号を変更するには、項目を右クリックし、**キー割り当てメニュー**を選択して、希望のキー割り当て番号を選択します。



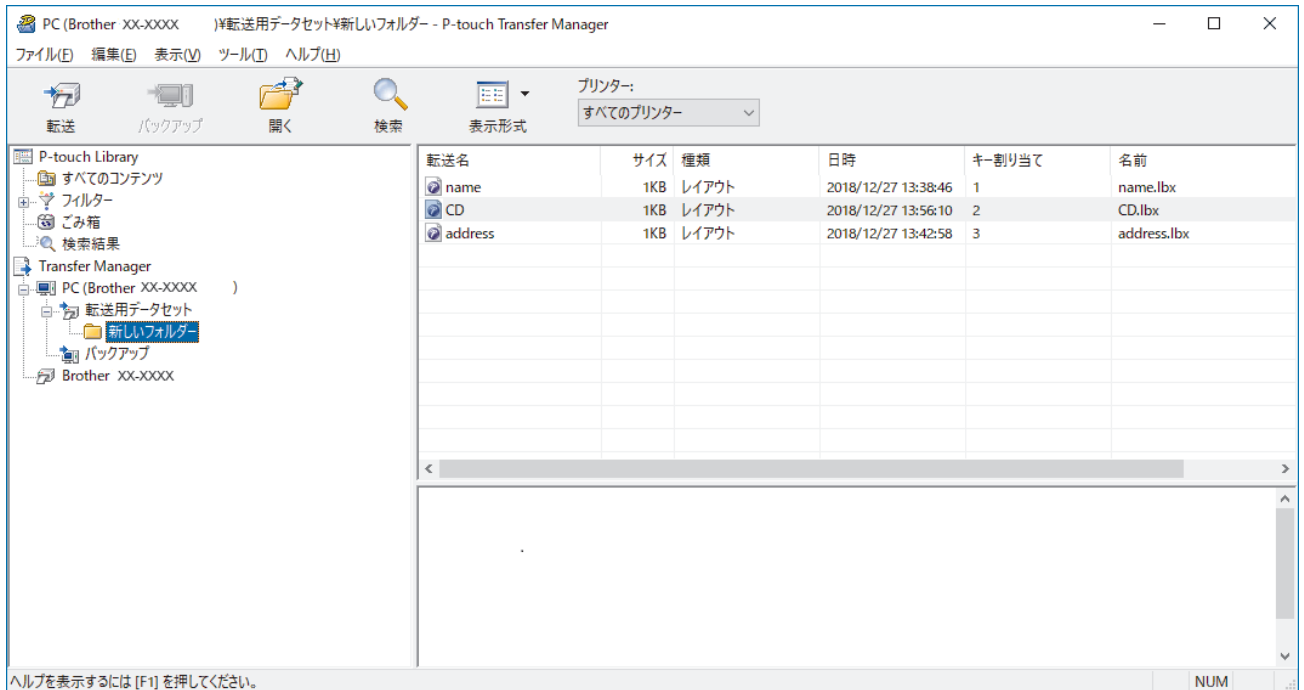
- データベース内のデータを除いて、プリンターに転送されるすべてのデータにキー番号が割り当てられます。
- プリンターに転送されるテンプレートまたはその他のデータに、プリンターにすでに保存されている別のテンプレートと同じキー番号が割り当てられると、新しいテンプレートで古いテンプレートを上書きします。テンプレートやその他のデータをバックアップすることで、プリンターに保存されている割り当て済みのテンプレートのキー番号を確認できます。
- プリンターのメモリーがいっぱいになった場合は、プリンターのメモリーから 1 つまたは複数のテンプレートを削除してください。

6. 転送するテンプレートやその他のデータの名前を変更するには、変更したい項目をクリックして、新しい名前を入力します。

機種によっては、テンプレート名に使用する文字数が制限されている場合があります。

7. プリンターの[本体設定] > [ホーム画面設定] > [リスト画面] (または[タッチ画面]) で、リスト画面またはタッチ画面のいずれかが選択されていることを確認します。

転送するテンプレートまたはその他のデータが含まれているフォルダーを選択し、**転送**をクリックします。



確認メッセージが表示されます。



- 項目をフォルダーに追加せずに、個々の項目をプリンターに転送することもできます。転送するテンプレートまたはその他のデータを選択し、**転送**をクリックします。
- 1回の操作で複数の項目とフォルダーを選択して転送できます。

8. **OK** をクリックします。

選択した項目がプリンターに転送されます。

✓ 関連情報

- スタンドアロン印刷
- バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)
- パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について (Windows)

関連トピック:

- パソコンで作成したテンプレートをモバイル端末を使用してプリンターに転送する
- プリンターの設定を確認する

バーコードスキャナー設定を指定する (Windows)

バーコードスキャナーをプリンターに接続する前に、P-touch Template 設定 (プリンター設定ツール内) を使用してバーコードスキャナーの設定を指定します。

ラベルに複数のオブジェクトデータを含めたり、データベースを検索して印刷したり、またはバーコードを読み取った直後に印刷したりするには、P-touch Template 設定を調整する必要があります。バーコードスキャナーの設定をカスタマイズすることで、コマンドをスキャナーで読み取った文字列に加えることができ、バーコードスキャナーはその文字列をプリンターに送信します。

- ラベルに複数のオブジェクトデータを置く、またはデータベースを検索して印刷する場合は、**区切り記号欄**に「\09」を入力します。
- バーコードを読み取った直後に印刷するには、**印刷開始コマンド文字列**として**印刷開始トリガ欄**に「^FF」を入力します。

- USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続し、プリンターの電源をオンにします。
- プリンター設定ツールを起動します。
スタート > Brother > Printer Setting Tool をクリックします。
- P-touch Template 設定** ボタンをクリックします。
- 必要な設定を選択し、**設定** をクリックします。

P-touch Template 設定 - Brother XX-XXXX

コマンドモードをP-touch Templateモードに設定します。
転送したテンプレートを設定するために必要なデータを入力して下さい。
コマンドモードを他のモードに変更する場合は、[本体設定]を使用して下さい。
テキストボックスに制御コードを入力するには、ASCIIコード[00-FF]の前に*マークをつけてください。
例) TAB: *09, CR: *0D, *:* 各1バイト

コマンドモード(C): P-touch Template

テンプレート番号初期値(T): 1

区切り記号(L): \09

印刷開始トリガ

印刷開始コマンド文字列(O): ^FF (A)

すべてのオブジェクトのデータ取得後(U)

指定データサイズ受け取り後(U): 10 バイト

文字コードセット(S): JIS X 0201

国際文字(N): Britain

プレフィックス文字(X): ^

読み捨て文字列(B):

改行コード(E): ^CR

FNC1置換(L)

印刷オプション

印刷枚数(B): 1

オートカット(A): 1 枚ごとにカット 最後をカット(U)

180度回転(S)

通信設定(M)... 既定値に戻す(D)

設定(S) キャンセル

- お買い上げ時の設定では、バーコードスキャナーを使用してバーコードからコード「^FF」を読み込むと印刷が開始されます。(これは、前の画像の (A) で強調表示された設定を使用すると変更できます。)
指定データサイズ受け取り後オプションを選択してバイト数を設定すると、指定したバイト数の読み取り後にテンプレートが印刷されます。
- パソコンから印刷するたびに印刷モードの設定がラスターモードに戻るため、設定をテンプレートモードにもう一度変更する必要があります。
- プリンターの電源をオフにした後、もう一度オンにすると、プリンターはテンプレートモードで起動します。



関連情報

- バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)

Bluetooth を使用してプリンターをバーコードスキャナーに接続する (Windows)

関連モデル: TD-2350D


信頼できる高品質バーコードスキャナーを使用し、バーコードスキャナーの仕様をチェックしてから機種を選択することをお勧めします。

推奨されるバーコードスキャナーの選択基準：SPP または OPP プロファイルをサポートする Bluetooth バージョン 2.1 + EDR (クラス 1) の機種



- P-touch Template モードの場合、最初に P-touch Transfer Manager を使用してパソコンからプリンターにテンプレートをダウンロードする必要があります。
- バーコードスキャナーは、通常英語キーボード用にプログラムされています。初心者の方には、接頭文字と接尾文字を使用せずにバーコードスキャナーをプログラミングすることをお勧めします。上級ユーザーの場合は、接頭文字と接尾文字を読み込み、プリンターでコマンドとして使用することで、カスタマイズされたテンプレートを作成できます。
- バーコードスキャナーの使用方法和プログラミング方法の詳細については、製造元にお問い合わせください。
- Bluetooth 搭載装置 (バーコードスキャナーなど) のメーカー推奨に従って、必要なすべてのハードウェアとソフトウェアをインストールします。
- Bluetooth の接続設定は、プリンターの電源がオフになった後も保存されます。

1. **Menu** を押します。
2. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - a. [Bluetooth] を選択します。OK を押します。
 - b. [オン/オフ] を選択します。OK を押します。
3. ▲または▼を押して、[オン] を選択します。OK を押します。

画面に  が表示されます。

4. プリンターをバーコードスキャナーと Bluetooth でペアリングします。
プリンターの PIN を要求された場合、お買い上げ時の PIN は、製品シリアル番号の下 4 桁が設定されています。PIN は通信設定ツールを使用して変更できます。
 - 通信設定の Bluetooth タブの**ペアリング時に本体キーの操作を要求する**チェックボックスが選択されていない場合は、Bluetooth 機器のパスキーが画面に表示され、Bluetooth 接続が確立されます。
 - 通信設定の Bluetooth タブの**ペアリング時に本体キーの操作を要求する**チェックボックスが選択されている場合は、Bluetooth パスキーが画面に表示されます。プリンターで **OK** を押します。表示された Bluetooth パスキーを Bluetooth 機器に入力すると、Bluetooth 接続が確立されます。

接続が確立されると、プリンターの電源をオフにするまで接続されたままになり、別の機器に接続されることはありません。



関連情報

- [バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する \(P-touch Template\)](#)

USB ホストインターフェイスを使用してプリンターをバーコードスキャナーに接続する

信頼できる高品質バーコードスキャナーを使用し、バーコードスキャナーの仕様をチェックしてから機種を選択することをお勧めします。

推奨されるバーコードスキャナーの選択基準：キーボードとして識別される HID クラスの機種



- P-touch Template モードの場合、最初に P-touch Transfer Manager を使用してパソコンからプリンターにテンプレートをダウンロードする必要があります。
- バーコードスキャナーは、通常英語キーボード用にプログラムされています。初心者の方には、接頭文字と接尾文字を使用せずにバーコードスキャナーをプログラミングすることをお勧めします。上級ユーザーの場合は、接頭文字と接尾文字を読み込み、プリンターでコマンドとして使用することで、カスタマイズされたテンプレートを作成できます。
- バーコードスキャナーの使用方法和プログラミング方法の詳細については、製造元にお問い合わせください。

バーコードスキャナーをプリンターの USB ホストポートに接続します。



関連情報

- [バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する \(P-touch Template\)](#)

バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる

- プリンターに転送したテンプレートを呼び出して印刷する (呼び出し印刷)
- プリンターに転送したテンプレートに情報を流し込んで印刷する (流し込み印刷)
- データベースにリンクされているテンプレートを印刷する (データベース検索印刷)
- 転送したテンプレートを連番 (番号) 順で印刷する (ナンバリング (連番) 印刷)
- 設定を指定するためのバーコード

▲ホーム > バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template) > バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる > プリンターに転送したテンプレートを呼び出して印刷する (呼び出し印刷)

プリンターに転送したテンプレートを呼び出して印刷する (呼び出し印刷)

事前に、頻繁に使用するテンプレートと画像をプリンターに転送します。テンプレート選択用の番号と、印刷を開始するための情報が含まれているバーコードを用意します。プリンターに接続したバーコードスキャナーでバーコードを読み取り、テンプレートを選択し印刷を開始します。

例:



- 各設定のために読み取るバーコードの詳細については、「関連情報」をご覧ください。
- グループ化したオブジェクトは変換され、画像として送信されます。
- 以下のようなバーコードは、モデルによっては利用できないことがあります。

- P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートまたはラベルレイアウトをパソコンからプリンターに転送します。

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

- 以下のバーコードを読み取ります。

P-touch Template コマンド (初期設定 + 設定開始)



Esqja3^11

- 次のバーコードリストから、各バーコードを読み取り、コマンドまたは設定をプリンターに送信します。

基本設定

オートカットあり (1 枚ごとにカット) + 最後をカットあり  ^c01011	オートカットあり (2 枚ごとにカット) + 最後をカットあり  ^c01021
オートカットなし + 最後をカットあり  ^c00001	オートカットなし + 最後をカットなし  ^c00000



- 複数のコマンドで設定を行うことができます。
- バーコードコマンドを読み取っても何も設定が行われなかった場合は、P-touch Template 設定に従ってテンプレートが印刷されます。P-touch Template 設定の初期値では、オートカットがオンの状態で 1 枚印刷されます。

P-touch Template 設定の詳細については、「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

- 印刷枚数を指定します。

- 以下のバーコードを読み取ります。

印刷枚数












^cN

- 以下のバーコードを読み取り、3 桁の数字を指定します。

例:

以下のバーコードを読み取り、番号を指定します：7枚印刷する場合は[0][0][7]、15枚印刷する場合は[0][1][5]

テンキー入力

1  1	2  2
3  3	4  4
5  5	6  6
7  7	8  8
9  9	0  0
00  00	



印刷枚数の設定を変更するには、これらの手順を繰り返します。

- 以下のバーコードの中から、目的のラベルレイアウトのキー割り当て番号と同じ番号のバーコードを読み取ります。

定型テンプレート番号

定型テンプレート 1  ^TS001^FF	定型テンプレート 2  ^TS002^FF
定型テンプレート 3  ^TS003^FF	定型テンプレート 4  ^TS004^FF
定型テンプレート 5  ^TS005^FF	定型テンプレート 6  ^TS006^FF
定型テンプレート 7  ^TS007^FF	定型テンプレート 8  ^TS008^FF

定型テンプレート 9



^TS009^FF

定型テンプレート 10



^TS010^FF

指定したラベルが印刷されます。

✓ 関連情報

- [バーコードリスト](#)を使用して P-touch Template の機能を試してみる

- [ラベルの編集をロックする](#)

関連トピック：

- [設定を指定するためのバーコード](#)
- [パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について \(Windows\)](#)

▲ホーム > バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template) > バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる > プリンターに転送したテンプレートを呼び出して印刷する (呼び出し印刷) > ラベルの編集をロックする

ラベルの編集をロックする

頻繁に使用するテンプレートが誤って編集されないようにするために、ラベルレイアウトのテキストオブジェクトを画像に変換します。ラベルレイアウトを画像に変換すると、テキストを変更できなくなります。

1. P-touch Editor のレイアウト画面でテキストオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
2. **拡張**タブをクリックして、**文字の編集を禁止する**チェックボックスを選択します。



- **拡張**タブが表示されない場合、**ツール > オプション > 全般**をクリックしてから、**その他**セクションで**オブジェクトのプロパティで拡張ページを表示**チェックボックスを選択します。
- **文字の編集を禁止する**チェックボックスを選択解除すると、オブジェクトは編集可能なテキストに再変換されます。



関連情報

- プリンターに転送したテンプレートを呼び出して印刷する (呼び出し印刷)

▲ホーム > バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template) > バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる > プリンターに転送したテンプレートに情報を流し込んで印刷する (流し込み印刷)

プリンターに転送したテンプレートに情報を流し込んで印刷する (流し込み印刷)

テンプレートをプリンターに転送します。プリンターに接続したバーコードスキャナーで読み取った情報を挿入して転送したテンプレートを印刷します。



- 各設定のために読み取るバーコードの詳細については、「関連情報」をご覧ください。
- プリンターにすでに登録されているバーコードテンプレート以外のプロトコルがバーコードで使用されている場合、バーコードの作成や印刷ができないことがあります。
- バーコードスキャナーの機種によっては、一部のバーコード記号やプロトコルがプリンターでサポートされていないことがあります。

1. P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートまたはラベルレイアウトをパソコンからプリンターに転送します。

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。



お願い

バーコードの記号やプロトコルの要件に合わせてテンプレートを作成してください。特に、ラベルサイズとラベル内のバーコード位置が、バーコードスキャナーから挿入される文字の最大数と種類に適合するようにします。挿入されたデータを含むバーコードが、ラベルの印刷可能なイメージ領域内に完全に収まらない場合、テンプレートのバーコードを作成したり読み取ったりすることはできません。

2. P-touch Transfer Manager の**転送用データセット**フォルダーにデータを転送する場合、転送したいデータが含まれているフォルダーを選択します。



転送用データセットの下にフォルダーを追加し、転送されたテンプレートをそのフォルダーにドラッグアンドドロップして、異なるテンプレートのセットを管理することができます。

テンプレートを P-touch Transfer Manager の**転送用データセット**フォルダーに転送すると、キー割り当て番号が自動的に割り当てられます。

プリンターにダウンロードしたテンプレートに、1 から 10 のキー割り当て番号を指定できます。

3. 転送されたテンプレートを選択し、**転送**をクリックしてプリンターのキー割り当て番号にテンプレートをダウンロードします。
4. 以下のバーコードを読み取ります。

P-touch Template コマンド (初期設定 + 設定開始)



[Esc]ia3^II

5. 次のバーコードリストから、各バーコードを読み取り、コマンドまたは設定をプリンターに送信します。
基本設定

オートカットあり（1枚ごとにカット）+最後にカットあり  ^c01011	オートカットあり（2枚ごとにカット）+最後にカットあり  ^c01021
オートカットなし+最後にカットあり  ^c00001	オートカットなし+最後にカットなし  ^c00000
印刷枚数  ^cN	



- 複数のコマンドで設定を行うことができます。
- バーコードコマンドを読み取っても何も設定が行われなかった場合は、P-touch Template 設定に従ってテンプレートが印刷されます。P-touch Template 設定の初期値では、オートカットがオンの状態で1枚印刷されます。
P-touch Template 設定の詳細については、「P-touch テンプレートマニュアル/コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

6. 印刷枚数を指定します。

- a. 以下のバーコードを読み取ります。

印刷枚数





- b. 以下のバーコードを読み取り、3桁の数字を指定します。

例:

以下のバーコードを読み取り、番号を指定します：7枚印刷する場合は[0][0][7]、15枚印刷する場合は[0][1][5]

テンキー入力

1  1	2  2
3  3	4  4
5  5	6  6
7  7	8  8

9  9	0  0
00  00	



印刷枚数の設定を変更するには、これらの手順を繰り返します。

7. 以下のバーコードを読み取ります。

テンプレート選択














8. 以下のバーコードの中から、印刷したいダウンロード済みテンプレートのキー割り当て番号と同じ番号（3桁）のバーコードを読み取ります。

例:

以下のバーコードを読み取り、番号を指定します：7番を印刷する場合は[0][0][7]、15番を印刷する場合は[0][1][5]

テンキー入力

1  1	2  2
3  3	4  4
5  5	6  6
7  7	8  8
9  9	0  0
00  00	

3桁の数字を読み取ると、ダウンロードしたテンプレートが選択されます。



P-touch Editor を使用して、一つのバーコードで番号を指定できるラベルを作成して印刷することができます。

例:



9. 選択したダウンロード済みテンプレートのバーコードオブジェクトに挿入したいデータが含まれるバーコードを読み取ります。

例:



10. 以下のバーコードを読み取ってコマンドを送信し、印刷を開始します。

印刷開始



印刷したテンプレート内のバーコードには、読み取ったバーコードのデータが含まれています。

例:



✓ 関連情報

- [バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる](#)

関連トピック：

- [設定を指定するためのバーコード](#)
- [パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について \(Windows\)](#)

▲ホーム > バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template) > バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる > データベースにリンクされているテンプレートを印刷する (データベース検索印刷)

データベースにリンクされているテンプレートを印刷する (データベース検索印刷)

テンプレートとテンプレートにリンクされたデータベースをプリンターに転送します。バーコードをキーワードとして使用することで、キーワードを含む値についてデータベースを検索し、検索結果を統合したテンプレートを印刷することができます。

- 各設定のために読み取るバーコードの詳細については、「関連情報」をご覧ください。
- プリンターはこの操作のために、ダウンロードしたリンクされたデータベースの左端の列 (A) を認識するため、バーコードで読み取るキーワードは、データベースのこの列にある必要があります。
- プリンターが適切にキーワードを検索するには、左端の列 (A) のデータが、バーコードで読み取られたキーワードと完全に一致する必要があります。
- P-touch Editor およびプリンターは、リンクされたデータベースの各欄の 1 行のデータしか読み取れないため、左端の列 (A) に 2 行以上のデータが含まれるデータベースを使用することはお勧めしません。

1. P-touch Editor を使用してテンプレートを作成し、データベースファイルに接続します。

- テンプレート内のテキストオブジェクトおよびバーコードオブジェクトに、必要な数の列をリンクできます。
- キーワードが左端の列 (A) に含まれていることを確認します。印刷ラベルにそのデータが不要な場合は、テンプレート内のテキストオブジェクトまたはバーコードオブジェクトを、欄 (A) にリンクさせないでください。



- 設定方法の詳細については、**P-touch Editor ヘルプメニュー**を参照してください。

2. P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートまたはラベルレイアウトをパソコンからプリンターに転送します。

詳細については、「関連情報」をご覧ください。

リンクされたデータベースファイルも転送されます。

テンプレートが P-touch Transfer Manager の**転送用データセット**フォルダーに転送されると、キー割り当て番号が自動的に割り当てられます。

- 転送用データセット**の下にフォルダーを追加し、転送されたテンプレートをそのフォルダーにドラッグアンドドロップして、異なるテンプレートのセットを管理することができます。

3. 転送されたテンプレートを選択し、**転送**をクリックしてプリンターのキー割り当て番号にテンプレートをダウンロードします。

4. 以下のバーコードを読み取ります。

P-touch Template コマンド (初期設定 + 設定開始)



5. 次のバーコードリストから、各バーコードを読み取り、コマンドまたは設定をプリンターに送信します。

基本設定

オートカットあり（1枚ごとにカット）+最後にカットあり  ^C01011	オートカットあり（2枚ごとにカット）+最後にカットあり  ^C01021
オートカットなし+最後にカットあり  ^C00001	オートカットなし+最後にカットなし  ^C00000
印刷枚数  ^CN	



- 複数のコマンドで設定を行うことができます。
- バーコードコマンドを読み取っても何も設定が行われなかった場合は、P-touch Template 設定に従ってテンプレートが印刷されます。P-touch Template 設定の初期値では、オートカットがオンの状態で1枚印刷されます。
P-touch Template 設定の詳細については、「P-touch テンプレートマニュアル/コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

6. 印刷枚数を指定します。

- a. 以下のバーコードを読み取ります。

印刷枚数



- b. 以下のバーコードを読み取り、3桁の数字を指定します。

例:

以下のバーコードを読み取り、番号を指定します：7枚印刷する場合は[0][0][7]、15枚印刷する場合は[0][1][5]

テンキー入力

1  1	2  2
3  3	4  4
5  5	6  6
7  7	8  8

9  9	0  0
00  00	



印刷枚数の設定を変更するには、これらの手順を繰り返します。

7. 以下のバーコードを読み取ります。

テンプレート選択














8. 以下のバーコードの中から、印刷したいダウンロード済みテンプレートのキー割り当て番号と同じ番号（3桁）のバーコードを読み取ります。

例:

以下のバーコードを読み取り、番号を指定します：7番を印刷する場合は[0][0][7]、15番を印刷する場合は[0][1][5]

テンキー入力

1  1	2  2
3  3	4  4
5  5	6  6
7  7	8  8
9  9	0  0
00  00	

3桁の数字を読み取ると、ダウンロードしたテンプレートが選択されます。



P-touch Editor を使用して、一つのバーコードで番号を指定できるラベルを作成して印刷することができます。

例:



9. ダウンロードしたデータベース内で検索するキーワードが含まれているバーコードを読み取ります。

例:



10. 以下のバーコードを読み取ってコマンドを送信し、読み取ったキーワードについて、ダウンロードしたデータベースの検索を開始します。

区切り



11. 以下のバーコードを読み取ってコマンドを送信し、印刷を開始します。

印刷開始



P-touch Editor を使用して、一つのバーコードで番号を指定できるラベルを作成して印刷することができます。

例:



読み取ったキーワードで検出したデータベースの値から挿入されたデータを含むテンプレートが印刷されます。



関連情報

- [バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる](#)

関連トピック:

- [設定を指定するためのバーコード](#)
- [パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について \(Windows\)](#)

▲ホーム > バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template) > バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる > 転送したテンプレートを連番 (番号) 順で印刷する (ナンバリング (連番) 印刷)

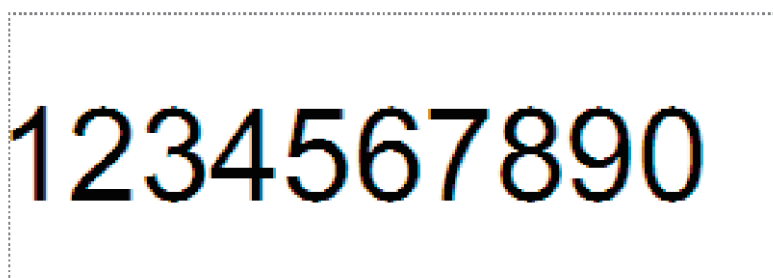
転送したテンプレートを連番 (番号) 順で印刷する (ナンバリング (連番) 印刷)

ダウンロードしたテンプレートの印刷時に、テキストの数字またはバーコードを最大 999 まで増やすことができます。印刷時に増分させるテキストオブジェクトまたはバーコードオブジェクトを選択します。

- >> テキストナンバリング (連番)
- >> バーコードナンバリング (連番)
- >> ナンバリング (連番) の高度な操作を使用する

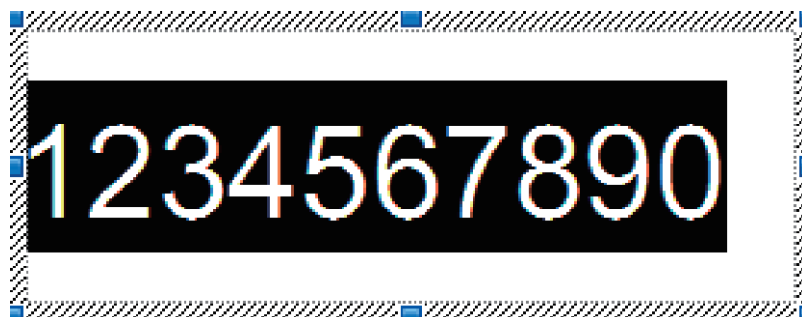
テキストナンバリング (連番)

1. P-touch Editor を使用してテンプレートを作成するか開いて、印刷時に増分させるテキストオブジェクトを選択します。



2. 増分させるテキストオブジェクト内を強調表示するか、数字や文字の上でカーソルでドラッグさせます (最大 15 個)。

選択した部分がナンバリング範囲となります。



3. ナンバリング範囲を右クリックして、**ナンバリング(連番)**オプションを選択します。

バーコードナンバリング (連番)

1. P-touch Editor を使用してテンプレートを作成するか開いて、印刷時に増分させるバーコードオブジェクトを選択します。
2. バーコードオブジェクトを右クリックして、**プロパティ**を選択します。
バーコードプロパティ画面が表示されます。

バーコードのプロパティ

入力 規格 設定 配置 拡張

規格: CODE39 ナンバリング(連番)(N)

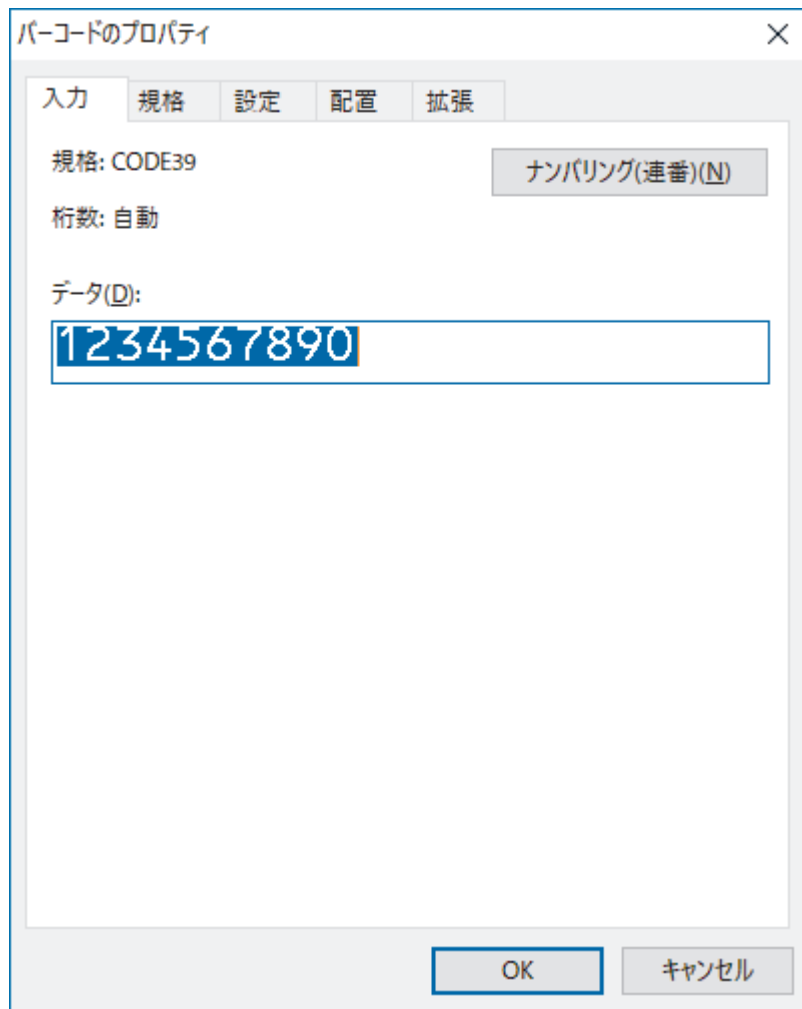
桁数: 自動

データ(D):

1234567890

OK キャンセル

3. 増分させるバーコードオブジェクト内を強調表示するか、数字や文字の上でカーソルでドラッグさせます (最大 15 個)。
選択した部分がナンバリング範囲となります。



数字や文字の部分を強調表示すると、**ナンバリング(連番)**ボタンが有効になります。

4. **ナンバリング(連番)**ボタンをクリックして、**OK** をクリックします。

ナンバリング (連番) の高度な操作を使用する

1. P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートまたはラベルレイアウトをパソコンからプリンターに転送します。

詳細については、「関連情報」をご覧ください。

2. 以下のバーコードを読み取ります。

ナンバリング印刷枚数



3. 以下のバーコードを読み取り、印刷したい枚数を設定します (3 桁)。

例:

5 枚印刷したい場合は、[0][0][5]のバーコードを読み取り、3 桁の数字を指定します
テンキー入力



3  3	4  4
5  5	6  6
7  7	8  8
9  9	0  0
00  00	

4. P-touch Template モードの基本的な操作手順に従って、印刷を開始します。



- ラベルが印刷されるごとに、ナンバリング欄の数字または文字が1つずつ増加し、そのカウントはプリンターに恒久的に保存されます。
- テキストオブジェクトまたはバーコードオブジェクトをリセットし元の値に戻すには、以下のバーコードを読み取ります。

テンプレートデータ初期化



✓ 関連情報

- バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる

関連トピック：

- 設定を指定するためのバーコード
- パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について (Windows)

設定を指定するためのバーコード



- この一覧のバーコードを使用する場合は、次の設定を行います。
 - プリンター：P-touch Template 設定ツールで、**印刷開始トリガ**と**プレフィックス文字オプション**をお買い上げ時の設定に設定します。
 - バーコードスキャナー：すべての接頭文字と接尾文字を削除します。
- バーコードスキャナーがバーコードを正しく読み取り、必要なラベルを印刷できるように、バーコードは高解像度で印刷してください。

P-touch Template コマンド (初期設定 + 設定開始)






Esjia3^II

基本設定

オートカットあり (1枚ごとにカット) + 最後をカットあり  <p style="text-align: center;">^C01011</p>	オートカットあり (2枚ごとにカット) + 最後をカットあり  <p style="text-align: center;">^C01021</p>
オートカットなし + 最後をカットあり  <p style="text-align: center;">^C00001</p>	オートカットなし + 最後をカットなし  <p style="text-align: center;">^C00000</p>
印刷枚数  <p style="text-align: center;">^CN</p>	











テンキー入力

印刷枚数設定、テンプレート番号選択時に使用します。[0][0][7]、[0][1][5]のように3桁になるように読み取ってください。3桁の数字が指定されると設定が適用されます。設定を変更するには、印刷枚数を変更する場合は「印刷枚数」バーコード、テンプレート番号を変更する場合は「テンプレート選択」バーコードを再度読み取ってから、新しい3桁の数字のバーコードを読み取ってください。

1  <p style="text-align: center;">1</p>	2  <p style="text-align: center;">2</p>
3  <p style="text-align: center;">3</p>	4  <p style="text-align: center;">4</p>
5  <p style="text-align: center;">5</p>	6  <p style="text-align: center;">6</p>

7  7	8  8
9  9	0  0
00  00	

- 定型テンプレート番号

定型テンプレート 1  ^TS001^FF	定型テンプレート 2  ^TS002^FF
定型テンプレート 3  ^TS003^FF	定型テンプレート 4  ^TS004^FF
定型テンプレート 5  ^TS005^FF	定型テンプレート 6  ^TS006^FF
定型テンプレート 7  ^TS007^FF	定型テンプレート 8  ^TS008^FF
定型テンプレート 9  ^TS009^FF	定型テンプレート 10  ^TS010^FF

- テンプレート選択



- ナンバリング印刷枚数



- 区切り



- テンプレートデータ初期化



^ID

- 印刷開始



^FF



関連情報

- [バーコードリスト](#)を使用して P-touch Template の機能を試してみる

プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows)

- P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows)
- P-touch Transfer Manager を使用せずに、転送するテンプレートをユーザーに配布する (Windows)

P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows)

- [P-touch Transfer Manager の使用に関する注意事項 \(Windows\)](#)
- [パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について \(Windows\)](#)
- [プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータをバックアップする \(Windows\)](#)
- [プリンターのデータを削除する \(Windows\)](#)
- [転送ファイルと転送パッケージファイルを作成する \(Windows\)](#)

P-touch Transfer Manager の使用に関する注意事項 (Windows)

P-touch Editor の一部の機能はプリンターで使用できない機能もあるため、P-touch Editor を使用してテンプレートを作成するときは、以下の点を考慮してください。

作成したテンプレートは、プリンターに転送する前にプレビューできます。

テンプレートの作成

- プリンターに転送されるテンプレート内のテキストの一部は、プリンターに搭載されている類似のフォントと文字サイズで印刷される場合があります。このため、印刷されたラベルが P-touch Editor で作成したテンプレートのイメージとは異なる場合があります。
フォントの置き換えを防ぐには、プリンターに既にインストールされているフォントを選択するか、または使用するフォントをプリンターに転送します。
フォントの転送方法については、support.brother.co.jp でお使いのモデルのよくあるご質問 (Q&A) ページにアクセスしてください。
- テキストオブジェクト設定によっては、文字サイズが自動的に縮小されたり、一部のテキストが印刷されなかったりする場合があります。このような場合は、テキストオブジェクト設定を変更してください。
- P-touch Editor では個々の文字に書式を設定することができますが、プリンターではテキストのブロックにのみ書式を適用できます。また、一部の文字書式はプリンターでは対応していません。
- 上記のケースの他にも、P-touch Editor 上のラベル画像と異なる印刷結果が生じる要因がいくつかあります。詳細については、support.brother.co.jp にアクセスしてよくあるご質問 (Q&A) をご覧ください。
- P-touch Editor で指定した背景は、プリンターでは対応していません。
- P-touch Editor の分割印刷機能 (ラベルを拡大して、それを複数のラベルに印刷する機能) を使用したレイアウトは転送できません。
- 印刷可能範囲内のラベルの部分のみが印刷されます。

テンプレートの転送

- 印刷されたラベルは、P-touch Transfer Manager のプレビューで表示されたイメージと異なる場合があります。
- プリンターに搭載されていない QR コード以外の 2 次元バーコードをプリンターに転送すると、画像に変換されます。変換されたバーコードの画像は編集できません。
- プリンターで編集できないオブジェクトが転送されると、すべて画像に変換されます。
- グループ化されたオブジェクトは、ひとつのビットマップデータに変換されます。

テンプレート以外のデータ転送

データベース内の欄の数や順序を変更し、その更新のためにデータベース (CSV ファイル) だけを転送すると、データベースがテンプレートと正しくリンクされない場合があります。さらに、転送ファイル内のデータの最初の行は、「欄名」としてプリンターに認識させる必要があります。

✓ 関連情報

- [P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する \(Windows\)](#)

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について (Windows)

パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について (Windows)

テンプレートやその他のデータをプリンターに転送し、データのバックアップをパソコンに保存することができます。

P-touch Transfer Manager を使用するには、P-touch Editor で作成したテンプレートを P-touch Transfer Manager に転送しておく必要があります。

✓ 関連情報

- [P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する \(Windows\)](#)
 - [P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する \(Windows\)](#)
 - [P-touch Transfer Manager のメイン画面 \(Windows\)](#)
 - [パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する \(Windows\)](#)

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について (Windows) > P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)

P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)

1. P-touch Editor  を起動します。

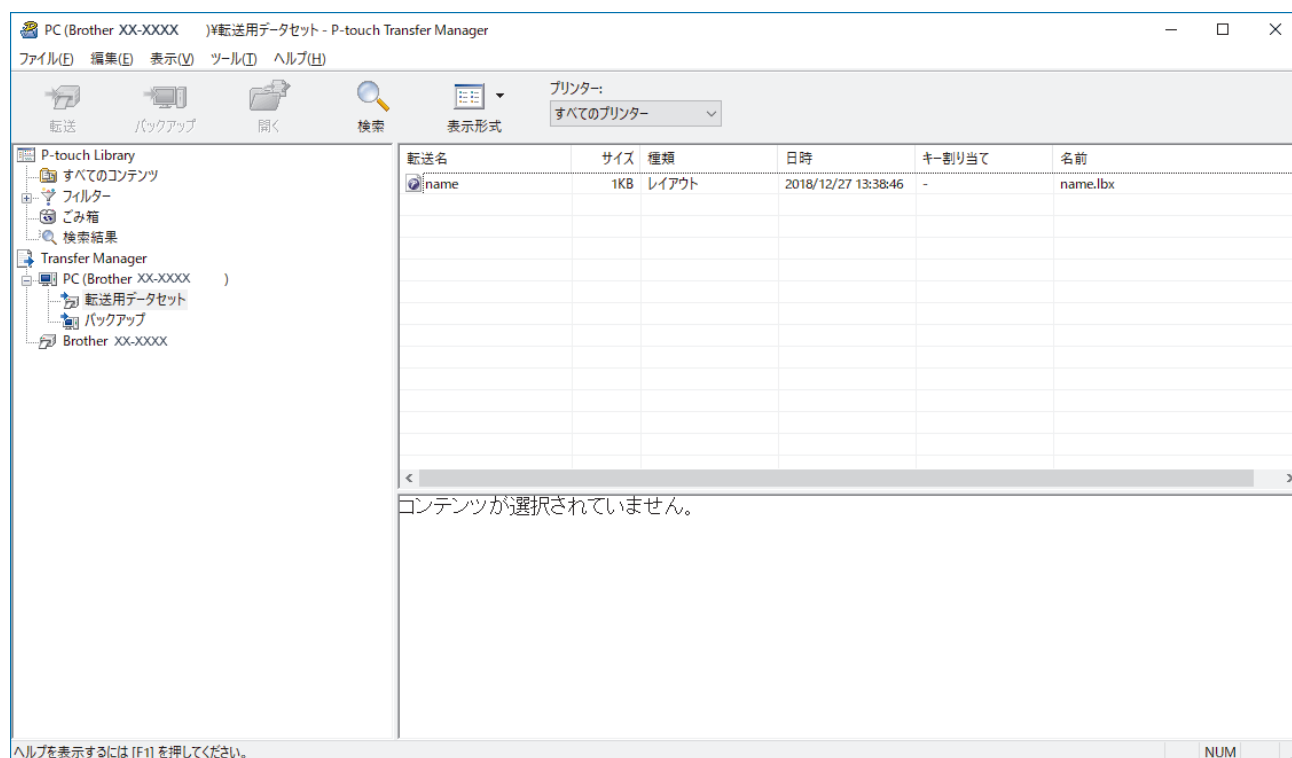
スタート > Brother P-touch > P-touch Editor をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor アイコンをダブルクリックします。

お願い

パソコンのオペレーティングシステムによっては、ブラザー P-touch フォルダが作成される場合とされない場合があります。

2. テンプレートを開くか、レイアウトを作成します。
3. **ファイル > テンプレートの転送 > 転送** をクリックします。

P-touch Transfer Manager の画面が表示されます。テンプレートが**転送用データセット**フォルダに転送されます。

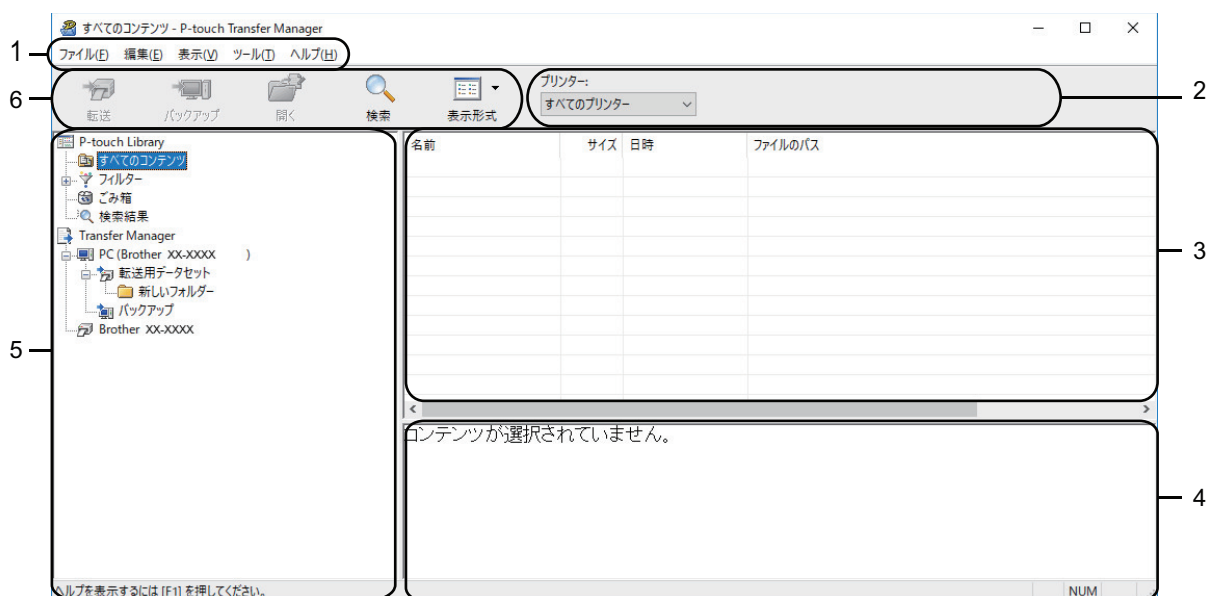


✓ 関連情報

- パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について (Windows)

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について (Windows) > P-touch Transfer Manager のメイン画面 (Windows)

P-touch Transfer Manager のメイン画面 (Windows)



1. メニューバー

機能に応じて各メニュータイトル（ファイル、編集、表示、ツール、ヘルプメニュー）の下にグループ分けされたさまざまなコマンドにアクセスできます。

2. プリンター選択

データを転送するプリンターを選択できます。プリンターを選択すると、選択したプリンターに送信できるデータのみがデータリストに表示されます。

3. テンプレート一覧

選択したフォルダー内にあるテンプレートの一覧が表示されます。

4. プレビュー

テンプレート一覧内のテンプレートのプレビューが表示されます。


5. フォルダー一覧




フォルダーとプリンターの一覧が表示されます。フォルダーを選択すると、選択したフォルダー内のテンプレートがテンプレート一覧に表示されます。プリンターを選択すると、プリンターに保存されている現在のテンプレートとその他のデータが表示されます。

6. ツールバー

頻繁に使用するコマンドにアクセスできます。

ツールバーアイコン

アイコン	ボタン名	機能
	転送	パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送します。
	転送ファイル保存 (プリンターに接続されていない場合)	他のアプリケーションに転送されるデータのファイル形式を変更します。 マスタストレージモード (USB) を使用してラベルを印刷するときや、BRAdmin Professional (LAN または Wi-Fi)、MobileDeploy (LAN または Wi-Fi)、LabelCLT (LAN または Wi-Fi) または Mobile Transfer Express (Wi-Fi) を使用してデータを転送するとき、ファイル名の拡張子として BLF を選択します。 Transfer Express (USB) を使用してデータを転送するときは、 PDZ を選択します。


アイコン	ボタン名	機能
		利用可能なインターフェースはお使いの機種によって異なります。
	バックアップ	プリンターに保存されているテンプレートとその他のデータを取得し、パソコンに保存します。
	開く	選択したテンプレートを開きます。
	検索	P-touch Library に登録されているテンプレートやその他のデータを検索できます。
	表示形式	ファイルの表示形式を変更します。

✓ 関連情報


- ・ [パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について \(Windows\)](#)

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について (Windows) > パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)

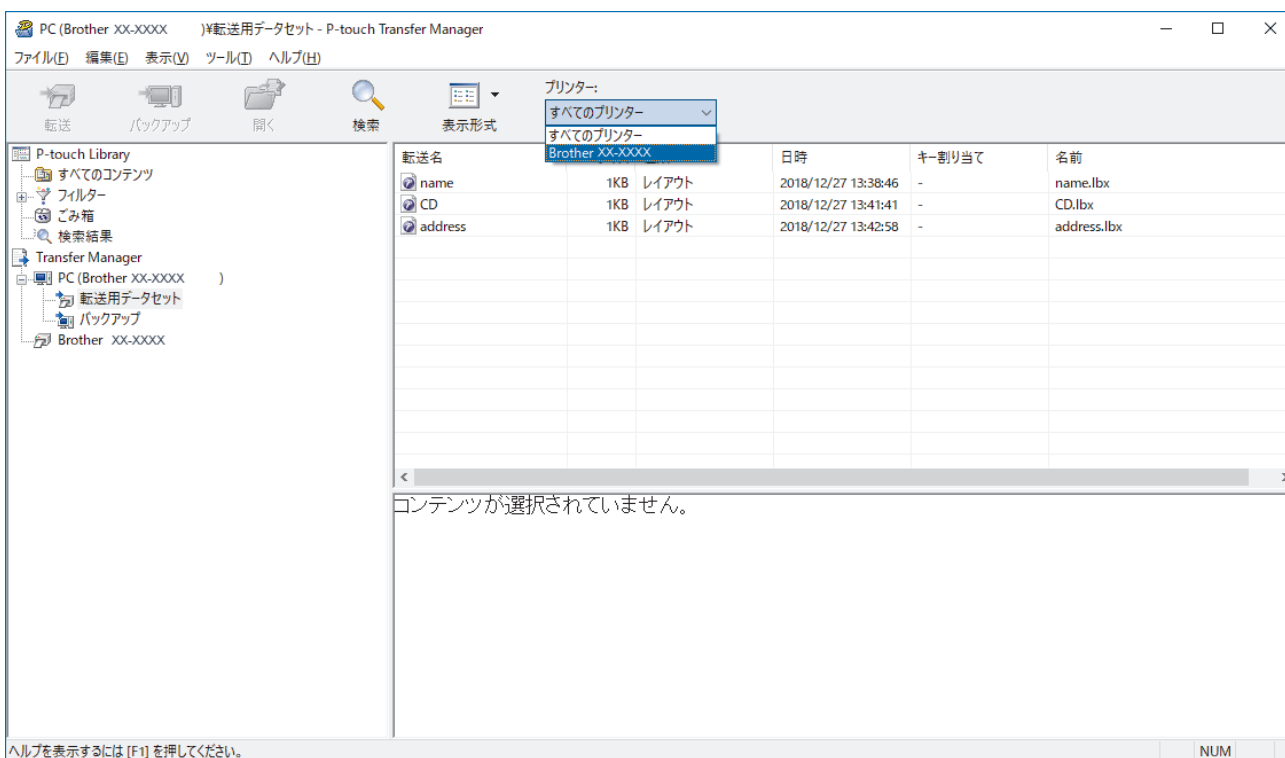
パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)

 モバイル端末からプリンターにテンプレートを転送するには、「関連情報」をご覧ください。

1. USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続し、プリンターの電源をオンにします。
フォルダー表示のプリンターアイコンの横に、プリンターの機種名が表示されます。
フォルダー表示でプリンターを選択すると、プリンターに保存されている現在のテンプレートとその他のデータが表示されます。

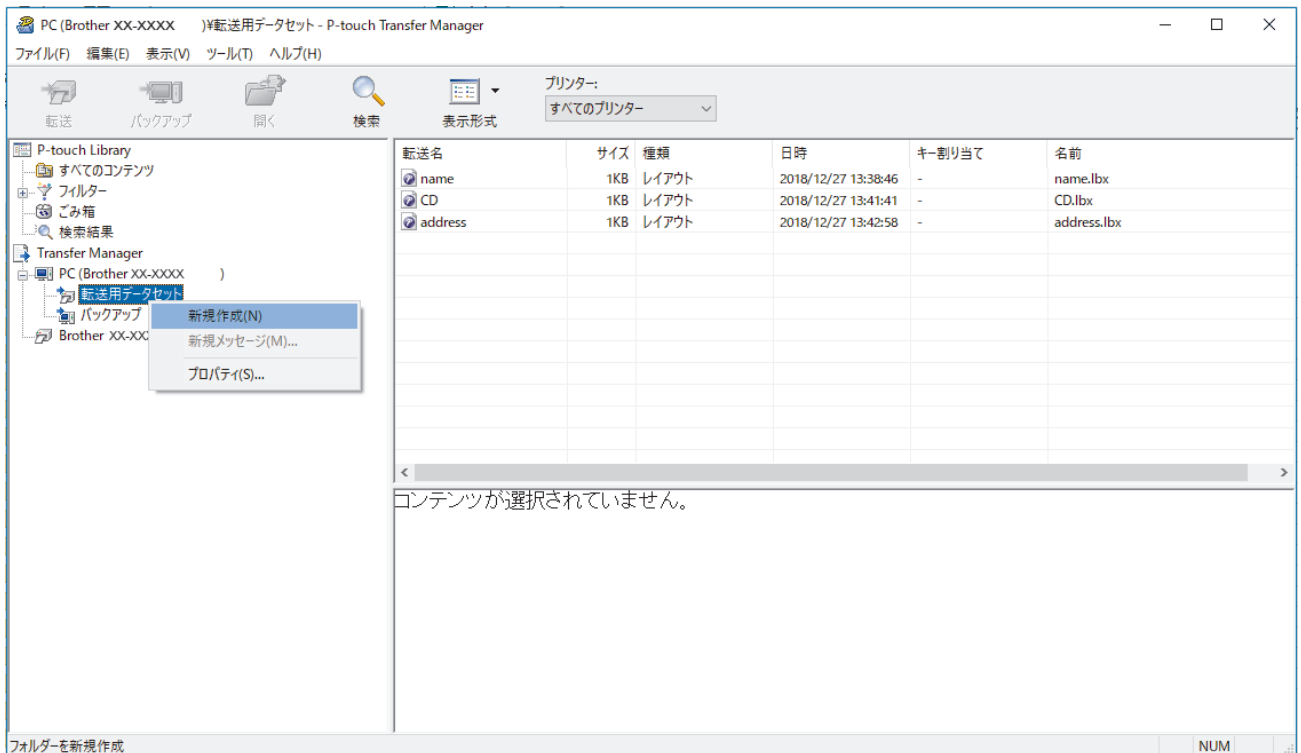
 プリンターが接続されていないか、オフラインの場合、フォルダー表示にそれらのデータは表示されません。

2. テンプレートやその他のデータを転送するプリンターを選択します。



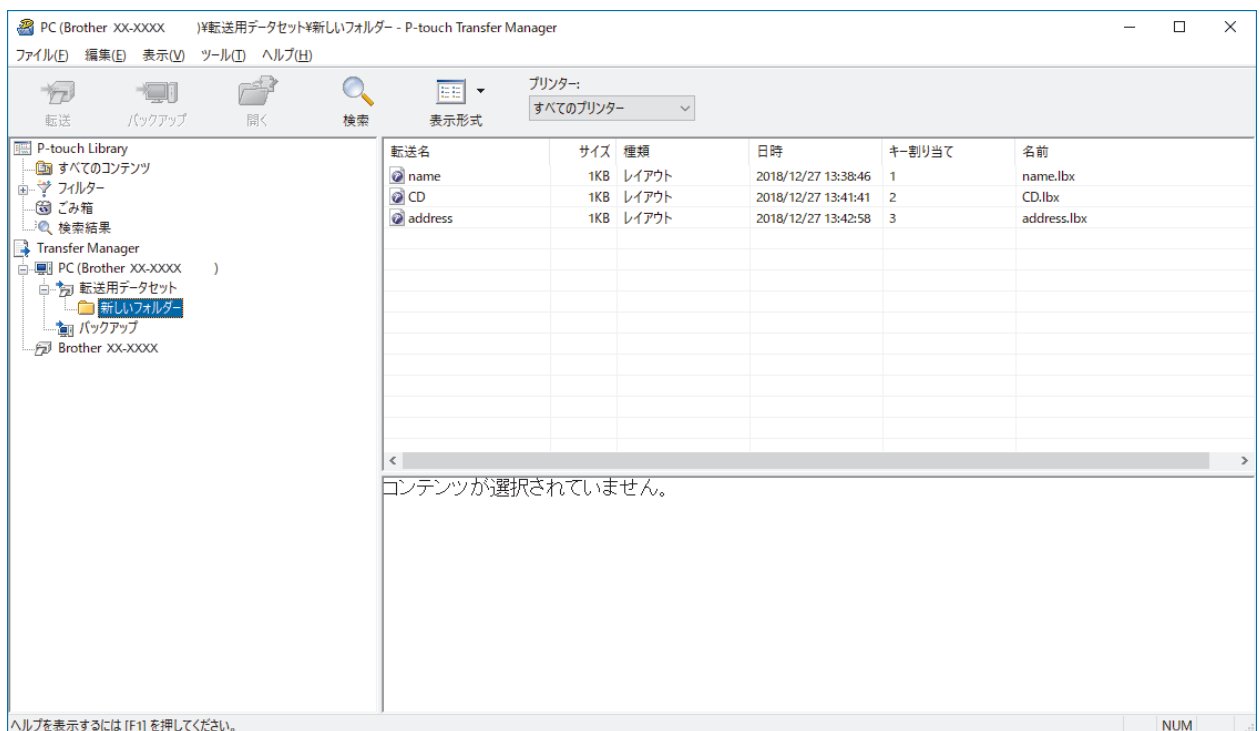
転送名	サイズ	レイアウト	日時	キー割り当て	名前
name	1KB	レイアウト	2018/12/27 13:38:46	-	name.lbx
CD	1KB	レイアウト	2018/12/27 13:41:41	-	CD.lbx
address	1KB	レイアウト	2018/12/27 13:42:58	-	address.lbx

3. 転送用データセットフォルダーを右クリックし、**新規作成**を選択して、新しいフォルダーを作成します。



4. 次のいずれかを行います。

- 転送するテンプレートやその他のデータをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。
- 複数のテンプレートやその他のデータを転送するには、転送するファイルをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。ファイルを新しいフォルダーに入れると、各ファイルにキー割り当て番号（プリンター内のメモリー位置）が割り当てられます。



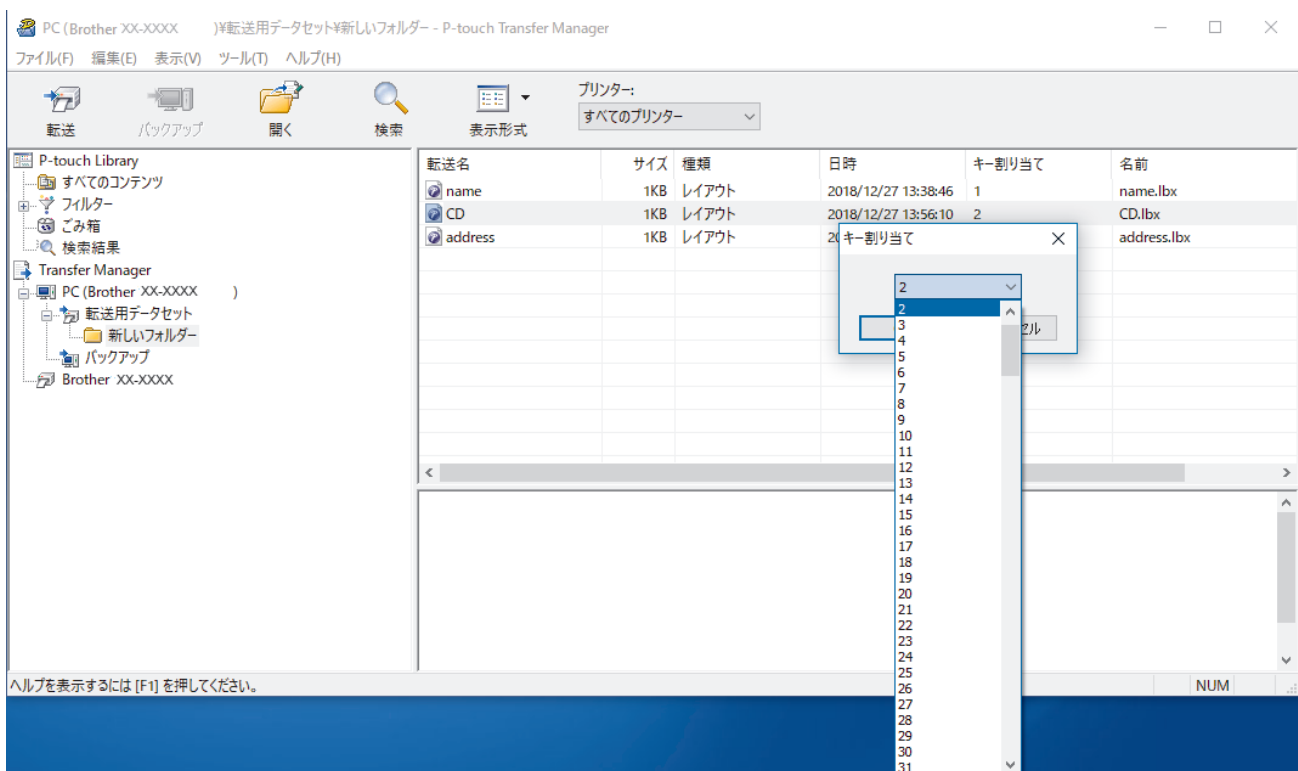
データの種類	転送可能な項目の最大数	制限の詳細
テンプレート	255	<ul style="list-style-type: none"> 各テンプレートには、最大で 255 個のオブジェクトを含めることができます。 各オブジェクトには、最大 7 行を含めることができます。
データベース	255	<ul style="list-style-type: none"> CSV ファイルのみを転送できます。

データの種類	転送可能な項目の最大数	制限の詳細
		<ul style="list-style-type: none"> 各 CSV ファイルには、最大で 100 の列と 65000 の行を含めることができます。
画像（ユーザー定義文字）	255	<ul style="list-style-type: none"> *.bmp ファイルのみを転送できます。 モノクロの*.bmp ファイルを使用することをお勧めします。 サイズ制限は 1296 x 1296 ピクセルです。 幅広の画像は端が切り取られる可能性があります。



- 印刷設定レポートを印刷して、転送ファイルメモリー内の空き容量を確認できます。空き容量については、レポートの **Available memory (使用可能なメモリ)** を参照してください。 **Available memory: ****B (使用可能なメモリ)** に表示される空き容量は、実際に使用可能な容量と異なる場合があります。
- 以下の項目を選択すると、テンプレートとその他のデータを表示することができます。
 - 転送用データセットフォルダー内のフォルダー
 - すべてのコンテンツ
 - フィルターの下のいずれかのカテゴリー（レイアウトなど）

- 項目に割り当てられたキー割り当て番号を変更するには、項目を右クリックし、**キー割り当てメニュー**を選択して、希望のキー割り当て番号を選択します。



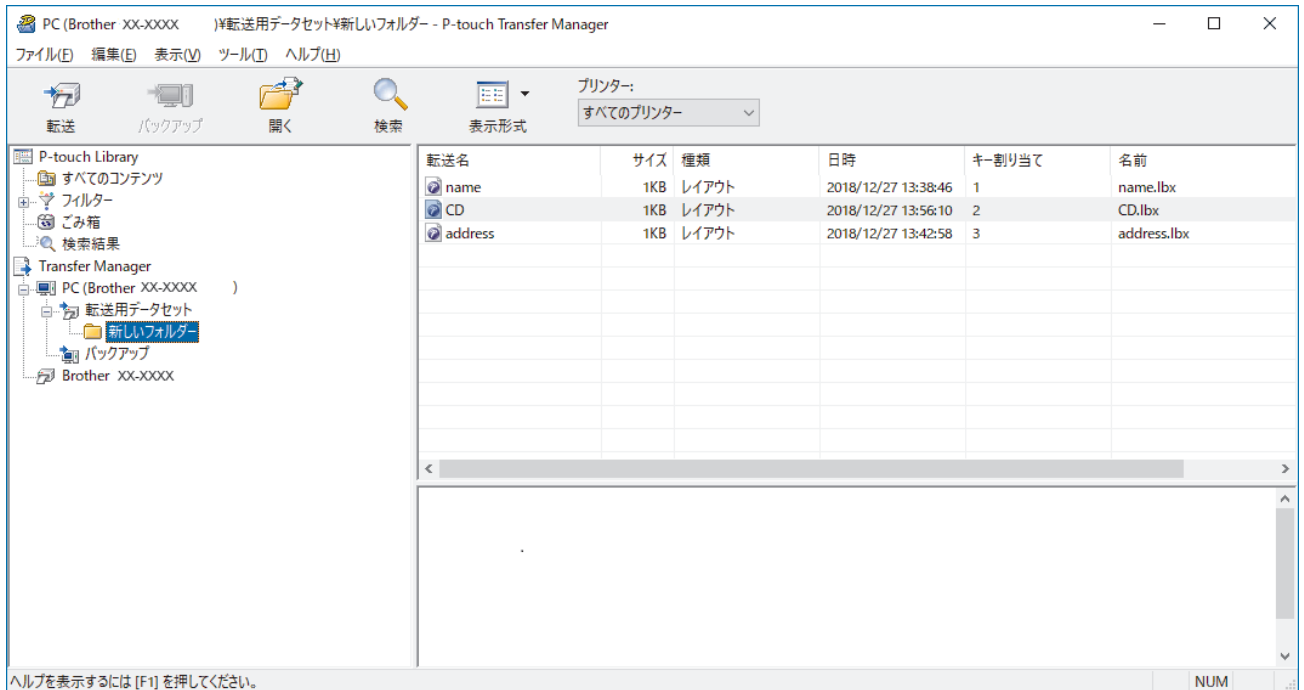
- データベース内のデータを除いて、プリンターに転送されるすべてのデータにキー番号が割り当てられます。
- プリンターに転送されるテンプレートまたはその他のデータに、プリンターにすでに保存されている別のテンプレートと同じキー番号が割り当てられると、新しいテンプレートで古いテンプレートを上書きします。テンプレートやその他のデータをバックアップすることで、プリンターに保存されている割り当て済みのテンプレートのキー番号を確認できます。
- プリンターのメモリーがいっぱいになった場合は、プリンターのメモリーから 1 つまたは複数のテンプレートを削除してください。

- 転送するテンプレートやその他のデータの名前を変更するには、変更したい項目をクリックして、新しい名前を入力します。

機種によっては、テンプレート名に使用する文字数が制限されている場合があります。

7. プリンターの[本体設定] > [ホーム画面設定] > [リスト画面] (または[タッチ画面]) で、リスト画面またはタッチ画面のいずれかが選択されていることを確認します。

転送するテンプレートまたはその他のデータが含まれているフォルダーを選択し、**転送**をクリックします。



確認メッセージが表示されます。



- 項目をフォルダーに追加せずに、個々の項目をプリンターに転送することもできます。転送するテンプレートまたはその他のデータを選択し、**転送**をクリックします。
- 1回の操作で複数の項目とフォルダーを選択して転送できます。

8. **OK** をクリックします。

選択した項目がプリンターに転送されます。

✓ 関連情報

- スタンドアロン印刷
- バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)
- パソコンからプリンターへのテンプレートの転送について (Windows)

関連トピック:

- パソコンで作成したテンプレートをモバイル端末を使用してプリンターに転送する
- プリンターの設定を確認する

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータをバックアップする (Windows)

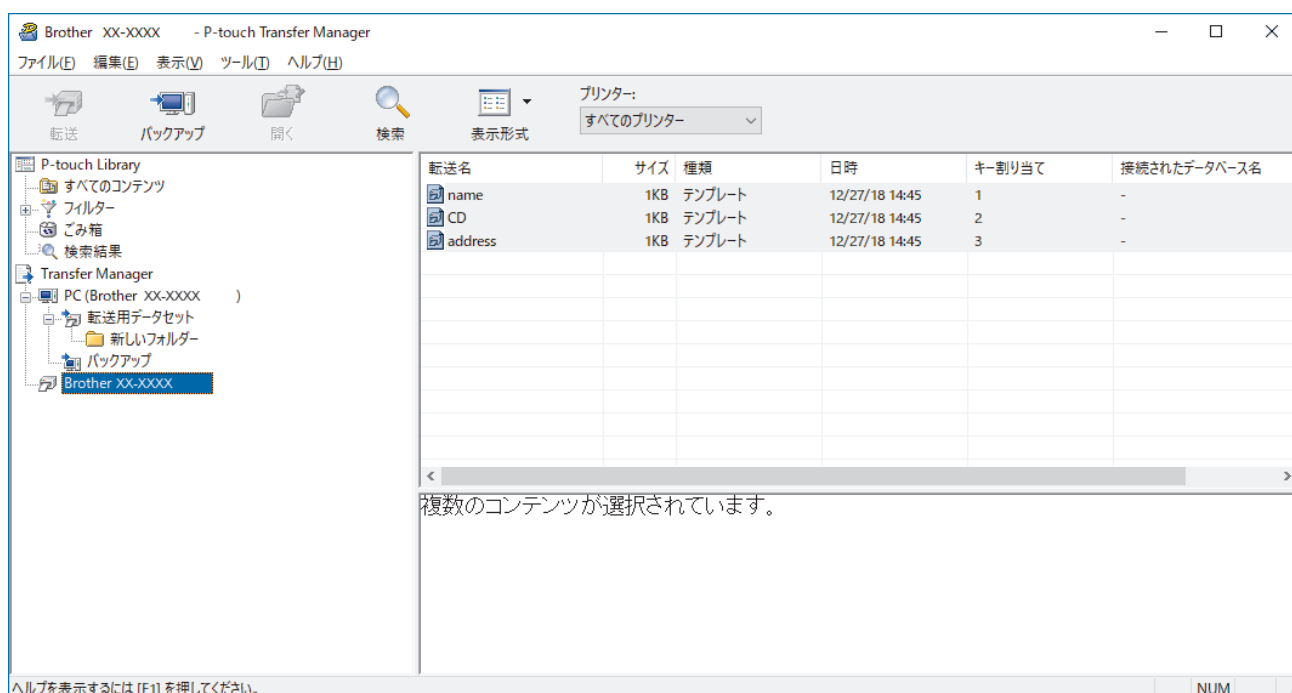
プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータをバックアップする (Windows)

- バックアップされたテンプレートやその他のデータは、パソコン上で編集することはできません。
- プリンターの機種によっては、バックアップされたテンプレートやデータを、異なる機種間で転送できない場合があります。

1. パソコンをプリンターに接続し、プリンターの電源をオンにします。

フォルダー表示のプリンターアイコンの横に、プリンターの機種名が表示されます。フォルダー表示でプリンターを選択すると、プリンターに保存されている現在のテンプレートとその他のデータが表示されます。

2. バックアップするプリンターを選択し、**バックアップ**をクリックします。



確認メッセージが表示されます。

3. **OK** をクリックします。

新しいフォルダーがフォルダー表示のプリンターの下に作成されます。フォルダー名はバックアップの日時に基づいて付けられます。プリンターのテンプレートやその他のデータは、すべて新しいフォルダーに転送され、パソコンに保存されます。

✓ 関連情報

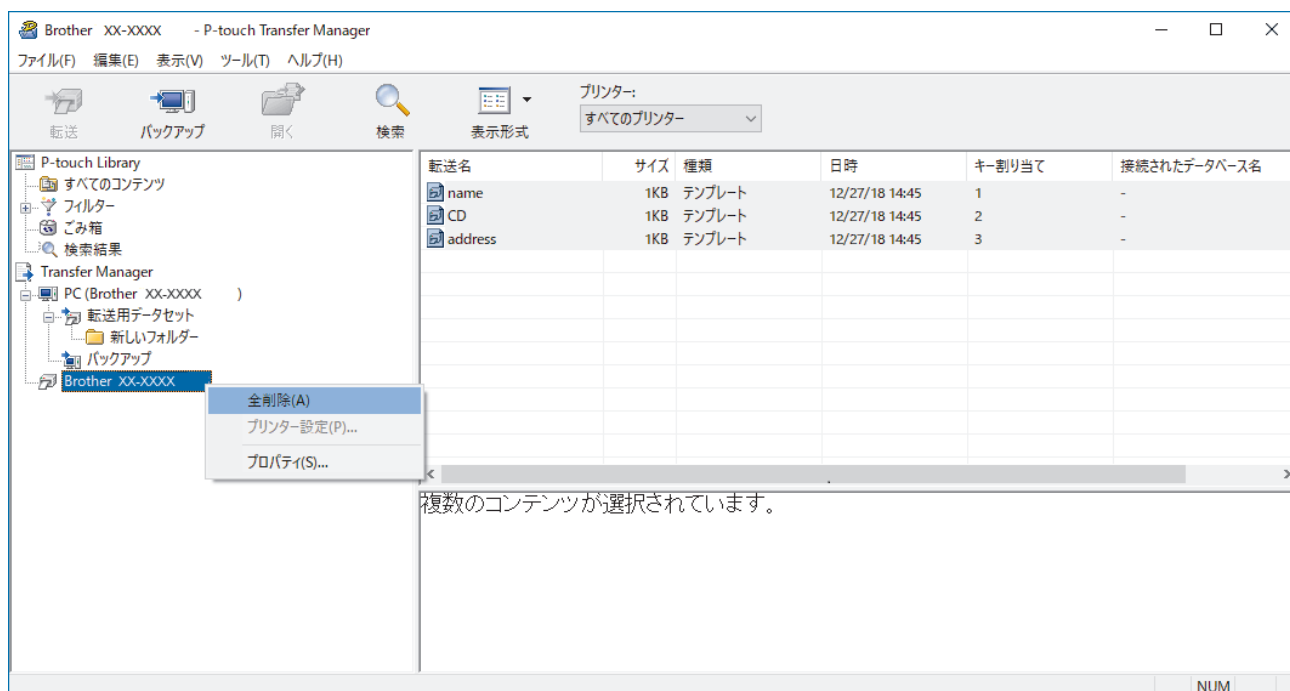
- [P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する \(Windows\)](#)

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > プリンターのデータを削除する (Windows)

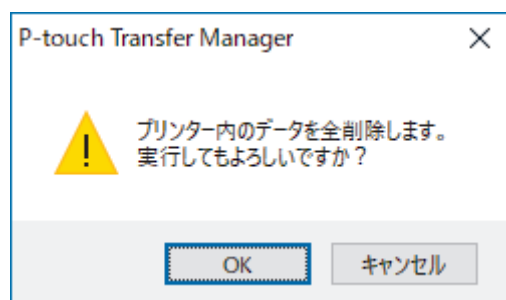
プリンターのデータを削除する (Windows)

プリンターに保存されたすべてのテンプレートとその他のデータを削除するには、以下の操作を行います。

1. パソコンをプリンターに接続し、プリンターの電源をオンにします。
フォルダー表示のプリンターアイコンの横に、プリンターの機種名が表示されます。
2. プリンターを右クリックし、**全削除**メニューを選択します。



確認メッセージが表示されます。



3. **OK** をクリックします。
プリンターに保存されたすべてのテンプレートとその他のデータが削除されます。

✓ 関連情報

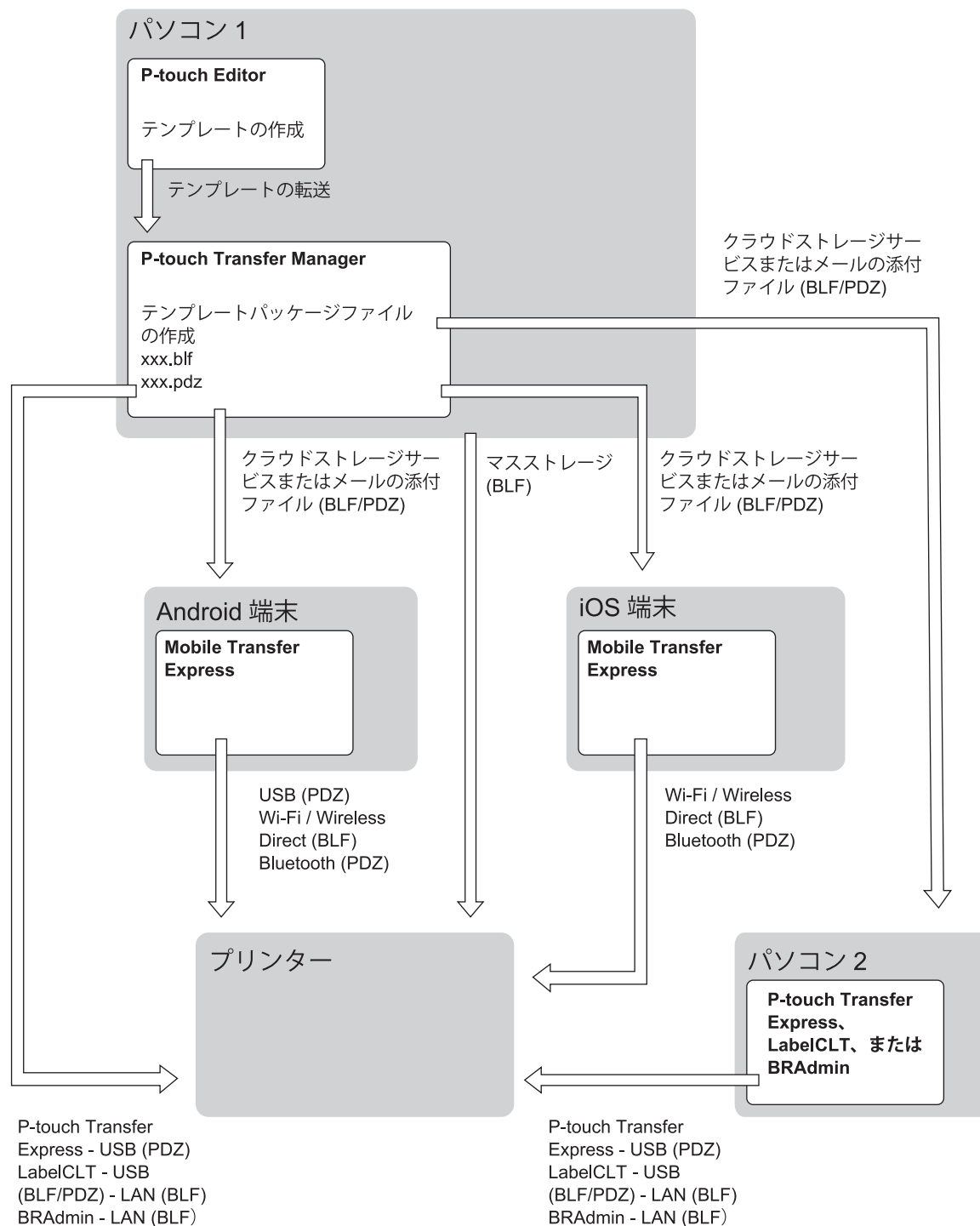
- [P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する \(Windows\)](#)

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > 転送ファイルと転送パッケージファイルを作成する (Windows)

転送ファイルと転送パッケージファイルを作成する (Windows)

P-touch Editor で作成されたテンプレートデータを、P-touch Transfer Manager を使用して BLF 形式または PDZ 形式で保存し、この形式のファイルをパソコンまたはモバイル端末からプリンターに転送します。

また、マストレージモードを使用して、BLF 形式でファイルを印刷することもできます。



テンプレート転送方法	ファイル形式
モバイル端末から (Mobile Transfer Express を使用)	USB を使用 PDZ

テンプレート転送方法		ファイル形式
	Wi-Fi を使用 (TD-2350D)	BLF
	Wireless Direct を使用 (TD-2350D)	BLF
	Bluetooth を使用	PDZ
	マスのストレージ	BLF
パソコンから	P-touch Transfer Express	PDZ
	マスのストレージ	BLF

1. P-touch Editor を使用してテンプレートを作成し、P-touch Transfer Manager に転送します。



- 詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。
- 新しいテンプレートを転送するときは、現在使用されていないキー割り当て番号を（P-touch Transfer Manager で）指定してください。指定したキー割り当て番号がすでに使用されている場合、既存のテンプレートが新しいテンプレートで上書きされます。

2. プリンターをパソコンに接続せずに、P-touch Transfer Manager 画面で**転送用データセット**フォルダーを選択し、保存するテンプレートを選択します。



同時に複数のテンプレートを選択できます。

3. **ファイル > 転送ファイル保存**をクリックします。

お願い

転送ファイル保存ボタンは、プリンターがパソコンから切断されているか、オフラインの場合に表示されません。



- **転送用データセット**を選択した後に**転送ファイル保存**ボタンをクリックすると、フォルダー内のすべてのテンプレートが転送ファイル（BLF）または転送パッケージファイル（PDZ）として保存されます。
- 複数のテンプレートを単一の転送ファイル（BLF）または転送パッケージファイル（PDZ）にまとめることができます。

4. **ファイルの種類**欄でテンプレート形式を選択し、名前を入力してテンプレートを保存します。



関連情報

- [P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する \(Windows\)](#)

関連トピック：

- [P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する \(Windows\)](#)

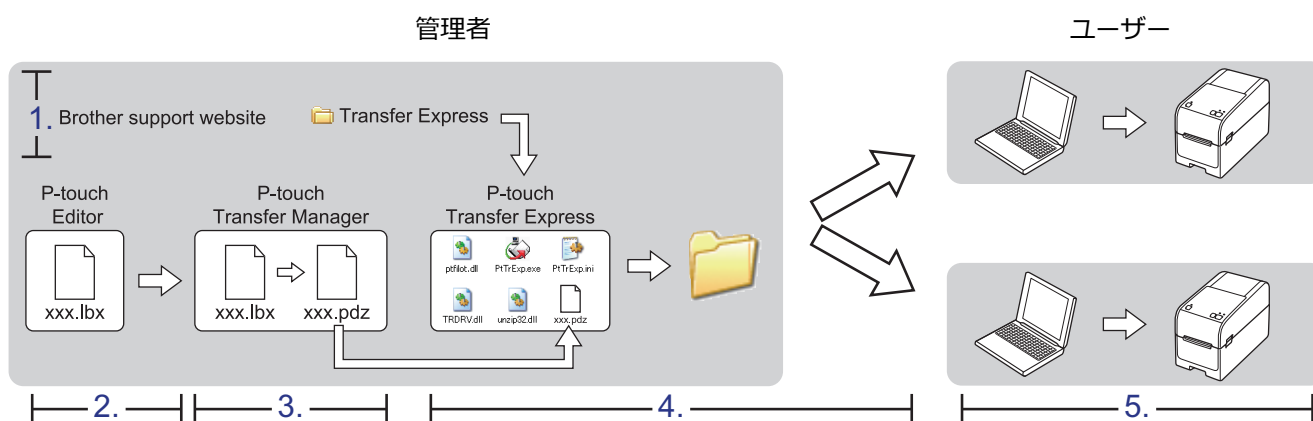
P-touch Transfer Manager を使用せずに、転送するテンプレートをユーザーに配布する (Windows)

P-touch Transfer Express を使用してテンプレートをプリンターに転送します。

P-touch Transfer Express の最新バージョンをダウンロードするには、サポートサイト (support.brother.co.jp) でお使いの機種種のソフトウェアダウンロードページにアクセスしてください。



- 新しいテンプレートを転送するときは、現在使用されていないキー割り当て番号を (P-touch Transfer Manager で) 指定してください。指定したキー割り当て番号がすでに使用されている場合、既存のテンプレートが新しいテンプレートで上書きされます。
- この機能を利用するには、USB 接続が必要です。



- >> 管理者の作業
- >> ユーザーの作業

管理者の作業

- >> P-touch Transfer Express を準備する
- >> P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する
- >> テンプレートを転送パッケージファイル (PDZ) として保存する
- >> 転送パッケージファイル (PDZ) と P-touch Transfer Express を他のユーザーに配布する

P-touch Transfer Express を準備する

P-touch Transfer Express を使用する前に、プリンタードライバーをインストールする必要があります。

1. パソコンの任意の場所に P-touch Transfer Express をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイル (ZIP) を解凍します。

P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する

1. P-touch Editor  を起動します。

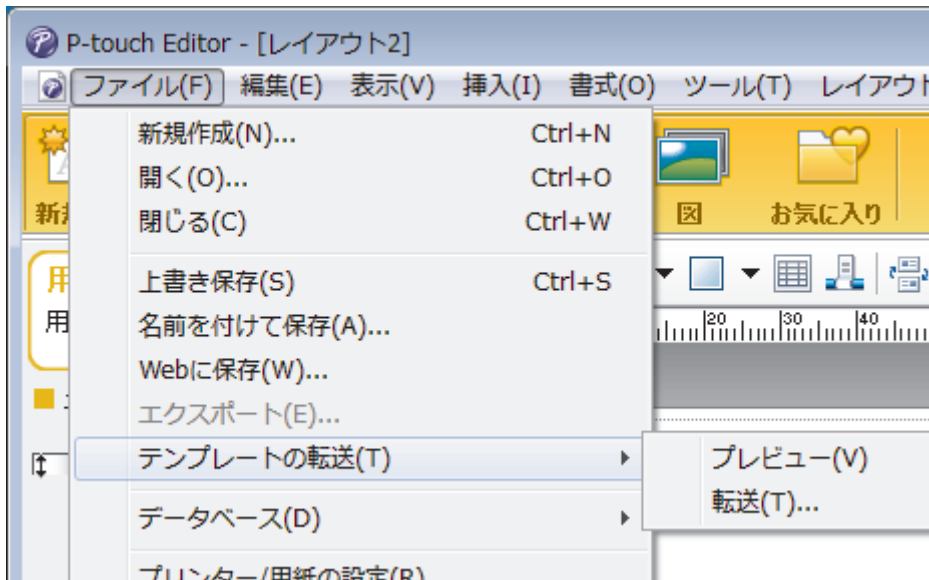
スタート > Brother P-touch > P-touch Editor をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor アイコンをダブルクリックします。

お願い

パソコンのオペレーティングシステムによっては、ブラザー P-touch フォルダが作成される場合とされない場合があります。

2. テンプレートを開きます。

3. **ファイル > テンプレートの転送 > 転送**をクリックします。



テンプレートが P-touch Transfer Manager に転送されます。P-touch Transfer Manager が起動します。

テンプレートを転送パッケージファイル (PDZ) として保存する

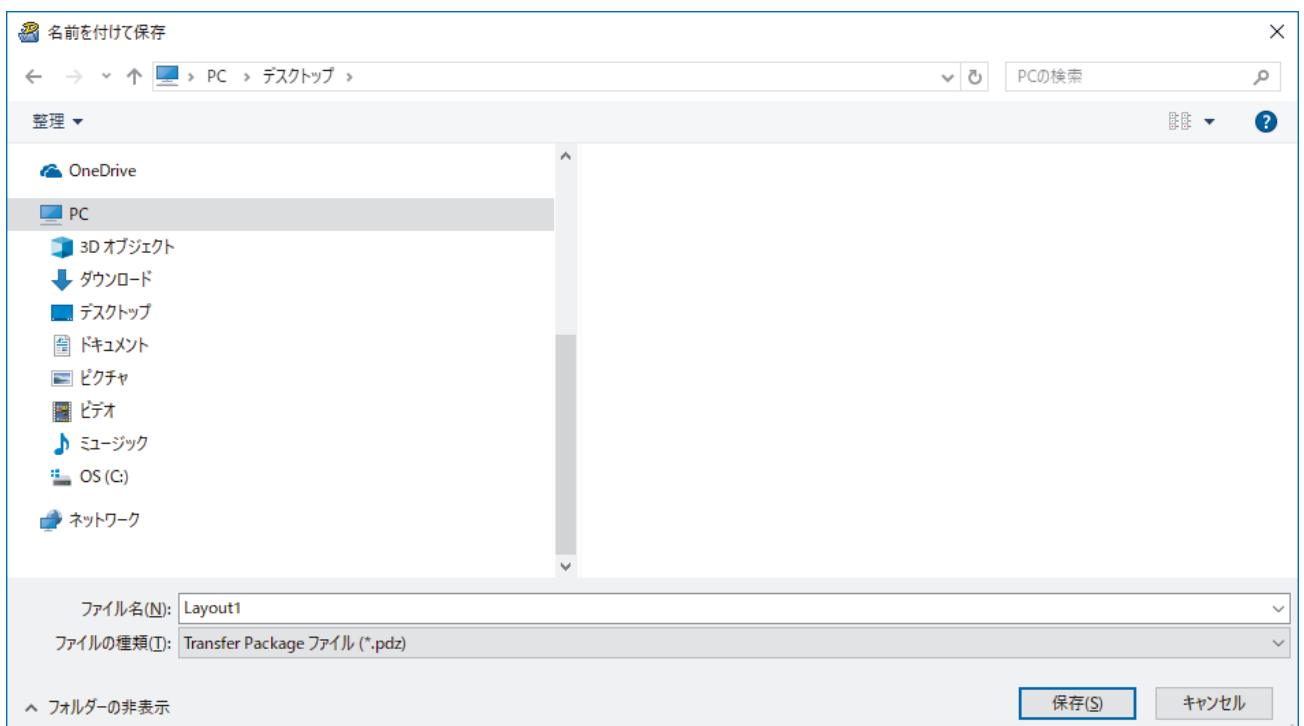
P-touch Transfer Express で使用可能な形式でファイルを作成するために、テンプレートを転送パッケージファイル (PDZ) として保存します。

1. P-touch Transfer Manager の画面で**転送用データセット**フォルダーを選択します。
2. 配布するテンプレートを選択します。
3. **ファイル > 転送ファイル保存**をクリックします。



- **転送ファイル保存**オプションは、プリンターがパソコンから切断されているか、オフラインの場合にのみ表示されます。
- **転送用データセット**フォルダーまたは作成したフォルダーを選択した後に**転送ファイル保存**オプションをクリックすると、フォルダー内のすべてのテンプレートが転送パッケージファイル (PDZ) として保存されます。
- 複数のテンプレートをひとつの転送パッケージファイル (PDZ) にまとめることができます。

4. 名前を入力して、**保存**をクリックします。



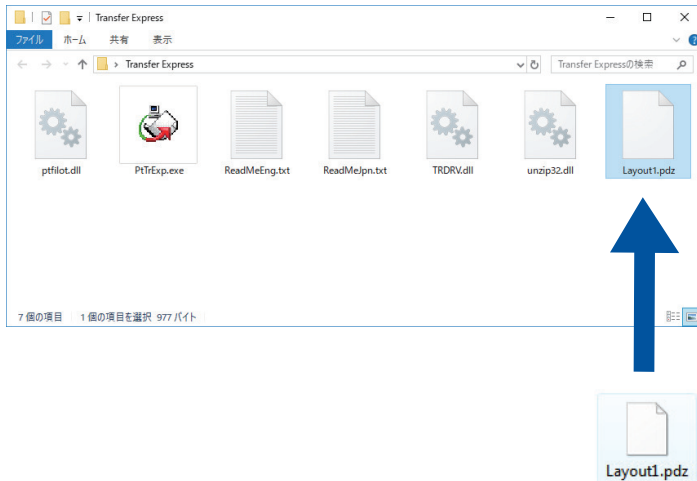
テンプレートが転送パッケージファイル（PDZ）として保存されます。

転送パッケージファイル（PDZ）と P-touch Transfer Express を他のユーザーに配布する



P-touch Transfer Express をすでにダウンロードしている場合、管理者が Transfer Express フォルダを送信する必要はありません。この場合、ユーザーは配布された転送パッケージファイルを、ダウンロードしたフォルダに移動して、**PtTrExp.exe** ファイルをダブルクリックするだけで実行できます。

1. 転送パッケージファイル（PDZ）をダウンロードフォルダに移動します。



2. ダウンロードフォルダ内のすべてのファイルを他のユーザーへ配布します。

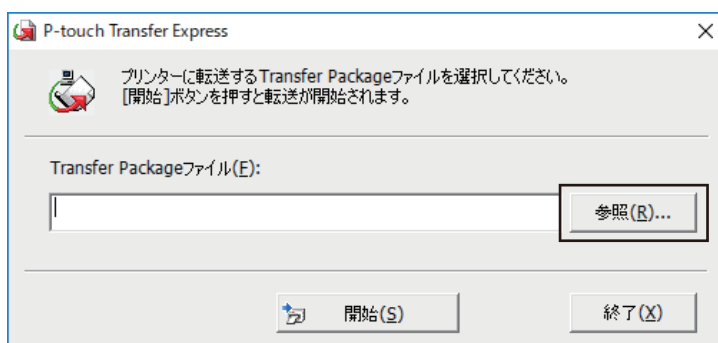
ユーザーの作業

転送パッケージファイル（PDZ）をプリンターに転送する




テンプレートの転送時に電源をオフにしないでください。

1. プリンターの電源をオンにします。
2. USB ケーブルを使用して、プリンターをパソコンに接続します。
3. 管理者から受け取った **PtTrExp.exe** ファイルをダブルクリックします。
4. 次のいずれかを行います。
 - **PtTrExp.exe** ファイルを含むフォルダ内に転送パッケージファイル（PDZ）がひとつあり、それを転送する場合は**開始**をクリックします。
 - **PtTrExp.exe** ファイルを含むフォルダ内に複数の転送パッケージファイル（PDZ）があり、それらを転送するには以下の操作を行います。
 - a. **参照**をクリックします。



- b. 転送する転送パッケージファイルを選択し、**開く**をクリックします。
- c. **開始**をクリックします。

-
- d. **はい**をクリックします。
5. 完了したら、**OK**をクリックします。

 **関連情報**

- [プリンターにテンプレートを転送する \(P-touch Transfer Manager\) \(Windows\)](#)
-

テンプレートを保存して管理する (P-touch Library)

- P-touch Library を使用してテンプレートを編集する (Windows)
- P-touch Library を使用してテンプレートを印刷する (Windows)
- P-touch Library を使用してテンプレートを検索する (Windows)

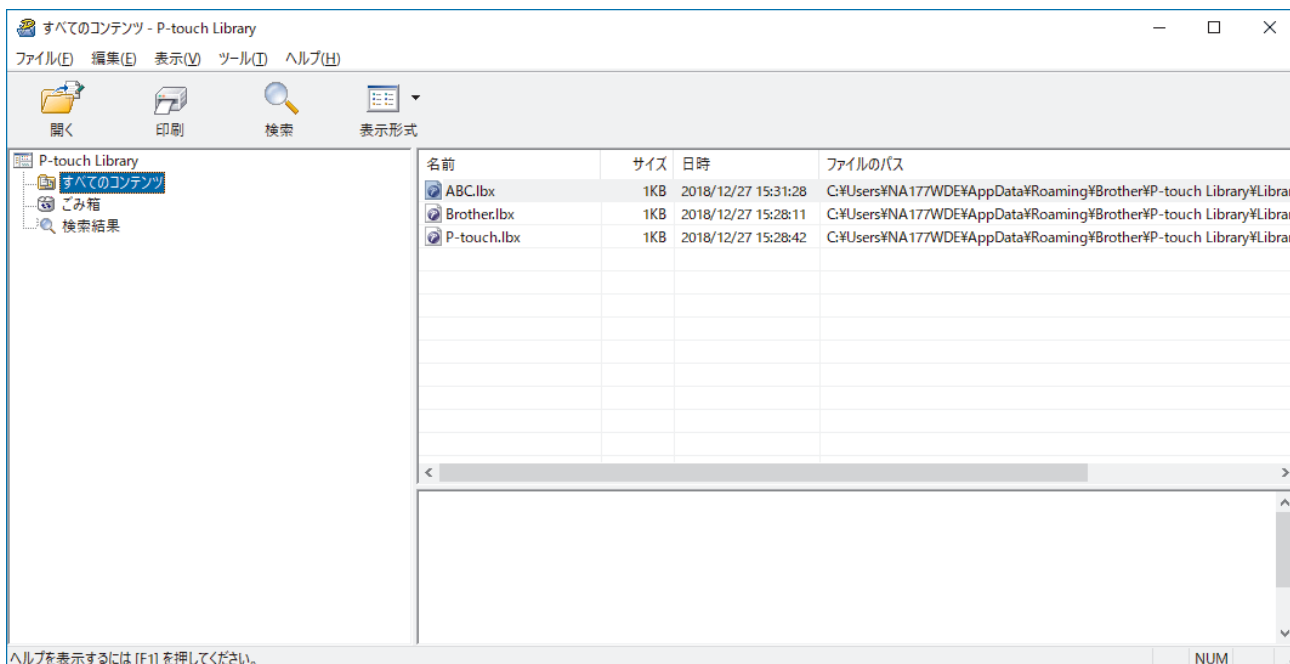
P-touch Library を使用してテンプレートを編集する (Windows)

1. P-touch Library を開始します。

スタート > Brother P-touch > P-touch Library をクリックします。

*パソコンのオペレーティングシステムによっては、ブラザー P-touch フォルダが作成される場合とされない場合があります。

メイン画面が表示されます。



ツールバーアイコンの概要

アイコン	ボタン名	機能
	開く	クリックして、選択したテンプレートを開きます。
	印刷	クリックして、選択したテンプレートを印刷します。
	検索	クリックして、P-touch Library に登録されているテンプレートを検索します。
	表示形式	クリックして、ファイルの表示形式を変更します。

2. 編集するテンプレートを選択して、**開く**をクリックします。

テンプレートを編集できるようになりました。

✓ 関連情報

- テンプレートを保存して管理する (P-touch Library)

▲ ホーム > テンプレートを保存して管理する (P-touch Library) > P-touch Library を使用してテンプレートを印刷する (Windows)

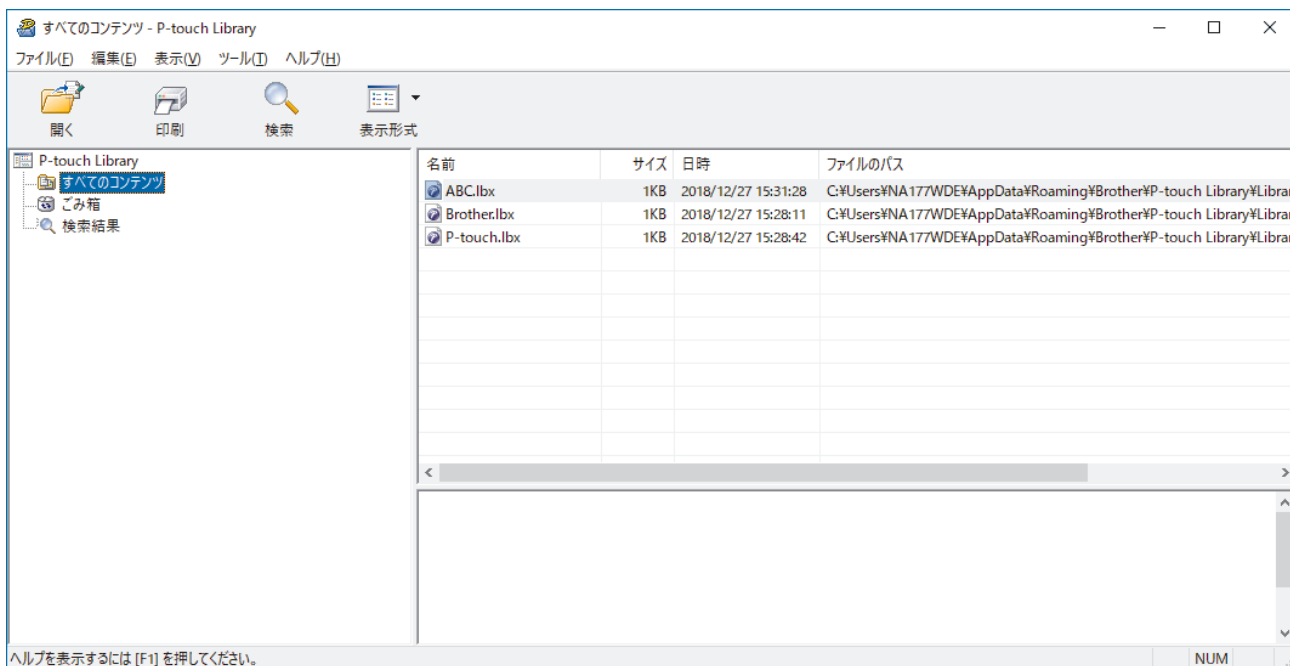
P-touch Library を使用してテンプレートを印刷する (Windows)

1. P-touch Library を開始します。

スタート > Brother P-touch > P-touch Library をクリックします。

*パソコンのオペレーティングシステムによっては、ブラザー P-touch フォルダが作成される場合とされない場合があります。

メイン画面が表示されます。



2. 印刷するテンプレートを選択して、**印刷**をクリックします。

接続されているプリンターでテンプレートが印刷されます。

✓ 関連情報

- テンプレートを保存して管理する (P-touch Library)

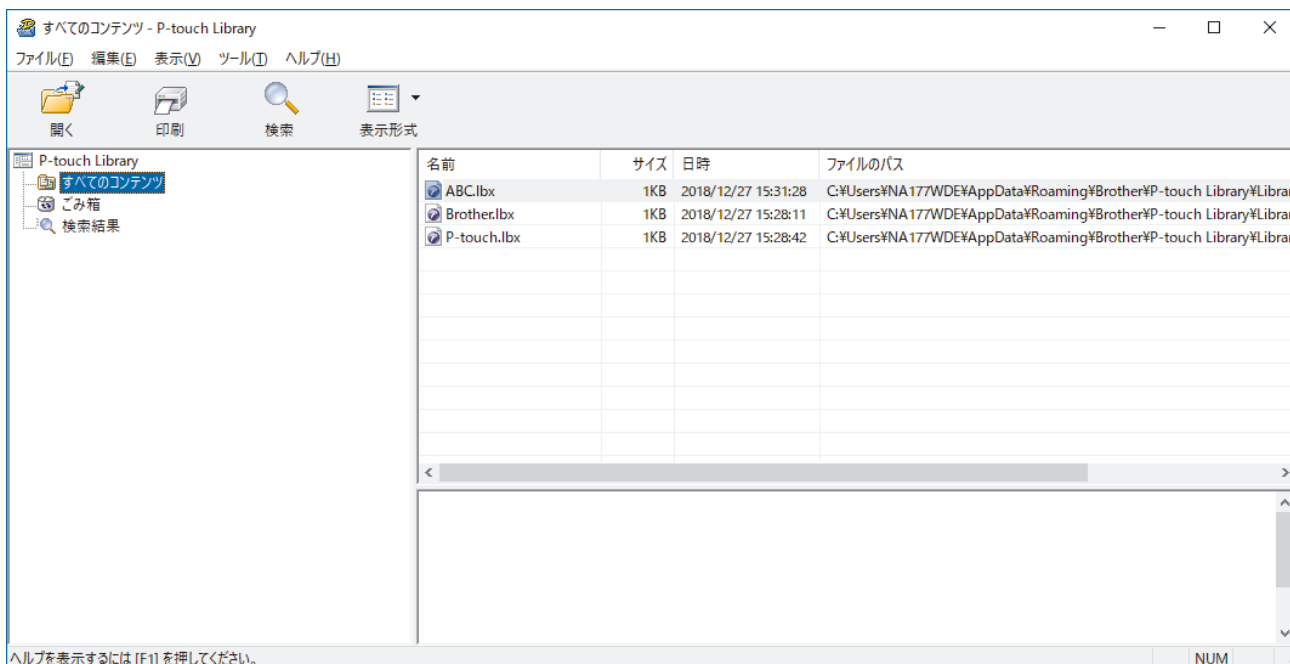
P-touch Library を使用してテンプレートを検索する (Windows)

1. P-touch Library を開始します。

スタート > Brother P-touch > P-touch Library をクリックします。

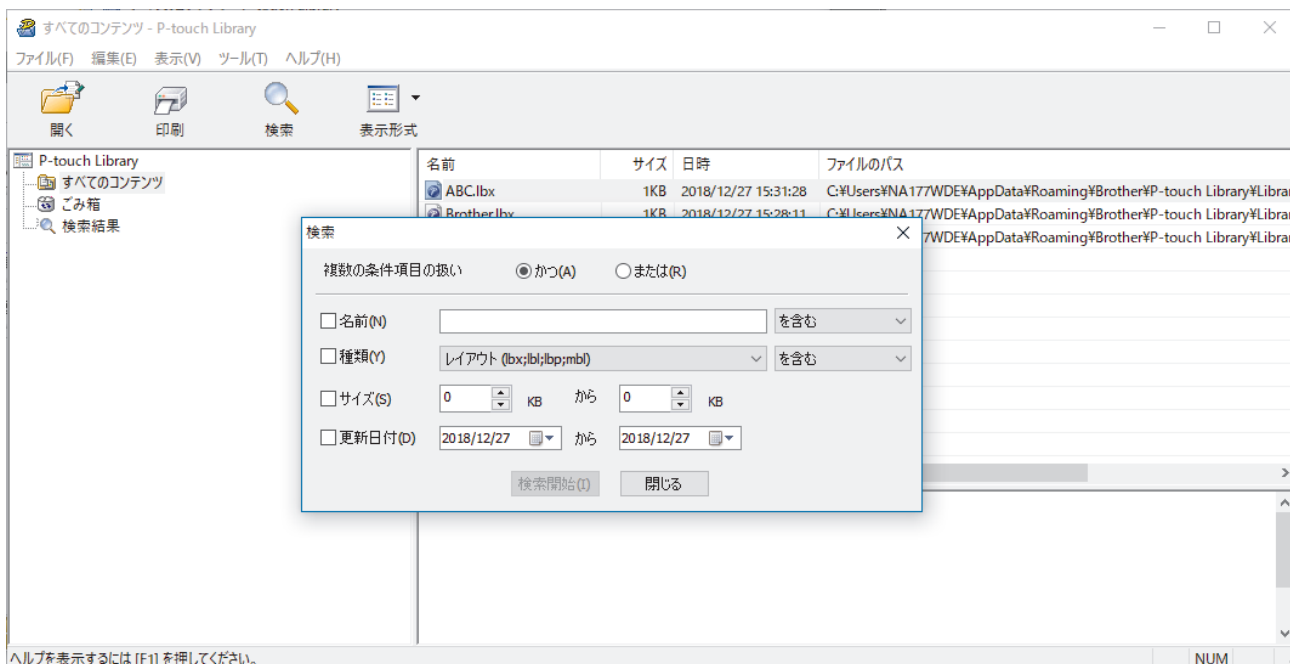
*パソコンのオペレーティングシステムによっては、ブラザー P-touch フォルダが作成される場合とされない場合があります。

メイン画面が表示されます。



2. 検索をクリックします。

検索ダイアログボックスが表示されます。



3. 検索条件を指定します。

以下の検索条件を使用できます。

設定	詳細
複数の条件項目の扱い	複数の条件が指定されている場合に、どのように検索が行われるかを決定します。 かつ を選択すると、すべての

設定	詳細
	条件を満たすファイルが検索されます。 または を選択すると、いずれかの条件を満たすファイルが検索されます。
名前	ファイルの名前を指定してテンプレートを検索します。
種類	ファイルの種類を指定してテンプレートを検索します。
サイズ	ファイルのサイズを指定してテンプレートを検索します。
更新日付	ファイルの日付を指定してテンプレートを検索します。

4. **検索開始**をクリックします。
検索が開始され、検索結果が表示されます。
5. **検索ダイアログボックス**を閉じます。
検索結果を確認するには、フォルダー表示で**検索結果**をクリックします。



テンプレートを**すべてのコンテンツ**フォルダーまたはフォルダー一覧にドラッグ&ドロップして、P-touch Library に登録できます。



関連情報

- [テンプレートを保存して管理する \(P-touch Library\)](#)

ネットワーク

- [セキュリティに関する重要情報](#)
- [無線ネットワーク設定](#)
- [ネットワーク機能](#)
- [ブラザー管理ツール](#)
- [Web Based Management](#) を使用してプリンターの設定を変更する

セキュリティに関する重要情報

- 本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「PwD」と表示されています。不正アクセスから本製品を保護するために、デフォルトパスワードを直ちに変更することをお勧めします。
- 本製品の有線・無線 LAN インターフェースは、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。
本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由し接続してください。
- 無線 LAN は、電波の届く範囲であれば、自由に LAN 接続が可能になります。一方で、セキュリティーに関する設定を適切に行わないと、悪意のある第三者が電波を傍受し、下記の様な問題が発生する可能性があります。
 - 個人情報や機密情報を取り出す
 - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する

✓ 関連情報

- ネットワーク

無線ネットワーク設定

関連モデル: TD-2350D

- 無線ネットワークを使用する
- Wi-Fi を有効/無効にする

無線ネットワークを使用する

関連モデル: TD-2350D

- 無線ネットワークに本製品を設定する前に

無線ネットワークに本製品を設定する前に

関連モデル: TD-2350D

無線ネットワークを設定する前に、以下の点を確認してください。

- エンタープライズ無線ネットワークを使用している場合、ユーザー ID とパスワードを知っておく必要があります。
- 通常の文書印刷で最適な結果を得るには、障害物が最小限になるように、プリンターをできるだけ無線 LAN アクセスポイントルーターの近くに置いてください。本製品と無線 LAN アクセスポイントルーターとの間に大きな障害物や壁があったり、他の電子機器からの干渉があると、印刷する文書のデータ転送速度に影響を与える可能性があります。
こうした要因により、無線は必ずしもあらゆるタイプの文書やアプリケーションに最適な接続方法とは限りません。
- 無線 LAN は、電波の届く範囲であれば、自由に LAN 接続が可能になります。一方で、セキュリティに関する設定を適切に行わないと、悪意のある第三者が電波を傍受し、下記の様な問題が発生する可能性があります。
 - 個人情報や機密情報を取り出す
 - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する



無線 LAN ルーター/アクセスポイントのネットワーク名 (SSID) とネットワークキー (パスワード) を確認してください。この情報が見つからない場合は、無線 LAN ルーター/アクセスポイントの製造元、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。弊社がこの情報を提供することはできません。

✓ 関連情報

- [無線ネットワークを使用する](#)

Wi-Fi を有効/無効にする

関連モデル: TD-2350D

1. **Menu** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、次のように選択します。
 - a. [無線 LAN] を選択します。 **OK** を押します。
 - b. [オン/オフ] を選択します。 **OK** を押します。
3. ▲ または ▼ を押して、以下のいずれかを選択します。
 - [オン] を選択して Wi-Fi を有効にします。 **OK** を押します。
 - [オフ] を選択して Wi-Fi を無効にします。 **OK** を押します。

✓ 関連情報

- [無線ネットワーク設定](#)

ネットワーク機能

- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する

Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する

簡易ネットワークタイムプロトコル (SNTP) は、SNTP タイムサーバーとの認証で本製品が使用する時間を同期させるために使用されます。本製品で使用される時刻を、SNTP タイムサーバーによって提供される UTC (協定世界時) と自動または手動で同期させることができます。

- [Web Based Management を使用して日時を設定する](#)
- [Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する](#)

Web Based Management を使用して日時を設定する

製品で使用されている時間を SNTP タイムサーバーと同期させるように、日時を設定します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**管理者設定 > 時計設定**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **タイムゾーン** 設定を確認します。
6. **OK** をクリックします。



関連情報

- [Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する](#)

Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する

SNTP プロトコルを設定して、製品が認証に使用する時間と SNTP タイムサーバーが維持する時間を同期させます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「PwD」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **SNTP** チェックボックスをオンにして、設定を有効にします。
6. **OK** をクリックします。
7. 本製品を再起動して、設定を有効にします。
8. SNTP チェックボックスの横にある**詳細設定**をクリックします。
9. 設定を確認します。

オプション	詳細
状態	SNTP プロトコルが有効か無効かを表示します。
同期状態	最新の同期状態を確認します。
SNTP サーバー設定の方法	AUTO または STATIC を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• AUTO ネットワーク上に DHCP サーバーがあれば、SNTP サーバーが自動的にそのサーバーからアドレスを取得します。• STATIC 使用したいアドレスを入力します。
プライマリー SNTP サーバーアドレス セカンダリー SNTP サーバーアドレス	サーバーのアドレスを 64 文字以内で入力します。 セカンダリー SNTP サーバーのアドレスは、プライマリー SNTP サーバーのアドレスの予備として使用されます。プライマリーサーバーが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP サーバーと通信します。
プライマリー SNTP サーバーポート セカンダリー SNTP サーバーポート	ポート番号を入力します（1～65535）。 セカンダリー SNTP サーバーポートは、プライマリー SNTP サーバーポートの予備として使用されます。プライマリーポートが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP ポートと通信します。
同期間隔	サーバーとの同期の試行間隔（1 時間から 168 時間）を入力します。

10. **OK** をクリックします。



関連情報

- [Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する](#)

ブラザー管理ツール

ブラザーの管理ツールのいずれかを使用して、本製品のネットワーク設定を構成します。

support.brother.com/downloads で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページに移動し、ツールをダウンロードします。

✓ 関連情報

- ネットワーク

セキュリティ

- ネットワークセキュリティー機能をご使用になる前に
- デバイスセキュリティの証明書を設定する
- SSL/TLS を使用する
- SNMPv3 を使用する
- ネットワークに IEEE 802.1x 認証を使用する

ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に

本製品には、最新のネットワークセキュリティの一部と、現在利用可能な暗号化プロトコルが使用されています。これらのネットワーク機能は、お使いの全体的なネットワークセキュリティプランの一部として、データを保護し、本製品への不正なアクセスを防ぐことができます。



FTP および TFTP プロトコルを無効にすることをお勧めします。これらのプロトコルを使用した本製品へのアクセスは安全ではありません。



関連情報

- [セキュリティ](#)

デバイスセキュリティの証明書を設定する

SSL/TLS を使用してネットワーク接続された本製品を安全に管理するには、証明書を設定する必要があります。証明書を設定するには、Web Based Management を使用する必要があります。

- [セキュリティ証明書機能の概要](#)
- [証明書を作成してインストールする方法](#)
- [自己署名証明書を作成する](#)
- [証明書署名要求（CSR）を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする](#)
- [証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて](#)
- [CA 証明書のインポートとエクスポートについて](#)
- [複数の証明書を管理する](#)

セキュリティ証明書機能の概要

本製品は、複数のセキュリティ証明書の使用をサポートしています。これにより、安全な管理、認証および本製品との通信が可能になります。本製品では、以下のセキュリティ証明書機能を使用できます。

- SSL/TLS 通信
- IEEE 802.1x 認証

本製品は、以下に対応しています。

- プリインストール証明書

本製品には、自己署名証明書がプリインストールされています。この証明書により、別の証明書を作成またはインストールしなくても、SSL/TLS 通信を使用できます。



プリインストールされた自己署名証明書により、一定レベルまでは通信が保護されます。セキュリティを強化するために、信頼できる組織から発行された証明書を使用することをお勧めします。

- 自己署名証明書

本プリントサーバーは自己の証明書を発行します。この証明書を使用すると、別の証明書を作成したり、CA 発行の証明書をインストールしなくても、SSL/TLS 通信を簡単に使用できます。

- 認証局 (CA) 発行の証明書

CA 発行の証明書をインストールする場合、2 とおりの方法があります。CA 発行の証明書がすでにある場合、または外部の信頼できる CA の証明書を使用する場合：

- 本プリントサーバーからの証明書署名要求 (CSR) を使用する場合。
- 証明書とプライベートキーをインポートする場合。

- 認証局 (CA) 証明書

CA を識別し、プライベートキーを所有する CA 証明書を使用するには、ネットワークのセキュリティ機能を設定する前に、CA が発行した CA 証明書をインポートする必要があります。



- SSL/TLS 通信を使用する場合は、まずシステム管理者に連絡することをお勧めします。
- プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットする場合、インストールされている証明書とプライベートキーは削除されます。プリントサーバーのリセット後にも同じ証明書とプライベートキーを保持する場合は、リセット前にこれらをエクスポートし、リセット後に再インストールします。



関連情報

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

証明書を作成してインストールする方法

セキュリティ証明書を使用する場合、自己署名証明書を使用するか、認証局（CA）発行の証明書を使用するかを選択できます。

オプション 1

自己署名証明書

1. Web Based Management を使用して自己署名証明書を作成します。
2. パソコンへ自己署名証明書をインストールします。

オプション 2

CA からの証明書

1. Web Based Management を使用して、証明書署名要求（CSR）を作成します。
2. Web Based Management を使用して、CA が発行した証明書を、本製品にインストールします。
3. パソコンへ証明書をインストールします。

✓ 関連情報

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

自己署名証明書を作成する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **自己署名証明書の作成**をクリックします。
6. **コモンネーム**および**有効期限**を入力します。
 - **コモンネーム**の長さは 64 バイト未満です。SSL/TLS 通信を介して本製品にアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定では、ノード名が表示されます。
 - IPPS または HTTPS プロトコルを使用し、自己署名証明書に使用された**コモンネーム**とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。
8. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。
9. **OK** をクリックします。



関連情報

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

証明書署名要求 (CSR) を作成して認証局 (CA) からの証明書をインストールする

外部の信頼された認証局 (CA) から取得した証明書がすでに存在する場合、その証明書とプライベートキーを本製品に保存し、インポートやエクスポートを行うことによってそれらを管理することができます。外部の信頼された CA から取得した証明書が存在しない場合、証明書署名要求 (CSR) を作成し、CA に送信して認証を受けたあと、返却された証明書を本製品にインストールします。

- 証明書署名要求 (CSR : Certificate Signing Request) を作成する
- 証明書を本製品にインストールする

▲ホーム > セキュリティ > デバイスセキュリティの証明書を設定する > 証明書署名要求 (CSR) を作成して認証局 (CA) からの証明書をインストールする > 証明書署名要求 (CSR : Certificate Signing Request) を作成する

証明書署名要求 (CSR : Certificate Signing Request) を作成する

証明書署名要求 (CSR) は、証明書に含まれる資格情報を認証するために、認証局 (CA) に送信される要求です。

CSR を作成する前に、CA からのルート証明書をお使いのパソコンにインストールしておくことを推奨します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **CSR の作成**をクリックします。
6. **コモンネーム** (必須) を入力して、ご使用の**組織**に関するその他の情報 (任意) を追加します。



- CA がお客様の身元を確認し、外部に向けて証明するために、お客様の会社の情報が必要です。
- **コモンネーム**の長さは 64 バイト以下である必要があります。SSL/TLS 通信を介して本製品にアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。デフォルトの設定では、ノード名が表示されます。**コモンネーム**は必須です。
- 証明書に使用された共通名とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
- **組織、部署、市、および県/州**の長さは 64 バイト以下の必要があります。
- **国**は、2 文字の ISO3166 国コードです。
- X.509v3 証明書拡張を設定する場合、**拡張領域設定**チェックボックスを選択後、**自動 (本機の IPv4 アドレスを登録します。)**または**手動**を選択します。

7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。初期値は **RSA(2048bit)** です。
8. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。初期値は **SHA256** です。
9. **OK** をクリックします。

CSR が画面に表示されます。表示された CSR をファイルとして保存するか、認証局から提供されたオンラインの CSR フォームにコピー・ペーストします。

10. **保存**をクリックします。



- CSR をお客様の CA に送信する方法については、お客様の CA の方針に従ってください。
- Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019 の Enterprise root CA を使用している場合、クライアント証明書の安全な作成のために、証明書用ウェブサーバーテンプレートを使用することを推奨します。EAP-TLS 認証を行う IEEE 802.1x 環境のためのクライアント証明書を作成する場合、証明書用ユーザーテンプレートを使用することを推奨します。

詳細については、support.brother.co.jp にアクセスして、お使いのモデルのよくあるご質問 (Q&A) ページを参照してください。

「SSL」で検索します。



関連情報

- 証明書署名要求 (CSR) を作成して認証局 (CA) からの証明書をインストールする

証明書を本製品にインストールする

認証局 (CA) から証明書を受信した後、以下の手順でプリントサーバーにインストールします。

本製品には、本製品の証明書署名要求 (CSR) と一緒に発行された証明書のみをインストールできます。他の CSR を作成する場合は、新しい CSR を作成する前に、この証明書がインストールされていることを確認してください。他の CSR の作成は、この証明書を必ず先にインストールしてから行ってください。新しい CSR のインストール前に作成された CSR は無効になります。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **証明書のインストール** をクリックします。
6. CA に発行された証明書を含むファイルを表示して、**OK** をクリックします。
証明書が作成され、本製品のメモリーに正常に保存されます。

SSL/TLS 通信を使用する場合は、お使いのパソコンに、CA から取得したルート証明書を必ずインストールしてください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。



関連情報

- [証明書署名要求 \(CSR\) を作成して認証局 \(CA\) からの証明書をインストールする](#)

証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

証明書とプライベートキーを本製品に保存して、インポートまたはエクスポートすることにより、これらを管理します。

- 証明書とプライベートキーをインポートする
- 証明書とプライベートキーをエクスポートする

証明書とプライベートキーをインポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **証明書と秘密鍵のインポート** をクリックします。
6. インポートするファイルを表示します。
7. ファイルが暗号化されている場合はパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

証明書とプライベートキーが本製品にインポートされます。



関連情報

- [証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて](#)

証明書とプライベートキーをエクスポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **証明書一覧**と共に表示される**エクスポート**をクリックします。
6. ファイルを暗号化する場合は、パスワードを入力します。
パスワードを空白のままにすると、出力内容は暗号化されません。
7. 確認のためにパスワードを再入力し、**OK**をクリックします。
8. **保存**をクリックします。

証明書とプライベートキーがお使いのパソコンにエクスポートされます。

ご使用のパソコンに証明書をインポートすることもできます。



関連情報

- [証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて](#)

CA 証明書のインポートとエクスポートについて

本製品では、CA 証明書のインポートやエクスポート、または保存ができます。

- [CA 証明書をインポートする](#)
- [CA 証明書をエクスポートする](#)

CA 証明書をインポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > セキュリティ > CA 証明書**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **CA 証明書のインポート** をクリックします。
6. インポートするファイルを表示します。
7. **OK** をクリックします。



関連情報

- [CA 証明書のインポートとエクスポートについて](#)

CA 証明書をエクスポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > セキュリティ > CA 証明書**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. エクスポートする証明書を選択し、**エクスポート**をクリックします。
6. **OK** をクリックします。



関連情報

- [CA 証明書のインポートとエクスポートについて](#)

複数の証明書を管理する

複数の証明書の機能により、Web Based Management を使用して、本製品にインストールされている証明書を管理することができます。Web Based Management で、**証明書**または **CA 証明書**画面に移動して、証明書の内容の表示、また証明書の削除やエクスポートを行えます。

	本製品に保存できる証明書の最大数
自己署名証明書または、CA 発行の証明書	5
CA 証明書	6

保存する証明書は最大数よりも少ない数にし、証明書の期限切れに備えて 1 個分の空きを確保しておくことをお勧めします。証明書の期限が切れた場合、新しい証明書を確保した場所にインポートして、期限切れの証明書を削除します。こうすることで、設定エラーを回避できます。



- HTTPS/IPPS または IEEE 802.1x を使用する場合、使用する証明書を選択する必要があります。
- SMTP 通信に SSL を使用する場合、証明書を選択する必要はありません。必要な証明書は自動的に選択されます。

✓ 関連情報

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

SSL/TLS を使用する

- [SSL/TLS について](#)
- [SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理](#)
- [SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する](#)

SSL/TLS について

セキュアソケットレイヤー（SSL）またはトランスポート層セキュリティ（TLS）は、LAN または WAN 経由で送信されるデータを保護する効果的な方式です。ネットワーク経由の印刷ジョブなどのデータを暗号化して送信するため、第三者から内容を読み取られることはありません。

SSL/TLS は、有線と無線のネットワークのいずれにも設定可能であり、WPA キーやファイアウォールなど他のセキュリティ形式でも機能します。

✓ 関連情報

- [SSL/TLS を使用する](#)
 - [SSL/TLS の略歴](#)
 - [SSL/TLS を使用するメリット](#)

SSL/TLS の略歴

SSL/TLS は当初、ウェブ上のトラフィック情報、特にウェブブラウザとサーバー間で送信されるデータの安全性を確保するために作られました。SSL はやがて、オンラインセキュリティに対する共通の解決策として、Telnet、プリンター、FTP など他のアプリケーションともあわせて使用されるようになりました。この当初の設計意図が、今日でも多くのオンライン小売業者や銀行によって採り入れられ、クレジットカード番号や顧客情報など極秘データの安全性を確保しています。

SSL/TLS では非常に高度なレベルの暗号化が用いられ、世界中の銀行から信頼されています。

✓ 関連情報

- [SSL/TLS について](#)

SSL/TLS を使用するメリット

SSL/TLS を使用する主なメリットは、製品へ送信されたデータの読み込みを非認証のユーザーに対して制限することで、IP ネットワークを介した印刷の安全性を保証することです。SSL の最も重要なメリットは、機密データを安全に印刷するために使用できることです。例えば、大企業の人事部署が定期的に給与明細を印刷しています。これら給与明細のデータが暗号化されていない場合、他のネットワークユーザーから読み取られる可能性があります。しかし、SSL/TLS を使用すると、これらのデータを読み取ろうとしても、実際の給与明細ではなく、コードのページが表示されるだけです。

✓ 関連情報

- [SSL/TLS について](#)

SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

- SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する
- SSL/TLS を使用して Web Based Management にアクセスする
- 管理者として Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする

SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する

SSL/TLS 通信を使用するには、Web Based Management を使用して本製品に証明書を設定します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **HTTP サーバー設定** をクリックします。
6. **証明書の選択** ドロップダウンリストから、設定対象の証明書を選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. **はい** をクリックしてプリントサーバーを再起動します。



関連情報

- [SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理](#)

SSL/TLS を使用して Web Based Management にアクセスする

ネットワーク製品を安全に管理するには、HTTPS プロトコルで Web Based Management を使用します。



- HTTPS プロトコルを使用するには、本製品で HTTPS が有効になっている必要があります。デフォルト設定では、HTTPS プロトコルは有効です。
- HTTPS プロトコル設定は、Web Based Management を使用して変更できます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザのアドレスバーに「https://共通名」と入力します（ただし「共通名」は、証明書に割り当てた共通名（IP アドレス、ノード名、ドメイン名など））。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「PwD」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 以上で HTTPS を使用して製品へアクセスする準備が整いました。



関連情報

- [SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理](#)

管理者として Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする

- 以下の手順は、Microsoft Edge を使用する場合があります。その他のウェブブラウザを使用している場合は、ウェブブラウザの説明書またはオンラインヘルプで、証明書のインストール方法を参照してください。
- Web Based Management を使用して、自己署名証明書を作成したことを確認してください。

1. **Microsoft Edge** アイコンを右クリックし、**管理者として実行**をクリックします。
ユーザー アカウント制御画面が表示されたら、**はい**をクリックします。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 接続がプライベートでない場合場合は、**詳細設定**ボタンをクリックしてから、ウェブページに進んでください。
4. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

5. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

6. **エクスポート**をクリックします。
7. 出力ファイルを暗号化するには、**パスワード設定**欄にパスワードを入力します。**パスワード設定**欄が空白の場合、出力ファイルは暗号化されません。
8. **パスワード確認**欄にパスワードを再度入力し、**OK**をクリックします。
9. ダウンロードしたファイルをクリックして開きます。
10. **証明書のインポート ウィザード**が表示されたら、**次へ**をクリックします。
11. **次へ**をクリックします。
12. 必要に応じて、パスワードを入力し、**次へ**をクリックします。
13. **証明書をすべて次のストアに配置する**を選択してから **参照...** をクリックします。
14. **信頼されたルート証明機関**を選択し、**OK** をクリックします。
15. **次へ**をクリックします。
16. **完了**をクリックします。
17. フィンガープリント（拇印）が正しければ、**はい**をクリックします。
18. **OK** をクリックします。



関連情報

- SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する

- IPPS を使用して文書を印刷する

IPPS を使用して文書を印刷する

IPP プロトコルを使用して文書を安全に印刷するには、IPPS プロトコルを使用します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **IPP** チェックボックスが選択されていることを確認します。



IPP チェックボックスが選択されていない場合、**IPP** チェックボックスを選択して、**OK** をクリックします。製品を再起動して、設定を有効にします。

本製品が再起動したら、本製品のウェブページに戻ってパスワードを入力し、左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。

6. **HTTP サーバー設定**をクリックします。
7. **IPP** で **HTTPS(ポート 443)**チェックボックスを選択し、**OK** をクリックします。
8. 製品を再起動して、設定を有効にします。

IPPS を使用した通信では、プリントサーバーへの非認証のアクセスを防ぐことはできません。



関連情報

- [SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する](#)

SNMPv3 を使用する

- SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理

SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理

簡易ネットワーク管理プロトコルバージョン 3 (SNMPv3) は、ネットワーク機器を安全に管理するための、ユーザー認証とデータの暗号化に使用されます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://共通名」と入力します (ただし「共通名」は、証明書に割り当てた共通名 (IP アドレス、ノード名、ドメイン名など))。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **SNMP** 設定が有効であることを確認して、**詳細設定**をクリックします。
6. SNMPv1/v2c モードの設定を行います。

オプション	詳細
SNMP v1/v2c read-write access	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c を使用します。このモードで、本製品のすべてのアプリケーションが使用できます。ただし、ユーザーの認証は行われず、データは暗号化されないため、安全ではありません。
SNMP v1/v2c read-only access	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c (読み取り専用アクセス) を使用します。
無効	SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c を無効にします。 SNMPv1/v2c を使用するすべてのアプリケーションが制限されます。SNMPv1/v2c アプリケーションの使用を許可するには、 SNMP v1/v2c read-only access または SNMP v1/v2c read-write access モードを使います。

7. SNMPv3 モードの設定を行います。

オプション	詳細
有効	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 3 を使用します。プリントサーバーを安全に管理するには、SNMPv3 モードを使用します。
無効	SNMP プロトコルの Ver. 3 を無効にします。 SNMPv3 を使用するすべてのアプリケーションが制限されます。SNMPv3 アプリケーションの使用を許可するには、SNMPv3 モードを使います。

8. **OK** をクリックします。



本製品にプロトコル設定オプションが表示された場合は、使用するオプションを選択します。

9. 製品を再起動して、設定を有効にします。



関連情報

- [SNMPv3 を使用する](#)

ネットワークに IEEE 802.1x 認証を使用する

- IEEE 802.1x 認証について
- Web Based Management (Web ブラウザ) を使用して IEEE 802.1x 認証を設定する
- IEEE 802.1x 認証方式

IEEE 802.1x 認証について

IEEE 802.1x は IEEE 標準であり、非認証のネットワーク機器からのアクセスを制限します。本製品は、アクセスポイントまたはハブを通して、RADIUS サーバー（認証サーバー）に認証要求を送信します。要求が RADIUS サーバーに確認されると、本製品はネットワークにアクセスすることができます。

✓ 関連情報

- [ネットワークに IEEE 802.1x 認証を使用する](#)

Web Based Management (Web ブラウザ) を使用して IEEE 802.1x 認証を設定する

- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書を検証する前に、該当のサーバー証明書に署名した CA 発行の、CA 証明書をインポートする必要があります。ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー (ISP) に連絡して、CA 証明書のインポートが必要かどうかを確認してください。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。初めてログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外しデフォルトパスワードを確認します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. 次のいずれかを行ってください：

- 有線ネットワークの場合
有線 > 有線 802.1x 認証をクリックします。
- 無線ネットワークの場合
無線 > 無線 (エンタープライズ)をクリックします。

6. IEEE 802.1x 認証を設定します。



- 有線ネットワークの IEEE 802.1x 認証を有効にするには、**有線 802.1x 認証**ページの**有線 802.1x**で**有効**を選択します。
- **EAP-TLS** 認証を使用している場合、検証のためにインストールされているクライアント証明書（証明書の名前付きで表示）、**クライアント証明書**ドロップダウンリストから選択する必要があります。
- **EAP-FAST**、**PEAP**、**EAP-TTLS**、または **EAP-TLS** 認証を選択する場合は、**サーバー証明書の検証**ドロップダウンリストから検証方式を選択します。該当のサーバー証明書に署名した CA が発行し、あらかじめ製品にインポートされた CA 証明書を使用して、サーバー証明書を検証します。

サーバー証明書の検証ドロップダウンリストから、以下の検証方式のいずれかを選択します。

オプション	詳細
検証しない	このサーバー証明書は常に信頼できます。検証は実施されません。
CA 証明書	該当のサーバー証明書に署名した CA により発行された CA 証明書を使用して、サーバー証明書の CA 信頼性を確認する検証方法。
CA 証明書+サーバー ID	サーバー証明書の CA 信頼性に加えて、サーバー証明書の共通名 ¹ の値を確認する検証方法。

7. 設定が終了したら、**OK** をクリックします。

有線ネットワークの場合：設定後、IEEE 802.1x がサポートされたネットワークに、使用製品を接続します。数分後、ネットワーク設定リストを印刷して、<Wired IEEE 802.1x>の状態を確認します。

オプション	詳細
Success	有線の IEEE 802.1x 機能は有効で、認証は成功しました。
Failed	有線の IEEE 802.1x 機能は有効ですが、認証は失敗しました。
Off	有線の IEEE 802.1x 機能は利用不可です。

✓ 関連情報

- ネットワークに IEEE 802.1x 認証を使用する

¹ 共通名の検証では、サーバー証明書の共通名を、サーバー ID に設定されている文字列と比較します。この方式を使用する前に、サーバー証明書の共通名についてシステム管理者に問い合わせ、サーバー ID を設定してください。

IEEE 802.1x 認証方式

EAP-FAST

EAP-FAST (Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secured Tunneling) は、Cisco Systems 社が開発したプロトコルで、認証のためのユーザー ID とパスワード、および対称キーアルゴリズムを使用してトンネル認証プロセスを実現します。

本製品は、以下の内部認証方式をサポートしています。

- EAP-FAST/NONE
- EAP-FAST/MS-CHAPv2
- EAP-FAST/GTC

EAP-MD5 (有線 LAN)

拡張可能認証プロトコルメッセージダイジェストアルゴリズム 5 (EAP-MD5 : Extensible Authentication Protocol-Message Digest Algorithm 5) はユーザー ID とパスワードを使用して、チャレンジ/レスポンス認証を行います。

PEAP

保護された拡張可能認証プロトコル (PEAP : Protected Extensible Authentication Protocol) は、Cisco Systems 社、Microsoft 社、および RSA セキュリティ社が開発した EAP 方式です。PEAP はユーザー ID とパスワードを送信するために、クライアントと認証サーバー間に、暗号化した Secure Sockets Layer (SSL) /Transport Layer Security (TLS) トンネルを作成します。PEAP により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本製品は、以下の内部認証方式をサポートしています。

- PEAP/MS-CHAPv2
- PEAP/GTC

EAP-TTLS

拡張可能認証プロトコルトンネル方式トランスポートレイヤーセキュリティ (EAP-TTLS : Extensible Authentication Protocol-Tunneled Transport Layer Security) は、ファンク・ソフトウェア社と Certicom 社によって開発されました。EAP-TTLS は、クライアントと認証サーバー間に、ユーザー ID およびパスワードを送信するための、PEAP 同様の暗号化 SSL トンネルを作成します。EAP-TTLS により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本製品は、以下の内部認証方式をサポートしています。

- EAP-TTLS/CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAPv2
- EAP-TTLS/PAP

EAP-TLS

拡張可能認証プロトコルトランスポートレイヤーセキュリティ (EAP-TLS : Extensible Authentication Protocol-Transport Layer Security) では、クライアントと認証サーバーのいずれにも、デジタル証明書認証が必要です。



関連情報

- ネットワークに IEEE 802.1x 認証を使用する

■ アップデート

- P-touch Editor をアップデートする
- ファームウェアを更新する

P-touch Editor をアップデートする

P-touch Editor をアップデートする前に、プリンタードライバーをインストールしてください。

1. P-touch Editor  を起動します。

スタート > Brother P-touch > P-touch Editor をクリックするか、デスクトップ上の **P-touch Editor** アイコンをダブルクリックします。

お願い

パソコンのオペレーティングシステムによっては、ブラザー P-touch フォルダが作成される場合とされない場合があります。

2. **新しいレイアウト** ボタンをクリックし、メイン画面を開きます。
3. **ヘルプ > 最新版を確認する** をクリックします。
4. アップデートが利用できる場合は、確認のメッセージが表示されます。**ダウンロード** をクリックします。

✓ 関連情報

- [アップデート](#)

ファームウェアを更新する

- データの転送中やファームウェアの更新中に、電源を切らないでください。
- 他のアプリケーションを実行している場合は終了させてください。

ファームウェアを更新する前に、プリンタードライバーをインストールしておく必要があります。

1. プリンターの電源をオンにし、USB ケーブルを接続します。
2. P-touch Update Software を起動します。
スタート > Brother P-touch > P-touch Update Software をクリックするか、デスクトップ上の **P-touch Update Software** アイコンをダブルクリックします。
3. **Firmware update** アイコンをクリックします。
4. **プリンター** を選択し、本製品が正しく接続されていることを確認して、**OK** をクリックします。
5. ドロップダウンリストから **言語** を選択します。
6. 更新するファームウェアの横にあるチェックボックスを選択し、**転送** をクリックします。

お願い

更新の処理中やデータ転送中に、プリンターの電源をオフにしたり、ケーブルを取り外したりしないでください。

7. 更新する内容を確認し、**開始** をクリックして更新を開始します。
ファームウェアの更新が始まります。

✓ 関連情報

- [アップデート](#)

プリンターの設定

- プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する (Windows)
- 設定の変更を複数のプリンターに適用する (Windows)
- Web Based Management を使用してプリンターの設定を変更する
- プリンターの設定を確認する
- 印刷設定レポートの詳細
- ダンプデータの印刷と確認
- プリンターを使用してプリンター設定を変更する

プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する (Windows)

- プリンタードライバーが正しくインストールされ、印刷できることを確認してください。
- USB ケーブルでプリンターをパソコンに接続します。

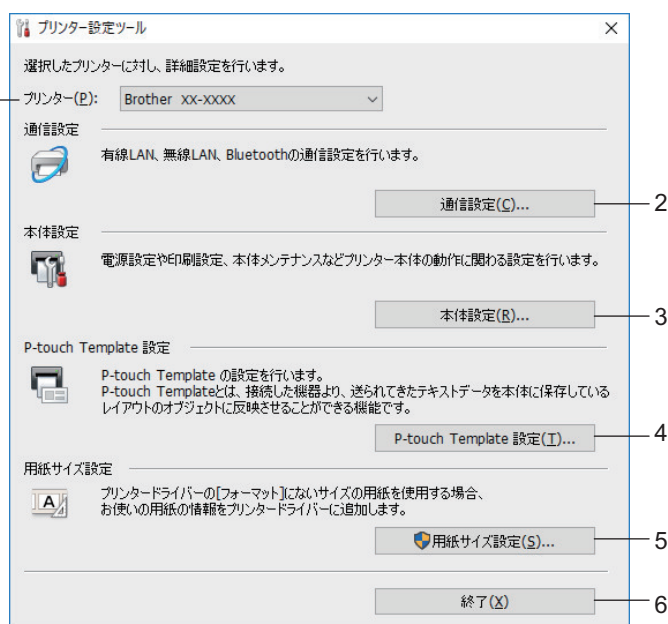


インストーラーを使用すると、プリンタードライバーなどの他のソフトウェアとともにプリンター設定ツールがインストールされます。

1. 設定するプリンターをパソコンに接続します。
2. プリンター設定ツールを起動します。

スタート > Brother > Printer Setting Tool をクリックします。

メイン画面が表示されます。



1. プリンター

接続されているプリンターの一覧を表示します。

2. 通信設定

通信設定を行います。

3. 本体設定

接続されているプリンターの設定を行います。

4. P-touch Template 設定

P-touch Template 設定を指定します。

詳しい説明は「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

5. 用紙サイズ設定

希望する用紙サイズが**用紙サイズ**一覧に記載されていない場合は、用紙情報と設定をプリンタードライバーに追加する必要があります。

お願い

用紙サイズ設定設定にアクセスするには、管理者権限でログオンする必要があります。

6. 終了

クリックして画面を閉じます。

3. **プリンター**の横に、設定するプリンターが表示されていることを確認します。
別のプリンターが表示されている場合は、ドロップダウンリストから目的のプリンターを選択します。
4. 変更する設定を選択し、ダイアログボックスで設定を指定または変更します。
5. **設定**をクリックして、プリンターに設定を適用します。
6. メイン画面の**終了**をクリックして設定の指定を終了します。



プリンターが待機状態の場合のみ、プリンター設定ツールを使用してプリンターを設定できます。印刷ジョブの処理中または印刷中にプリンターを設定しようとする、誤作動する可能性があります。



関連情報

- **プリンターの設定**
 - プリンター設定ツール：通信設定 (Windows)
 - プリンター設定ツール (Windows)：本体設定
 - プリンター設定ツール (Windows)：P-touch Template 設定
 - プリンター設定ツール (Windows)：用紙サイズ設定

プリンター設定ツール：通信設定 (Windows)

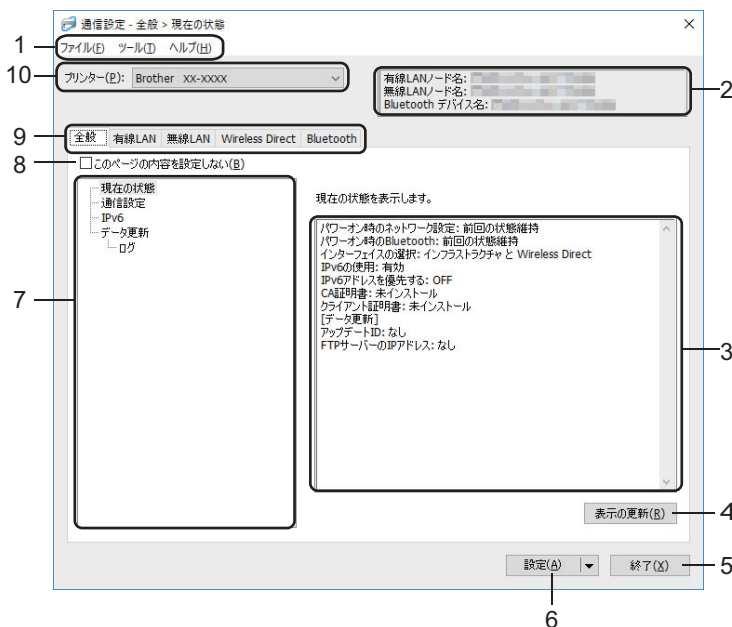
TD-2350D：プリンターとパソコンを USB ケーブルまたは Bluetooth で接続する場合、プリンター設定ツールの通信設定を使用してプリンターの通信方法を指定または変更します。

TD-2320D：プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続する場合、プリンター設定ツールの通信設定を使用してプリンターの通信方法を指定または変更します。

プリンターの通信設定を 1 台のプリンターに対し変更し、その設定を複数のプリンターに適用することができます。

- >> 設定ダイアログボックス
- >> メニューバー
- >> 全般タブ
- >> 有線 LAN/無線 LAN タブ (TD-2320D/TD-2350D)
- >> Wireless Direct タブ (TD-2350D)
- >> Bluetooth タブ (TD-2350D)

設定ダイアログボックス



1. メニューバー

機能に応じて各メニュータイトル（ファイル、ツール、ヘルプメニュー）の下にグループ分けされたさまざまなコマンドにアクセスできます。

2. 機器名

機器名を表示します。

3. 設定表示/変更エリア

選択した項目の現在の設定を表示します。

4. 表示の更新

クリックすると、表示されている設定が最新の情報に更新されます。

5. 終了

クリックすると、通信設定画面を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。



設定の変更後、設定ボタンをクリックせずに終了をクリックすると、プリンターに設定が適用されません。

6. 設定

クリックすると、プリンターに設定が適用されます。指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから**コマンドファイルに保存**コマンドを選択します。保存されたコマンドファイルは、マストレージモードを使ってプリンターに設定を適用するのに使用することができます。





設定ボタンをクリックすると、すべてのタブのすべての設定がプリンターに適用されます。**このページの内容を設定しない**チェックボックスを選択した場合、設定は適用されません。

7. 項目


現在の状態メニューを選択すると、現在の設定が設定表示/変更エリアに表示されます。変更する設定項目を選択します。

8. このページの内容を設定しない

このチェックボックスを選択すると、タブに  が表示され、設定を指定または変更できなくなります。

 が表示されているタブの設定は、**設定**ボタンをクリックしてもプリンターに適用されません。また、**コマンドファイルに保存**または**エクスポート**コマンドを使用しても、タブの設定は保存またはエクスポートされません。プリンターに設定を適用するには、またはその設定を保存あるいはエクスポートするには、このチェックボックスの選択を解除してください。

9. 設定タブ

指定または変更できる設定が含まれています。タブに  が表示されている場合、その設定はプリンターに適用されません。

10. プリンター

接続されているプリンターの一覧を表示します。

メニューバー

ファイル メニューオプション

プリンターへ設定する

プリンターに設定を適用します。

設定内容をコマンドファイルに保存する

指定した設定内容をコマンドファイルに保存します。ファイルの拡張子は「BIN」です。保存されたコマンドファイルは、マストレージモードを使ってプリンターに設定を適用するのに使用することができます。



- **このページの内容を設定しない**チェックボックスが選択されている場合、設定は保存されません。
- 以下の情報はコマンドファイルに保存されません。
 - ノード名
 - IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイ (IP アドレスが **STATIC** に設定されている場合)
- 保存された通信設定コマンドは、プリンターに設定を適用する場合にのみ使用されます。このコマンドファイルを使用してプリンターに設定を適用するには、マストレージモードを使用します。
- 保存されたコマンドファイルには、認証キーとパスワードが含まれています。他のユーザーがアクセスできない場所に保存するなど、保存したコマンドファイルを保護するために必要な対策を講じてください。
- コマンドファイルを異なる機種 of プリンターに送信しないでください。

証明書のインストール

一部のネットワーク認証方式では、証明書が必要な場合があります。

接続されているプリンターに証明書をインストールするか、同じ機種 of プリンターに配布できるコマンドファイルとして証明書を保存してください。

インポート

現在の PC 無線設定からインポートする (TD-2350D)

パソコンから設定をインポートします。



- パソコンの無線設定をインポートする場合は、パソコンの管理者権限が必要です。
- 個人のセキュリティ認証設定（オープンシステム、公開鍵認証、WPA/WPA2-PSK、および最大 63 文字の WPA3 SAE）のみインポートできます。エンタープライズセキュリティ認証（EAP-FAST など）、WPA2-PSK (TKIP)、WPA-PSK (AES) 設定はインポートできません。
- お使いのパソコンで複数の無線 LAN が有効になっている場合、最初に検出された無線 LAN 設定（個人設定のみ）がインポートデータとして考慮されます。
- **無線 LAN** タブの**無線設定**の設定のみインポートできます（接続モード、SSID、認証方式、暗号化方式、認証キー）。

プロファイルを選択してインポートする

エクスポートされたファイルをインポートし、その設定をプリンターに適用します。[参照](#)をクリックし、インポートするファイルを選択します。選択したファイルの設定が設定表示/変更エリアに表示されます。



- ノード名を除いて、すべての設定をインポートできます。
- 選択したプリンターに対応したプロファイルのみをインポートできます。
- インポートされたプロファイルの IP アドレスが **STATIC** に設定されている場合は、ネットワーク上の既存の構成済みプリンターの IP アドレスと重複しないよう、必要に応じて、インポートされたプロファイルの IP アドレスを変更してください。

エクスポート

現在の設定をファイルに保存します。**このページの内容を設定しない**チェックボックスが選択されている場合、設定は保存されません。



エクスポートされたファイルは暗号化されていません。

ツール メニュー オプション

オプション設定

適用後、プリンターを自動的に再起動する

このチェックボックスを選択すると、通信設定が適用された後、プリンターが自動的に再起動します。このチェックボックスを選択していない場合、プリンターを手動で再起動する必要があります。



複数のプリンターを設定する場合、このチェックボックスの選択を解除することで、設定変更に必要な時間を短縮することができます。この場合、各設定が意図したとおりに機能していることを確認できるように、最初のプリンターを設定するときはこのチェックボックスを選択することをお勧めします。

プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する

このチェックボックスを選択した状態で、プリンターをパソコンに接続すると、プリンターが自動的に検出され、プリンターの現在の設定値が**現在の状態**項目に表示されます。



接続されているプリンターが**プリンター**ドロップダウンリストに表示されているプリンターと異なる場合、すべてのタブで使用できる設定が、接続されているプリンターと一致するように変更されます。

ノード名/Bluetooth デバイス名の変更

ノード名と Bluetooth 機器名を変更できます。

通信設定を工場出荷時に戻す

通信設定をお買い上げ時の設定にリセットします。

ヘルプメニューオプション

ヘルプの表示

ヘルプのトピックを表示します。

全般タブ

通信設定

パワーオン時のネットワーク設定

プリンターの電源がオンになったときに、ネットワーク経由で接続するための条件を指定します。

インターフェイスの選択 (TD-2350D)

インフラストラクチャ、インフラストラクチャと **Wireless Direct**、または **Wireless Direct** のオプションを選択します。

パワーオン時の Bluetooth (TD-2350D)

プリンターの電源がオンになったときに、Bluetooth 経由で接続するための条件を指定します。常に **ON**、常に **OFF**、または **前回の状態維持** のオプションを選択します。

データ更新 (TD-2350D)

FTP サーバーの IP アドレス

FTP サーバーのアドレスを入力します。

ポート番号

FTP サーバーへのアクセスに使用するポート番号を指定します。

ユーザー名

FTP サーバーへのログイン権限を持つユーザー名を入力します。

パスワード

ユーザー名 欄に入力したユーザー名のパスワードを入力します。

取得先パス

ダウンロードしたい更新ファイルがある FTP サーバー上のフォルダーのパスを入力します。

設定ファイル名

FTP サーバーにある更新ファイル名を指定します。

ログ

ログ出力

アップデートログを FTP サーバーにエクスポートするかどうかを選択します。

FTP サーバーの出力先パス

ログデータをエクスポートしたい FTP サーバー上のフォルダーのパスを入力します。

AirPrint 設定

AirPrint を有効または無効にし、設定を行います。プリンターの情報や、AirPrint 印刷時のハーフトーンの設定をします。

有線 LAN/無線 LAN タブ (TD-2320D/TD-2350D)

TCP/IP (無線)

IP アドレスの設定

AUTO、**BOOTP**、**DHCP**、**RARP**、または **STATIC** のオプションを選択します。

IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイアドレス

さまざまなネットワーク値を指定します。これらの設定は、IP アドレスが **STATIC** に設定されている場合にのみ入力できます。

DNS サーバーの設定

AUTO または STATIC オプションを選択します。

プライマリ DNS サーバーアドレス/セカンダリ DNS サーバーアドレス

これらの設定は、DNS サーバーが **STATIC** に設定されている場合にのみ入力できます。

IPv6

固定 IPv6 アドレス

固定 IPv6 アドレスを指定します。

このアドレスを有効にする

指定された固定 IPv6 アドレスを有効にします。

プライマリ DNS サーバー IPv6 アドレス/セカンダリ DNS サーバー IPv6 アドレス

DNS サーバーの IPv6 アドレスを指定します。

IPv6 アドレスリスト

IPv6 アドレスの一覧を表示します。

有線 802.1x 認証

IEEE 802.1x 認証を設定します。

有線 802.1x

有線 LAN ネットワークの IEEE 802.1x 認証を有効または無効にします。

認証方式

認証方式を選択します。

ユーザー ID/パスワード

EAP-MD5、EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。さらに、EAP-TLS ではパスワードを登録する必要はありませんが、クライアント証明書を登録する必要があります。証明書を登録するには、Web ブラウザからプリンターに接続し、証明書を選択します。認証証明書のインストールは、プリンター設定ツールのメニューバー： **ファイル > 証明書のインストール** から実行することもできます。

キーとパスワードを画面に表示する

このチェックボックスを選択すると、キーとパスワードがプレーンテキスト（暗号化されていないテキスト）で表示されます。

無線設定 (TD-2350D)

接続モード

通信モードを表示します。

SSID(ネットワーク名)

検索をクリックすると、利用可能な SSID が別のダイアログボックスに表示されます。

チャンネル

選択したチャンネルが自動的に表示されます。

認証方式/暗号化方式

認証方式でサポートされている暗号化方式は、以下の一覧表のとおりです。

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし/WEP
共有キー	WEP
WPA3-SAE	AES
WPA/WPA2-PSK/WPA3-SAE	TKIP+AES/AES
EAP-FAST/NONE	TKIP+AES/AES

認証方式	暗号化方式
EAP-FAST/MS-CHAPv2	TKIP+AES/AES
EAP-FAST/GTC	TKIP+AES/AES
PEAP/MS-CHAPv2	TKIP+AES/AES
PEAP/GTC	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/CHAP	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/MS-CHAP	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/PAP	TKIP+AES/AES
EAP-TLS	TKIP+AES/AES



より高いレベルのセキュリティ設定を指定するには : EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS 認証方式で証明書検証を実行する場合、プリンター設定ツールで証明書を指定することはできません。プリンターをネットワークに接続するように設定した後に、Web ブラウザからプリンターにアクセスして証明書を指定します。認証証明書のインストールは、プリンター設定ツールで、メニューバーに進み、**ファイル > 証明書のインストール**をクリックすることで実行することもできます。

WEP キー

WEP が暗号化方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。

PSK (事前共有キー)

WPA/WPA2-PSK/WPA3-SAE が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。

ユーザー ID/パスワード

EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。さらに、EAP-TLS ではパスワードを登録する必要はありませんが、クライアント証明書を登録する必要があります。証明書を登録するには、Web ブラウザからプリンターに接続し、証明書を指定します。

キーとパスワードを画面に表示する

このチェックボックスを選択すると、キーとパスワードがプレーンテキスト（暗号化されていないテキスト）で表示されます。

Wireless Direct タブ (TD-2350D)

Wireless Direct 設定

SSID/ネットワークキーの生成

AUTO または STATIC オプションを選択します。

SSID(ネットワーク名)/ネットワークキー

Wireless Direct モードで使用する SSID (25 文字以下のアスキー文字) とネットワークキー (63 文字以下) を指定します。



- シリアル番号はプリンターの底面とプリンター内部にあります。
- お買い上げ時の SSID とパスワードは次のとおりです。
 - SSID : "DIRECT-****_TD-2350D####"。****は製品シリアル番号の下 5 桁です。
 - パスワード : 235****。****は製品シリアル番号の下 5 桁です。

チャンネル

Wireless Direct モードに使用するチャンネルを指定します。

Bluetooth タブ (TD-2350D)

Bluetooth 設定

制御モード

Bluetooth が有効なときの制御モードを選択します。

クラシック

他のデバイスからの検索

他の Bluetooth 機器によってプリンターが「検出」されることを許可します。

PIN コードを変更する

PIN を変更します。

PIN コードを画面に表示する

パソコンに PIN を表示します。

ペアリング時に本体キーの操作を要求する

クラシック Bluetooth モード使用時にこのチェックボックスを選択すると、Bluetooth 2.1 以降を実行する機器とペアリングする際にプリンターのボタン操作が必要になります。

自動再接続

以前に接続した Apple 製品 (iPad、iPhone、または iPod touch) に自動的に再接続するかどうかを設定します。

Low Energy

最小セキュリティ

Low Energy のみモード使用時の最小セキュリティレベルを選択します。

ペアリング時に本体キーの操作を要求する

Low Energy のみモード使用時にこのチェックボックスを選択すると、Low Energy 互換機器とペアリングする際にプリンターのボタン操作が必要になります。

✓ 関連情報

- [プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する \(Windows\)](#)

プリンター設定ツール (Windows) : 本体設定

TD-2350D : プリンターとパソコンを USB ケーブルまたは Bluetooth で接続するときに、プリンター設定ツールの**本体設定**を使用して、印刷設定を指定または変更します。

TD-2320D : プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続するときに、プリンター設定ツールの**本体設定**を使用して、印刷設定を指定または変更します。

プリンターの本体設定を 1 台のプリンターに対し変更し、その設定を複数のプリンターに適用することができます。パソコンのアプリケーションから印刷する場合、プリンタードライバーからさまざまな印刷設定を指定できますが、プリンター設定ツールの本体設定ツールを使用すれば、より詳細な設定を行うことができます。**本体設定**画面を開くと、プリンターの現在の設定が取得されて表示されます。現在の設定を取得できない場合、以前の設定が表示されます。現在の設定を取得できず、以前の設定が指定されていなかった場合、プリンターのお買い上げ時の設定が表示されます。

- >> [設定ダイアログボックス](#)
- >> [メニューバー](#)
- >> [基本設定タブ](#)
- >> [拡張設定タブ](#)
- >> [印字位置 / センサータブ](#)
- >> [画面設定タブ \(TD-2320D/TD-2350D\)](#)
- >> [管理設定タブ](#)

設定ダイアログボックス



1. メニューバー

機能に応じて各メニュータイトル（ファイル、メンテナンス、バージョン情報メニュー）の下にグループ分けされたさまざまなコマンドにアクセスできます。

2. 現在値を取得

現在接続されているプリンターから設定を取得し、ダイアログボックスに表示します。🔧🚫 がついたタブのパラメーター設定も取得されます。

3. このページの内容を設定しない

このチェックボックスを選択すると、タブに🔧🚫が表示され、設定を指定または変更できなくなります。

🔧🚫が表示されているタブの設定は、**設定**をクリックしてもプリンターに適用されません。また、**コマンドファイル**に保存または**エクスポート**コマンドを使用しても、タブの設定は保存またはエクスポートされません。

4. パラメーター

現在の設定を表示します。

5. 終了

本体設定画面を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

6. 設定


プリンターに設定を適用します。指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから**コマンドファイルに保存**コマンドを選択します。

保存されたコマンドファイルは、マストレージモードを使ってプリンターに設定を適用するのに使用することができます。

7. 設定タブ

指定または変更できる設定が含まれています。



タブに  が表示されている場合、設定を変更することはできません。また、**設定**をクリックしても、タブの設定はプリンターに適用されません。**コマンドファイルに保存**または**エクスポート**コマンドを使用しても、タブの設定は保存またはエクスポートされません。

8. プリンター

設定するプリンターを指定します。

メニューバー

ファイルメニューオプション

- **プリンターへ設定する**

プリンターに設定を適用します。

- **設定の確認**

現在の設定を表示します。

- **設定内容をコマンドファイルに保存する**

指定した設定内容をコマンドファイルに保存します。

- **インポート**

エクスポートされたファイルをインポートします。

- **エクスポート**

現在の設定をファイルに保存します。

- **終了**

本体設定画面を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

メンテナンスメニューオプション



一部の項目を表示するには、パソコンまたはプリンターの管理者権限を持っている必要があります。プリンターに対して管理者権限を持っているかどうかを確認するには、**プリンターのプロパティ**メニューをクリックしてから、**セキュリティ**タブをクリックします。

- **印刷履歴をファイルに保存する**

印刷ログを CSV 形式でファイルに保存します。

- **本体設定印刷**

現在のファームウェアバージョンと本体設定情報を含むレポートを印刷します。



このレポートを印刷するときは、58mm 以上の幅の用紙を使用することをお勧めします。

- **本体情報の確認**


プリンターの状態を確認します。

- **ダンプモードへの切替**

ダンプモードに遷移し、印刷コマンドを解釈しないで、受信した印刷データを確認し、印刷します。

- **印字ヘッドの状態を確認する**
印字ヘッドに問題がないかをチェックします。
- **工場出荷状態に戻す**
本体設定、転送されたデータ、ネットワーク設定を含むすべての設定をお買い上げ時の設定にリセットします。
- **本体設定のみを工場出荷設定に戻す**
本体設定で変更された設定をお買い上げ時の設定にリセットします。
- **テンプレートとデータベースの内容を削除する**
プリンターに保存されているテンプレートとデータベースを削除します。
- **印刷履歴を削除する**
プリンターに保存されている印刷ログを削除します。
- **オプション設定**
起動時に現在値を取得できなかった場合、エラーメッセージを表示しないチェックボックスを選択すると、次回はメッセージが表示されなくなります。

基本設定タブ

- **自動電源オン**
AC 電源コードを AC 電源コンセントに差し込んだときに、プリンターの電源が自動的にオンになるかどうかを指定します。
- **オートスリープ**
プリンターが自動的にスリープモードになるまでの時間を指定します。
 - 下記の条件を満たした状態で指定した時間が経過すると、プリンターは自動的にスリープモードになります。
 - プリンターがデータを受信していない。
 - LAN ケーブルが接続されていない。
 - 待機モードである。(TD-2320D)
 - アイドルモードまたはテンプレート選択モードである。(TD-2350D)
 - USB ポートに端末が接続されていない場合。
 - シリアルポートで通信を行っていない場合。- 下記の操作が行われると、スリープモードが解除されます。
 - プリンターのボタンが押される。
 - ロール紙カバーが開け閉めされる。
 - プリンターがデータを受信する。シリアルポート経由でデータを受信する場合以外。
 - プリンターがデータを受信する。
 - USB ケーブルが抜き差しされる。
- **オートパワーオフ**
AC 電源コンセントに接続されているときに、プリンターの電源が自動的にオフになるまでの時間を指定します。



- 下記の条件を満たした状態で指定した時間が経過すると、プリンターは自動的にパワーオフモードになります。
 - プリンターがデータを受信していない。
 - LAN ケーブルが接続されていない。
 - 待機モードである。(TD-2320D)
 - アイドルモードまたはテンプレート選択モードである。(TD-2350D)
 - USB ポートに端末が接続されていない場合。
 - シリアルポートで通信を行っていない場合。
- 下記の操作が行われると、パワーオフモードが解除されます。
 - プリンターのボタンが押される。
 - ロール紙カバーが開け閉めされる。
 - プリンターがデータを受信する。シリアルポート経由でデータを受信する場合以外。
 - プリンターがデータを受信する。
 - USB ケーブルが抜き差しされる。

• 充電設定

最大充電量を指定します。



リチウムイオン充電電池の寿命を最大限に延ばすには、**80%**を選択します。**80%**を選択すると、1回の充電で印刷できる印刷ジョブの数は少なくなりますが、リチウムイオン充電電池の寿命を全体的に延ばすことができます。

• 印刷の向き

印刷の向きを選択します。

• 印刷速度

プリンターの印刷速度を選択します。



- 印刷速度を上げると、印刷結果が薄くなることがあります。
- 印刷したラベル上のバーコードが読み難い場合は、より遅い印刷速度を選択します。

• 印刷の濃さ

プリンターの印刷濃度を調整します。

用紙サイズ設定でエネルギーランク設定を変更すると、印刷濃度をさらに上げることができます。詳細については、「関連トピック」をご覧ください：プリンター設定ツール (Windows)：用紙サイズ設定

• カバークローズ時の用紙先端合わせ

カバーが閉じられると用紙が自動的に給紙されるかどうかを選択します。

• 発行方式


用紙の排紙・カット方法を選択します。

• カット設定


複数のラベルを印刷する場合のカット方法を設定します。

拡張設定タブ

• フィードキー機能設定

が押されたときに実行される操作を選択します。**プログラム設定**が選択されている場合は、**ファイル**をクリックし、コマンドファイルを選択します。

• ファンクションキー機能設定 (TD-2320D)

が押されたときに実行される操作を選択します。**プログラム設定**が選択されている場合は、**ファイル**をクリックし、コマンドファイルを選択します。

カッターを取り付けている場合は、ファンクションキーに手動カットを設定することができます。

- **本体情報を印刷する**
プリンターの情報レポートに含める情報を選択します。
- **JPEG 印刷設定**
JPEG 画像を印刷するときの画像処理方法を選択します。
- **連番モード**
印刷するラベルを連番にする（ナンバリング）方法を指定します。
- **本体の印刷履歴保存**
プリンターの印刷ログを保存するかどうかを選択します。**無効**を選択すると、**印刷履歴をファイルに保存する**オプションは使用できなくなります。
- **印刷後の印字データ**
印刷後に印刷データを消去するかどうかを指定します。

印字位置 / センサータブ

標準用紙を使用する場合、センサーを調整する必要はありません。

- **印字基点補正**
基準点の位置（印字位置を決める原点）を調整します。これにより、プリンター機種の違いやソフトウェアで固定した余白によって印刷結果がずれるような場合に、印字誤差を調整します。
ラスタ印刷の場合、基準点を調整することはできません。
- **ティアバー位置補正**
 - ティアバーの用紙カット位置を調整します。

お願い

用紙の種類によっては、カット位置や余白が設定と一致しない場合があります。その場合は、ティアバー位置補正を調整してから、もう一度印刷してみてください。

- **剥離機能を使う**または自動カッター機能を有効にして、印刷後に剥がれたラベルが詰まったり、正しく排出されなかったりした場合は、ティアバー位置補正を調整してから、もう一度印刷してみてください。
- **用紙センサー(透過型/ギャップ)**
 - **セパレーター検出レベル補正**
プレカット紙ラベルのギャップ（隙間）検知感度を調整します。
 - **発光量の補正**
透過型/ギャップセンサーが放つ光量を調整します。
- **用紙センサー(反射型/バー)**
 - **黒マーク検出レベル補正**
黒マーク検出の感度を調整します。
 - **発光量の補正**
反射型/黒マークセンサーが放つ光量を調整します。
- **用紙センサー（ハクリユニット）**
ハクリユニット（オプション）が使用されている場合の設定を指定します。
ハクリ検出レベル補正
ラベルが剥離されたかどうかを検出するセンサーの精度を調整します。

画面設定タブ（TD-2320D/TD-2350D）

- **時計機能**
時計機能を設定します。
- **自動時計取得**
SNTP サーバーと時刻を同期させます。

- **タイムゾーン設定**
タイムゾーンを設定します。
- **時計設定**
日時を設定します。
- **画面の濃さ (TD-2350D)**
液晶ディスプレイのコントラストを設定します。
- **バックライト (TD-2350D)**
バックライトのオンまたはオフを設定します。
- **消灯までの時間 (TD-2350D)**
プリンターが使用されていない場合にバックライトをオフにするまでの経過時間を設定します。
- **ホーム画面設定 (TD-2350D)**
プリンターを P-touch Template モードで動作させるかどうかを指定します。
P-touch Template モードでは、以前に設定したテンプレートを使用して、テキストだけを入力してラベルを印刷することができます。
- **プリセットテンプレートの表示 (TD-2350D)**
プリンターにプリセットテンプレートを表示するかどうかを設定します。
- **印刷前の確認 (TD-2350D)**
印刷枚数を確認できるように、印刷前にメッセージを表示させるかどうかを指定します。
- **印刷枚数初期値 (TD-2350D)**
印刷枚数の初期値を指定します。
- **QR コードデータ (TD-2350D)**
好みのテキストやウェブページを紐づけた QR コードデータを作成し、プリンターの画面に表示します。表示された QR コードをモバイル端末で読み取って、情報を取得できます。

管理設定タブ




このタブを表示するには、パソコンまたはプリンターに対する管理者権限を持っている必要があります。プリンターに対して管理者権限を持っているかどうかを確認するには、**プリンターのプロパティ**メニューをクリックしてから、**セキュリティ**タブをクリックします。

- **単位 (TD-2350D)**
初期単位を指定します。
- **言語 (TD-2350D)**
液晶ディスプレイに表示される言語を指定します。
- **Bluetooth/WLAN 完全無効モード (TD-2350D)**
Bluetooth または Wi-Fi のインターフェースを無効にすることができます。この機能は、信号伝送ができない場所でプリンターを使用する場合に役立ちます。
- **設定キー禁止 (TD-2350D)**
メニュー設定をロックして、変更できないようにします。
- **管理パスワード (TD-2350D)**
管理者モードを設定する場合は、**オン**を選択します。メニュー設定を変更するために必要となる 4 桁のパスワードを設定します。
- **編集禁止 (TD-2350D)**
オブジェクトの編集を禁止するかどうかを選択します。
- **コマンド系**
コマンドモードの種類を選択します。
- **日付形式 (TD-2350D)**
時計の日付形式を選択します。
- **時刻形式 (TD-2350D)**

時計の時間形式を選択します。

- **電源 ON 時ヘッドチェック**

プリンターの電源をオンにしたときに印字ヘッドの状態をチェックするかどうかを設定します。

 **関連情報**

- [プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する \(Windows\)](#)
-

プリンター設定ツール (Windows) : P-touch Template 設定

P-touch Template モードでは、プリンターに接続されたその他の機器を使用して、ダウンロードしたテンプレートからテキストやバーコードオブジェクトにデータを挿入できます。ご利用できるオプションや付属品は国によって異なる場合があります。プリンター設定ツールの P-touch Template 設定を使用して、P-touch Template の機能を指定または変更します。



- P-touch Template モードは、測量機、試験機、コントローラー、プログラマブルロジック機器など、その他の入力機器とも互換性があります。
- P-touch Template 設定の詳細については、「P-touch テンプレートマニュアル/コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

1 コマンドモード(D): P-touch Template

2 テンプレート番号初期値(T): 1

3 区切り記号(C): #09

4 印刷開始トリガ

● 印刷開始コマンド文字列(Q): ^FF

○ すべてのオブジェクトのデータ取得後(U)

○ 指定データサイズ受け取り後(U): 10 バイト

5 文字コードセット(H): JIS X 0201

6 国際文字(N): Japan

7 プレフィックス文字(U): ^

8 読み捨て文字列(U):

9 改行コード(H): ^CR

10 FNC1置換(L)

印刷オプション

11 印刷枚数(E): 1

12 オートカット(A): 1 枚ごとにカット 最後をカット(U)

13 180度回転(S)

14 通信設定(M)...

既定値に戻す(R)

17 設定(S)

16 キャンセル

1. コマンドモード

P-touch Template モードを初期モードとして指定します。モードを変更するには、**本体設定画面の管理設定** タブにアクセスしてモードを選択します。

2. テンプレート番号初期値

プリンターがオンになったときに設定されるテンプレート番号の初期値を指定します。テンプレートをプリンターに転送したくない場合は、テンプレート番号を指定しないでください。

3. 区切り記号

ファイル内のデータのグループ間の境界を示す記号を表示します (最大 20 文字)。

4. 印刷開始トリガ

印刷を開始するトリガを複数のオプションから指定します。

- **印刷開始コマンド文字列** : ここで指定したコマンド文字を受信すると、印刷を開始します。
- **すべてのオブジェクトのデータ取得後** : 最後のオブジェクトの区切り文字を受信すると、印刷を開始します。

- **指定データサイズ受け取り後**：ここで指定した文字数を受信すると、印刷を開始します。ただし、区切り文字は文字数に含まれません。

5. 文字コードセット

いずれかの文字コードセットを選択します。

6. 国際文字

特定の地域用の文字セットの一覧を表示します。次のコードは、選択した国によって異なります。

23h 24h 40h 5Bh 5Ch 5Dh 5Eh 60h 7Bh 7Ch 7Dh 7Eh

文字を変更するには「P-touch テンプレートマニュアル/コマンドリファレンス」をご覧ください最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

7. プレフィックス文字

P-touch Template モードで使用されるコマンドを識別する接頭文字コードを指定します。

8. 読み捨て文字列

ここで指定した文字は、データが受信されても印刷されません (最大 20 文字)。

9. 改行コード

改行コードは、後続のデータをテキストオブジェクトの次の行に移動する必要があることを示すために、データを送るときに使用されます。4 つの改行コードのいずれかを選択するか、好みの改行コードを入力します (最大 20 文字)。

10. FNC1 置換

GS コードを FNC1 に置き換えます。

11. 印刷枚数

印刷枚数を設定します (最大 99 枚)。

12. カット設定

プリンターでラベルをカットするかどうか、およびカット前に印刷されるラベルの数を指定します (最大 99 枚)。

13. 180 度回転

このチェックボックスを選択すると、データを 180 度回転させた後印刷します。

14. 通信設定

シリアル通信のパラメーターを設定します。

パラメーター設定の詳細については、「関連トピック」をご覧ください：RS-232C を使用してプリンターをパソコンに接続する

15. 既定値に戻す

P-touch Template 設定ダイアログボックス内のすべての設定値を工場出荷時の設定に戻します。

16. キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定は変更されません。

17. 設定

プリンターに設定を適用します。将来再利用できるように、指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから**コマンドファイルに保存**コマンドを選択します。

保存されたコマンドファイルは、マストレージモードを使ってプリンターに設定を適用するのに使用することができます。

✓ 関連情報

- [プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する \(Windows\)](#)

関連トピック：

- [USB インターフェースを使用して印刷する \(マストレージモード\)](#)
- [RS-232C を使用してプリンターをパソコンに接続する](#)

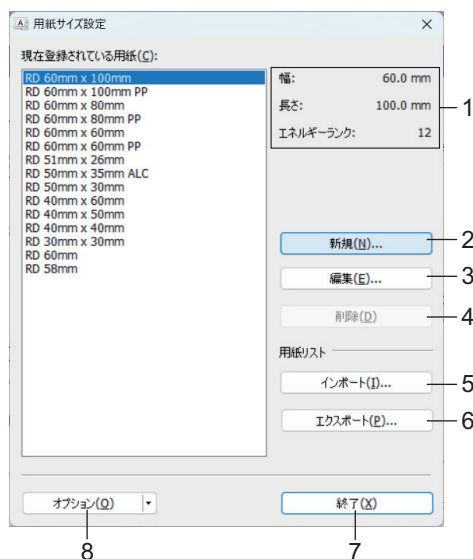
プリンター設定ツール (Windows) : 用紙サイズ設定

プリンター設定ツールの用紙サイズ設定を使用すると、プリンタードライバーの**用紙サイズ**一覧にない用紙サイズを追加できます。

使用可能な用紙サイズ以外の用紙サイズで印刷する前に、新しい用紙サイズをプリンターに送信して登録する必要があります。

プリンターに登録されていない用紙サイズを使用して印刷すると、意図した印刷結果を得られないことがあります。

用紙サイズ設定ダイアログボックス



1. 現在の設定

選択した用紙形式の現在の設定が表示されます。

2. 新規

このボタンをクリックすると、**新規**ダイアログボックスが表示され、新しい用紙サイズを登録できます。

お願い

登録済みのものと同じ用紙サイズは登録しないでください。意図しない印刷結果になることがあります。現在登録されているものと同じサイズの用紙を使用するには、**用紙サイズ設定**ダイアログボックスの**現在登録されている用紙**一覧から必要なサイズを選択し、**編集**ダイアログボックスで設定を変更および上書きしてください。

3. 編集

選択した用紙形式の設定を編集します。

選択した用紙形式を新しい設定で保存する場合は、**上書き**をクリックします。新しい設定の用紙形式を追加するには、**用紙名**で名前を変更し、**追加**をクリックします。

4. 削除

選択した用紙形式を削除します。削除した用紙形式は復元できません。

5. インポート

用紙形式の設定が含まれるテキストファイルを読み込んで、**現在登録されている用紙**一覧の内容を置き換えます。

お願い

一覧をインポートすると、**現在登録されている用紙**一覧の内容すべてが、インポートした用紙形式で置き換えられます。

6. エクスポート

現在登録されている用紙一覧の用紙形式をファイルにエクスポートします。エクスポートした形式は、他のパソコンに配布できます。

7. 終了

用紙サイズ設定画面を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

8. オプション

▼をクリックし、操作を選択します。

本体に用紙を登録をクリックすると、選択した用紙形式の設定がプリンターに登録されます。

コマンドファイルに保存をクリックし、コマンドファイルとして用紙設定をエクスポートします（ファイルの拡張子はBINです）。

お願い

プリンターに用紙形式を登録し、**終了**をクリックすると、**用紙サイズ設定**ダイアログボックスが表示され、**現在登録されている用紙**一覧には追加した用紙サイズが表示されます。ソフトウェアが実行中の場合は、ソフトウェアを終了して再起動すると、新しい用紙形式が一覧に表示されます。

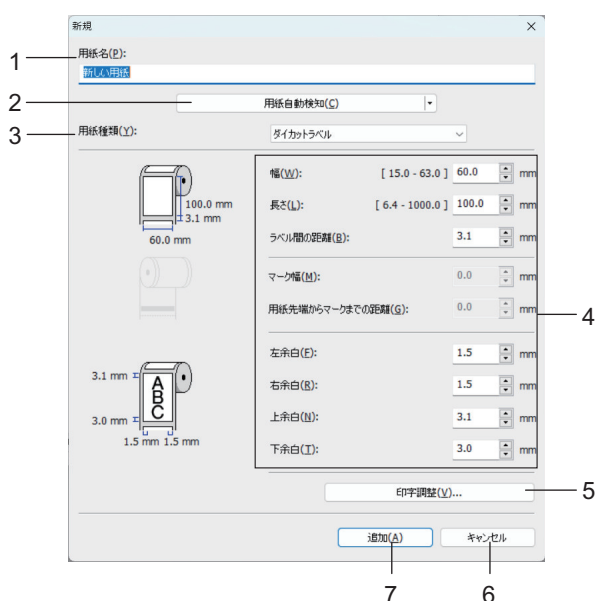


- 次の機能を使用すると、これらの設定を簡単にプリンターに適用できます。
 - マスストレージ機能
 - Bluetooth (Object Push Profile (OPP)) (TD-2350D)
 - Wi-Fi (File Transfer Protocol (FTP)) (TD-2350D)
- これらのコマンドは、設定をプリンターに適用するために使用します。これらのコマンドは用紙サイズ設定にインポートできません。

>> [新規ダイアログボックス](#)

>> [印字調整ダイアログボックス](#)

新規ダイアログボックス



1. 用紙名

追加する用紙設定の名前を入力します。

2. 用紙自動検知

プリンターにセットされている用紙の情報を取得し、表示します。詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。



このオプションを使用する場合はプリンターをアイドル状態にします。印刷ジョブの処理中または印刷中にプリンターを設定しようとすると、誤作動する可能性があります。

3. 用紙種類

用紙種類を選択します。

4. 詳細設定

追加する用紙形式の詳細を指定します。

5. 印字調整

このボタンをクリックすると、**印字調整**ダイアログボックスが表示され、用紙形式ごとに詳細な印刷調整を行うことができます。

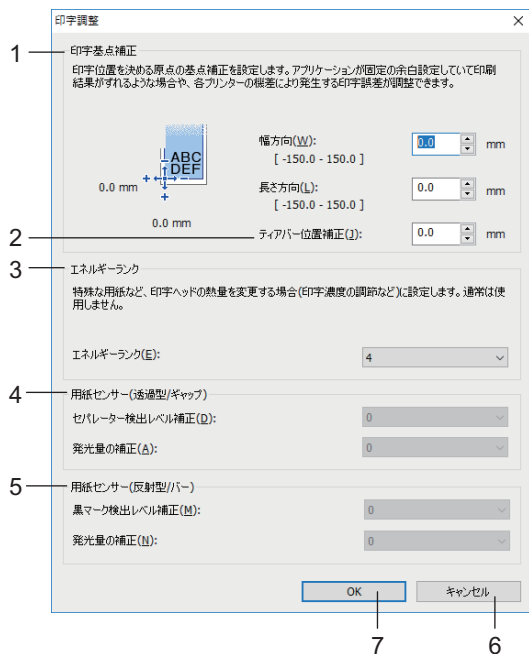
6. キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定内容は保存されません。

7. 追加

このボタンをクリックすると、用紙形式を追加し、設定を適用します。

印字調整ダイアログボックス



1. 印字基点補正

基準点の位置（印字位置を決める原点）を調整します。これにより、プリンター機種の違いやソフトウェアで固定した余白によって印刷結果がずれるような場合に、印字誤差を調整します。

2. ティアバー位置補正

ティアバーで用紙をカットする際のカット位置を調整します。

3. エネルギーランク

特殊な用紙などを使用して、印字ヘッドの熱量（エネルギー）を調整します。



- お使いの環境や用紙によって、印字結果に濃淡の差が発生する場合があります。必要に応じて設定を変更してください。
- エネルギーランク**設定を大きくすると、印刷結果が濃くなり、印刷速度が遅くなる場合があります。
- 印刷したラベル上のバーコードが読みにくい場合は、**エネルギーランク**設定を調整します。

4. 用紙センサー(透過型/ギャップ)

透過型/ギャップセンサーがプレカット紙ラベルのギャップ（隙間）を検出する精度、およびセンサーの光量を調整します。

用紙種類がダイカットラベルに設定されている場合に設定できます。



本体設定ダイアログボックスの用紙センサー(透過型/ギャップ)の設定が、検出結果に影響を与えます。適切な値を指定してください。

設定例：

	設定例 1	設定例 2
本体設定	+2	-2
用紙サイズ設定	+2	+2
実際の効果	4	0

5. 用紙センサー(反射型/バー)

反射型/黒マークセンサーが黒マークを検出する精度、およびセンサーの光量を調整します。



本体設定ダイアログボックスの用紙センサー(反射型/バー)の設定が、検出結果に影響を与えます。適切な値を指定してください。

設定例：

	設定例 1	設定例 2
本体設定	+2	-2
用紙サイズ設定	+2	+2
実際の効果	4	0

6. キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定内容は保存されません。

7. OK

設定を保存し、前のダイアログボックスに戻ります。



関連情報

- [プリンター設定ツール](#)を使用してプリンターの設定を変更する（Windows）
 - [他のパソコンに用紙形式を配布する](#)（Windows）

関連トピック：

- [プリンター設定ツール](#)（Windows）：本体設定
- [用紙自動検知](#)

他のパソコンに用紙形式を配布する (Windows)

用紙サイズ設定ダイアログボックスの現在登録されている用紙リストからエクスポートした用紙形式を他のパソコンに配布できます。プリンタードライバーが受信側パソコンにインストールされている場合、用紙形式を配布するだけで済みます。

1. 送信側パソコンで用紙形式の設定を指定し、**エクスポート**をクリックします。

次のファイルが作成されます。

TD-2320D 203dpi 印刷解像度	bst2322ed.ptd bst2322ed.txt pdt5635.bin	TD-2320D 300dpi 印刷解像度	bst2323ed.ptd bst2323ed.txt pdt5735.bin
TD-2350D 203dpi 印刷解像度	bst2352ed.ptd bst2352ed.txt pdt6235.bin	TD-2350D 300dpi 印刷解像度	bst2353ed.ptd bst2353ed.txt pdt6335.bin

2. 受信側パソコンの任意の場所に TXT ファイルを保存します。
3. 受信側パソコンで**インポート**をクリックします。
インポートされた形式で用紙形式が置き換えられます。

✓ 関連情報

- [プリンター設定ツール \(Windows\) : 用紙サイズ設定](#)

設定の変更を複数のプリンターに適用する (Windows)

>> 通信設定

>> 本体設定

通信設定

1. 最初のプリンターに設定を適用した後、そのプリンターをパソコンから切断し、2 台目のプリンターをパソコンに接続します。
2. **プリンター**ドロップダウンリストから、新しく接続したプリンターを選択します。

オプション設定ダイアログボックスの**プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する**チェックボックスを選択すると、USB ケーブルで接続されたプリンターが自動的に選択されます。

3. **設定**をクリックします。

TD-2350D：新しい設定で無線 LAN ルーター/アクセスポイントと正しく接続されていることを確認できるように、最初のプリンターを設定するときは**適用後、プリンターを自動的に再起動する**チェックボックスを選択することをお勧めします。

最初のプリンターに適用された設定が 2 台目のプリンターにも適用されます。

4. 設定を変更したいすべてのプリンターに対してこの手順を繰り返します。



- IP アドレスが **STATIC** に設定されている場合は、後のプリンターの IP アドレスは最初のプリンターと同じアドレスに変更されます。必要に応じて IP アドレスを変更します。
- **ファイル > インポート**をクリックし、エクスポートされた設定ファイルを選択すると、同じ設定を別のパソコンに適用することができます。

本体設定

1. 最初のプリンターに設定を適用した後、そのプリンターをパソコンから切断し、2 台目のプリンターをパソコンに接続します。
2. **プリンター**ドロップダウンリストから、新しく接続したプリンターを選択します。
3. **設定**をクリックします。

最初のプリンターに適用された設定が 2 台目のプリンターにも適用されます。

4. 設定を変更したいすべてのプリンターに対してこの手順を繰り返します。



ファイル > インポートをクリックし、エクスポートされた設定ファイルを選択すると、同じ設定を別のパソコンに適用することができます。

✓ 関連情報

- [プリンターの設定](#)

Web Based Management を使用してプリンターの設定を変更する

標準の Web ブラウザから、ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) またはセキュアソケットレイヤー (SSL) 上のハイパーテキスト転送プロトコル (HTTPS) を使用して、製品の設定を変更できます。

Web Based Management では、次の操作が可能です。

- 本製品のステータス情報の表示
- TCP/IP 情報などのネットワーク設定の変更
- 本製品のソフトウェアバージョン情報の表示
- ネットワークおよび製品の設定情報の変更



- Windows には Microsoft Edge をお勧めします。どの Web ブラウザの場合も、JavaScript および Cookie を有効にして使用してください。
- 製品の設定を管理するためのデフォルトのログインパスワードは、製品上に「Pwd」と表示されます。この設定は、権限のないアクセスから製品を保護するために変更することをお勧めします。

Web Based Management を使用するには、ネットワーク上で TCP/IP を使用し、本製品とパソコンに有効な IP アドレスが設定されている必要があります。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：

https://SharedPrinter

NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：

https://brnxxxxxxxxxxxxxx

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
4. 本製品の設定を変更します。

Web Based Management にアクセスするたびに、**ログイン**欄にパスワードを入力して、**ログイン**をクリックします。設定を変更した後、**ログアウト**をクリックします。



関連情報

- [プリンターの設定](#)
 - [Web Based Management を使用しログインパスワードを変更する](#)

Web Based Management を使用しログインパスワードを変更する

本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いデフォルトパスワードを変更します。本製品への不正なアクセスを防ぐために、デフォルトパスワードを直ちに変更することをお勧めします。バッテリーベースが取り付けられている場合は、取り外してデフォルトパスワードを確認します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 次のいずれかを行ってください：
 - 事前にパスワードを設定してある場合は、そのパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
 - 事前にパスワードを設定していない場合は、初期ログインパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
4. 左側のナビゲーションバーで、**管理者設定 > ログインパスワード**をクリックします。



- 本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、製品底面にあり、「Pwd」と表示されています。
- 左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. 画面の**ログインパスワードガイドライン**に従って、**新しいパスワードの入力欄**に新しいパスワードを入力します。
6. **新しいパスワードの確認欄**に、新しいパスワードをもう一度入力します。
7. **OK** をクリックします。



ログインパスワードメニューでロックアウト設定を変更することもできます。



関連情報

- [Web Based Management を使用してプリンターの設定を変更する](#)


プリンターの設定を確認する

プリンターをパソコンやモバイル端末に接続しなくても、プリンター設定レポートを印刷することができます。

>> [TD-2320D](#)

>> [TD-2350D](#)

TD-2320D

1. プリンターの電源をオンにします。
2. プリンターに 58mm 以上の幅の RD ロールを取り付けます。
3.  を約 2 秒間長押しします。
レポートの印刷が開始されます。



レポートには、機種名、シリアル番号、リチウムイオン充電電池の状態、エラー履歴、および本機の構成とパラメーター設定に関する詳細情報が含まれます。

印刷されたレポートを読むには、「関連トピック」をご覧ください：印刷設定レポートの詳細

TD-2350D

1. プリンターの電源をオンにします。
2. プリンターに 58mm 以上の幅の RD ロールを取り付けます。
3. **Menu** を押します。
4. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - a. [本体情報]を選択します。**OK**を押します。
 - b. [本体情報印刷]を選択します。**OK**を押します。
5. ▲または▼を押して、以下のいずれかを選択します。
 - [すべて]、次に **OK** を押します。
レポートには、他のオプションで提供されたすべての情報が含まれています。
 - [印刷履歴]、次に **OK** を押します。
レポートには、バージョン情報、受信データ、使用履歴、エラー履歴が含まれています。
 - [本体設定]、次に **OK** を押します。
レポートには、バージョン情報、プリンター設定情報、ネットワーク設定一覧、無線設定情報、PDL 情報が含まれています。
 - [転送データ]、次に **OK** を押します。
レポートにはテンプレート一覧とデータベース一覧が含まれています。
6. プリンターに選択メニューが表示されたら、▲または▼を押して[実行]を選択します。
7. **OK** を押します。

印刷されたレポートを読むには、「関連トピック」をご覧ください：印刷設定レポートの詳細

✓ 関連情報

- [プリンターの設定](#)

関連トピック：

- [各部を交換する](#)
- [印刷設定レポートの詳細](#)

印刷設定レポートの詳細

これらの一覧表には、印刷設定レポートの内容の理解に役立つ参考情報が含まれています。

バージョン情報

印刷タイトル	詳細
<<PRINTER CONFIGURATION>>	印刷タイトル（本機情報取得コマンドでは使用されません）
[Printer]	印刷タイトル（本機情報取得コマンドでは使用されません）
FormVer	本機情報出力一覧のバージョン
LmDBID	メンテナンス情報が保存されている DB の ID
Printer	プリンター機種名
PrintID	プリンター機種 ID
SerialNo	シリアル番号
Region	製品仕向地
ProgVer	メインプログラムバージョン
BootVer	ブートプログラムバージョン
FontVer	フォントデータバージョン
EromVer	EEPROM フォーマットバージョン
BoardVer	メインボードバージョン
Region Info	地域情報（製品状態識別コード）
Maintenance Reliability	メンテナンス情報の信頼性

バッテリー情報

印刷タイトル	詳細
[Battery Status]	印刷タイトル（本機情報取得コマンドでは使用されません）
Battery Voltage	バッテリー電圧 [mV] バッテリーが選択されていない場合、 "-" が表示されます。
Battery Temperature[deg C]	バッテリー温度（現在） [°C] バッテリーが選択されていない場合、 "-" が表示されます。

エラー履歴情報

印刷タイトル	詳細
[Error History(PAGES)]	印刷タイトル（本機情報取得コマンドでは使用されません）
Last	最新のエラーについての情報（エラー番号とエラー概要メッセージ）
#01	エラー履歴（最新の 10 件） この情報には 2 つの項目が一組として含まれ、各エラーが 1 行で印刷されます。 ・ エラー番号 ・ エラー発生時に印刷された合計ページ数 #01 が最新のエラーで、#10 が最も古いエラーです。最も古いエラーの#10 は、新しいエラーが発生するたびに削除されます。
#02	
#03	
#04	
#05	
#06	
#07	
#08	
#09	
#10	

用紙情報

印刷タイトル	詳細
[Media Settings]	用紙情報（現在セット中の）
Name	用紙名称
Width	印刷可能幅
Length	印刷可能長さ
Paper Types	タイプ
Energy Rank	エネルギーランク
Top Margin	前面余白[dot]
Bottom Margin	背面余白[dot]
Label Pitch	ラベルピッチ[dot]
Mark Offset	マークまでの距離[dot]
Position Adj. (H)	印刷位置補正值（水平） [dot]
Position Adj. (V)	印刷位置補正值（垂直） [dot]
Sensor Adj. (Lum)	センサー発光量調整値
Sensor Adj. (Thr)	センサー閾値調整値

用紙

印刷タイトル	詳細
[Paper]	印刷タイトル（本機情報取得コマンドでは使用されません）
Binary Data Print	印刷用用紙情報 ライン 1~8：用紙情報のバイナリーデータ

印刷設定

印刷タイトル	詳細
[Printer Settings]	印刷タイトル（本機情報取得コマンドでは使用されません）
Command Mode	コマンドモード
Print Density	印刷の暗さの程度
Print Speed	印刷速度
JPEG Printing	JPEG 印刷
Text Direction	印刷の向き
Exit Position	発行方法
Auto Cut	カット設定
Cover Closed Action	カバーを閉じているときの給紙設定
Printer Information Report	本機情報印刷内容
Serialize Mode	連続番号モード
Save Printer Print Log	本機の印刷履歴の保存
Print Data After Printing	印刷後の印刷データ
Default Print#	印刷のデフォルト値
Power On When Plugged In	自動電源オン（自動電源オン）
Auto Sleep	オートスリープ
Auto Power Off	自動電源オフ
Battery Charge Level	充電設定（ECO 充電）
Feed Key	フィードキー機能設定
Function Key	ファンクションキー設定

印刷タイトル	詳細
AirPlane Mode	Bluetooth/WLAN が完全に無効化されるモードです
PrintReferencePointAdj.(W)[dot]	印刷基点補正（幅方向）[dot]
PrintReferencePointAdj.(L)[dot]	印刷基点補正（長さ方向）[dot]
Tear Adjust[mm]	ティアバー位置補正[mm]
SensitivityAdj.(Transmissive)	セパレーター検出レベル補正 プレカット紙ラベルのギャップを検出する受光センサーの補正值
LuminescenceAdj(Transmissive)	発光量補正（透過型）
SensitivityAdj.(Reflective)	黒マーク検出レベル補正
LuminescenceAdj(Reflective)	発光量補正（反射型）
SensitivityAdj.(Peeler)	ピーラー検出レベル補正
Menu Locks Settings	メニューロック [本機設定]（ロック/ロック解除）
Menu Locks Template Settings	メニューロック [テンプレート設定]（ロック/ロック解除）
Menu Locks Information	メニューロック [本体情報]（ロック/ロック解除）
Menu Locks Wired LAN	メニューロック [有線 LAN]（ロック/ロック解除）
Menu Locks WLAN	メニューロック [無線 LAN]（ロック/ロック解除）
Menu Locks Bluetooth	メニューロック [Bluetooth]（ロック/ロック解除）
Menu Locks Remote Update	メニューロック [データアップデート]（ロック/ロック解除）
Menu Locks USB Update	メニューロック [USB データアップデート]（ロック/ロック解除）
Menu Locks Support URL	メニューロック [サポートサイト URL]（ロック/ロック解除）
Admin Password	管理者パスワード（オン/オフ）
LCD Contrast	画面密度
Backlight Settings	バックライト（オン/オフ）
Backlight Timeout	バックライトが消えるまでの時間
Display Brightness	画面の明るさ
Template Settings	テンプレートモード
Confirm Print	印刷前チェック
Date Format	日付フォーマット
Time Format	時間フォーマット
Language	言語設定
Unit	単位設定
Beeper	ブザー音量
Clock	時計機能（オン/オフ）
Autotime Sync	自動時刻取得設定
Time Zone	時間帯設定
SNTP Server Method	NTP サーバー設定（SNTP サーバー方法）
Primary SNTP Server Address	NTP サーバー設定（プライマリ SNTP サーバーアドレス）
Primary SNTP Server Port	NTP サーバー設定（プライマリ SNTP サーバーポート）
Secondary SNTP Server Address	NTP サーバー設定（セカンダリ SNTP サーバーアドレス）
Secondary SNTP Server Port	NTP サーバー設定（セカンダリ SNTP サーバーポート）
Synchronization Interval	NTP サーバー設定（同期間隔）
Web Based Management	EWS オン/オフ設定
Update Notification	ファームウェアアップデート自動通知

印刷タイトル	詳細
[P-touch Template Settings]	印刷タイトル（本機情報取得コマンドでは使用されません）
Touch Mode Settings	テンプレートタッチモード表示設定
Default Template Number	テンプレート数初期値
Data Delimiter	区切り
Print Start Trigger	印刷開始トリガー
Command Character	印刷開始コマンドストリング
Received Data Size	印刷開始データサイズ P-touch Template の印刷時：印刷開始トリガーが"受信した文字数"である場合の印刷を開始するために受信したデータサイズ。
Character Code Table	文字コードセット P-touch Template の印刷時：使用する文字コードセット（詳細はコマンドリファレンスを参照）
International Character Set	国際文字 P-Touch Template の印刷時：一部のコード文字はこの設定に従い置換されます。（詳細はコマンドリファレンスを参照）
Command Prefix Character	接頭文字
Non-Printed Character	破棄されたストリング
Available Return Code	新ラインコード
Replace FNC1	FNC1 交換
Virtual Future Date	直接日付入力（オン/オフ）
Virtual Future Time	直接時間入力（オン/オフ）
Search Method Setting	検索モード設定
Default Template	組み込みテンプレート表示
[PDL]	印刷タイトル（本機情報取得コマンドでは使用されません）
FmtPrefix	現在の ZPL プレフィックス文字
CtrPrefix	現在の ZPL プレフィックス文字
Delimiter	現在の ZPL コマンド区切り文字
CRC Check	SBPL エミュレーションでの CRC チェック設定（有効化/無効化）
[Option]	印刷タイトル（本機情報取得コマンドでは使用されません）
Cutter Option	カッターオプション（有/無）
Label Peeler	ピーラーオプション（有/無）
Coin Battery Level	コイン電池充電残量

RS-232C シリアル通信設定情報

印刷タイトル	詳細
[Serial]	印刷タイトル（本機情報取得コマンドでは使用されません）
Baud rate(bps)	RS-232C ボーレート
Data bit	RS-232C データビット長
Parity	RS-232C パリティ設定
Flow control	RS-232C フロー制御設定

Bluetooth 設定情報

印刷タイトル	詳細
[Bluetooth]	印刷タイトル（本機情報取得コマンドでは使用されません）

印刷タイトル	詳細
Bluetooth Usage	Bluetooth 有効化ステータス（有効化/無効化） 無効化の場合、以下の全項目は'-'（ハイフン）として表示されます。
Bluetooth Firmware Ver.	Bluetooth HCD ファイルバージョン情報
Bluetooth Device Name	Bluetooth 機器名
Bluetooth On Power On	電源をオンにするときの Bluetooth の状態
Visible to Other Devices	他の機器から検索
Bluetooth Mode	Bluetooth 制御モード
Automatic Reconnection	自動再接続（クラシック）
Target Address	自動再接続用 Bluetooth アドレス（クラシック）
Minimum Security Mode	最小セキュリティ（低エネルギー）
Bluetooth Address	Bluetooth アドレス
Security Mode	Bluetooth セキュリティモード設定
Bluetooth Server TimeOut	Bluetooth 自動再接続タイムアウト
Bluetooth Last Address	Bluetooth 最終接続機器アドレス
Bluetooth Last Device	最終設定機器
AutoMatically Search	自動検索

Bluetooth アドレスバーコード

印刷タイトル	詳細
(バーコード画像)	Bluetooth 機器アドレスバーコード フォーマット：CODE128、ボトムキャラクター ON、高さ 79 ドット（10mm）、幅=非常に小さく、細いバー/太いバー比率= 3:1、バーの長さは同一ではない

WLAN 設定情報

印刷タイトル	詳細
[WLAN]	印刷タイトル（本機情報取得コマンドでは使用されません）
WLAN Region	無線 LAN 宛先設定
WLAN On Power On	電源オン時の無線設定（無線 LAN オン/オフ）
Network Mode	ネットワークモード（インフラストラクチャ/ダイレクト/Infra&Direct/アドホック）
RSSI	受信信号強度（無線 LAN、Wireless Direct）
Channel	チャンネル
WLAN Status	無線 LAN ステータス（有効化/WLAN オフ/未接続）
Node Name	無線 LAN ノード名
MAC Address	無線 LANMAC アドレス
SSID	接続宛先 SSID（ネットワーク名）
Encryption Mode	暗号化方式
Authentication Method	認証方式
Boot Method	IP アドレス設定方法
IP Address	無線 LAN IP アドレス
Subnet Mask	サブネットマスク
Gateway Address	ゲートウェイアドレス
DNS Address	DNS サーバーアドレス（IPv4）
IPv6 Address	IPv6 アドレス

印刷タイトル	詳細
IPv6 DNS Address	DNS サーバーアドレス (IPv6)
WFD Status	Wireless Direct ステータス (オフ/グループオーナーがアクティブ)
WFD SSID	Wireless Direct SSID
WFD Channel	Wireless Direct 接続用チャンネル
WFD MAC Address	Wireless Direct MAC アドレス
WFD IP Address	Wireless Direct IP アドレス

有線 LAN 設定情報

印刷タイトル	詳細
[WiredLAN]	印刷タイトル (本機情報取得コマンドでは使用されません)
WiredLAN Status	有線 LAN ステータス (オフライン/オンライン)
Node Name	ノード名
MAC Address	MAC アドレス
Boot Method	IP アドレス設定方法
IP Address	IP アドレス
Subnet Mask	サブネットマスク
Gateway Address	ゲートウェイアドレス
DNS Address	DNS サーバーアドレス (IPv4)
IPv6 Address	IPv6 アドレス
IPv6 DNS Address	DNS サーバーアドレス (IPv6)

サポートサイト URL QR コード

印刷タイトル	詳細
<<PRODUCT SUPPORT WEBSITE>>	サポートサイトの URL と一緒に QR コードを印刷します。

本機データ転送一覧

印刷タイトル	詳細
[Template List]	プリンターに転送されたテンプレート名称一覧
[Database List]	プリンターに転送されたデータベース名称一覧
[Font List]	プリンターにダウンロードされたフォント名称一覧
Available memory	FlashROM のフリースペース (ユーザーエリア) [byte]

本機データ転送使用状況

印刷タイトル	詳細
Available memory[per]	FlashROM のフリースペース (ユーザーエリア) [%]

EWS 初期パスワード

印刷タイトル	詳細
Default Password	EWS 初期パスワード

本機使用履歴 (ユーザー)

印刷タイトル	詳細
[Usage Information]	印刷タイトル (本機情報取得コマンドでは使用されません)
Print Count (Total)	印刷枚数カウンター
Print Job Count (Total)	ジョブカウンター

印刷タイトル	詳細
Print Distance (Total)[m]	印刷距離カウンター (m) (余白部分を除く、順方向のみの印刷時の輸送距離。印刷距離には白データが含まれません)
Print Distance (Total)[dot]	印刷距離カウンター (dot)
Feed Distance (Total)[m]	合計輸送距離カウンター (m) (余白、印刷以外の輸送 (給紙、他) および逆輸送を含め、全ての輸送距離も、輸送距離に含まれています。)
Feed Distance (Total)[dot]	合計輸送距離カウンター (dot)
Full Cutter Count (Total)	フルカットカウンター
Full Cutter Count (1)	カッターの交換時にフルカットカウンターはアップデート (現在)
Head Disconnection dots[dot]	ヘッド切断カウント [dots] (最近の検査結果)
Feed Distance (Head1)[m]	印字ヘッド交換の検出時に輸送距離カウンターはアップデート (現在)
Feed Distance (Platen1)[m]	プラテンローラー交換の検出時に輸送距離カウンターはアップデート (現在)
Feed Count	給紙カウント
Environmental Temperature (Current)[degC]	環境温度 (現在) [°C]

エラー履歴情報

印刷タイトル	詳細
[Error Count]	印刷タイトル (本機情報取得コマンドでは使用されません)
Error Count Total	エラー発生数
Error Count #[Array:##]	エラー発生数 [配列:##] (1桁の場合、2桁目は省略)
System Error Count #[Array:##]	システムエラー発生数 [配列:##] (1桁の場合、2桁目は省略)

本機使用履歴 (メンテナンス)

印刷タイトル	詳細
Print Distance (User1)[m]	ユーザーがリセット可能な印刷距離カウンター (現在)
Print Distance (Head1)[m]	ヘッド交換の検出時に印刷距離カウンターはアップデート (現在)
Print Distance (Head2)[m]	ヘッド交換の検出時に印刷距離カウンターはアップデート (1以前)
Print Distance (Head3)[m]	ヘッド交換の検出時に印刷距離カウンターはアップデート (2以前)
Head Replacement Count	ヘッド交換数 [回数] (交換が検出された回数)
Print Distance (Average)[dot]	平均ページ長 (=合計印刷距離/合計印刷ページ数)
Print Count (USB1)	USB 経由での印刷枚数
Print Count (USB2)	USB 経由での印刷枚数 (オプション経由)
Print Count (USB HOST)	USBHOST での印刷枚数 (バーコードリーダー、USB メモリー、他)
Print Count (Bluetooth)	Bluetooth 経由での印刷枚数
Print Count (Bluetooth LE)	Bluetooth LE を使った印刷枚数
Print Count (AirPrint)	AirPrint を使った印刷枚数
Print Count (USB MSC)	USB マスストレージを使った印刷枚数
Print Count (Network)	ネットワーク経由での印刷枚数 (有線/無線 LAN)
Print Count (Standalone)	本機での印刷枚数
Print Count (RS232C)	RS-232C を使った印刷枚数
Print Count (Internal)	内部電源 (バッテリー) のみ装着時の印刷枚数

印刷タイトル	詳細
Print Count (External)	外部電源（アダプター、USB 電源）のみ接続時の印刷枚数
Print Count (Combination)	内外部の両電源接続時の印刷枚数
Print Count (Other)	他のコマンドの印刷カウント
Print Count (Raster)	ラスターの印刷枚数
Print Count (ESCP)	ESC/P を使った印刷枚数
Print Count (P-Template)	P-touch Template を使用した印刷枚数
Print Count (ZPL emulation)	ZPL エミュレーションを使った印刷枚数
Print Count (CPCL emulation)	CPCL エミュレーションを使った印刷枚数
Print Count (SBPL emulation)	SBPL エミュレーションを使った印刷枚数
Print Count (Density [Array:##])	密度 [配列 : ##] 時の印刷枚数
Print Count (Duty0-4%)	印刷デューティ 0～4%の印刷枚数
Print Count (Duty5-9%)	印刷デューティ 5～9 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty10-14%)	印刷デューティ 10～14 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty15-19%)	印刷デューティ 15～19 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty20-24%)	印刷デューティ 20～24 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty25-29%)	印刷デューティ 25～29 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty30-34%)	印刷デューティ 30～34 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty35-39%)	印刷デューティ 35～39 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty40-44%)	印刷デューティ 40～44 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty45-49%)	印刷デューティ 45～49 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty50-54%)	印刷デューティ 50～54 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty55-59%)	印刷デューティ 55～59 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty60-64%)	印刷デューティ 60～64 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty65-69%)	印刷デューティ 65～69 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty70-74%)	印刷デューティ 70～74 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty75-79%)	印刷デューティ 75～79 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty80-84%)	印刷デューティ 80～84 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty85-89%)	印刷デューティ 85～89 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty90-94%)	印刷デューティ 90～94 パーセントの印刷枚数
Print Count (Duty95-100%)	印刷デューティ 95～100 パーセントの印刷枚数
Average Coverage (Total)[%]	有効ドットに対する平均印刷率（計算値） [%]
Full Cut Time[msec]	最終フルカット時間（開始から動作終了までの時間）
Head Temperature (Min.)[degC]	最小印字ヘッド温度
Head Temperature (Max.)[degC]	最大印字ヘッド温度
Peeler Sensor[AD]	ピーラー操作時 LED がオフの場合のピーラーセンサー電圧 AD 値（最近）
Peeler Disturbed light[AD][Array:XX]	電源がオンである時のピーラーセンサー周囲光 AD 値（ベスト 3）
Cooling Count (head)	印字ヘッドによる冷却
Cooling Count (motor)	冷却モーター
Button Push Count (Power)	ボタン押下カウンター（電源）
Button Push Count (Esc)	ボタン押下カウンター（Esc）
Button Push Count (Menu)	ボタン押下カウンター（メニュー）
Button Push Count (Feed)	ボタン押下カウンター（給紙）

印刷タイトル	詳細
Button Push Count (Up)	ボタン押下カウンター (Up)
Button Push Count (Down)	ボタン押下カウンター (Down)
Button Push Count (OK)	ボタン押下カウンター (OK)
Button Push Count (Function)	ボタン押下カウンター (機能)
Cover Open Count	カバー開カウンター
Environmental Temperature (Min.)[degC]	環境温度 (最小) [°C]
Environmental Temperature (Max.)[degC]	環境温度 (最高) [°C]
Environmental Temperature (Avg.)[degC]	平均環境温度[°C]
Environmental Temperature (SD)[degC]	環境温度標準偏差[°C]
Media #01	最高印刷枚数の用紙に関する情報
Name:	名前
Width:[dot]	用紙の幅
Length:[dot]	中間長さ
Type:	タイプ
Energy:	エネルギーランク
Cut count:	カット数
Distance:	印刷距離
Count:	印刷枚数
Sensor Adj. (Lum):	センサー発光量調整値
Sensor Adj. (Thr);	センサー閾値調整値
Media #02	印刷枚数が 2 番目に多い用紙に関する情報
Name:	名前
Width:[dot]	用紙の幅
Length:[dot]	中間長さ
Type:	タイプ
Energy:	エネルギーランク
Cut count:	カット数
Distance:	印刷距離
Count:	印刷枚数
Sensor Adj. (Lum):	センサー発光量調整値
Sensor Adj. (Thr);	センサー閾値調整値
Battery Charge Count (Total)	合計充電回数 [回数] (バッテリーが未充電の状態から充電状態に充電された回数)
Battery Charge Finish Count (Total)	充電完了合計回数 [回数] (バッテリーが完全に充電され充電が完了した回数)
Battery Charge Time (Total)	合計充電時間 [分] (電時間の累積値)
Total Power On Time	合計電源オン時間 [分]
Total Power On Count	合計電源オン回数 [回数]
Battery Charge Count Level FC	充電開始電圧レベル：完全充電
Battery Charge Count Level UV	充電開始電圧レベル：中間電圧
Battery Charge Count Level OD	充電開始電圧レベル：低 (要充電)


印刷タイトル	詳細
First Setup Date	初期日時設定（製品操作開始）（YYYY/MM/DD 表記）

関連情報

- [プリンターの設定](#)

関連トピック：

- [プリンターの設定を確認する](#)
-


6. 画面の指示に従います。
7. 再起動後、を押します。
印刷が開始されます。



通常の印刷を再開するには、プリンターの電源をオフにし、再び電源をオンにします。

TD-2320D/TD-2350D

プリンター設定ツールを使用してプリンターをダンプモードに設定するには

1. USB ケーブルを使用して、プリンターをパソコンに接続します。
2. を押してプリンターの電源をオンにします。
3. プリンター設定ツールを起動します。
スタート > Brother > Printer Setting Tool をクリックします。
4. **本体設定** をクリックします。
5. **メンテナンス > ダンプモードへの切替** をクリックします。
6. プロンプトが表示されたら、**はい** をクリックして確認します。
プリンターがダンプモードに切り替わります。



通常の印刷を再開するには、プリンターの電源をオフにし、再び電源をオンにします。

✓ 関連情報

- [プリンターの設定](#)

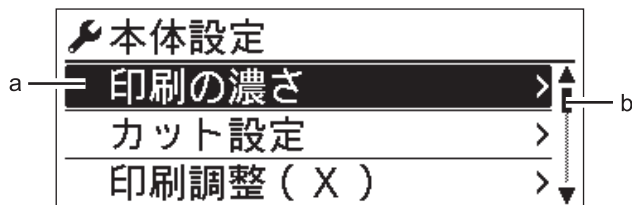
プリンターを使用してプリンター設定を変更する

関連モデル: TD-2350D



プリンターに接続されているパソコンのプリンター設定ツールを使用して、印刷設定を変更することもできます。

1. **Menu** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、メニューオプションを選択し、**OK** を押します。
3. ▲ または ▼ を押して、オプションを選択し、**OK** を押します。



- a. 現在の選択内容が強調表示されます。
- b. スクロールバーに、リスト上で強調表示されたオプションの位置が表示されます。

✓ 関連情報

- [プリンターの設定](#)
 - [設定一覧](#)

関連トピック：

- [プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する \(Windows\)](#)

設定一覧

関連モデル: TD-2350D

設定一覧で、メニューおよびオプションを確認することができます。



一部の設定は、ファームウェア（プリンターソフトウェア）によって異なる場合があります。

- >> [本体設定]
- >> [テンプレート設定]
- >> [本体情報]
- >> [管理者設定]
- >> [Network データ更新]（ネットワーク）
- >> [USB データ更新]（USB フラッシュメモリー）
- >> [有線 LAN]
- >> [無線 LAN]
- >> [Bluetooth]
- >> [用紙設定]
- >> [カスタム QR]

[本体設定]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[印刷の濃さ]	-	プリンターの印刷濃度を調整します。
[カット設定]	-	複数のラベルを印刷する場合のカット方法を設定します。
[印刷調整 (X)]	-	印刷位置を調整します。
[印刷調整 (Y)]	-	印刷位置を調整します。
[発行方式]	-	用紙の排出先を選択します。
[ティアオフ位置]	-	カット位置を調整します。
[印刷速度]	-	プリンターの印刷速度を選択します。
[印刷の向き]	-	印刷の向きを選択します。
[オートパワーオフ]	-	プリンターの電源が自動的にオフになるまでの時間を指定します。
[オートスリープ]	-	プリンターが自動的にスリープモードになるまでの時間を指定します。
[画面の濃さ]	-	液晶ディスプレイのコントラストを設定します。数が大きくなるほど、コントラストが強くなります。
[バックライト設定]	-	バックライトのオンまたはオフを切り替えます。
[透過センサー]	[検出レベル補正 (透過)]	プレカット紙ラベルのギャップ（隙間）を検出するセンサーの感度を調整します。
	[発光量の補正 (透過)]	透過型/ギャップセンサーが放つ光量を調整します。
[反射センサー]	[検出レベル補正 (反射)]	黒マークを検出するセンサーの精度を調整します。
	[発光量の補正 (透過)]	反射型/黒マークセンサーが放つ光量を調整します。
[充電上限設定]	-	充電パーセンテージを選択し、バッテリーの充電を停止します。
[ホーム画面設定]	-	待機モード時に表示される画面を選択します。
[カバークローズ動作]	-	ロールカバーを閉じた後の動作を選択します。

[テンプレート設定]


設定項目 1	設定項目 2	説明
[印刷前の確認]	-	印刷枚数を確認できるように、印刷前にメッセージを表示させるかどうかを指定します。
[連番後の値]	[維持する]	最後に印刷された番号から連番を続ける場合に選択します。
	[初期値に戻す]	印刷するたびにデフォルト値の番号から連番を始める場合に選択します。
[連番リセット]	-	連番をデフォルト値の番号にリセットします。
[印刷枚数初期値]	-	印刷枚数の工場出荷時の設定を指定します。
[日付直接入力]	-	テンプレートに直接日付を入力します。
[時刻直接入力]	-	テンプレートに直接時間を入力します。
[プリセット表示]	-	プリセットテンプレートを表示するかどうかを選択します。

[本体情報]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[インフォメーション]	-	お知らせアイコンが表示されているときに情報を表示します。
[本体情報表示]	-	プリンター情報を表示します。
[本体情報印刷]	[すべて]	プリンターの設定情報を印刷します（ドット抜け確認パターン、印刷履歴、印刷設定、無線設定情報、転送データ）。
	[印刷履歴]	プリンターの印刷履歴を印刷します。
	[本体設定]	印刷設定を印刷します。
	[転送データ]	転送データを印刷します。

[管理者設定]

プリンター操作による日時の変更を防ぐため、[管理者設定]メニューにパスコードを設定しセキュリティを確保します。

設定項目 1	設定項目 2	説明
[コマンドモード]	-	コマンドモードの種類を選択します。
[日付形式]	-	日付形式を選択します。
[時刻形式]	-	時計の時間形式を選択します。
 [言語]	-	画面の言語を選択します。
[単位]	-	表示されている設定の測定単位を選択します。
[初期化]	[工場出荷状態に戻す]	通信設定や本体設定など、プリンターのすべての印刷設定を工場出荷時の設定に戻します。 プリンターに保存されているテンプレートとデータベースも削除されます。
	[登録データ初期化]	すべての本体設定を工場出荷時の設定に戻します。 プリンターに保存されているテンプレートとデータベースも削除されます。
	[ネットワーク初期化]	通信設定を工場出荷時の設定に戻します。
[通信用電波の遮断]	-	機内モードをオン、またはオフに切り替えます。 オンに設定すると、WLAN 機能と Bluetooth 機能が無効になります。
[時計設定]	[自動時刻取得]	NTP サーバーから取得した日時を使用するかどうかを選択します。

設定項目 1	設定項目 2	説明
[時計設定]	[時計設定]	日付、時間および表示形式（12 時間形式または 24 時間形式）を設定します。
	[時計機能（オン/オフ）]	画面に日時を表示するかどうかを選択します。
[ヘッドチェック]	-	印字ヘッドの状態をチェックします。
[ロック]	-	プリンターの画面から変更できないようにするオプションのチェックボックスを選択します。 チェックボックスを選択したら、▲または▼を押して[完了]を選択し、OK を押して設定を完了します。 メニューロックが設定されている場合、選択できない項目にロックアイコンが表示されます。
[パスワード]	-	管理者モードに入るのにパスコードの入力を求めるかどうかを選択します。オンに設定した場合は、4 桁のパスワードを指定します。
[ダンプモード]	-	現在までに受信したデータに関する情報を印刷します。
[EWS (Web で管理)]	-	Web Based Management を使用するかどうかを選択します。
[ファームウェア更新]	[更新確認]	アップデートされたファームウェアを確認しアップデートを実行します。
	[更新自動通知]	ファームウェアのアップデートの定期チェックを設定し、アップデートが利用可能な場合は通知を受信します。

[Network データ更新] (ネットワーク)

設定項目 1	設定項目 2	説明
[Network データ更新]	-	プリンターが FTP サーバーに接続されている場合、およびテンプレート、データベース、その他のファイルをアップデートする必要がある場合にのみ使用できます。

FTP サーバーの情報を設定するには、プリンター設定ツールで最初に**通信設定**に進む必要があります。

[USB データ更新] (USB フラッシュメモリー)

設定項目 1	設定項目 2	説明
[USB データ更新]	-	アップデートが必要なテンプレート、データベース、およびその他のファイルが保存された USB フラッシュメモリーをプリンターに接続した場合にのみ使用できます。

[有線 LAN]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[有線 LAN TCP/IP 設定]	-	TCP/IP の設定を指定します。
[有線 LAN ステータス]	-	有線 LAN の状態を表示します。

[無線 LAN]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[オン/オフ]	-	WLAN 機能をオンまたはオフに切り替えます。
[モード選択]	[インフラストラクチャ]	WLAN 機能をオンに設定した場合に、ネットワークモードを選択します。
	[WirelessDirect]	
	[両モード有効]	

設定項目 1	設定項目 2	説明
[ボタンプッシュ]	-	近くの無線 LAN アクセスポイント/ルーターへの接続を試みます。
[PIN コード]	-	プリンターの 8 桁の PIN を表示します。
[インフラ手動設定]	-	インフラストラクチャモードで手動により WLAN 接続を確立します。 近くの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの SSID を表示します。 SSID を選択し、 OK を押すと、パスワード入力画面が表示されます。
[ダイレクト手動設定]	-	Wireless Direct モードで手動により WLAN 接続を確立します。 無線機器の SSID とパスワードを手動で入力します。
[TCP/IP 設定]	[Auto] [Static]	TCP/IP の設定を指定します。
[接続アシスタント]	-	WLAN 接続アシスタント機能を使用して、無線ネットワーク設定を行います。
[無線 LAN ステータス]	[インフラストラクチャ] [WirelessDirect]	WLAN の状態を表示します。

[Bluetooth]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[オン/オフ]	-	Bluetooth 機能をオンまたはオフに切り替えます。
[モード選択]	[両モード有効] [クラシック] [Low Energy]	Bluetooth モードを選択します。
[BT バーコード印刷]	-	Bluetooth アドレスと対応するバーコードを印刷します。
[BT 自動再接続]	-	自動再接続モードに切り替えます (Apple 製品の iPad、iPhone、または iPod touch のみ)。
[再接続先削除]	-	プリンターに登録された自動的にペアリングされた機器を自動的に削除します。
[認証コード確認]	-	Bluetooth のペアリング時に確認を実行するかどうかを選択します。
[セキュア通信]	[通常モード] [セキュアモード]	Bluetooth 接続のセキュリティモードを選択します。
[Bluetooth ステータス]	-	Bluetooth 機能の状態を表示します。

[用紙設定]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[用紙選択]	-	用紙サイズと用紙種類を選択します。
[用紙自動検知]	-	セットされた用紙のサイズを検出します。
[用紙幅で選択]	-	セットされた用紙の幅を検出します。プリンター設定ツールで登録された用紙設定の中から、検出結果と一致する用紙設定を [用紙選択] オプションに表示します。

[カスタム QR]

プリンター設定ツールで設定されたカスタム QR コードを表示します。



関連情報

- プリンターを使用してプリンター設定を変更する

日常のお手入れ

- プリンターを清掃する
- コイン電池を交換する
- 各部を交換する
- 印字ヘッドを確認する

プリンターを清掃する

性能を適切に発揮させるため、プリンターを定期的に清掃することをお勧めします。

清掃を行う前に、必ずプリンターを電源から切断してください。

- >> 消毒液を使ったプリンター外部の清掃
- >> 本体外面を清掃する
- >> ラベル排出口を清掃する
- >> ローラーを清掃する
- >> 印字ヘッドを清掃する
- >> ロールガイドを清掃する
- >> ラベルサポートを清掃する
- >> ハクリユニットを清掃する

消毒液を使ったプリンター外部の清掃

- 用意するもの
 - 消毒液
 - 次亜塩素酸水¹ または希釈したエタノールを使用することをお勧めします。²
 - 次亜塩素酸ナトリウムを使用することは避けてください。³
 - 糸くずの出ない布
- プリンターの電源をオフにし、ACアダプターとAC電源コードを外し、バッテリーを取り外します。
消毒剤を柔らかく糸くずのない布に軽く吹きかけ、プリンターの表面を優しく素早く拭きます。拭き終わったら、カバーを開けたままにして水分が完全に乾くまで待ちます。
乾いたら、電源プラグとバッテリーを取り付けます。

重要

- プリンターの電源をオフにし、電源プラグとバッテリーを取り外して消毒します。
- 消毒液を直接プリンターに吹きかけないでください。
- 水分が放熱穴、ボタン、コネクタ、バッテリー端子周りのすき間に入るのを防いでください。
- ベンジンまたはシンナーなどの可燃性スプレーまたは有機溶剤は使用しないでください。火災または感電の危険があります。
- 漂白剤や研磨剤を含む洗剤は使用しないでください。
- 手で持つ器具を消毒する場合は、手で持つことはせずにテーブルに置いてください。
- 消毒液として希釈したエタノールを使用する場合は、十分に換気された部屋に移動してください。
- 消毒液の使用後は、よく両手を洗ってください。

本体外面を清掃する

乾いた柔らかい布を使用して、本機のほこりや汚れを拭き取ります。汚れがひどいときは、水でほんの少し湿らせた布を使用します。

¹ 水溶液である次亜塩素酸水は、食品、機械、設備の清掃と消毒だけでなく手洗いにも使用されています。

² 無水エタノール7に対し水3の割合で希釈します。

³ 次亜塩素酸ナトリウムを含有物として含む次亜塩素酸水に類似した名称の製品がありますが、次亜塩素酸ナトリウム溶液には漂白剤が含まれています。こうした製品は本製品の消毒には不適切であるため、使用しないでください。

重要

塗料用シンナー、ベンゼン、アルコール、その他の有機溶剤は使用しないでください。これらを使用すると、プリンターの筐体に変形したり、損傷したりすることがあります。

ラベル排出口を清掃する

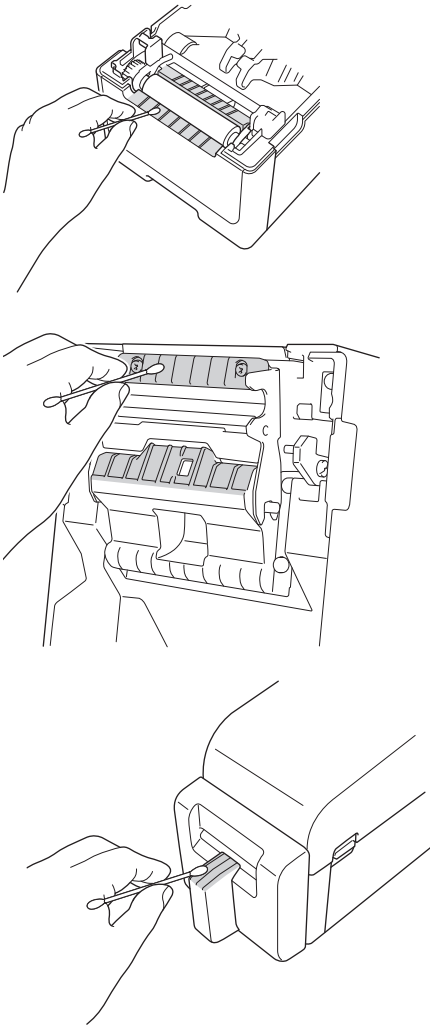
ラベル排出口に粘着物が残っていると、ラベル詰まりの原因となることがあります。乾いた綿棒でラベル排出口を清掃します。

重要

ラベル排出口の清掃にアルコールを使用しないでください。

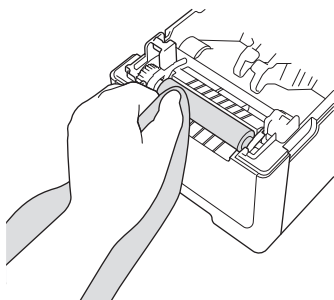
お願い

- ラベル排出口から排出されたラベルは必ず取り除いてください。排出口がふさがれると、ラベルが詰まる恐れがあります。
- ミシン目や折り目付きのラベルの場合、カットの精度は保証できません。



ローラーを清掃する

イソプロピルアルコールまたはエタノールで軽く湿らせた糸くずの出ない布でローラーを拭きます。ローラーを清掃した後に、糸くずやその他の物質がローラーに残っていないことを確認します。

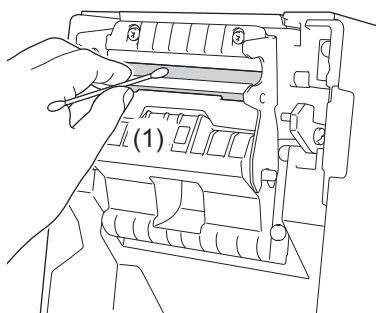


イソプロピルアルコールまたはエタノールは、製造元メーカーの安全ガイドラインに従って使用してください。

印字ヘッドを清掃する

イソプロピルアルコールまたはエタノールで軽く湿らせた糸くずの出ない布または綿棒で印字ヘッドを拭きます。

印字ヘッドは毎月清掃することをお勧めします。



重要

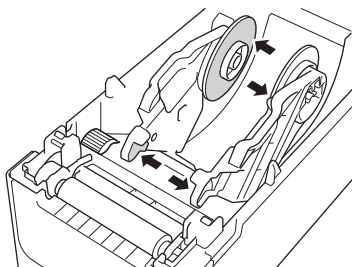
静電気放電と腐食を防ぐため、印字ヘッドは直接素手で触らないでください。




- イソプロピルアルコールまたはエタノールは、製造元メーカーの安全ガイドラインに従って使用してください。
- センサー (1) の小さな透明な窓を掃除しないでください。
- プラテンローラーを溶液または研磨材で清掃すると、プラテンローラーを損傷し、その寿命が短くなる可能性があります。

ロールガイドを清掃する

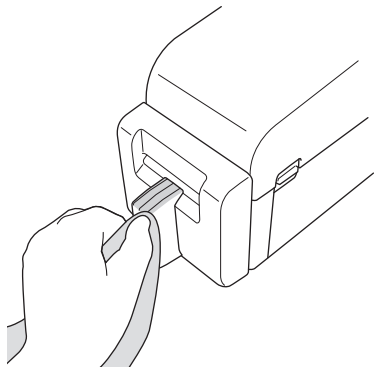
イソプロピルアルコールまたはエタノールで軽く湿らせた糸くずの出ない布でロールガイドを拭きます。ラベルロールの交換時には、ロールガイドの清掃をお勧めします。




 イソプロピルアルコールまたはエタノールは、製造元メーカーの安全ガイドラインに従って使用してください。

ラベルサポートを清掃する

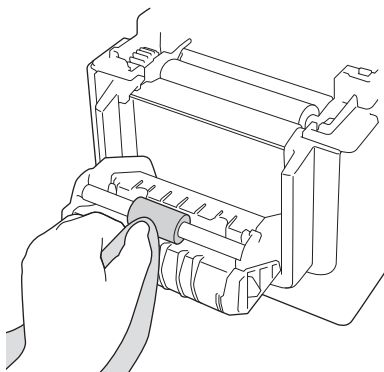
イソプロピルアルコールまたはエタノールで軽く湿らせた糸くずの出ない布でラベルサポートを拭きます。ラベルロールの交換時には、ラベルサポートの清掃をお勧めします。




 イソプロピルアルコールまたはエタノールは、製造元メーカーの安全ガイドラインに従って使用してください。

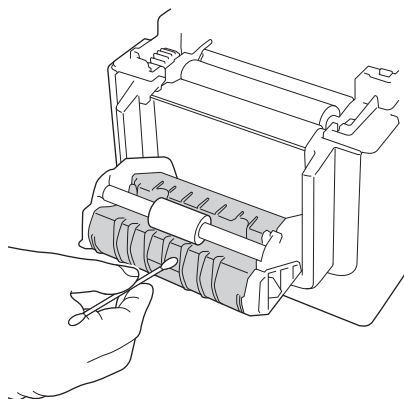
ハクリユニットを清掃する

1. イソプロピルアルコールまたはエタノールで軽く湿らせた糸くずの出ない布でローラーを拭きます。ローラーを清掃した後に、糸くずやその他の物質がローラーに残っていないことを確認します。



 イソプロピルアルコールまたはエタノールは、製造元メーカーの安全ガイドラインに従って使用してください。

2. ラベル出カスロットに粘着物が付着すると、ラベル詰まりの原因となることがあります。乾いた綿棒でラベル出カスロットを清掃します。





関連情報

- 日常のお手入れ

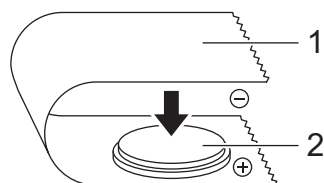
コイン電池を交換する

コイン電池は、内部時計の設定を維持するための予備電源として使用されます。プリンターが使用されていない場合でも、電池の電力は消費されます。

- 長期間プリンターを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- バッテリーは2年ごとに交換することをお勧めします。コイン電池の一部は寿命が短く、購入した電池によっては、2年以内に交換が必要になることがあります。バッテリーの寿命に応じて交換する必要があります。
- コイン電池が切れると、正しくない日時が印刷されます。
- 本製品に電力が供給されている間に時計がリセットされる場合、電池を交換してください。電池を交換するときは、CR2032 コイン電池を使用してください。
- バッテリーは一般廃棄処理ではなく、適切な回収場所に廃棄してください。国および自治体の条例がある場合は、その定めに従ってください。

重要

- 推奨電池のみを使用してください。その他の電池を使用すると、プリンターが破損する恐れがあります。
- バッテリーを保存または廃棄するときは、セロハンテープを巻いて、ショートを起こさないようにしてください。

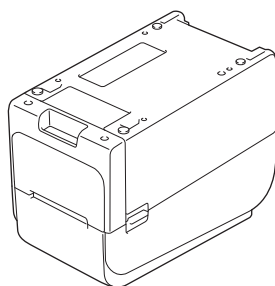


1. セロハンテープ
2. コイン電池

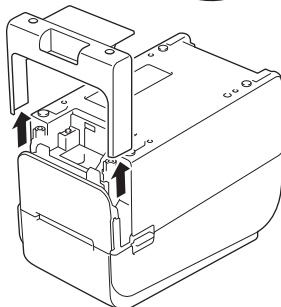
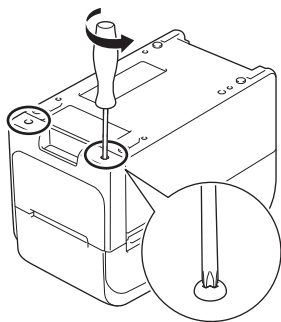


新しいコイン電池を取り付け後、プリンターにより「コイン電池残量が少なくなっています。まもなく日付時刻がリセットされます。」というメッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、プリンターを継続して使用できます。このメッセージは一時的なもので、再度表示されることはありません。

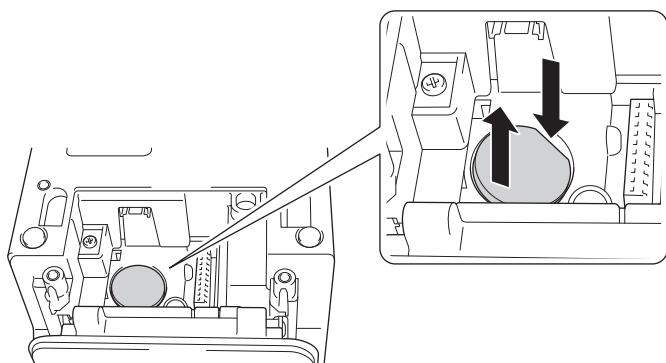
1. プリンターを AC 電源コンセントから切断します。
2. プリンターをひっくり返します。



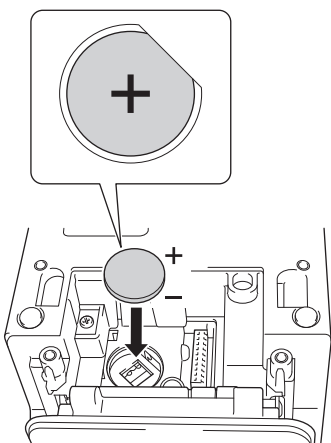
3. プラスドライバーを使用して、フロントカバーベースを取り外します。



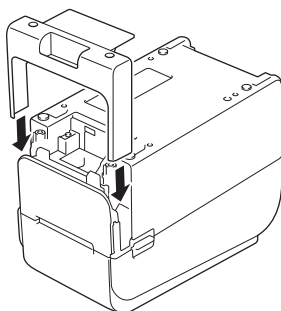
4. 図に示すように、バッテリーの右側を押してバッテリーを取り外します。

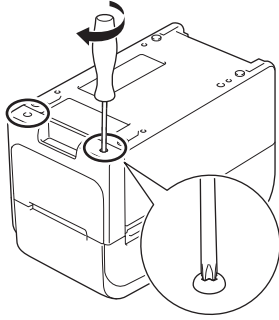


5. 新しい電池を電池スロットに取り付け、電池が水平で、正極が上を向いていることを確認します。



6. プラスドライバーを使用して、フロントカバーベースを再度取り付けます。





7. AC 電源コードを AC 電源コンセントに再度差し込みます。

✓ 関連情報

- [日常のお手入れ](#)

関連トピック：

- [日時を設定する](#)
-

各部を交換する

印字ヘッド、プラテンローラー、カッターはプリンターの運用期間中に摩耗し、用紙種類や印刷量などのさまざまな要因により、交換が必要になることがあります。印刷距離やカッターカウントを確認すると、将来の交換時期を予想する目安となります。カッターの切れ味は、カット数以外の要因によっても影響を受けます。

次のような方法を用いて交換期間を確認します。

- キーまたはメニューを使用して印刷設定レポートを印刷し、確認します。
詳細については、「関連トピック」をご覧ください：プリンターの設定を確認する
- プリンター設定ツールを使用してプリンター情報を確認します。
Printer Setting Tool を起動し、**本体設定 > メンテナンス > 本体情報の確認**を選択してプリンター情報を表示します。
- プリンター設定ツールを使用してプリンター情報を印刷し、確認します。
Printer Setting Tool を起動し、**本体設定 > メンテナンス > 本体設定印刷**を選択して印刷します。
- BRAdmin Professional により部品交換を確認します。
BRAdmin Professional 4 ソフトウェア (Windows のみ) をダウンロードするには、support.brother.co.jp へ進みます。
機器一覧に表示される情報にカット数と合計印字長を追加します。

詳細については、「関連トピック」をご覧ください：仕様

✓ 関連情報

- [日常のお手入れ](#)

関連トピック：

- [仕様](#)
- [プリンターの設定を確認する](#)

印字ヘッドを確認する

印字ヘッドの状態を定期的を確認することで、印刷品質を良好に保つことができます。

>> [TD-2320D/TD-2350D](#)

>> [TD-2350D](#)

TD-2320D/TD-2350D

プリンター設定ツール（Windows）を使用して印字ヘッドの状態を確認するには、次の手順を実行します。

1. プリンター設定ツールを起動します。
スタート > **Brother** > **Printer Setting Tool** をクリックします。
2. **本体設定** をクリックします。
3. **管理設定** > **電源 ON 時ヘッドチェック** をクリックします。
4. **オン** を選択します。
5. **設定** をクリックします。
6. プリンターの電源をオフにし、その後電源をオンにしてください。
7. プリンター設定ツールを起動します。
スタート > **Brother** > **Printer Setting Tool** をクリックします。
8. **本体設定** をクリックします。
9. **メンテナンス** > **本体情報の確認** をクリックします。
10. **本体情報の確認** ウィンドウで **head_disconnection_count** を確認します。
11. **head_disconnection_count** の値がゼロ以外の場合は、使用している印刷パターンを印刷します。
 - 印刷品質に問題がなければ、継続して使用します。
 - 印刷品質に問題がある場合は、印字ヘッドを交換します。

TD-2350D

印字ヘッドの状態を確認するには、次の手順を実行します。

1. プリンターの電源をオンにします。
2. **Menu** を押します。
3. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - a. [管理者設定] を選択します。OK を押します。
 - b. [ヘッドチェック] を選択します。OK を押します。プリンターにより印字ヘッドの確認結果が表示されます。
4. **OK** を押してメニューに戻ります。
5. 結果に問題がある場合は、使用している印刷パターンを印刷します。
 - 印刷品質に問題がなければ、継続して使用します。
 - 印刷品質に問題がある場合は、印字ヘッドを交換します。



関連情報

- [日常のお手入れ](#)

■ トラブルシューティング

- 本製品に問題がある場合は
- エラー LED とメンテナンス LED
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 印刷の問題
- バージョン情報
- プリンターをリセットする

本製品に問題がある場合は

この章では、プリンターの使用中に発生する可能性のある一般的な問題の対処方法について説明します。プリンターに問題がある場合、まず、次の作業を正しく行ったかを確認してください。

- プリンターを AC 電源コンセントに接続する。詳しい説明は「[関連情報](#)」をご覧ください。
- AC アダプターを接続する。詳しい説明は「[関連情報](#)」をご覧ください。
- プリンターからすべての保護用梱包材を取り除く。
- 正しいプリンタードライバーをインストールして選択する。詳しい説明は「[関連トピック](#)」をご覧ください。
- パソコンまたはモバイル端末にプリンターを接続する。詳しい説明は「[関連情報](#)」をご覧ください。
- ロールカバーを完全に閉じる。
- 用紙を正しく挿入する。詳しい説明は「[関連情報](#)」をご覧ください。

それでも問題が解決しない場合は「[関連情報](#)」をご覧ください。関連するトピックを確認しても、問題を解決できない場合は、サポートサイト (support.brother.co.jp) にアクセスしてください。

✓ [関連情報](#)









- [トラブルシューティング](#)

関連トピック：

- [電源コードを接続する](#)
- [プリンタードライバーおよびソフトウェアをパソコンにインストールする](#)
- [プリンターをパソコンに接続する](#)
- [RD ロールをセットする](#)

エラー LED とメンテナンス LED








LED が点灯および点滅し、プリンターの状態を示します。

 または  または 	LED は表示されている色で点灯します。
 または  または 	LED は表示されている色で点滅します。
	LED は、いずれかの色で消灯、点灯、または点滅します。
	LED が消灯している。

>> [TD-2320D](#)

>> [TD-2350D](#)

TD-2320D

電源 LED	ロール LED	ステータス LED	状態	対処方法
			ロールカバーが開いています。	所定の位置で固定されるまで、ロールカバーを閉じます。
	 繰り返し (1 秒オフ、1 秒オン)	 繰り返し (1 秒オフ、1 秒オン)	給紙エラー 用紙切れエラー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本機のロール紙カバーを開けてください。 2. 正しい用紙をプリンターに取り付けます。 3. 用紙が用紙経路に正しく取り付け、センサーに対し正しく取り付けられていることを確認します。 4. 所定の位置で固定されるまで、ロールカバーを閉じます。 5.  を押して、エラーを解除します。 6.  を長押しして、プリンターの電源を切ります。
	 繰り返し (1 秒オフ、1 秒オン)		通信コマンドエラー BLF ファイルエラー データベース検索エラー テンプレートなしエラー 時間取得エラー アクセスポイント検索エラー アクセスポイント接続エラー 最大印字長オーバー ESC/P メモリー容量オーバーエラー JPEG ファイルエラー	次のいずれかを行います。 <ul style="list-style-type: none"> • ロールカバーを開け閉めします。 •  を長押しします。または ▲ と ▼ 以外のキーを押します。 •  を長押しして、プリンターの電源を切ります。

電源 LED	ロール LED	ステータス LED	状態	対処方法
		 繰り返し (1 秒オフ、1 秒オン)	USB ホストメモリー容量オーバーエラー データアップデート未完了エラー (ネットワーク) データアップデート未完了エラー (USB) ファームウェアアップデート未完了エラー 高温エラー	次のいずれかを行います。 <ul style="list-style-type: none"> ロールカバーを開け閉めします。 を長押しします。または▲と▼以外のキーを押します。 を長押しして、プリンターの電源を切ります。
		 繰り返し (0.9 秒オフ、0.3 秒オン、0.3 秒オフ、0.3 秒オン)	カッターエラー マスマストレージエラー 印字ヘッドが検出されません バッテリーエラー 正しくないオプションがアセンブルされました	 を長押しして、プリンターの電源を切ります。
 3 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	 3 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	 3 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	コイン電池が充電されていないか、取り付けられていません。	コイン電池を交換するか、取り付けます。
 3 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	 3 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	 3 回 (0.5 秒オフ、0.5 秒オン)	印字ヘッドの接続に問題がある可能性があります。	使用する印刷パターンを印刷します。 <ul style="list-style-type: none"> 印刷品質に問題がなければ、継続して使用します。 印刷品質に問題がある場合は、印字ヘッドを交換します。
 繰り返し (0.3 秒オフ、0.3 秒オン)	 繰り返し (0.3 秒オフ、0.3 秒オン)	 繰り返し (0.3 秒オフ、0.3 秒オン)	システムエラー	ブラザーコールセンターにお問い合わせください。
 繰り返し (0.9 秒オフ、0.3 秒オン) 繰り返し (0.9 秒オフ、0.3 秒オン、0.3 秒オン、0.3 秒オフ、0.3 秒オン)	 繰り返し (0.9 秒オフ、0.3 秒オン) 繰り返し (0.9 秒オフ、0.3 秒オン、0.3 秒オフ、0.3 秒オン)	 繰り返し (0.9 秒オフ、0.3 秒オン) 繰り返し (0.9 秒オフ、0.3 秒オン、0.3 秒オフ、0.3 秒オン)	システムエラー	ブラザーコールセンターにお問い合わせください。

電源 LED	ロール LED	ステータス LED	状態	対処方法
秒オン、0.3秒オフ、0.3秒オン) 繰り返し (0.9秒オフ、0.3秒オン、0.3秒オフ、0.3秒オン、0.3秒オフ、0.3秒オン、0.3秒オフ、0.3秒オン、0.3秒オフ、0.3秒オン)	ン、0.3秒オフ、0.3秒オン) 繰り返し (0.9秒オフ、0.3秒オン、0.3秒オフ、0.3秒オン、0.3秒オフ、0.3秒オン、0.3秒オフ、0.3秒オン)	ン、0.3秒オフ、0.3秒オン、0.3秒オフ、0.3秒オン)		

TD-2350D

電源 LED	ロール LED	ステータス LED	状態	対処方法
			ロールカバーが開いています。	所定の位置で固定されるまで、ロールカバーを閉じます。
			ネットワーク設定エラー SSID 入力/設定範囲外エラー パスワード入力/設定範囲外エラー 不正パスワードエラー 設定範囲外エラー データベースサイズエラー	を長押しして、エラーを解除します。
	 繰り返し (1秒オフ、1秒オン)	 繰り返し (1秒オフ、1秒オン)	給紙エラー 用紙切れエラー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本機のロール紙カバーを開けてください。 2. 正しい用紙をプリンターに取り付けます。 3. 用紙が用紙経路に正しく取り付け、センサーに対して正しく取り付けられていることを確認します。 4. 所定の位置で固定されるまで、ロールカバーを閉じます。 5. を押して、エラーを解除します。 6. を長押しして、プリンターの電源を切ります。
		 繰り返し (1秒オフ、1秒オン)	通信コマンドエラー BLF ファイルエラー データベース検索エラー	<p>次のいずれかを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ロールカバーを開け閉めします。 • を長押しします。または▲と▼以外のキーを押します。 • を長押しして、プリンターの電源を切ります。

電源 LED	ロール LED	ステータス LED	状態	対処方法
		 繰り返し (1 秒オフ、1 秒オン)	テンプレートなしエラー	<p>次のいずれかを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ロールカバーを開け閉めします。 •  を長押しします。または ▲ と ▼ 以外のキーを押します。 •  を長押しして、プリンターの電源を切ります。
			時間取得エラー	
			アクセスポイント検索エラー	
			アクセスポイント接続エラー	
			最大印字長オーバー	
			ESC/P メモリ容量オーバーエラー	
			JPEG ファイルエラー	
			USB ホストメモリー容量オーバーエラー	
			データアップデート未完了エラー (ネットワーク)	
			データアップデート未完了エラー (USB)	
			ファームウェアアップデート未完了エラー	
高温エラー				
		 繰り返し (0.9 秒オフ、0.3 秒オン、0.3 秒オフ、0.3 秒オン)	カッターエラー	 を長押しして、プリンターの電源を切ります。
			マストレージエラー	
			USB ホスト電源オーバーエラー	
			USB ホスト非対応機器接続エラー	
			印字ヘッドが検出されません	
			バッテリーエラー	
			正しくないオプションがアセンブルされました	
			充電が必要です	
	 繰り返し (0.9 秒オフ、0.3 秒オン、0.3 秒オフ、0.3 秒オン、0.3 秒オフ、0.3 秒オン)	USB ハブが接続されています	 を長押ししてプリンターの電源をオフにし、  を押してプリンターを再起動します。	

エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

関連モデル: TD-2350D

メッセージ	解決方法
[ボタン電池残量が少なくなっています。まもなく日付時刻がリセットされます。]	正確な時刻での印刷ができなくなるため、ボタン電池を直ぐに交換します。 このメッセージは、バッテリーの交換後に表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、プリンターを継続して使用できます。このメッセージは一時的なもので、再度表示されることはありません。 詳細については、「 関連トピック 」をご覧ください：コイン電池を交換する
[データベースエラー]	編集可能なデータベースの最大サイズは、500 行以下、1MB 以下です。

✓ 関連情報


- [トラブルシューティング](#)




関連トピック：

- [コイン電池を交換する](#)

印刷の問題

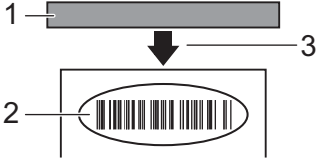
印刷の問題

問題	解決方法
LED または液晶ディスプレイが点灯しない。(TD-2350D) LED が点灯しない。(TD-2320D)	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは正しく差し込まれていますか？ コードが正しく差し込まれていることを確認してください。 TD-2350D：それでも、LED または液晶ディスプレイが点灯しない場合は、ブラザーコールセンターまでお問い合わせください。 TD-2320D：それでも、LED が点灯しない場合は、ブラザーコールセンターまでお問い合わせください。
印刷できない、または印刷エラーになる。	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルが外れていませんか？ ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。 用紙ロールは正しくセットされていますか？ 正しくセットされていない場合は、用紙ロールを取り外してセットしなおしてください。 用紙ロールを使い切っていませんか？ 新しい用紙ロールをセットしてください。 ロール紙カバーが開いていませんか？ ロール紙カバーが閉じているか確認してください。 印刷エラーや送信エラーが発生していませんか？ プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。問題が解消されない場合は、ブラザーコールセンターまでお問い合わせください。 プリンターが USB ハブ経由でパソコンに接続されている場合は、パソコンに直接接続してください。パソコンに直接接続されている場合は、別の USB ポートに接続してみてください。
データ送信エラーがパソコンに表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 正しいポートが選択されていますか？ 正しいポートが選択されているか確認してください。 本機がクーリングモードになっていませんか？ 電源 LED が緑色で点灯、およびステータス LED がオレンジ色で点滅している場合、ステータス LED の点滅が停止するまで待ち、再度印刷してください。 他のユーザーが印刷していませんか？ 他のユーザーが大量のデータを印刷しているときに印刷しようとする、プリンターは現在の印刷ジョブが完了するまで新しい印刷ジョブを受け付けることができません。その場合は、他の印刷ジョブの終了後に、印刷ジョブを再度実行してください。
現在の印刷ジョブをキャンセルしたい。	印刷の一時停止中に  を押します。
印刷品質が低い、印刷に白筋が入る。	<p>プリンターの部品上にほこりやごみがあり、プリンターの適切な動作を妨げていませんか。 ローラー、印字ヘッド、ロールガイドの側面とラベルサポートの周囲を清掃してください。詳細については、「関連情報」をご覧ください。</p> <p>用紙サイズ設定 ツールから エネルギーランク を調整するか、または 本体設定 ツールから 印刷速度 を調整します。 詳細については、「関連情報」をご覧ください。</p>
印刷濃度を上げたい。	<p>用紙サイズ設定 ツールから 新規 および 印字調整 に進み、 エネルギーランク を上げます。 詳細については、「関連情報」をご覧ください。</p>


問題	解決方法
用紙が送り込まれない。	<ul style="list-style-type: none"> ローラーに汚れや糸くずが付着し、ローラーの回転を妨げていませんか？ローラーを清掃してください。詳細については、「関連情報」をご覧ください。 用紙の排出経路がふさがっていないか確認してください。 用紙ロールを取り外してセットしなおしてください。詳細については、「関連情報」をご覧ください。 ロール紙カバーが完全に閉じているか確認してください。
断続的に用紙送りされる。	<ul style="list-style-type: none"> 本機のロール紙カバーを開けてください。 いずれかのボタンを押して、用紙送りを停止してください。 印刷の一時停止中にを押すと、印刷ジョブをキャンセルします。 TD-2350D：印刷の一時停止中に、▲、▼以外のいずれかのボタンを押すと、印刷を再開します。 TD-2320D：印刷の一時停止中に、以外のいずれかのボタンを押すと、印刷を再開します。
ラベルとラベルの間で停止しない。	<ul style="list-style-type: none"> 用紙情報が正しく入力されているかどうかを確認してください。用紙情報は、プリンター設定ツールの用紙サイズ設定で設定できます。 センサーが汚れている場合はセンサーを乾いた綿棒で拭いてください。 センサーを妨げているものがないか確認してください。
用紙の頭出しができず、エラーが起きる。	<p>給紙エラーが発生している場合は、プリンター設定ツールの用紙サイズ設定で、プリンターに正しい用紙設定を指定してください。</p> <p>TD-2350D：RD ロールを使用している場合は、Menu を押してから [用紙設定] > [用紙選択] を押して、プリンターに正しい用紙がセットされているか確認してください。</p>
ヘッド、モーター、またはリチウムイオン充電池がクールダウン中。	<p>サーマルヘッド、モーター、またはリチウムイオン充電池が高温になりすぎています。</p> <p>ヘッド： プリンターが停止して、サーマルヘッドの冷却が完了した後に印刷を再開します。印字密度が高い文書を大量に印刷すると、ヘッドが非常に高温になる場合があります。サーマルヘッドが高温になると、意図しない印刷が実行される場合があります。この状態を回避または遅延させるには、濃度設定を薄くして印刷し、黒色での印刷量を減らします（例えば、グラフやプレゼンテーションドキュメントの背景の陰影や色を削除）。さらに、プリンターを十分に換気し、密閉空間に設置されていないことを確認してください。</p> <p>モーターまたはリチウムイオン充電池： 本機を連続して使用しないでください。本機を連続使用すると、モーターやリチウムイオン充電池が過熱します。その場合、本機は印刷を停止し、モーターまたはリチウムイオン充電池がクールダウンした後に印刷を再開します。</p> <p>お願い</p> <p>高所など空気濃度の薄いところ（3,048m 以上）では、プリンターの冷却に利用できる空気が薄いため、このような現象が起こりやすくなります。</p>
プリンターをリセットしたい/パソコンから転送したデータを削除したい。	「関連情報」をご覧ください。
印字ヘッドを取り付けられない。	印字ヘッドのばねがはみ出していると、印字ヘッドを取り付けることができません。印字ヘッドのばねを正しく取り付け、再度試してください。
オプションのハクリユニットを使用しているときに、用紙が正しく排紙されない。	ハクリユニットのセンサーに直射日光が当たっていませんか？ハクリユニットのセンサーに直射日光が当たっていると、セットされている用紙が正しく検出できない場合があります。直射日光が当たらない場所でプリンターを使用してください。

問題	解決方法
<p>P-touch Editor 以外のアプリケーションから印刷したバーコードを読み取れない。</p>	<p>バーコードデータが横長で作成されている場合は、プリンタードライバーの基本設定タブの用紙方向設定を横方向に変更して再度お試しください。</p> 
<p>用紙がプラテンローラーに絡まっている。</p>	<p>プラテンローラーから用紙を取り除きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ロールカバーを開け、プラテンローラーの両側のレバーのロックを解除し持ち上げます。  <p>a. プラテンローラー</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. プラテンローラーから絡まった用紙を取り除きます。 3. プラテンローラー元に戻し、レバー引き下げロールカバーを閉めます。 
<p>USB 電源供給機能を使用している間に印刷を実行すると、プリンターは冷却モードに入り、印刷を開始できません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本機と機器が USB-C - USB-C ケーブルで接続されていることを確認します。 • プリンターが熱くなり冷却している。プリンターが冷却したら印刷は再開します。

印刷結果の問題

問題	解決方法
印刷した用紙に筋が入る、文字品質が低い、用紙が正しく送られない。	<p>印字ヘッドまたはローラーが汚れていませんか？</p> <p>印字ヘッドは通常の使用では汚れませんが、ローラーの糸くずや汚れが印字ヘッドに付着することがあります。このような場合は、ローラーを清掃してください。詳細については、「関連情報」をご覧ください。</p>
印刷したバーコードを読み取れない。	<ul style="list-style-type: none"> 以下のように、バーコードが印字ヘッドに揃うようにラベルを印刷してください。 <div style="text-align: center;">  </div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 印字ヘッド 2. バーコード 3. 印刷の向き <ul style="list-style-type: none"> バーコードは、縮小または拡大すると、読み取ることができない場合があります。 別のバーコードスキャナーを使用してみてください。

ネットワークの問題

問題	解決方法
セキュリティソフトウェアを使用している。	<ul style="list-style-type: none"> インストールダイアログボックスの設定を確認してください。 プリンターのインストール中にセキュリティソフトウェアの警告メッセージが表示された場合は、アクセスを許可してください。
セキュリティの設定 (SSID/ネットワークキー) が正しくない。(TD-2350D)	<p>正しいセキュリティ設定を再確認および選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無線 LAN アクセスポイントルーターのセキュリティ設定には、お買い上げ時の設定として製造元メーカーの名前や機種名が使用されている場合があります。 セキュリティ設定の確認方法については、無線 LAN アクセスポイントルーターの取扱説明書をご覧ください。 無線 LAN アクセスポイントルーターの製造元、インターネットプロバイダー、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。
Wi-Fi または Bluetooth を使用してプリンターをホスト機器に接続できない。(TD-2350D)	<ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi ネットワーク設定を行うときに、プリンターと携帯端末を約 1 メートル以内まで近付けてください。 障害物のない場所にプリンターを移動してください。
Wi-Fi または Bluetooth を使用して印刷できない。(TD-2350D)	<ul style="list-style-type: none"> ワイヤレスパソコン、Bluetooth 搭載機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話、またはその他の機器がプリンターや無線 LAN アクセスポイントルーターの近くにある場合は、機器を離してください。
プリンターと携帯端末の間に、障害物 (壁や家具など) がありますか？ (TD-2350D)	<p>障害物のない場所にプリンターを移動してください。</p>
MAC アドレスのフィルタリング機能を使用している。	<p>プリンター設定レポートを印刷すると、MAC アドレスを確認できます。詳細については、「関連情報」をご覧ください。</p>
プリンターがネットワークに正しく接続されない。	<ul style="list-style-type: none"> プリンターが、接続先のモードに設定されているか確認してください。 プリンターがまだ接続されない場合は、以下の操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi 接続の場合 (TD-2350D) <div style="text-align: center;">  </div> <p>: プリンターは無線ネットワークを検索しています。検索が完了するまでお待ちください。</p> Wireless Direct の場合 (TD-2350D) <p>画面に Wireless Direct アイコンが表示されている場合、接続したい機器からプリンターを検索してください。</p> 有線 LAN の場合

問題	解決方法
	LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 - Bluetooth の場合 (TD-2350D) 画面に Bluetooth アイコンが表示されている場合、接続したい機器からプリンターを検索してください。
上記をすべて試しても、Wi-Fi/Bluetooth 機能を設定できない。(TD-2350D)	プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。その後、Wi-Fi と Bluetooth の設定を再度行ってください。
Apple 製品 (iPad、iPhone、iPod touch) との Bluetooth 接続が切れると、プリンターが接続されない。(TD-2350D)	自動再接続機能をオンにしてください。この機能は、プリンター設定ツールから設定できます。詳細については、「関連情報」をご覧ください。 TD-2350D: プリンターの画面で Bluetooth メニューを使用して設定することもできます。
使用可能な IP アドレスがプリンターに割り当てられていない。	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレスとサブネットマスクを確認してください。お使いのパソコンとプリンターの、IP アドレスとサブネットマスクがいずれも正しく、同じネットワーク上にあることを確認してください。 IP アドレスとサブネットマスクを確認する方法について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 プリンター設定ツールを使用して、IP アドレス、サブネットマスク、その他のネットワーク設定を確認してください。詳細については、「関連情報」をご覧ください。 TD-2350D: ネットワーク設定は、プリンターの画面で確認することもできます。
以前の印刷ジョブが失敗した。	完了していない印刷ジョブがパソコンの印刷キューに残っている場合は、そのジョブを削除してください。 例: Windows 10 を使用している場合: スタート > 設定 > デバイス > プリンターとスキャナー をクリックします。設定するプリンターをクリックし、 キューを開く をクリックします。 プリンター > すべてのドキュメントの取り消し をクリックします。
上記をすべて確認したが、プリンターで印刷できない。	プリンタードライバーとソフトウェアをアンインストールし、再インストールしてください。
標準インストール中、または印刷中にセキュリティ警告のダイアログボックスが表示されたときに、アクセスの許可を選択しなかった。	セキュリティ警告のダイアログボックスが表示されたときにアクセスの許可を選択しなかった場合は、セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能によってアクセスがブロックされている可能性があります。一部のセキュリティソフトウェアでは、セキュリティ警告のダイアログボックスを表示せずにアクセスをブロックすることがあります。アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。セキュリティソフトウェアの提供元にお問い合わせください。

その他の問題

問題	解決方法
日時が変更されないようにしたい。	管理メニューにパスコードを設定し、セキュリティを確保します。 詳細については、「関連情報」をご覧ください。
テンプレートをプリンターに転送できない。	<p>プリンタードライバーが正しくインストールされていない可能性があります。プリンタードライバーを再インストールし、もう一度転送を試みてください。</p> <p>プリンターには 32MB の内蔵メモリーがあり、最大 255 個のテンプレートを保存できます。利用可能な内蔵メモリーがない場合、または 255 個のテンプレートを既に登録済みである場合は、テンプレートをプリンターに転送 (登録) できません。プリンターから不要なテンプレートを削除してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンターの画面にホーム画面 (テンプレート一覧画面またはテンプレートタッチスクリーンのいずれか) が表示されていることを確認します。 P-touch Transfer Manager に転送ボタンが表示されない場合は、パソコンとプリンター間の接続を確認します。 または、転送する LBX ファイルを保存し、P-touch Editor を開きファイル > 転送を選択します。

問題	解決方法
テンプレートは転送されたが、日付が自動的にアップデートされない。	日付がアップデートされなかった場合は、そのテンプレートの 日付と時刻のプロパティ ダイアログボックスの 印刷時の日付時刻 チェックボックスが選択されていることを確認してください。
テンプレートをプリンターに転送すると、ファイルサイズが変化しました。	P-touch Transfer Manager に追加されたテンプレートファイルの形式は、プリンターに転送後のファイル形式と異なるため、ファイルサイズは変化します。このサイズの変化は問題ではありません。
プリンターに登録済みのテンプレートの数と関連するキー番号を確認できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続し、プリンターの電源をオンにします。 2. P-touch Transfer Manager を起動します。 3. 左側の枠内でお使いのプリンターの機種名をクリックして、右側の枠内にプリンターに登録したテンプレートを表示します。使用中のテンプレート数とキー番号を確認できます。 詳細については、「関連情報」をご覧ください。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンターの画面にホーム画面(テンプレート一覧画面またはテンプレートタッチスクリーンのいずれか)が表示されていることを確認します。 • P-touch Transfer Manager に転送ボタンが表示されない場合は、パソコンとプリンター間の接続を確認します。 または、転送する LBX ファイルを保存し、P-touch Editor を開きファイル > 転送を選択します。

✓ 関連情報

- [トラブルシューティング](#)

関連トピック：

- [プリンターを清掃する](#)
- [プリンター設定ツール \(Windows\)：用紙サイズ設定](#)
- [プリンター設定ツール \(Windows\)：本体設定](#)
- [RD ロールをセットする](#)
- [プリンターをリセットする](#)
- [プリンターの設定を確認する](#)
- [プリンター設定ツール：通信設定 \(Windows\)](#)
- [メニューのセキュリティを設定する](#)
- [パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する \(Windows\)](#)

バージョン情報

問題	解決方法
プリンターのファームウェアのバージョン番号がわからない。	プリンター設定レポートを印刷して、ファームウェアのバージョン番号を確認できます。詳細については「 関連情報 」をご覧ください。
最新バージョンのソフトウェアを使用しているかどうかを確認したい。	P-touch Update Software を使用して、最新バージョンを使用しているかどうかを確認します。P-touch Update Software の詳細については「 関連情報 」をご覧ください。

✓ 関連情報

- [トラブルシューティング](#)

関連トピック：

- [プリンターの設定を確認する](#)
- [ファームウェアを更新する](#)

プリンターをリセットする



- プリンターのボタンを使用してすべての設定をお買い上げ時の設定にリセットする
- 画面メニューを使用して設定をリセットする
- プリンター設定ツールを使用してデータをリセットする

プリンターのボタンを使用してすべての設定をお買い上げ時の設定にリセットする


関連モデル: TD-2320D


プリンターが正常に作動しない場合や、すべての保存済みファイルを削除したい場合は、プリンターの内部メモリーをリセットします。

1. プリンターの電源をオフにします。


2. とを約3秒間長押しします。

すべてのLEDインジケーターが赤色に点滅します。


3. を押し続けます。

- を1回押して、ネットワーク設定をリセットします。


電源LEDが赤色に点灯します。

- を2回押して、転送されたデータと本体設定をリセットします。

ロールLEDが赤色に点灯します。

- を3回押して、すべての設定と本体設定をお買い上げ時の設定にリセットします。

ステータスLEDが赤色に点灯します。

4. を放します。

すべてのLEDインジケーターが赤色で4回点滅した後、赤色に点灯します。

✓ 関連情報

- [プリンターをリセットする](#)

画面メニューを使用して設定をリセットする

関連モデル: TD-2350D

画面メニューを使用して、次の設定をリセットできます。

- プリンターの設定
 - ユーザー設定
 - ネットワーク設定
1. **Menu** を押します。
 2. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - a. [管理者設定]を選択します。**OK** を押します。
 - b. [初期化]を選択します。**OK** を押します。
 - c. 使用するリセットオプションを選択します。**OK** を押します。
 3. ▲または▼を押して、[実行]を選択します。**OK** を押します。
本製品が再起動します。

✓ 関連情報

- [プリンターをリセットする](#)

プリンター設定ツールを使用してデータをリセットする

プリンターが正常に作動しない場合や、すべての保存済みファイルを削除したい場合は、プリンターの内部メモリーをリセットします。

パソコンからプリンター設定ツールを使用して、次の操作を行うことができます。

- テンプレートとデータベースを削除する
- 通信設定をリセットする
- プリンターの設定をお買い上げ時の設定にリセットする

✓ 関連情報

- [プリンターをリセットする](#)

付録

- 仕様
- ソフトウェア開発キット
- LabelCLT
- 内蔵テンプレート
- 製品寸法
- 用紙自動検知
- 別売品
- Brother のヘルプとカスタマーサポート
- アフターサービスのご案内

仕様

- >> 印刷
- >> サイズ
- >> インターフェース
- >> 環境
- >> 電源
- >> 用紙の仕様
- >> 対応 OS
- >> 印字ヘッド、プラテンローラー、オートカッターの耐久目安

印刷

印刷方式	ダイレクトサーマル
印刷解像度	300 dpi
印刷速度（使用する用紙によります）	最大 152.4mm/s ¹
最大印字幅	59 mm
最大印字長	3000 mm

¹ 当社の印刷テストデータ<58 x 100mm、印刷範囲 10%>を使用し、温度 23℃の環境において USB 接続で AC を使用して連続印刷した場合。

サイズ

重量	<ul style="list-style-type: none">TD-2320D 約 1.50 kgTD-2350D 約 1.53 kg
外形寸法	約 119 mm (W) x 158 mm (H) x 224 mm (D)

インターフェース

USB	USB Ver.2.0（フルスピード）（タイプ C）
シリアル	RS-232C (RJ25) ¹
有線 LAN	10/100BASE-TX
USB ホストポート	USB Ver.2.0（フルスピード）（タイプ A）
Bluetooth（TD-2350D）	Bluetooth Ver5.2 SPP、OPP、HCRP（Bluetooth クラシック）、GATT（Bluetooth 低エネルギー）
無線 LAN（TD-2350D）	IEEE 802.11 a/b/g/n（インフラストラクチャモード） IEEE 802.11 g/n（Wireless Direct モード）

¹ 専用変換ケーブルを使用します。

環境

動作温度	プリンター	5℃～40℃の間
	リチウムイオン充電専用充電器	10℃～35℃の間
動作湿度	プリンター	20%～80%（結露なし）
	リチウムイオン充電専用充電器	最大湿球温度：27℃

電源

アダプター	標準 AC アダプター (100 - 240 V 50/60Hz)
充電電池残量による印刷可能枚数目安	残量：満充電 14,000 枚 (300dpi) 印刷可能 ^{1 2}
電池充放電回数	約 300 回 ³
充電時間	本体充電 約 2.2 時間 ⁴ リチウムイオン充電電池専用充電器 約 2.0 時間 ⁴
コイン電池交換目安	約 2 年 ⁵

- 1 弊社の印刷テストデータ (50mm x 30mm)、印字率 11%を使用 温度 23 度の場合。
- 2 満充電状態の新品充電電池を使用し、USB 接続で連続印刷した場合。ただし、印字条件や使用環境、電池劣化状況などによって、変化するため、保証対象ではありません。
- 3 温度 25 度の場合。
- 4 プリンターオフにして、新しいリチウムイオン充電電池を使用し、温度 23 度で充電した場合。
- 5 コイン電池の使用期限内にてご使用されることを前提としています。ご使用開始からの交換目安は約 2 年です。

用紙の仕様

媒体の素材によっては、印字品質に影響が出る可能性があります。

最適な印刷結果を得るには、ブラザー製の感熱紙 (RD ロール) を使用することをおすすめします。

用紙の種類	<ul style="list-style-type: none">• リストバンド¹• 連続• プレカット紙• ファンフォールド• ミシン目付き• タグ²
用紙幅	15 mm から 63 mm ³ リストバンド：15 mm から 36 mm ^{3 4}
用紙の長さ	連続：6.4 mm から 3,000 mm ハクリユニット：17 mm から 3,000 mm カッター：20 mm から 3,000 mm ティア：18 mm から 3,000 mm
厚さ	0.058 mm から 0.279 mm ³ <ul style="list-style-type: none">- ピール：0.083 mm から 0.130 mm^{3 4}- ティアバーカット：0.058 mm から 0.083 mm^{3 4}- オートカット：0.075 mm から 0.279 mm^{3 4}- レシート：0.058 mm から 0.083 mm^{3 4}- ラベル：0.104 mm から 0.178 mm^{3 4}- タグ：0.133 mm から 0.190 mm^{3 4}- リストバンド：0.107 mm から 0.279 mm^{3 4}
ロール紙外径 (最大)	127 mm
芯の直径 (最小)	12.7 mm
用紙センサー	透過、反射
使用可能ロールタイプ	外巻き・内巻き共に使用可能

- 1 リストバンドの形状によっては、反射型センサーでは黒マークを検出できません。
- 2 使用する前にご自身で用紙を確認してください。
- 3 カタログ仕様に基づいています。

- 4 値はブラザー純正用紙ロールと PDC リストバンドに基づいています。指定された値を超える場合は、ご自身で用紙を確認してください。用紙の素材によっては、印字幅に影響が出る可能性があります。

対応 OS

互換性のあるソフトウェアの最新リストについては、support.brother.co.jp をご覧ください。

印字ヘッド、プラテンローラー、オートカッターの耐久目安

印字ヘッド	30 km (ラベル) ^{1 2}
プラテンローラー	30 km ^{1 2}
カッター寿命 (標準モデル)	プレカット紙ラベルのみ： 約 50 万回カット ^{3 4} 長尺紙テープのみ： 約 15 万回カット ^{3 4}

- 1 この部品交換目安は、以下記載の試験条件を前提に弊社独自に算出した参考値です。部品交換に至る距離はお客様の用紙、使用方法、使用環境、その他の条件等により異なり、どのような状況下でも、この部品交換目安が保証されるものではありません。
試験条件：23℃ 50%、6ips、印字率 12.5% RD ラベル
- 2 交換目安距離に満たない場合でも、印字結果でドット抜けが生じた際には、部品交換をお勧めします。
- 3 弊社試験結果によるデータで、保証値ではありません。部品交換に至る回数はおお客様の用紙、使用方法、使用環境、その他の条件等により異なり、どのような状況下でも記載の部品交換目安が保証されるものではありません。
- 4 交換目安に満たない場合でも、カッターの切れ味が悪くなった際には、部品交換をお勧めします。

✓ 関連情報

- [付録](#)

関連トピック：

- [各部を交換する](#)

ソフトウェア開発キット

ソフトウェア開発キット（SDK）は、開発者ツールサイト（<https://support.brother.co.jp/j/s/es/dev/ja/index.html>）から入手できます。

b-PAC SDK、およびモバイル端末（Android™、iPhone、iPad）向けの SDK もダウンロードすることができます。（SDK を入手できるかどうかは、予告なく変更される場合があります。）

✓ 関連情報

- [付録](#)

LabelCLT

- [LabelCLT の概要](#)
- [LabelCLT を使いテンプレートデータファイルを転送する](#)
- [PDZ ファームウェアファイルを USB 経由で転送する：例](#)

LabelCLT の概要

概要

LabelCLT は、コマンドラインを使用してファイルの転送とプリンターからのステータスの取得を可能にするコマンドラインツールです。

LabelCLT をダウンロードするには、サポートサイト (support.brother.co.jp) でお使いの機種種のソフトウェアダウンロードページにアクセスしてください。

操作環境

サポートされているオペレーティングシステム

Windows のみ。サポートされているオペレーティングシステムの最新一覧については、support.brother.co.jp にアクセスしてください。

通信インターフェース

USB、有線 LAN または、無線 LAN

ファイル形式

ファイル形式	生成元	サポートされているインターフェース
BIN	本体設定、通信設定、P-touch Template 設定、用紙サイズ設定	USB、LAN
PDZ	ファームウェアおよび P-touch Transfer Manager	USB
BLF	本体設定、通信設定、P-touch Template 設定、用紙サイズ設定、P-touch Transfer Manager、LabelCLT	USB、LAN
CSV	Windows アプリケーション	USB、LAN
OTF	フォントファイル形式	USB
TTF		
PEM	セキュリティ証明書に使用するファイル形式	USB

✓ 関連情報

- [LabelCLT](#)

LabelCLT を使いテンプレートデータファイルを転送する

サポートされるコマンド、使用例、ここに掲載されていないエラーについては、support.brother.co.jp のサポートサイトの LabelCLT 製品マニュアルを参照してください。

>> [LabelCLT をインストールする](#)

>> [基本的なファイル転送手順](#)

LabelCLT をインストールする

1. LabelCLT をパソコンにダウンロードします。
2. Windows の検索ボックスに「cmd」と入力し、コマンドプロンプトを起動します。
3. LabelCLT が保存されているドライブを入力し、Enter キーを押します。（この例では、LabelCLT は「C」ドライブに保存されています。）

```
J:\>c:
```

4. **cd** と入力し、スペースを追加して、「LabelCLT.exe」ファイルがあるフォルダーのパスをコピーペーストします（この例では、**cd c:\LabelCLT**）。Enter キーを押します。

```
c:\>cd c:\LabelCLT
```

5. **LabelCLT.exe /eula** と入力し、Enter キーを押してライセンス契約を表示します。ライセンス契約の条件に同意する場合は、キーボードで「y」（「はい」）を入力して Enter キーを押します。

基本的なファイル転送手順

1. インターフェースに応じて以下のコマンドの1つを使用し、プリンターにアクセスします。

コマンド	機能	例
/ip:"IP アドレス"	LAN : IP または NodeName を指定します。	/ip:"192.168.0.250"または/ ip:"BRW00AABFF"
/printer:"プリンター名"	USB : プリンター名を指定します。	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)"

2. 以下のコマンドを使用しファイルを送信します。

コマンド	機能	例
/send_pdz:"FilePath"	指定した PDZ ファイルを送信します	/printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" / send_pdz:"c:\test\la.pdz"
/send_blf:"FilePath"	指定した BLF ファイルを送信します	/ip:"192.168.0.250" /send_blf:"c:\test\la.blf"
/send_bin:"FilePath"	指定した BIN ファイルを送信します	/ip:"192.168.0.250" /send_bin:"c:\a.bin"
/send_csv:"FilePath"	指定した CSV ファイルを送信します	/ip:"192.168.0.250" /send_csv:"c:\test\la.csv"

✓ 関連情報

- [LabelCLT](#)

PDZ ファームウェアファイルを USB 経由で転送する : 例

1. **LabelCLT.exe /printer** コマンドを使いプリンターを指定し、**/send_pdz** コマンドで転送するファイルを指定して、Enter キーを押します。

```
c:\LabelCLT>LabelCLT.exe /printer:"Brother TD-2350D (300 dpi)" /send_pdz:"c:\test\a.pdz"
```

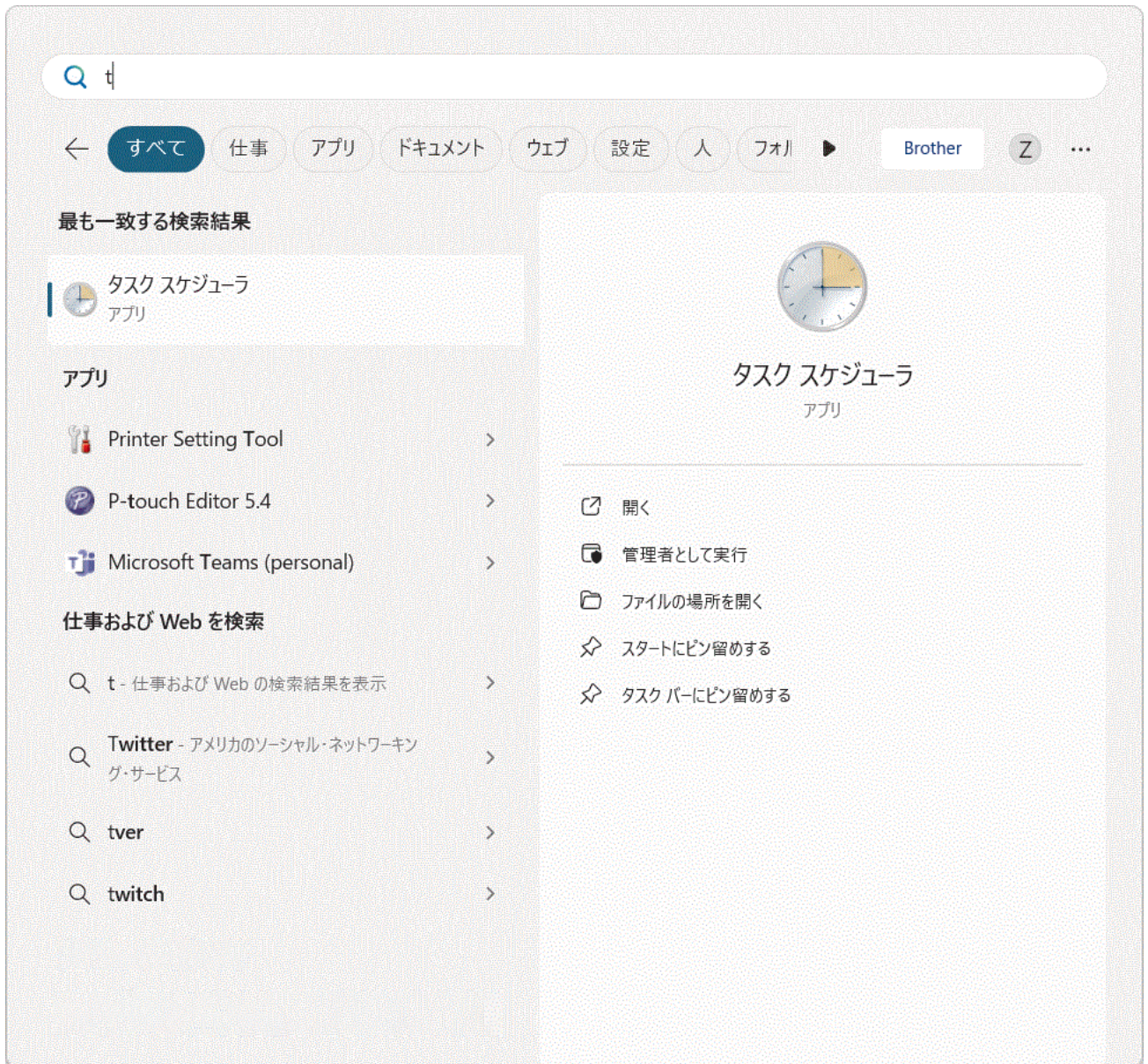
2. 転送が始まり、転送の進捗が表示されます。
3. 転送が完了すると、プリンターがファームウェアの書き込みを完了するまで LabelCLT は待機します。
4. プリンターのファームウェアの書き込みが完了したら、プリンターは再起動し、LabelCLT は再接続されます。
5. 再接続後に、転送されたファームウェアのバージョンと現在のプリンターファームウェアのバージョンを比較します。
6. アップデートが正常に完了すると、**Succeeded** が表示されます。

Windows タスクスケジューラの統合により、指定された時間にまたは定期的に指示を実行できます。

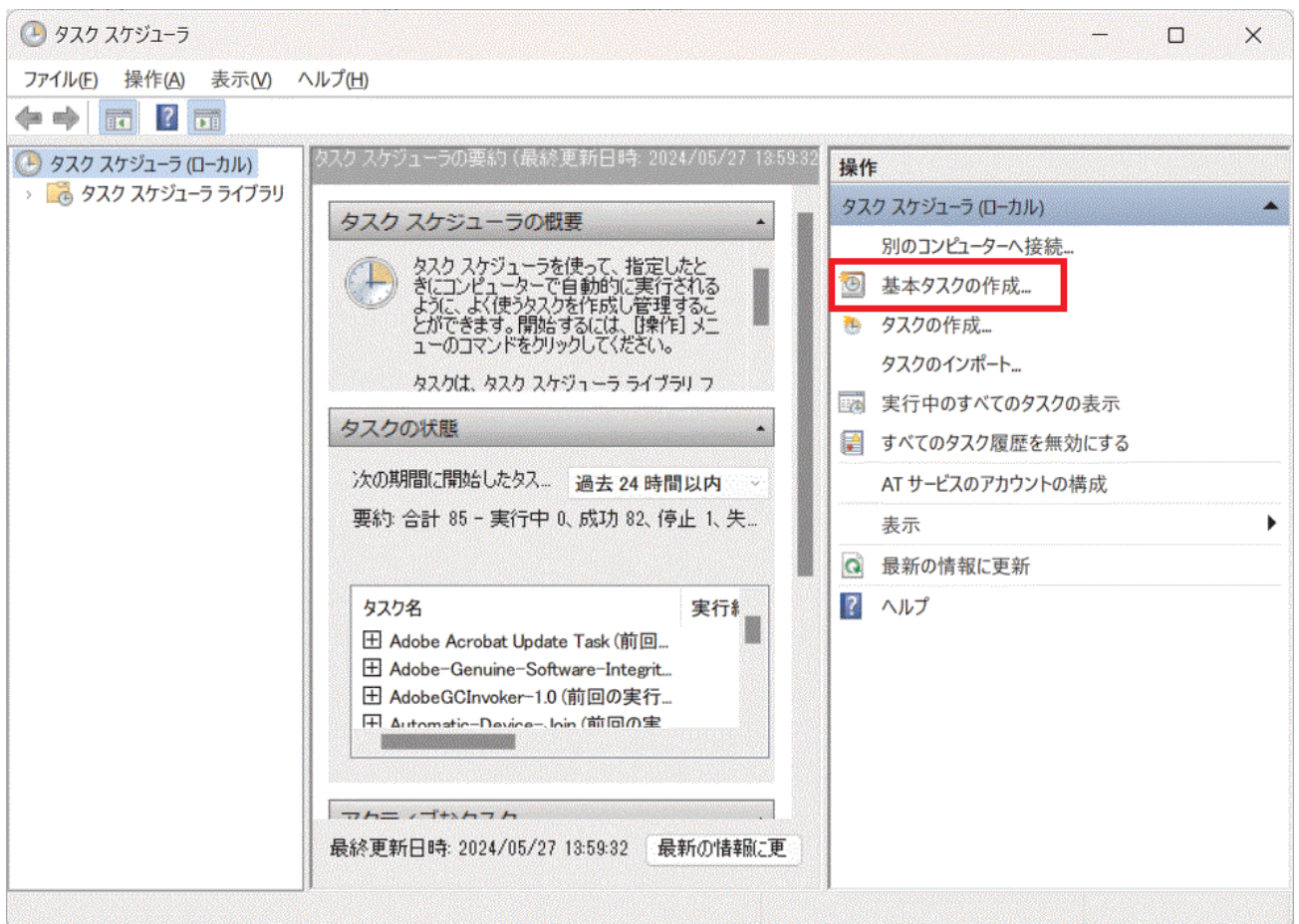
1. たとえば、ファームウェアバージョンのチェックなど、実行したいコマンドを使いバッチファイルを用意します。

```
cd/d %~dp0  
LabelCLT.exe /printer."Brother TD-2350D (203 dpi)" /get_firmwarever  
pause
```

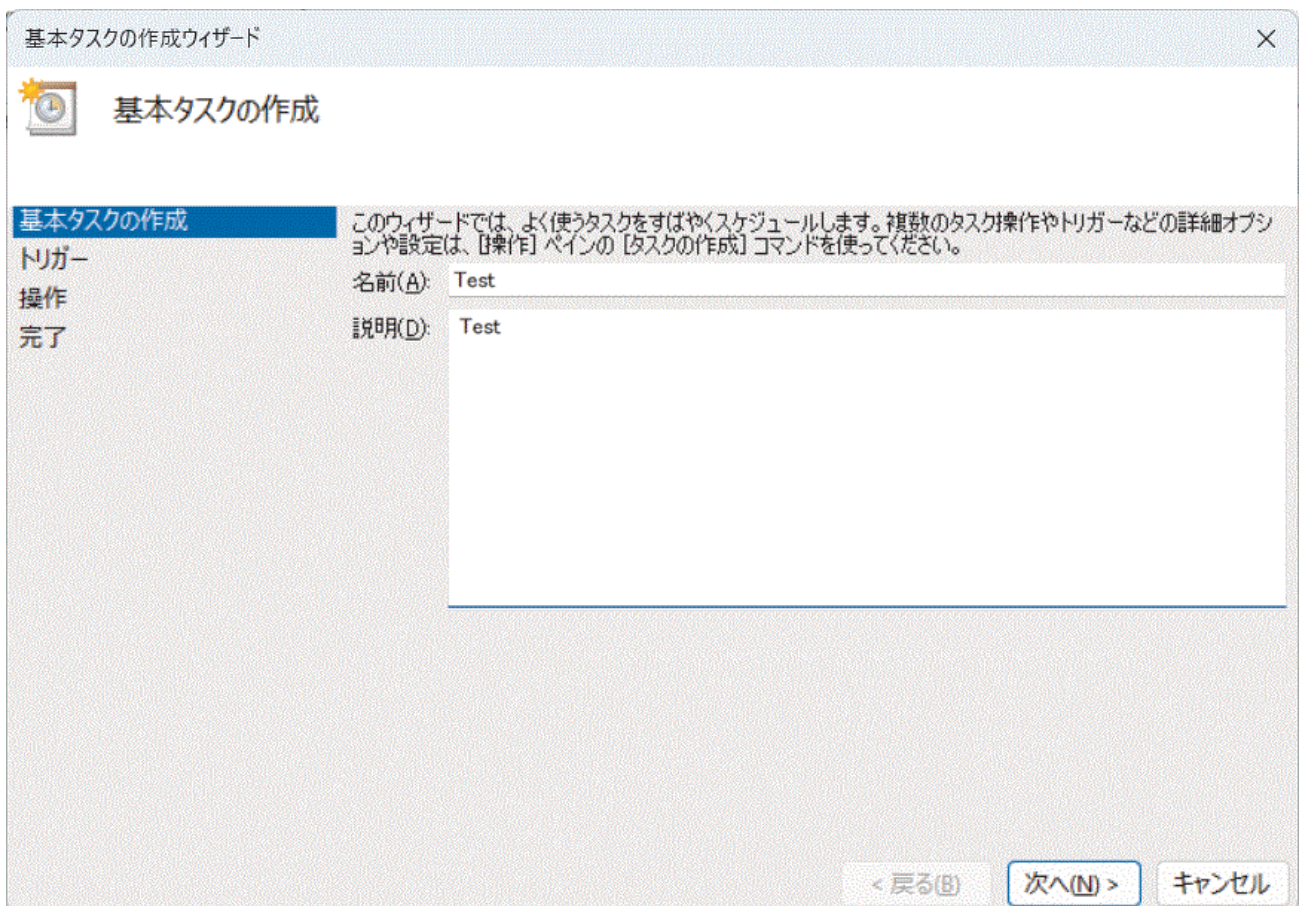
2. Windows タスクスケジューラを起動します。



3. 基本設定タスクの作成をクリックします。



4. 名前欄にタスク名を入力し、次へをクリックします。



5. そのタスクのトリガーを選択します。

基本タスクの作成ウィザード

タスクトリガー

基本タスクの作成

トリガー

1回

操作

完了

いつタスクを開始しますか?

毎日(D)

毎週(W)

毎月(M)

1回限り(O)

コンピューターの起動時(H)

ログオン時(L)

特定イベントのログへの記録時(E)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

基本タスクの作成ウィザード

1回

基本タスクの作成

トリガー

1回

操作

完了

開始(S): 2024/05/27 15:13:41 タイムゾーン間で同期(Z)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6. タスクで実行したいことを選択し（この例では、**プログラムの開始**を選択済みです）、**次へ**をクリックします。

The screenshot shows the 'Basic Task Creation Wizard' dialog box. The title bar reads '基本タスクの作成ウィザード'. The main area is titled '操作' (Operation). On the left, under '基本タスクの作成' (Basic Task Creation), the 'トリガー' (Trigger) is set to '1回' (Once) and the '完了' (Completed) status is shown. The '操作' (Operation) section is highlighted in blue. On the right, the question 'タスクでどの操作を実行しますか?' (Which operation do you want to perform in the task?) is followed by three radio button options: 'プログラムの開始 (I)' (Start program (I)), '電子メールの送信 (非推奨) (S)' (Send email (not recommended) (S)), and 'メッセージの表示 (非推奨) (M)' (Display message (not recommended) (M)). The 'プログラムの開始 (I)' option is selected. At the bottom right, there are three buttons: '< 戻る (B)' (Back (B)), '次へ (N) >' (Next (N) >), and 'キャンセル' (Cancel).

7. **プログラム/スクリプト**欄で準備したバッチファイルを指定し、**次へ**をクリックします。

The screenshot shows the 'Basic Task Creation Wizard' dialog box. The title bar reads '基本タスクの作成ウィザード'. The main area is titled 'プログラムの開始' (Start Program). On the left, under '基本タスクの作成' (Basic Task Creation), the 'トリガー' (Trigger) is set to '1回' (Once) and the '完了' (Completed) status is shown. The '操作' (Operation) section is highlighted in blue and labeled 'プログラムの開始' (Start Program). On the right, the question 'プログラム/スクリプト (P):' (Program/Script (P):) is followed by a text box containing 'C:/LabelCLT/Test-GetFirmVer.bat' and a '参照 (R)...' (Browse (R)...) button. Below this, there are two more text boxes: '引数の追加 (オプション) (A):' (Add arguments (optional) (A):) and '開始 (オプション) (I):' (Start (optional) (I):). At the bottom right, there are three buttons: '< 戻る (B)' (Back (B)), '次へ (N) >' (Next (N) >), and 'キャンセル' (Cancel).

8. **完了**をクリックし、タスクの作成を完了します。

基本タスクの作成ウィザード

要約

基本タスクの作成

トリガー

1回

操作

プログラムの開始

完了

名前: Test

説明: Test

トリガー: 指定日時: 2024/05/27 15:13 に起動

操作: プログラムの開始: C:/LabelCLT/Test-GetFirmVer.bat

[完了] をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く
[完了] をクリックしたときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジュールに追加されます。

< 戻る(B) 完了(F) キャンセル

9. 対象プリンターのファームウェアの確認タスクは、指定した時間に指定したバッチファイルを使用して完了します。

✓ 関連情報

- LabelCLT

内蔵テンプレート

内蔵テンプレート

TD2300D シリーズの一部のモデルには内蔵テンプレートが搭載されています。¹

内蔵テンプレート No.	内蔵テンプレート名
P01	CODE128
P02	JAN13
P03	JAN8
P04	期限 30x30
P05	インスタア 8
P06	インスタア 13
P07	産直
P08	期限 40x50
P09	食品 60x60
P10	食品 60x80

>> P01 CODE128 / P02 JAN13 / P03 JAN8

>> P04 期限 30x30

>> P05 インストア 8, P06 インストア 13

>> P07 産直

>> P08 期限 40x50 (1)

>> P09 食品 60x60, P10 食品 60x80

P01 CODE128 / P02 JAN13 / P03 JAN8

名称	バーコードコピーラベル
用途	任意の数字が入った Code128、JAN13 または JAN8 のラベルを印刷します。
使い方	バーコードリーダーで任意の価格とバーコードの値を入力して印刷します。

使い方

1. ホーム画面でこのテンプレートを選択します。
2. プリンターに接続したバーコードリーダーで任意のバーコードを読み取ります。
3. 印刷します。



保存しなければ 1 回限りの反映、保存すると内蔵テンプレートが上書きされます。

P04 期限 30x30

名称	消費期限ラベル
用途	印刷時、消費期限を X 時間の加算で自動計算します。加算後の消費期限が入ったラベルを印刷します。

使い方

準備作業

このテンプレートにリンクしているデータベース "P04" を編集します。

Menu、[管理者設定] > [データベース編集]

発行

¹ 内蔵テンプレートの有無と種類はモデルにより異なります。

1. ホーム画面でこのテンプレートを選択します。
2. 印刷したいデータベースのレコードを選択します。(商品の選択。)
3. 印刷します。

P05 インストア 8, P06 インストア 13

名称	インストアコードラベル
用途	任意の価格の入った、インストアバーコードのラベルを印刷します。

使い方

1. ホーム画面でこのテンプレートを選択します。
2. 価格とバーコードの値を入力します。²
3. 印刷します。



保存しなければ 1 回限りの反映、保存すると内蔵テンプレートが上書きされます。

P07 産直

名称	産直ラベル
用途	商品データベースと産地データベースの内容を反映させた、インストアコード入りラベルを作成します。

使い方

準備作業

このテンプレートにリンクしているデータベース "P07" を編集します。

Menu、[管理者設定] > [データベース編集]

発行

1. ホーム画面でこのテンプレートを選択します。
2. 印刷したいデータベースのレコードを選択します。(商品の選択。)
3. 産地コード、マークを選択し、必要に応じて価格を変更します。
4. 印刷します。

P08 期限 40x50 (1)

名称	消費期限ラベル
用途	印刷時、消費期限を X 時間の加算で自動計算し、この消費期限が入ったラベルを印刷します。

使い方

準備作業

このテンプレートにリンクしているデータベース "P08" を編集します。

Menu、[テンプレート設定] > [データベース編集]

初回発行

1. 店舗名と住所を修正し、確定します。※内蔵テンプレートに上書きされます。
2. ホーム画面でこのテンプレートを選択します。
3. 印刷したいデータベースのレコードを選択します。(商品の選択。)
4. 印刷します。

2回目以降の発行

² JAN8 は任意の数字を 7 桁を入力すると、チェックディジットが 1 桁付与され、8 桁となります。JAN13 は任意の数字 12 桁を入力すると、チェックディジットが 1 桁付与され、13 桁となります。

1. ホーム画面でこのテンプレートを選択します。
2. 印刷したいデータベースのレコードを選択します。(商品の選択。)
3. 印刷します。

P09 食品 60x60, P10 食品 60x80

名称	食品表示ラベル
用途	<ul style="list-style-type: none">• 印刷時、消費期限を X 時間の加算で自動計算し、この消費期限が入ったラベルを印刷します。• マークを選択できます。

使い方

準備作業

このテンプレートにリンクしているデータベース（テンプレート名の頭 3 文字と同じデータベース “P07”、“P08”、“P09” のどれか）を編集します。

Menu、[管理者設定] > [データベース編集]

1. ホーム画面でこのテンプレートを選択します。
2. 印刷したいデータベースのレコードを選択します。(商品の選択。)
3. 印刷前の「部数選択画面」からデータ編集画面に入り、ラベルごとに変わらない（固定したい）文言（製造者、注記等）を修正し、確定します。³

発行

1. ホーム画面でこのテンプレートを選択します。
2. 印刷したいデータベースのレコードを選択します。(商品の選択。)
3. マークを選択します。
4. 印刷します。



バーコードとマークを削除するには印刷前の「部数選択画面」からデータ編集画面に入り、「無し」を選択します。

✓ 関連情報

- 付録

³ 保存しなければ固定にならず 1 回限りの反映になります。確定すると内蔵テンプレートが上書きされます。

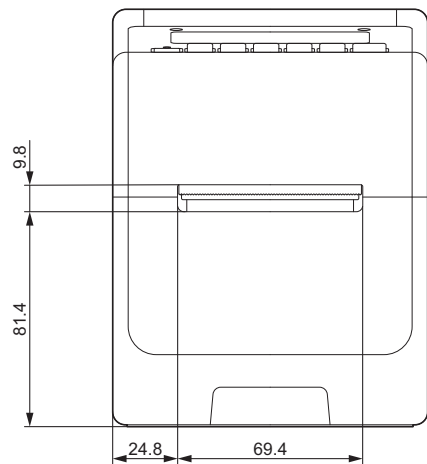
製品寸法



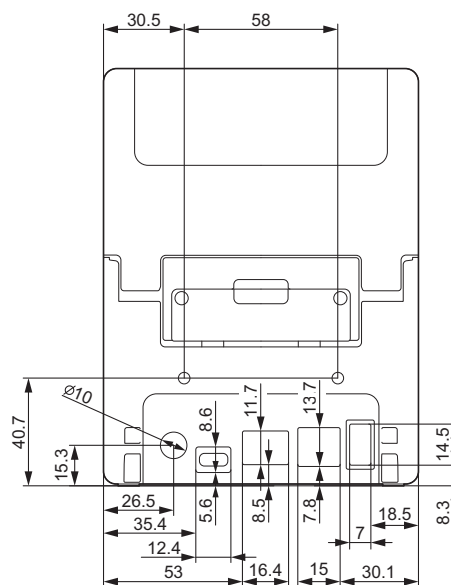
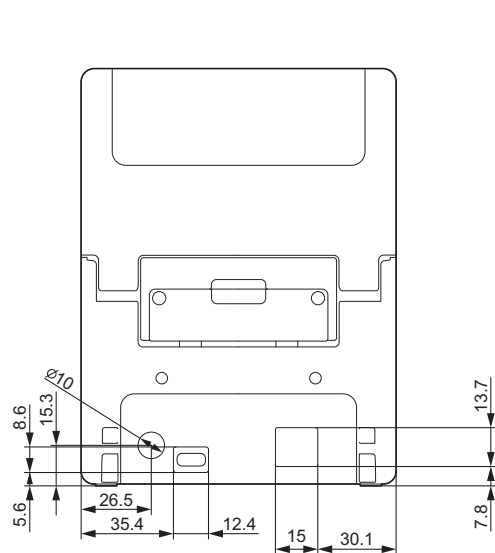
すべての測定値はミリメートル単位です。

プリンター

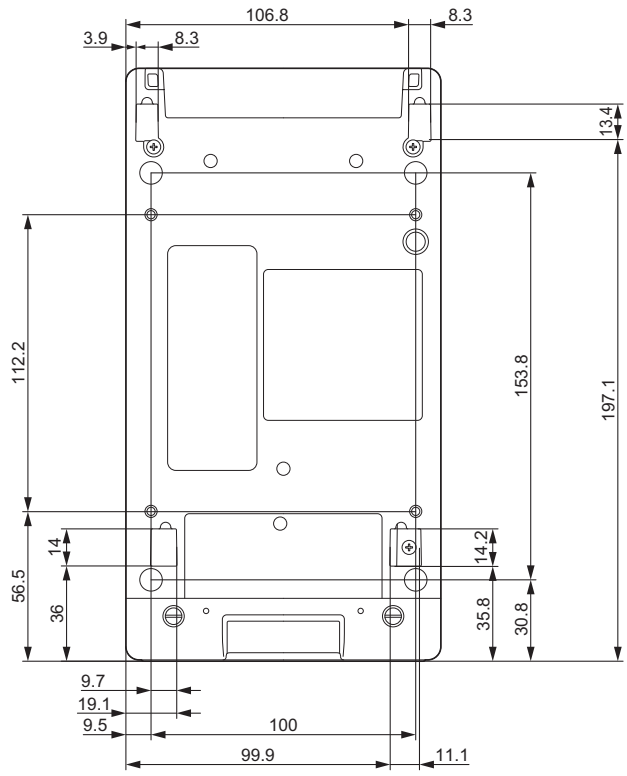
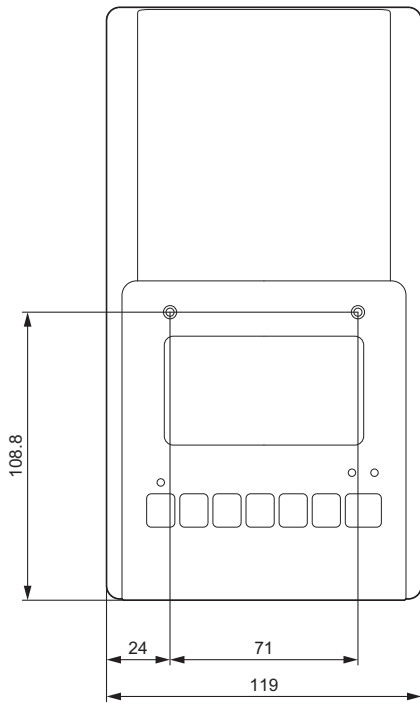
前面



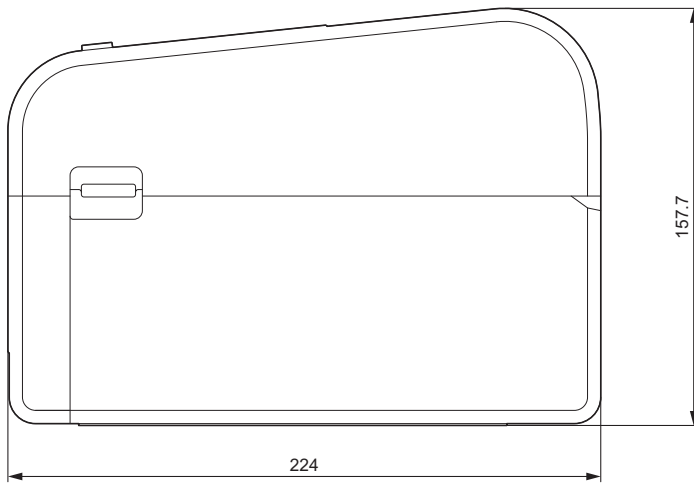
背面

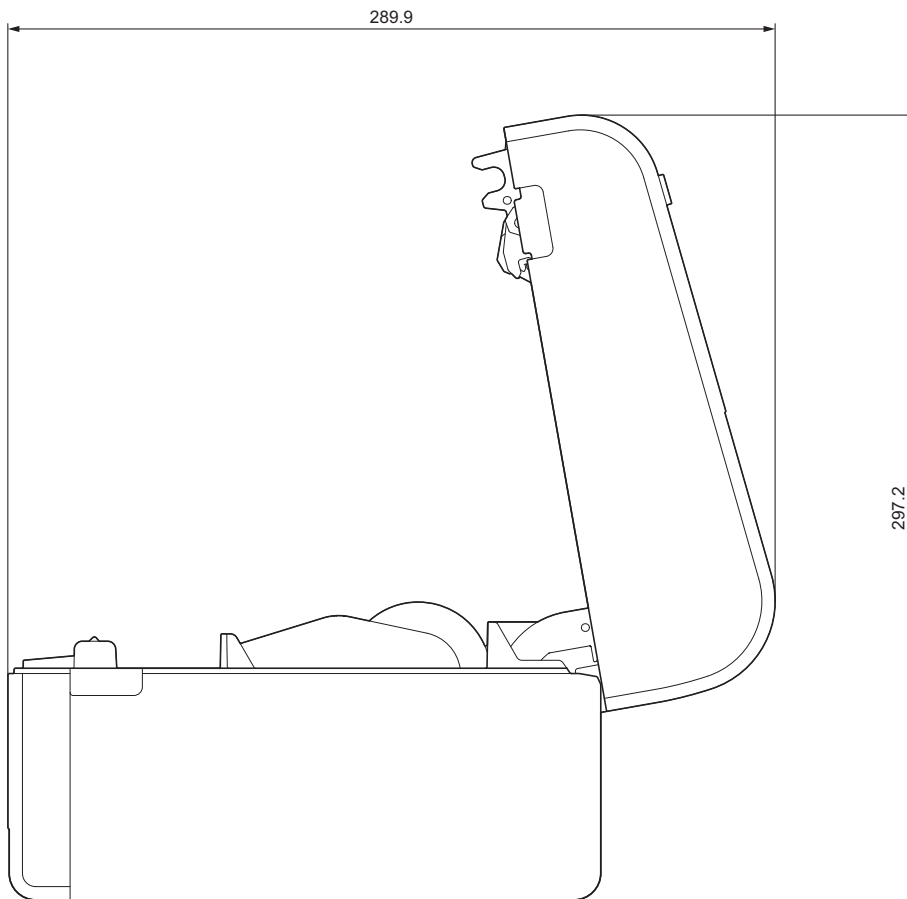


上面/底面



側面

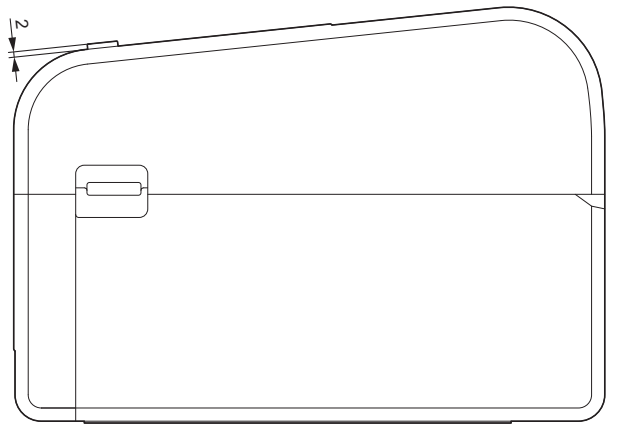
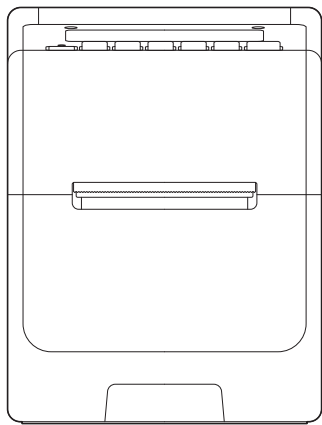
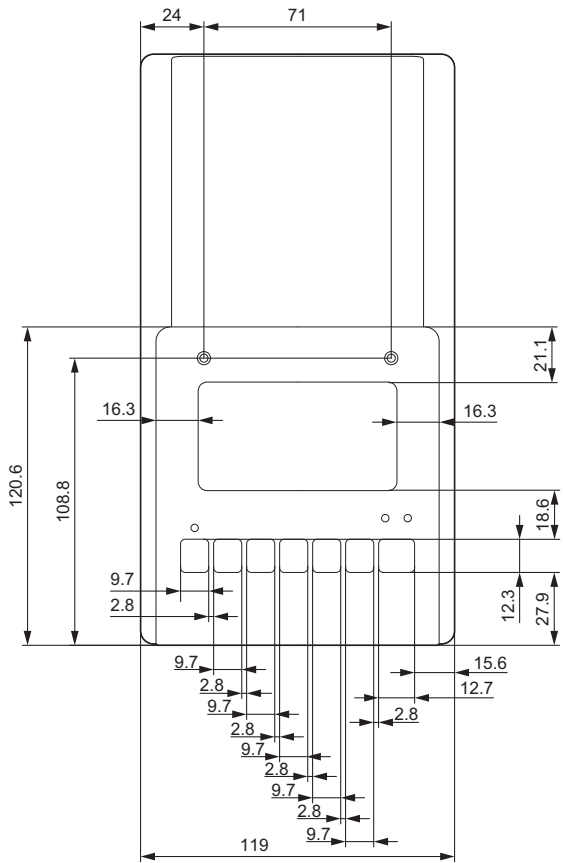


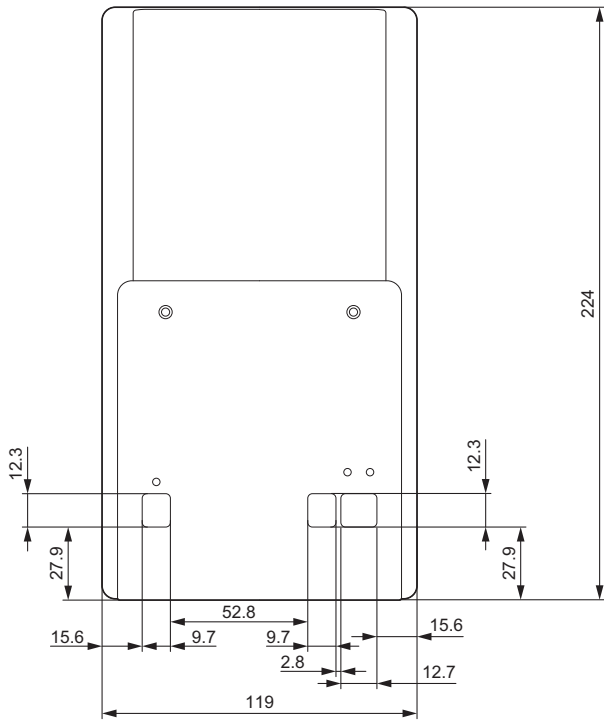


ボタン配置 / LCD 配置

ボタン高さ

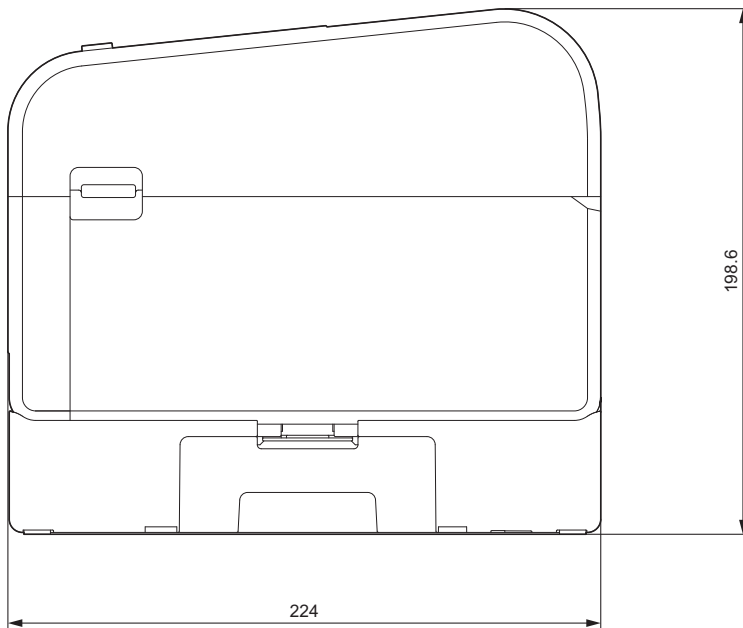
- 電源ボタン : 0 mm
- その他のボタン : 2 mm





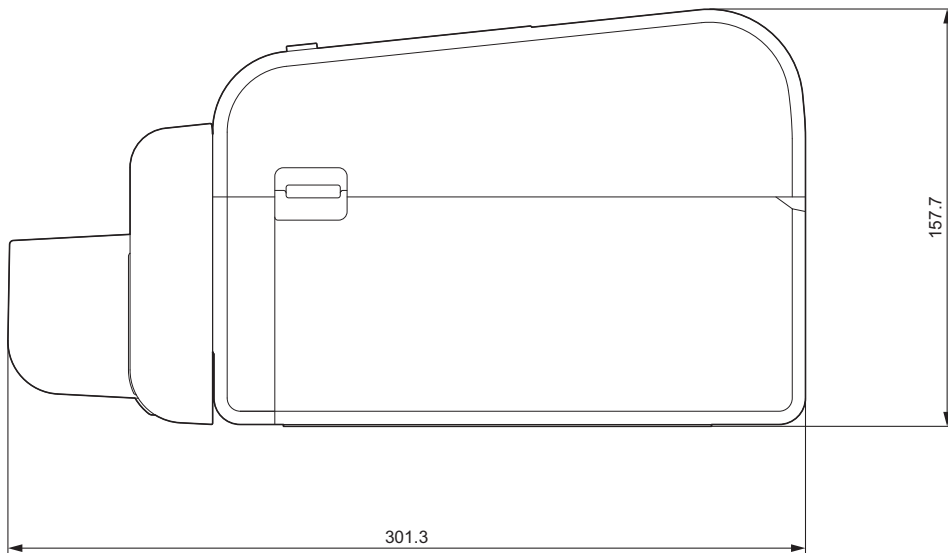
バッテリーベース装着

側面



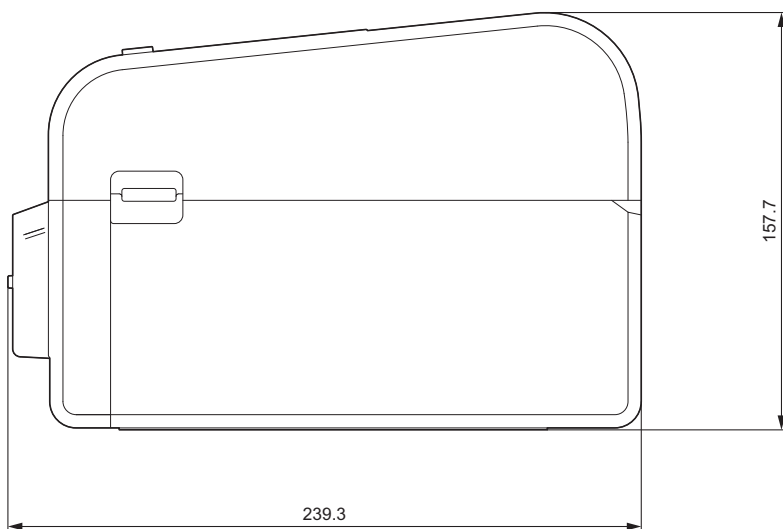
カッター装着

側面



ハクリユニット装着

側面



設置場所

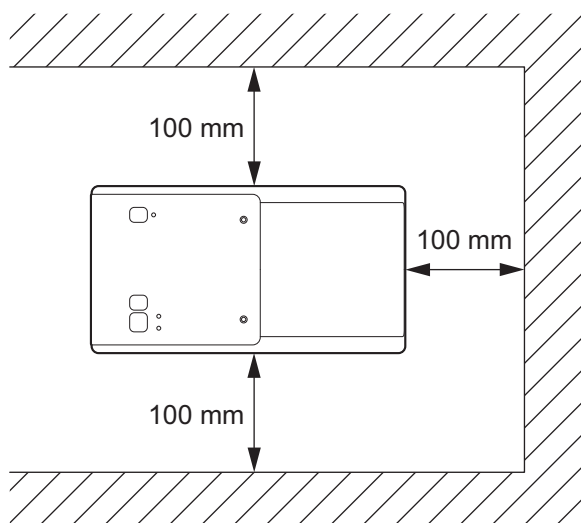
- プリンターは、カバーを開けて、コードやケーブルを差し込む十分なスペースがあり、十分に換気された平らで安定した面に置いてください。
- 図に示すように、プリンターの上、背面、周囲に十分なスペースを確保してください。

お願い

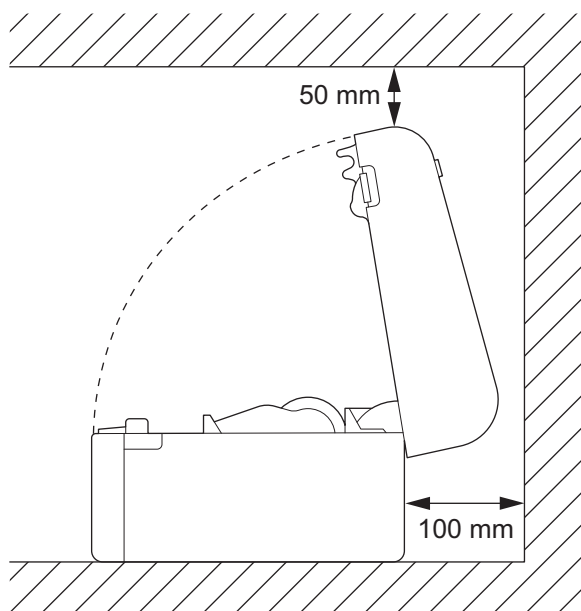
- プリンターを以下にさらされる場所には置かないでください。
 - 直射日光
 - 高温多湿
 - 急激な気温変化
 - 振動
 - ひどいほこり
- プリンターを以下の近くには置かないでください。
 - 磁気または電磁波を発生する機器
 - 火または液体
 置いた場合は、火災、感電、またはけがの原因となる可能性があります。
- TD-2350D :

無線通信の損失を引き起こす可能性があるため、プリンターは金属で覆われた場所（例、金属製の棚や金属製の扉で囲まれたスペース）には置かないでください。

上面図



側面図



✓ 関連情報

- 付録

用紙自動検知

- [用紙自動検知の概要](#)
- [用紙自動検知機能を使用する](#)
- [センサー位置を調整する](#)

用紙自動検知の概要

用紙自動検知を行うと、プリンターにセットした用紙の特徴を自動的に検出し、正しい用紙サイズ設定を選択します。

機種	自動検出：
TD-2320D/TD-2350D	<ul style="list-style-type: none">用紙種類幅長さラベルの余白マークの幅ギャップ/黒マーク検出レベル補正

用紙自動検知の流れ

用紙自動検知が開始すると、用紙の特徴を検出できるようにプリンターは自動的に用紙を給紙します。基本的には、以下の場合を除いて、プリンターは用紙を連続用紙として設定します。

- 透過型/ギャップセンサーがプレカット紙ラベルを検出した場合。
- 反射型/黒マークセンサーがマーク付き用紙を検出した場合。¹



- 用紙が十分になく、用紙自動検知中に切れると、プリンターが用紙種類を正常には検出しません。画面にはエラーメッセージが表示されます。画面の指示に従って、再度試してください。
- 用紙が正しく揃っていないと、正しく検出できません。
- 用紙の形状や材質によっては、用紙を検出できない場合があります。
- 幅は、検出された幅の左右から 2.0mm を差し引くことで自動的に計算されます。



関連情報

- 用紙自動検知

¹ 結果によっては、用紙を再び給紙する必要があります。

用紙自動検知機能を使用する


>> [TD-2320D](#)

>> [TD-2350D](#)

>> [プリンタ設定ツールを使用して用紙情報を調整する](#)

TD-2320D

プリンターのボタンを使用して用紙情報を調整します。

ステータス LED が点灯してその後消えるまで、 を長押しします。

検出が完了すると、検出された用紙情報がプリンターに設定されます。

TD-2350D

画面メニューを使用して用紙情報を調整します。

1. **Menu** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、次のように選択します。
 - a. [用紙設定] を選択します。 **OK** を押します。
 - b. [用紙自動検知] を選択します。 **OK** を押します。検出が完了すると、検出された用紙情報がプリンターに設定されます。

プリンタ設定ツールを使用して用紙情報を調整する

1. プリンターをパソコンに接続します。
2. プリンター設定ツールを起動します。
スタート > Brother > Printer Setting Tool をクリックします。
3. **用紙サイズ設定** をクリックします。
4. **編集** または **新規** をクリックします。
5. **用紙自動検知** をクリックします。
検出されたプリンターの一覧が表示されます。
6. **インポート** をクリックして、結果を用紙サイズ設定に適用します。

関連情報

- [用紙自動検知](#)

別売品

- オプション部品取り付け時の推奨締め付けトルク
- ハクリユニットオプションを変更する (Windows)
- カットオプションを変更する (Windows)

オプション部品取り付け時の推奨締め付けトルク

対象ネジ：プリンターにバッテリーベース、カッター、ピーラーを取り付けるためのネジ。

推奨締め付けトルク： 0.35 ± 0.1 N·m

✓ 関連情報

- ・ [別売品](#)

ハクリユニットオプションを変更する (Windows)

ハクリユニットを取り付けた後に、プリンタードライバーのハクリユニットオプションを設定します。

1. **スタート > 設定 > デバイス > プリンターとスキャナー**をクリックします。設定するプリンターを選択し、**キューを開く**をクリックします。**プリンター > 印刷設定**をクリックします。
2. **剥離機能を使う**チェックボックスを選択します。
3. **OK**をクリックします。

✓ 関連情報

- [別売品](#)

カットオプションを変更する (Windows)

カットオプションを使用すると、ラベルの給紙方法とカット方法を指定できます。P-touch Editor を使用しない場合は、プリンタードライバーのプロパティでカットオプションを変更できます。

1. **スタート > 設定 > デバイス > プリンターとスキャナー**をクリックします。設定するプリンターを選択し、**キューを開く**をクリックします。**プリンター > 印刷設定**をクリックします。
2. **指定枚数ごとにカット**チェックボックスを選択し、複数のラベルを印刷するときにカットする位置を選択します。
3. **最後をカット**チェックボックスを選択します。
4. **OK** をクリックします。

ラベルカットオプション

オートカット (ラベル1枚ごとにカット)	最後でカット	仕上がりイメージ
なし	あり	
なし	なし	
あり	オンまたはオフ	

✔ 関連情報

- [別売品](#)

Brother のヘルプとカスタマーサポート

✓ 関連情報

- [付録](#)


アフターサービスのご案内

- >> 各種サポート情報
- >> ユーザーサポートについて
- >> 部品の保有期間について

各種サポート情報

サポートサイト

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポートブラザー 検索 

support.brother.co.jp

ユーザーサポートについて

保証書は本機に同梱されています。販売店・お買い上げ年月日等が記入されているかご確認ください。保証書、保証規定をよくお読みの上、大切に保管してください。

アフターサービスについてご不明な点やご相談がある場合は、お買い上げの販売店、または下記「ブラザーコールセンター」までお問い合わせください。

ブラザーコールセンター

URL :	support.brother.co.jp
電話番号 :	0570-061030
受付時間 :	月～土 9:00～12:00 / 13:00～17:00 日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。
※営業時間、電話番号については事前予告なく変更になる場合がございます。その際はホームページにてお知らせいたします。	
※ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。	

部品の保有期間について

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後5年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

関連情報

- ・ 付録

brother



JPN
Version A